

取扱説明書 活用ガイド ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-4X1003
DMR-4X403
DMR-2X603
DMR-2X303
DMR-2X203

全自動

DIGA



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（7～10ページ）を必ずお読みください。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (→7～10ページ)

本機の特長とご案内	4
本書のご案内	11
付属品 / リモコンの準備	13
各部の働き	14

接続と設定を行う

接続の前に	18
B-CAS (ビーカス) カードを 挿入する	19
テレビやアンテナと接続する	22
ネットワーク接続の準備をする	30
テレビとアンプ (スピーカー) を HDMI 端子で接続する	33
電源コードを接続する	35
●困ったときには	35
かんたん設置設定をする	36
4X1003 4X403 スマートフォンを使って かんたん設置設定をする (本機をテレビに接続しない場合)	43

メディア情報・画面説明

記録できるディスクについて	44
再生のみできるディスク / 使えないディスクについて	46
USB-HDD の録画について	47
USB 機器について	51
本機の電源を入 / 切する	52
画面上の操作について	53
ホームについて	58

視聴

受信できるデジタル放送と 記録の制限について	61
テレビ放送を見る	62

全自動録画 (録画・再生・保存・設定)

全自動録画について	65
全自動録画した番組を再生する	67
全自動録画した番組を検索する	69

全自動録画した番組を保存する	71
全自動録画設定を変更する	74
●録画日数を延ばしたい	75
●チャンネルを変えたい	77
●予約録画の時間を増やしたい	78
●詳細設定	78
●追加チャンネル登録時の制限について	78
●おすすめ設定診断を利用して全自動録画 設定を変更する	79
●お録りおきの設定を変更する	80
●お録りおき番組を保存する	80

通常録画

4K 放送の番組について	81
録画モードについて	82
4X1003 4X403 4K 放送の録画、 ダビングについて	84
放送中の番組を録画する	85
番組表の見方	87
●文字サイズを変更するには	87
番組表 (G ガイド) を使って 通常の予約録画をする	89
●録画中の予約録画を止める	92
番組を検索する	95
新番組 / 特番 / 初放送の 確認や予約をする	97
日時を指定して予約録画する (時間指定予約)	98
予約内容の確認、取り消し、修正など	99
自動予約する	100
●おまかせ番組を自動で予約録画する	100
●関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約)	102
予約録画の便利な機能	104
録画 / 予約録画に関するお知らせ	105
スカパー!プレミアムサービス対応 チューナーから録画する	107
CATV (ケーブルテレビ) から録画する	108
番組の同時録画について	109

目次 (続き)

再生・編集

録画一覧について	111
通常録画した番組を再生する	113
Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、 DVD ビデオを再生する	117
再生中のいろいろな操作	119
再生設定をする	122
番組を消去する / 編集する	125
チャプターの作成・再生・編集	129

ダビング

番組のダビングについて	131
番組をダビングする	132
ディーガやビエラなど 他機器からダビングする	140

ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む	143
--------------------	-----

写真・動画・音楽

写真や動画を取り込む	147
写真や動画を再生する	148
写真や動画を書き出す	152
スマートフォンの写真や動画を 本機で受信する	154
ネットワークカメラの動画を本機で 受信する	155
音楽 CD を再生する / HDD に取り込む	156
音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す	157

便利機能

録画した番組をモバイル機器に転送する ...	160
ビエラリンク (HDMI) を使う	163
お部屋ジャンプリnkを使う	165
DIGA Drive 機能を使う	167
スマートフォンと自動接続する	170

必要なとき

本機で記録できるようにする (フォーマット)	171
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去	172
ファイナライズ	173
文字入力	174
設定を変える	175
● リモコンを使うと他機器が同時に 動作するのを防ぐ	193
● 本機のリモコンでテレビを操作する	194
ソフトウェアの更新について	199
取り扱いについて	200
同時操作について	203
こんな表示が出たら	206
表示マーカー一覧	208
故障かな! ?	213
仕様	222
著作権など	241
保証とアフターサービス (よくお読みください)	245
さくいん	246

本機の操作ができなくなったときは ...



[P/1]を
3秒以上押す

- ① 本体の [P/1] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む)
 - ② 本体の [P/1] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
- 故障かな! ? と思った場合 (→213)



戻る

本機の特長とご案内

便利に使えるスマホアプリ「どこでもディーガ」(→197)

- 本機で録画した番組をスマホ／パソコンで楽しめます。※1、※2、※3、※4、※5
- 本機に取り込んだ音楽・写真・動画をスマホで楽しめます。※1、※3、※4
- スマートフォンを使ってかんたん設置設定ができます。(→43)

※1 スマホやタブレットに視聴アプリ「どこでもディーガ（無料）」のダウンロードが必要です。どこでもディーガに関する詳細は下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

※2 パソコンに（株）デジオン製の Windows 用視聴アプリ「DiXiM Play U Windows 版」のダウンロードが必要です。DiXiM Play U Windows 版に関する詳細は下記（株）デジオンのホームページをご覧ください。

「DiXiM Play U Windows 版」

<https://www.digion.com/sites/diximplay/windows-u/>

※3 本機は日本国内に設置のうえ、私的使用の範囲その他法律において明示的に認められている範囲でお使いください。本機の使用状況によっては視聴できない場合があります。ご利用のネットワーク環境により、ファイアウォールや無線ブロードバンドルーターの設定が必要になる場合があります。共用設備などでセキュリティレベルが高く設定されている環境ではご利用になれない場合があります。携帯電話回線での宅外視聴では多くのパケットが必要となることがあります。パケット料金にお気をつけください。海外で視聴する場合は、上記のほか、お使いのスマートフォンやタブレットなどの携帯端末が各国の規制基準を満たしておらず使用が認められない場合がありますので、携帯端末の仕様と各国の法規をご確認ください。また、ネットワーク環境によっては視聴できない地域があります。詳しくは当社ホームページ（<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>）をご覧ください。

※4 スマートフォンやタブレットなどの端末と本機を宅内ネットワークに接続して視聴アプリにて機器登録（ペアリング）することが必要です。本機に登録できる端末は最大 6 台ですが、外出先から同時に視聴できるのは 1 台のみです。

※5 ペアリングの最長期間は 90 日間となります。宅内ネットワークに接続して使用しなかった場合はペアリング期限の更新が必要です。放送制限によっては視聴できないチャンネルがあります。



本機の特長とご案内 (続き)

全自動録画 (→65)

好きなチャンネルを、まるごと録画できます。

4X1003	ハイビジョン放送 8 チャンネル × 約 28 日間をぜんぶ自動録画 ※1※3
4X403	ハイビジョン放送 4 チャンネル × 約 28 日間をぜんぶ自動録画 ※1※3
2X603	ハイビジョン放送を最大 10 チャンネル × 約 28 日間ぜんぶ自動録画 ※2※3
2X303	ハイビジョン放送を最大 6 チャンネル × 約 24 日間ぜんぶ自動録画 ※2※3
2X203	ハイビジョン放送を最大 6 チャンネル × 約 16 日間ぜんぶ自動録画 ※2※3

- ※1 ハイビジョン放送は、詳細設定にて 15 倍録モードに設定した場合。
ハイビジョン放送は BS/110 度 CS は最大 3 チャンネルまで選択可能。
- ※2 15 倍録モードの場合。
- ※3 自動メンテナンス中は全自動録画や再生、ダビングなどの一部の機能が使えません（毎日 5 分程度）。
全自動録画用のハードディスク容量がいっぱいになると、古い番組から自動で上書き消去します。

見たい番組がすぐ見つかる「ホーム」

- ホーム画面では、全自動録画や予約録画した番組の中からお気に入りのジャンルやいつも見る番組ごとに整理して表示するので、見たい番組がすぐに見つかります。
- 表示するジャンルを選んだり、お気に入りのキーワードを登録するなど、好みに合わせた表示を設定できます。



録画再生は [▲][▼][◀][▶] で操作できます。

- [◀][▶] で 10 秒送り / 戻しができます。
- [▼] でプレビューサーチ (→120) ができます。
- [▲] を押すと再生速度や字幕、音声などの切り換えができます。

お録りおき機能 (→66、80)

ドラマを約90日間お録りおき^{※1}。さらにアニメもお録りおきできて^{※2} もっと録り逃しなし。

- ※1 お買い上げ設置設定では、19時～22時台に放送開始する全自動録画された地上デジタル放送のドラマが設定されています。お録りおき日数は、お買い上げ設置の設定で1日あたり3時間分のドラマを録画した場合の日数です。

2X203 お買い上げ設置設定では約30日間に設定されます。全自動録画設定で約90日間に変更することが出来ます。

- ※2 全自動録画設定でドラマ／アニメのお録りおき時間帯を設定できます。設定したジャンル／時間帯の組み合わせによって、お録りおき日数は変動します。ドラマとアニメを設定した場合、お録りおきできる日数が短くなります。

本機の特長とご案内 (続き)

4X1003 | 4X403 | 4K 放送が楽しめる

- 4K 放送チューナーを搭載し、4K 放送番組の録画やダビングができます。
- 4K 放送を 4K 画質モードで長時間録画することができます。
- 4K 放送を全自動録画することができます。

4X1003 | 4X403 | 本機で Ultra HD ブルーレイの HDR 機能を楽しむには

Ultra HD ブルーレイを再生したときに、HDR 対応のメッセージが表示された場合はテレビの HDR 設定を確認してください。

- 1) 2015 年または 2016 年に発売された当社製の 4K/HDR 対応のテレビ (CX800 など) をお使いの場合、以下のテレビの設定を確認してください。
 - テレビを HDMI 入力に切り換える ● テレビのリモコンボタンの「メニュー」を押す
 - 「機器設定」の「HDMI HDR 設定」を選ぶ ● 「HDMI HDR 設定」の「オン」を選ぶ
- 2) 当社製以外の他社製 4K/HDR 対応のテレビをお使いの場合、テレビの説明書をご覧ください。
- 3) HDR 非対応のテレビの場合、メッセージが表示されますが、HDR 信号を変換した映像を再生します。

電源 [切] 時の動作について

本機は、電源 [切] の状態でも、録画や番組表データの蓄積など内部で動作していることがあります。本体の上面や底面などが熱くなることがありますが、本機の性能・品質には問題ありません。



安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告



電源プラグ
を抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない
感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



戻る

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。



分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 油煙や湯気、水しびきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V 以外での使用はしない
たご足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



可燃性ガスのスプレー等を使用しない

清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。



警告



自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から15 cm以上離す

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



注意



異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。



コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。



放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。



本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



不安定な場所に置かない

- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。



屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

注意



長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクや USB 機器は、保護のため取り出しておいてください。



長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



指はさみ注意

ディストレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。



機器の前にものを置かない

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディストレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開 / 閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディストレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開 / 閉ボタンを押さないようご注意ください。



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は 3D 映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D 映画などを視聴する場合は 1 作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D 映像の視聴年齢については、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。



3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D 映像の見えかたには個人差がありますので、「3D 設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。



スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない

磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。

本書のご案内

機種名、ディスクなどのマーク表示について

機種によって機能の相違点がある場合は、以下のマークで機種マークを表示しています。

機種名	機種マーク
DMR-4X1003	4X1003
DMR-4X403	4X403
DMR-2X603	2X603
DMR-2X303	2X303
DMR-2X203	2X203

本書では、ディスクなどは以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
通常録画用 HDD	HDD
全自動録画用 HDD	HDD
BD-RE*	BD-RE
BD-R*	BD-R
BD ビデオ	BD-V
Ultra HD ブルーレイ	
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW
DVD ビデオ	DVD-V
+R、+R DL、+RW	
CD	CD
USB 機器	USB
通常録画用 USB-HDD	USB-HDD
全自動録画用 USB-HDD	USB-HDD

※DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどで動作が異なる場合、表示マークに記録方式を付与しています。
 - ・ AVCREC 方式の場合 : 例) **-R AVCREC**
 - ・ VR 方式の場合 : 例) **-R VR** **-RW VR**
 - ・ ビデオ方式の場合 : 例) **-R V** **-RW V**
(ただしファイナライズ後は **DVD-V**)
- ハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクの場合は、**AVCHD** と表示
- MP4 の動画が記録された USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、SeeQVault フォーマット) (→47) の場合は、**MP4** と表示
- 特に記載がない場合、本書で「BD ビデオ」と記載している内容は、Ultra HD ブルーレイを含みます。

参照ページとイラストについて

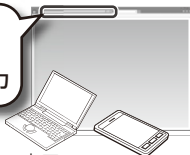
- 本書内で参照していただくページを (→○○) で示しています。
- 本書における本体および画面のイラストは、DMR-4X1003 のものです。

本書のご案内 (続き)

当社ホームページとサポートサイトのご案内

本機を使用していただくための情報を掲載しています。

ブラウザのアドレスバーに
diga.jp と入力



お持ちのパソコンまたはスマートフォン
からご覧ください。



スマートフォンの場合は、
左記のQRコードからでもご覧
いただけます。

- よくあるご質問：
- 困ったときはこちらをご確認ください。
- 動作確認情報
- スマートフォンのアプリ情報
- ソフトウェアのダウンロード情報
- 取扱説明書 活用ガイド：
- PDF 形式のデータをダウンロードできます。
- など

サポートサイトは以下のアドレスからでもご確認いただけます。

<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>



ホームページの内容は変更される場合があります。
あらかじめご了承ください。

本機の設置について

- アンプなどの熱源となる物の
の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所
に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい
場所に設置する。

タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分
も故障の原因になりますのでお気をつけください。



つゆつき（結露）について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いて
おくと、ビンの表面に水滴が発生します。このよう
な現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

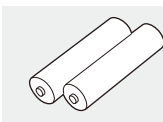
付属品 / リモコンの準備

付属品



リモコン (1 個)

4X1003 4X403
N2QAYB001296
2X603 2X303 2X203
N2QAYB001295



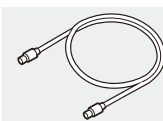
リモコン用乾電池 (2 個)

単 3 形乾電池



電源コード (1 本)

K2CA2YY00402



アンテナケーブル (1 本)

(75Ω 同軸ケーブル)
K2KYYYY00040

B-CAS カード

4X1003 4X403 2X203
(1 枚)
2X603 2X303
(2 枚)

- 台紙に貼り付けてあります。
- 本カードの紛失時は
(→19)

- アンテナケーブルは、地上デジタル放送の接続で使用してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ* および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2024 年 9 月現在のものです。
変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

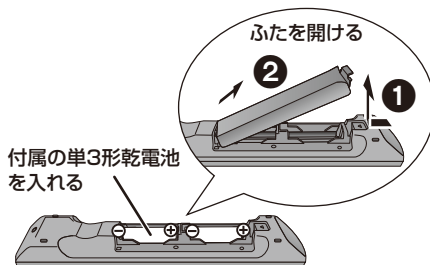
本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル (別売) が必要です。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの公式通販サイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト
<https://panasonic.jp/store/>



リモコンに電池を入れる

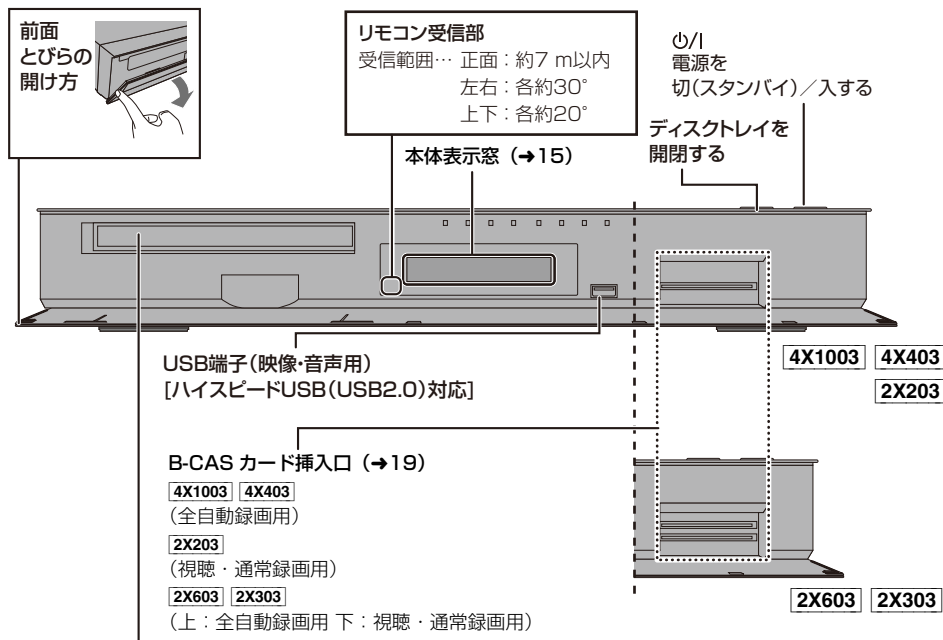


リモコンのふたを開じるときは、開けるときの逆の手順②①で閉じてください。

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

各部の働き

本体前面



ディスクトレイ

リモコンの を押してディスクトレイを開き、ラベル面を上にしてディスクを入れる

- もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。
- 本体の **[▲]** でも操作できます。

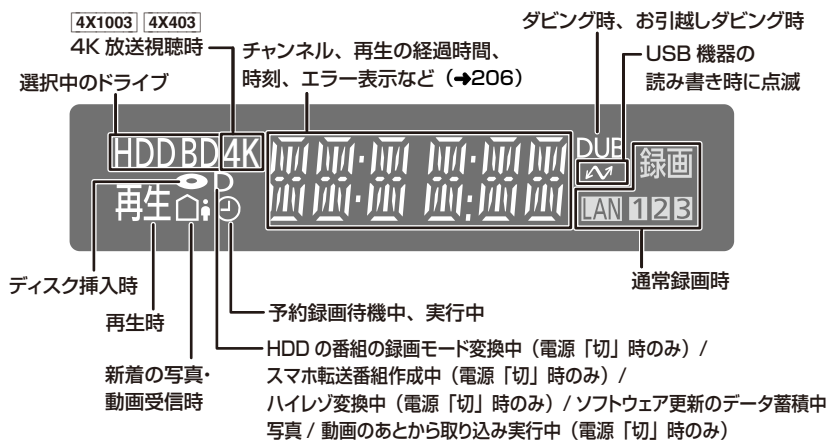
お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい面を下にして入れてください。

各部の働き (続き)

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。



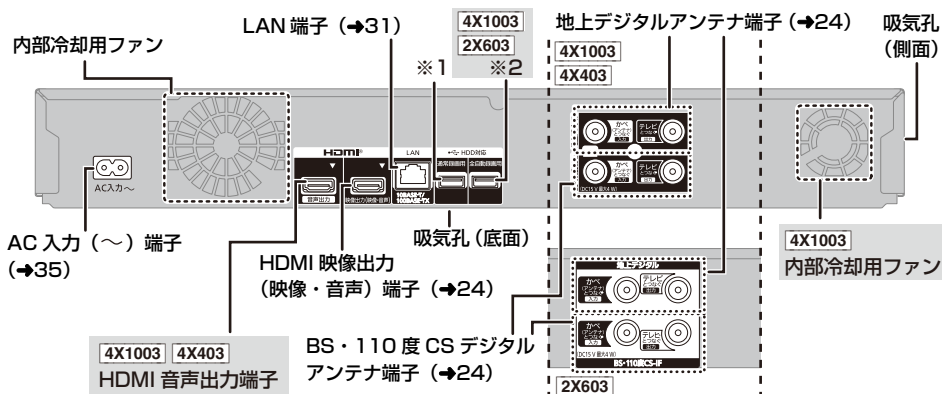
🔔 お知らせ

●電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定にしてください。

- ①「クイックスタート」(→176)を「入」に設定
- ②「クイックスタートモード」(→176)を「標準」に設定
- ③「ECO スタンバイ」(→181)を「切」に設定

各部の働き (続き)

4X1003 4X403 2X603 本体背面



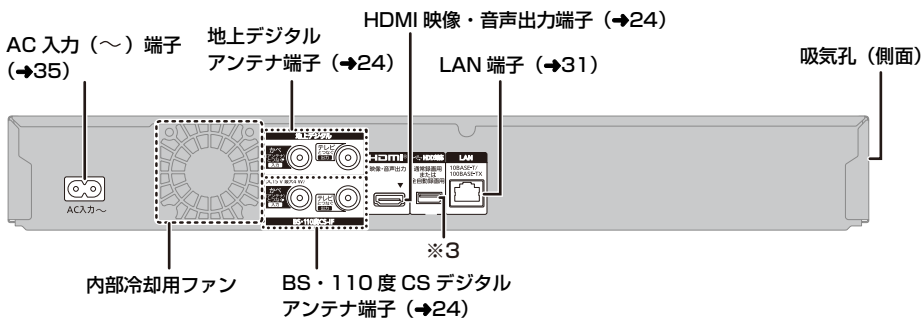
4X1003 2X603 USB 端子 (通常録画用、HDD 対応) / 4X403 USB 端子 (通常録画用または全自動録画用、HDD 対応)
 ※1: スーパースピード USB (USB3.0) 対応 (→47)

- 写真・音楽用 USB-HDD または SeeQVault 対応 USB-HDD を接続する場合も、この端子に接続してください。

4X1003 2X603 USB 端子 (全自動録画用、HDD 対応)
 ※2: スーパースピード USB (USB3.0) 対応 (→47)

- HDMI 音声出力端子に接続した機器では、ピエラリンク (HDMI) 機能や 4K 出力機能は働きません。お買い上げ時の設定では、音声のみ出力できます。設定の変更は「音声出力端子設定」(→182)で行ってください。

2X303 2X203 本体背面



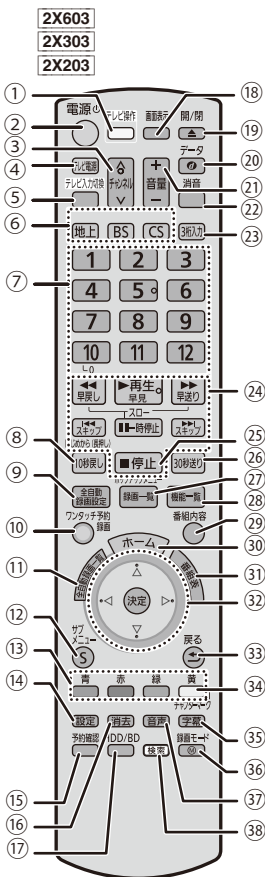
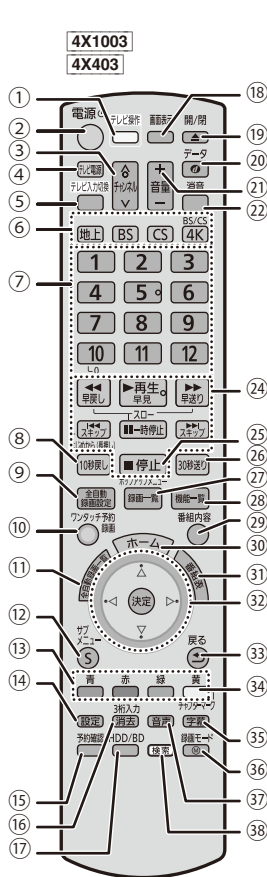
USB 端子 (通常録画用または全自動録画用、HDD 対応)

※3: スーパースピード USB (USB3.0) 対応 (→47)

- 写真・音楽用 USB-HDD または SeeQVault 対応 USB-HDD を接続する場合も、この端子に接続してください。

各部の働き (続き)

リモコン



- ① テレビ操作モードにする (→195)
- ② 本機の電源を切 / 入する
- ③ チャンネルを順に選ぶ
- ④ テレビの電源を切 / 入する
- ⑤ テレビの入力を切り換える
- ⑥ 放送を切り換える (→62)
- ⑦ チャンネルなどを番号で選ぶ / 文字を入力する
- ⑧ 約 10 秒前へ戻す
- ⑨ 全自動録画設定をする (→74)
- ⑩ ワンタッチ保存 / 通常録画 / ワンタッチ予約する
- ⑪ 全自動録画一覧を表示する (→67)
- ⑫ サブメニューを表示する
- ⑬ 画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用する
- ⑭ 設定画面を表示する (→175)
- ⑮ 予約一覧画面を表示する (→99)
- ⑯ 番組の消去をする /
4X1003 4X403 3桁番号を入力してチャンネルを選局する (→62)
- ⑰ HDD/BD を切り換える
- ⑱ 情報を表示する (→63、121)
- ⑲ ディスクトレイを開閉する
- ⑳ データ放送の画面を表示する
- ㉑ テレビの音量を調整する
- ㉒ (テレビ操作モード時) 一時的にテレビの音を消す
- ㉓ 2X603 2X303 2X203 3桁番号を入力してチャンネルを選局する (→62)
- ㉔ 録画や再生時の基本操作をする
- ㉕ 録画や再生を停止する
- ㉖ 約 30 秒先へ飛び越す
- ㉗ 録画一覧 / ポップアップメニューを表示する (→113)
- ㉘ 機能一覧を表示する (→53)
- ㉙ 番組内容を表示する (→120)
- ㉚ ホーム画面を表示する (→58)
- ㉛ 番組表を表示する (→89)
- ㉜ 選択および決定する
- ㉝ 前の画面に戻る
- ㉞ チャプターマークを作成・削除する (→129) / 番組の予約を取り消す
- ㉟ 字幕を切り換える (→63、121)
- ㊱ 録画モードを選ぶ
- ㊲ 音声を切り換える (→63、121)
- ㊳ 検索画面を表示する (→95)

●お知らせ

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。(→193)
- 本機のリモコン受信部 (→14) にまっすぐ向けて、操作してください。

接続の前に

接続の流れ

接続1

B-CASカードを挿入する (→19)

接続2

テレビやアンテナと接続する (→22)

接続3

必要に応じて

ネットワーク接続の準備をする (→30)

接続4

必要に応じて

テレビとアンプ(スピーカー)を
HDMI 端子で接続する (→33)

接続5

電源コードを接続する (→35)

設定の流れ

リモコンの設定 (→36)

4X1003 **4X403**

4K対応テレビとの接続確認 (→37)

ネットワーク設定 (→37)

チャンネル設定 (→40)

全自動録画設定 (→41)

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。(本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください)
- 各機器の説明書もご覧ください。

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル (別売) が必要です。接続するテレビに合わせて HDMI ケーブルをご準備ください。

当社製 HDMI ケーブルはパナソニック製品取扱店で買い求めいただけます。

- **4X1003** **4X403**
4K/60p をお楽しみになりたい場合は、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルが必要です。
- 上記以外の場合は、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

- **4X1003** **4X403**
Ultra HD ブルーレイを4K/HDR で視聴するために、 HDCP2.2、4K/60p (4:4:4)、Ultra HD ブルーレイ規格の HDR 信号に対応した機器の HDMI 端子に接続して、テレビの設定を確認してください。(→6)

接続1 B-CAS（ビーキャスト）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのB-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

- B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

お問い合わせは（紛失時など）

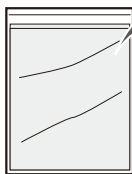
（株）ピーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

有料放送の契約については（→20、21）

1 B-CASカードを台紙からはがす

- 4X1003 4X403 2X203 1枚
- 2X603 2X303 2枚

取扱説明書
が入った袋



B-CASカードが
貼られた台紙を取り出す



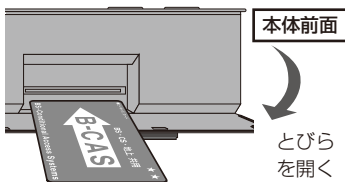
2X603 2X303

2枚のカードはどちらを視聴・通常録画用または全自動録画用に使用しても問題ありません。

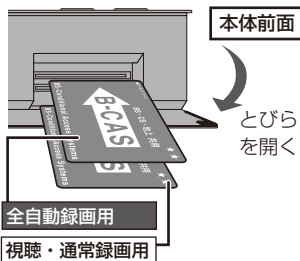
- B-CASカードの裏面に記載されている番号は、NHKへのお知らせや有料放送の契約内容の管理や問い合わせに必要です。同梱取扱説明書の「保証とアフターサービス」ページに、B-CASカードの番号が記載できる「メモ」がありますので活用ください。

2 B-CASカードを挿入する

4X1003 4X403 2X203



2X603 2X303



全自動録画用を「上」に
視聴・通常録画用を「下」に
挿入してください。

挿入するときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

お知らせ

- B-CASカード以外は絶対に挿入しないでください。

接続1 B-CAS（ビーカス）カードを挿入する（続き）

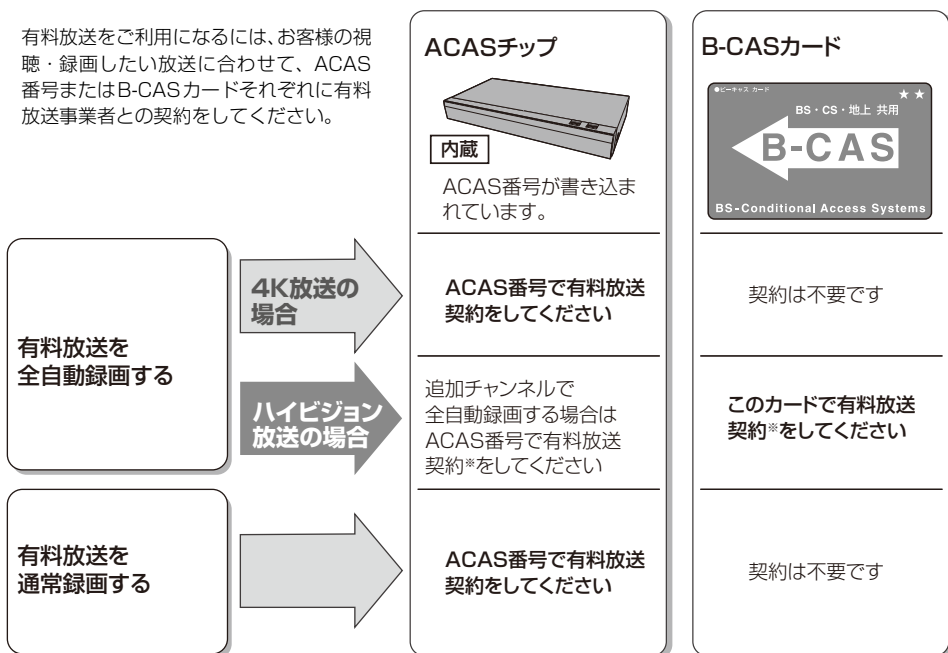
4X1003 4X403 有料放送の契約について

本機はデジタル放送を受信するために、視聴・通常録画用 ACASチップを内蔵し、全自動録画用 B-CAS カード 1 枚を同梱しています。

- 本機は、高精細な映像コンテンツを保護するため、ACAS チップ* を内蔵しています。
- ※ ACAS チップには ACAS 番号（20 桁）が書き込まれています。NHK の受信契約メッセージ消去や有料放送を視聴するには、ACAS 番号が必要です。ACAS 番号をご確認のうえ、同梱取扱説明書の「保証とアフターサービス」ページの ACAS 番号が記載できる「メモ」欄に、番号を記入しておいてください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先の NHK や有料放送に解除または変更連絡をしてください。

ACAS 番号を確認するには（→42）

有料放送をご利用になるには、お客様の視聴・録画したい放送に合わせて、ACAS 番号または B-CAS カードそれぞれに有料放送事業者との契約をしてください。



※ 本機では 3 チャンネルまで有料の BS・CS 放送を全自動録画することができます。追加チャンネル（→77）を登録すると、録画できるチャンネル数をさらに 2 チャンネル追加できます。追加チャンネルで BS・CS 有料放送を追加して録画する場合は、ACAS 番号で契約してください。

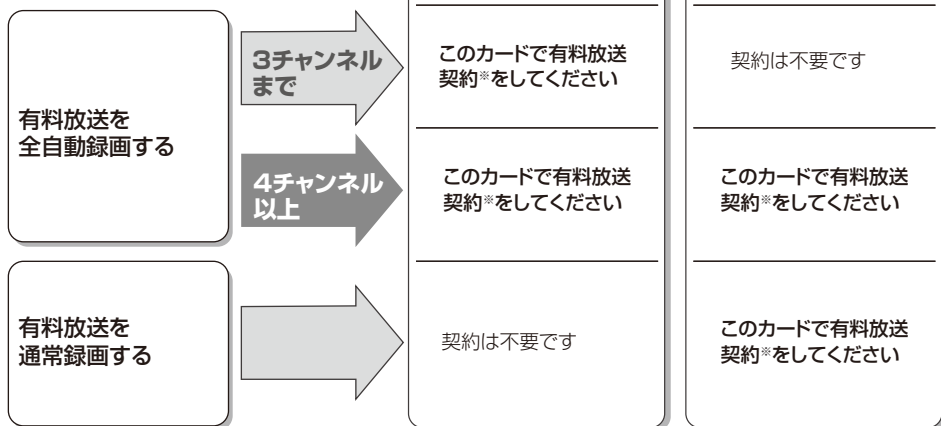
●お知らせ

- 契約カードをすでに保有している場合は、本機の「ACAS 番号」または本機付属の B-CAS カードの B-CAS 番号へ契約の移動、もしくは契約の追加をしてください。詳しくは有料放送事業者にお問い合わせください。
- 通常録画と全自動録画で同じ有料放送の番組を同時に録画する場合、ACAS 番号（視聴・通常録画用）と全自動録画用の B-CAS カードの B-CAS 番号の両方で契約が必要になります。
- NHK への BS 受信機設置の連絡には、ACAS 番号をご連絡ください。

接続1 B-CAS（ビーカス）カードを挿入する（続き）

2X603 2X303 有料放送の契約について

有料放送をご利用になるには、お客様の視聴・録画したい放送に合わせて、2 枚の B-CAS カードそれぞれに有料放送事業者との契約をしてください。



※ 本機では 3 チャンネルまで有料の BS・CS 放送を全自動録画することができます。追加チャンネル（→77）を登録すると、録画できるチャンネル数をさらに 2 チャンネル追加できます。追加チャンネルで BS・CS 有料放送を追加して録画する場合は、視聴・通常録画用カードに契約してください。

お知らせ

- 契約カードをすでに保有している場合は、本機付属の B-CAS カードへ契約の移動、もしくは契約の追加をしてください。詳しくは有料放送事業者にお問い合わせください。
- 通常録画と全自動録画で同じ有料放送の番組を同時に録画する場合、視聴・通常録画用と全自動録画用の B-CAS カード 2 枚ともに契約が必要になります。
- NHK への BS 受信機設置の連絡には、視聴・通常録画用 B-CAS カードのカード番号（カード裏面記載）でご連絡ください。
（視聴・通常録画用の B-CAS カードスロットに連絡したカードと違う B-CAS カードを挿入した場合、NHK-BS 設置のメッセージは消えません。挿入するスロットは間違えないでください）

2X203 有料放送の契約について

- 追加チャンネル（→77）を登録すると、2 チャンネルまで有料の BS・CS 放送を全自動録画することができます。
- 契約カードをすでに保有している場合は、本機付属の B-CAS カードへ契約の移動、もしくは契約の追加をしてください。詳しくは有料放送事業者にお問い合わせください。

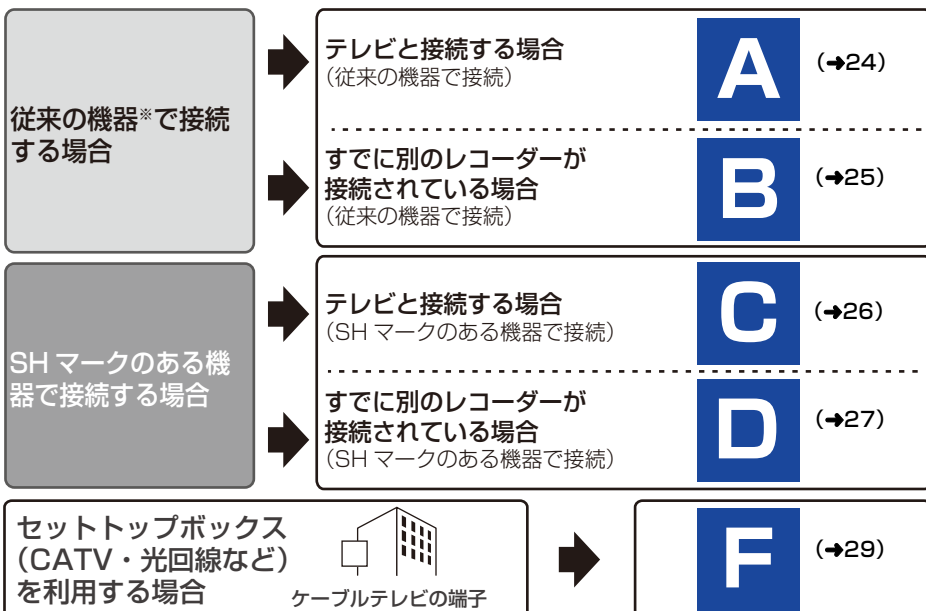
接続2 テレビやアンテナと接続する

4X1003 4X403

本機は「BS4K/110度CS4K放送」の視聴や録画をすることができます。（下記の表に記載の放送局名は変更される場合があります）

- 従来のBS・CSデジタルアンテナ（右旋円偏波対応）に本機を接続することで、4K放送が楽しめます。
- さらに多くのチャンネルを視聴する場合は、「SHマーク」対応のBS・CSデジタルアンテナ（左旋円偏波対応）や接続機器などが必要です。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。

受信できる BS4K/110度 CS4K放送	NHK BS4K	BS 朝日 4K	左記以外の BS4K放送	110度CS4K放送
	BS フジ 4K	BS-TBS 4K		
接続する機器	BS テレ東 4K	BS 日テレ 4K		
従来の機器※で接続 する場合	○ (受信可)	×	×	×
SHマークのある機 器で接続する場合   アンテナ 分配器 分波器	○ (受信可)	○ (受信可)	○ (受信可)	○ (受信可)



※ 従来の機器：従来ご使用のBS・110度CSデジタル放送を受信できる環境（アンテナ、分配器、分波器など）

接続2

2X303

2X203

接続するご家庭のアンテナ端子や接続機器に合わせて接続を行ってください。



(→24)

すでに別のレコーダーが
接続されている場合

**B**

(→25)



(→28)

セットトップボックス
(CATV・光回線など)
を利用する場合

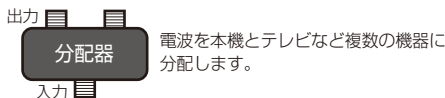


F

(→29)

 お知らせ

- **4X1003** **4X403** 本機では 8K 放送は受信できません。
- **2X603** **2X303** **2X203** 本機では 8K 放送や 4K 放送は受信できません。
- アンテナケーブルを接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをお勧めします。F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付け過ぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビに BS・CS デジタルアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や分配器、専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

📺 テレビに本機の映像が映らない場合は (→35)

本機はアナログ出力端子がありません。HDMI 端子のないテレビでは、ご利用になれません。

接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)

A

テレビと接続する場合 (従来の機器で接続)

①～⑤のケーブルを接続してください。

(BS/CS を視聴しない場合、②④の接続は不要です)

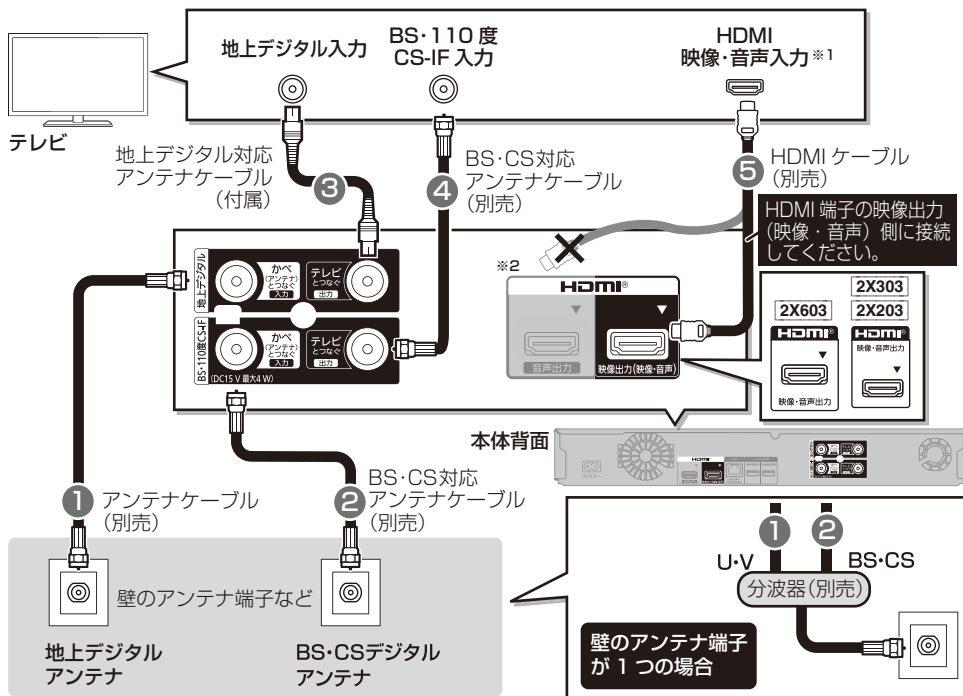
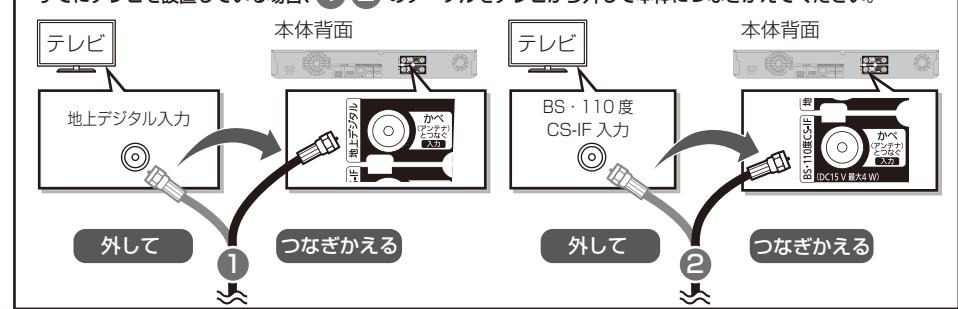
4X1003 **4X403** BS4K/110度 CS4K 放送は、下記接続では一部の放送局しか受信できません。

すべての放送局を受信したい場合は **C** (→26) の接続をしてください。

2X603 **2X303** **2X203** 4K8K 衛星放送をテレビで受信する場合、下記の接続では一部の放送局しか受信できません。

すべての放送局を受信したい場合は **E** (→28) の接続をしてください。

すでにテレビを設置している場合、①②のケーブルをテレビから外して本体につなぎかえてください。



※1 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

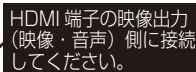
※2 **2X603** **2X303** **2X203** HDMI 音声出力端子はありません。

接続2

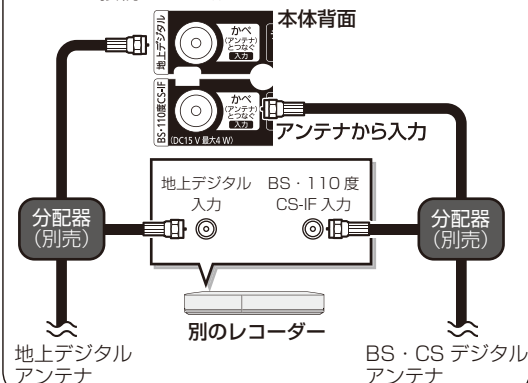
(別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください)

すべての放送局を受信したい場合は (→27) の接続をしてください。

別のレコーダーからテレビに接続している ①②



アンテナレベルが不足しているなどの理由でテレビの映像が乱れることがあります。その場合は、下記のようにアンテナ接続をしてください。



※2 **2X603** **2X303** **2X203** HDMI 音声出力端子はありません。

接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)

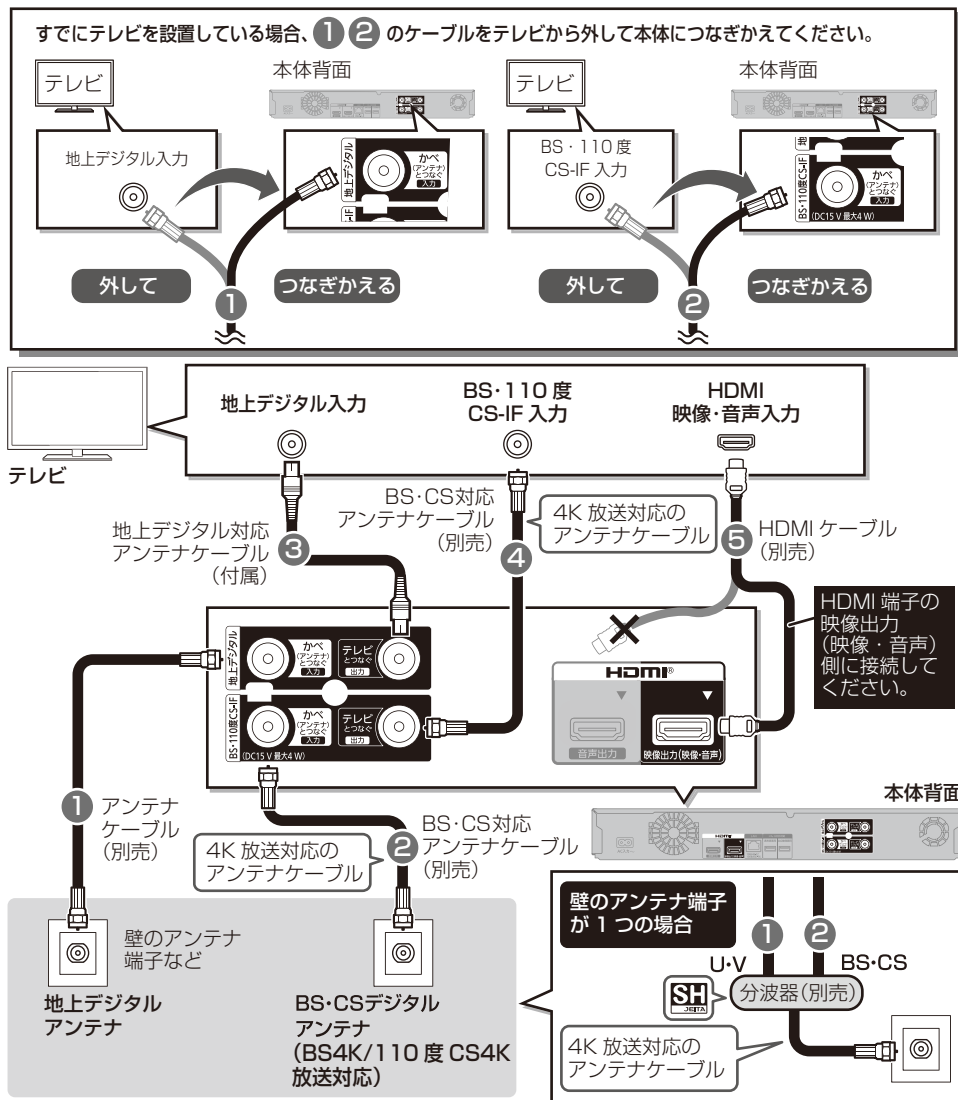


4X1003 4X403

テレビと接続する場合 (SH マークのある機器で接続)

①～⑤のケーブルを接続してください。

A の接続では BS4K/110 度 CS4K 放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 8K 放送を受信することはできません。



●BS4K/110 度 CS4K 放送を受信するためには、SH マーク () の付いている接続機器をご使用ください。

接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)



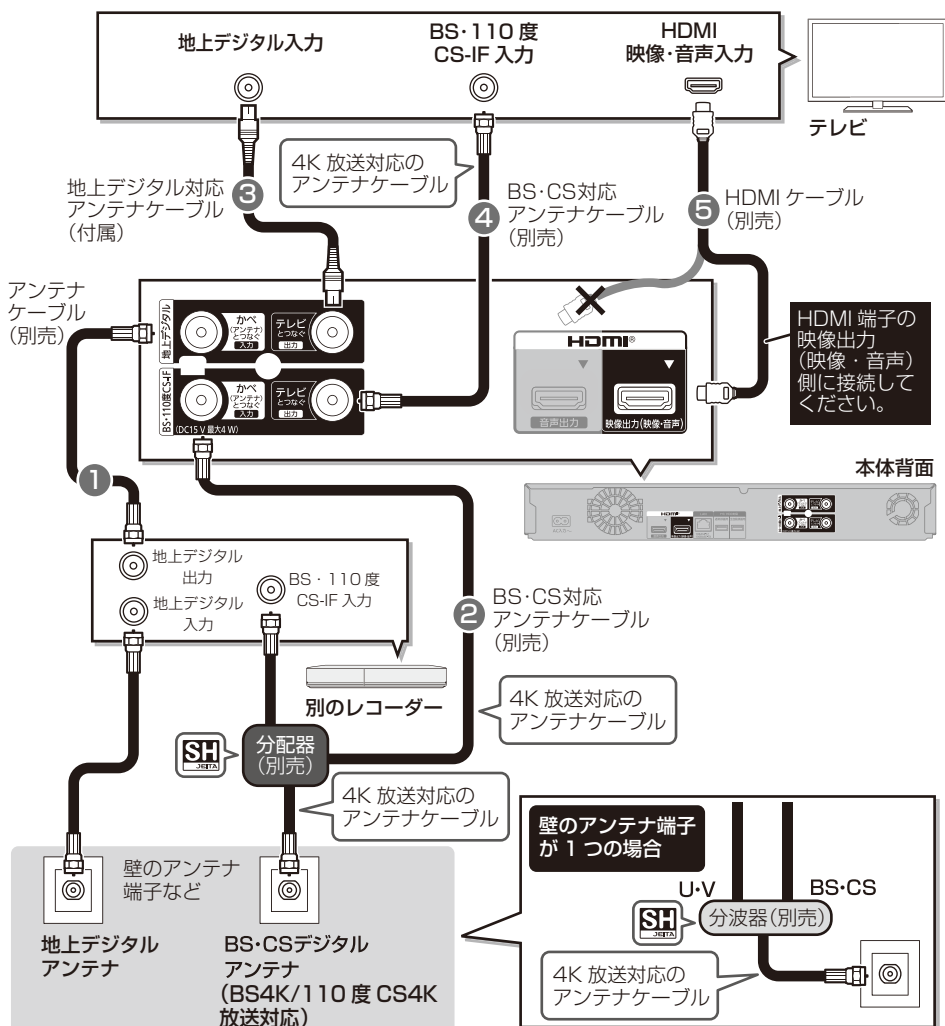
4X1003 4X403

すでに別のレコーダーが接続されている場合 (SH マークのある機器で接続)

❶ ~ ❸ のケーブルを接続してください。

(別のレコーダーからテレビに接続している HDMI ケーブルは接続したままにしてください)

B の接続では BS4K/110 度 CS4K 放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 8K 放送を受信することはできません。



●BS4K/110 度 CS4K 放送を受信するためには、SH マーク () の付いている接続機器をご使用ください。

接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)

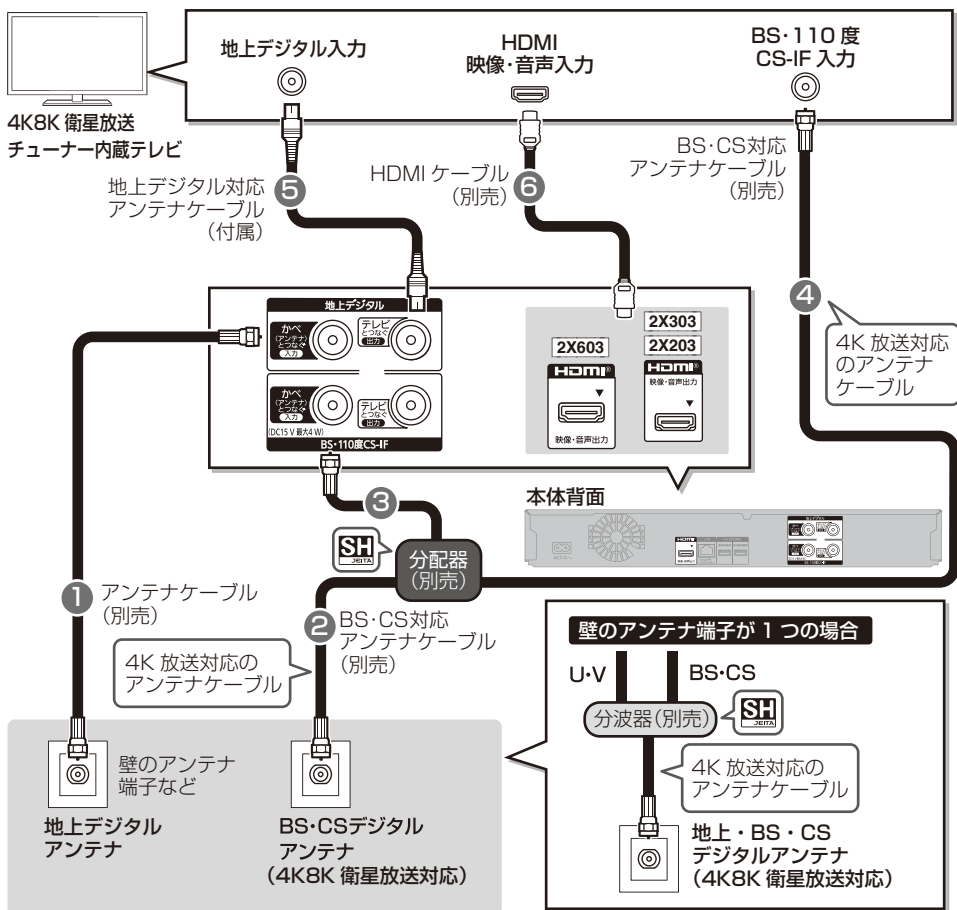


2X603 2X303 2X203

4K8K 衛星放送チューナー内蔵テレビに接続し、すべての放送局をテレビで受信する場合

①～⑥のケーブルを接続してください。

A の接続では 4K8K 衛星放送は一部の放送局しか受信できません。すべての放送局を受信したい場合は下記の接続をしてください。本機で 4K8K 放送を受信することはできません。



- 4K8K 衛星放送を受信するためには、SH マーク () の付いている接続機器をご使用ください。
- 本機の BS・110度 CS-IF 出力端子からテレビの BS・110度 CS-IF 入力端子にアンテナケーブルを接続しないでください。
- 本体背面、アンテナ端子のイラストは、DMR-2X603 のものです。

接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)

F

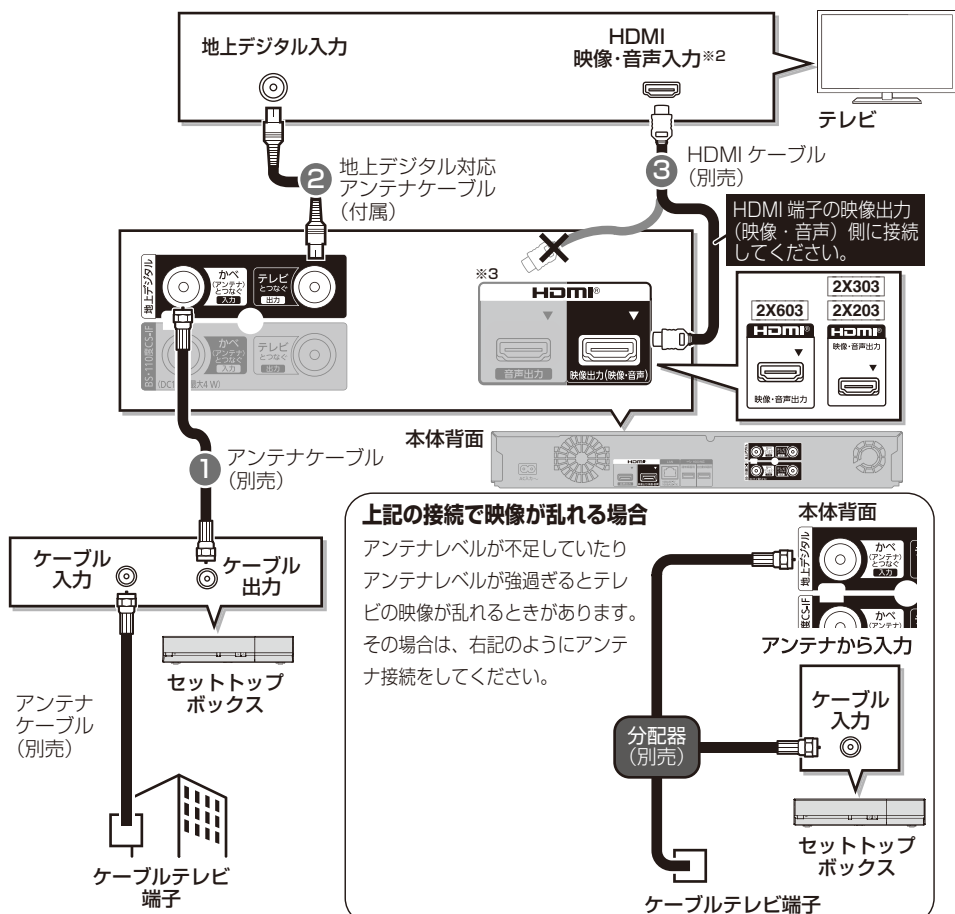
セットトップボックス (CATV・光回線など) を利用する場合

①～③のケーブルを接続してください。

CATV の接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約の CATV 会社にご相談ください。

このページでは、CATV の地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式^{※1} の場合の接続を紹介しています。受信する放送がパススルー方式でない場合や、パススルー方式でも本機で受信できない放送を視聴や録画するためには、「CATV (ケーブルテレビ) から録画する」(→108) をご覧ください。

※1 CATV 会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。



※2 4K 出力するには、4K 対応テレビの HDMI 端子に接続してください。

※3 2X603 2X303 2X203 HDMI 音声出力端子はありません。

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

ご家庭のネットワーク環境に合わせて、

接続 (➡ 右記～ 31) と、ネットワーク設定 (➡ 37) を行ってください。

本機は、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

宅内ネットワーク機能

- お引越しダビング (➡ 140)
- お部屋ジャンプリンク (➡ 165)
- スカパー！プレミアムサービスの番組を録画 (➡ 107)
- ネットワークを使って予約録画 (➡ 108)
- ネットワークを使ってダビング (➡ 142)
- DIGA Drive 機能 (➡ 167)
- ネットワークカメラ機器連携 (➡ 155)

インターネット機能

- **4X1003** **4X403**
Ultra HD ブルーレイを楽しむ (➡ 117)
- どこでもディーガ (➡ 197)
- 1 か月の番組表や注目番組を受信 (➡ 88、93)
- デジタル放送の情報サービスを利用
- BD-Live を楽しむ (➡ 118)
- 音楽タイトル情報やアーティスト情報の最新情報を取得 (➡ 156)
- スマートフォンで撮影した写真や動画を受信する (➡ 154)
- AI おすすめ機能 (➡ 60)

お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離れてみてください。
- カテゴリー 5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

各機器と直接接続する

有線

LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。

本体背面

LAN
(10BASE-T/
100BASE-TX)

LAN ケーブル(別売)

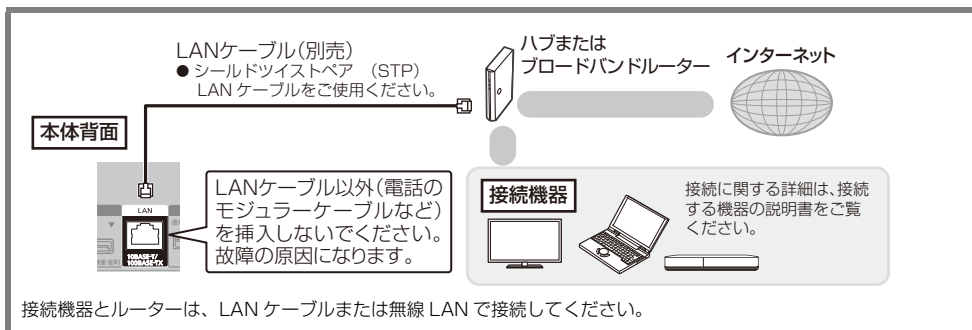
- シールドツイストペア (STP) LAN ケーブルをご使用ください。

接続機器

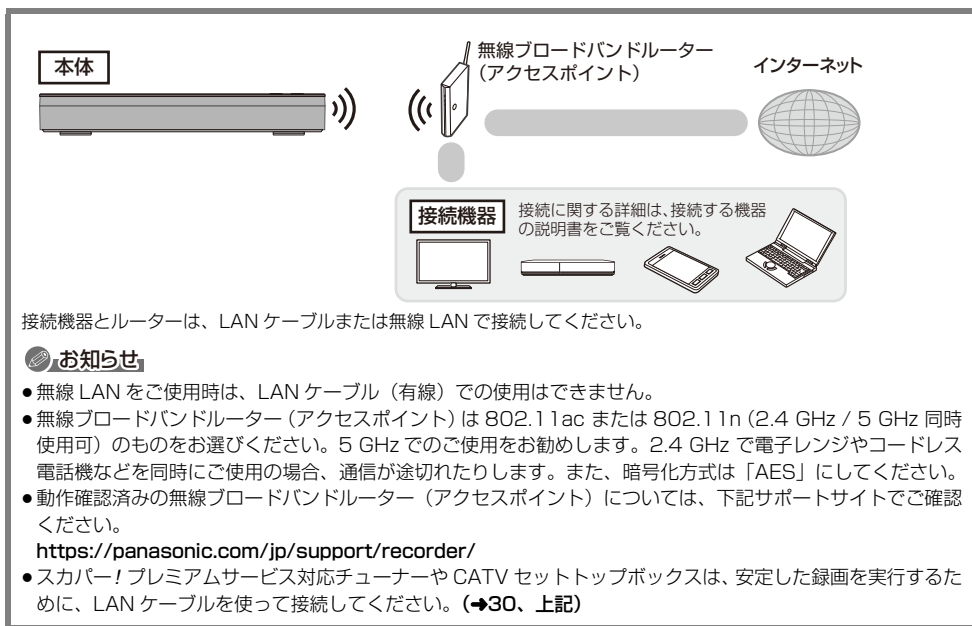
接続に関する詳細は、接続する機器の説明書をご覧ください。

- LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

ハブまたはブロードバンドルーターを使って接続する



無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) を使って接続する



接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応の物をお使いください。
無線接続の場合、802.11ac または 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) 対応の物をお使いください。
- ルーターのセキュリティ設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 第三者が本機の設置・設定を行った場合は、設置設定後に機器パスワード初期化 (➡184) を実行し、「デモラ／使用情報の送信設定」(➡185) で機器登録の解除をしてください。再度ネットワーク機能を利用するためにはデモラサービスへの登録が必要になる場合があります。
- 第三者に譲渡したり廃棄する場合は、すべての設定リセット (➡188) を実行してください。(機器パスワードが変更されます)
- 当社では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
※無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。(➡197)

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器 (モデム、ルーターやハブなど) や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元ない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

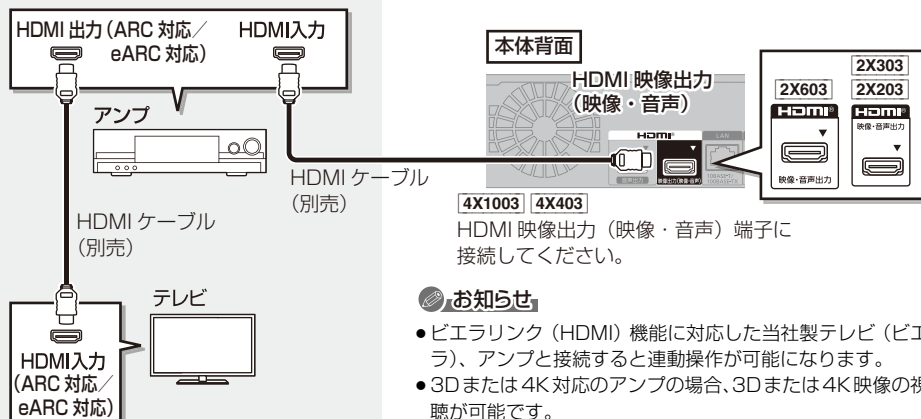
接続4 テレビとアンプ（スピーカー）を HDMI 端子で接続する

必要に
応じて

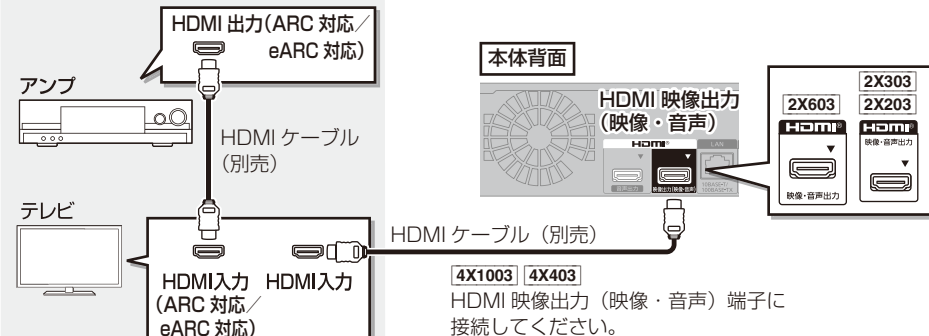
4X1003 **4X403** HDMI 映像出力端子にアンプを接続する

2X603 **2X303** **2X203** HDMI 映像・音声出力端子にアンプを接続する

ピエラリンク（HDMI）機能を利用するには



3D または 4K 非対応のアンプと接続して、3D または 4K 映像を視聴するには



お知らせ

- ARC で接続する場合は、音声は最大で 5.1ch になります。
 - eARC 対応 HDMI 端子でテレビ／アンプと接続し、Dolby Atmos®、Dolby® TrueHD、DTS:X®、DTS-HD® Master Audio、PCM 最大 7.1ch、MPEG-4 AAC 最大 22.2ch で出力が可能です。
- ただし、音声出力機器が各音声フォーマットやチャンネル数に対応している必要があります。

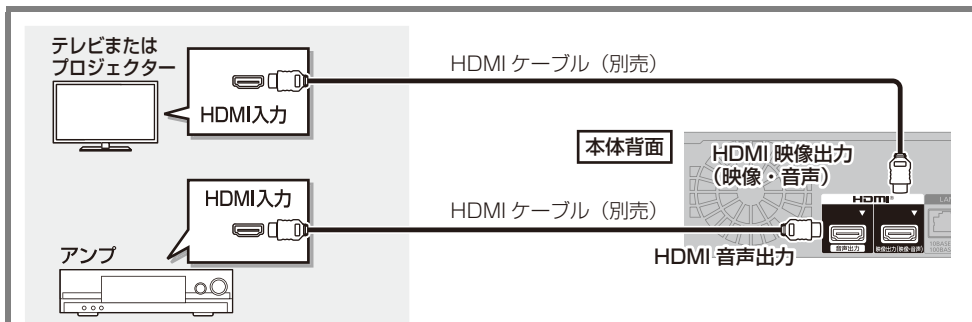
お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」または「eARC 対応」の表示がないテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。
- Ultra HD ブルーレイ再生時は、「Ultra HD ブルーレイを最適に再生するために」(➡117)をご確認ください。

接続4 テレビとアンプ（スピーカー）を HDMI 端子で接続する（続き）

必要に
応じて

4X1003 4X403 HDMI 音声出力端子にアンプを接続する（より高音質で楽しむ）



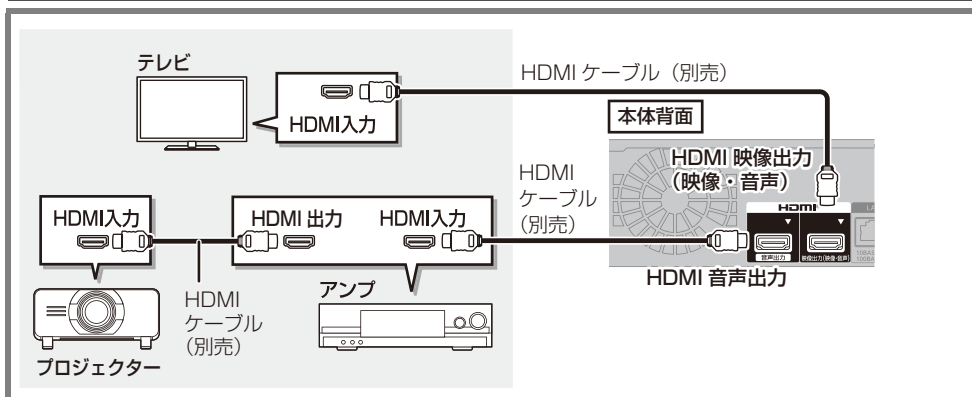
お知らせ

- HDMI 音声出力端子に接続した機器では、ピエラリンク（HDMI）機能や 4K 出力機能は働きません。
- テレビのチューナーの音声をアンプで楽しむためには、テレビとアンプを以下のケーブルで接続してください。接続方法については、テレビとアンプの説明書をご確認ください。
 - ・ ARC 対応テレビ：HDMI ケーブル
 - ・ ARC 非対応テレビ：光デジタルケーブル

●「HDMI 接続設定」(➡181) で以下のように設定してください。

- ・「映像出力端子設定」：アンプで音声を聴きたい場合は「オート（映像のみ／映像＋音声）」、テレビで音声を聴きたい場合は「映像＋音声」に設定
- ・「音声出力端子設定」：「音声のみ」に設定

HDMI 端子でテレビとアンプとプロジェクターを接続するには



●「HDMI 接続設定」(➡181) で以下のように設定してください。

- ・「映像出力端子設定」：「オート（映像のみ／映像＋音声）」に設定
- ・「音声出力端子設定」：テレビで映像を視聴したい場合は「音声のみ」、プロジェクターで映像を視聴したい場合は「映像＋音声」に設定（「映像＋音声」に設定した場合、HDMI 映像出力端子および HDMI 音声出力端子から 4K で出力できません）

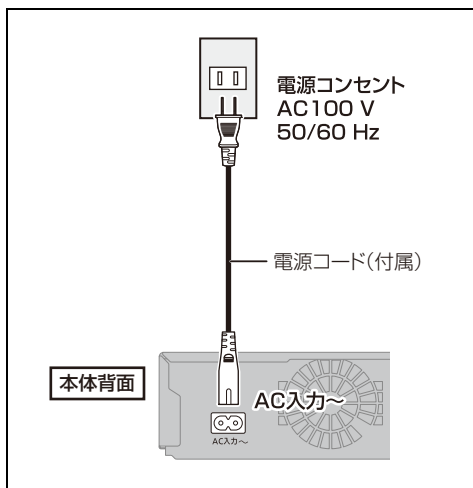
●Ultra HD ブルーレイ再生時は、「Ultra HD ブルーレイを最適に再生するために」(➡117) をご確認ください。



戻る

接続5 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、
接続してください。



⚠ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

(消費電力：待機時 →222)

- 電源コードを抜いている場合：
 - ・ 自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
 - ・ テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

困ったときには

テレビに本機の映像が映らない

- テレビの入力を確認してください。
- 本機およびテレビ側の HDMI 端子、HDMI ケーブルのほこりを取り除き、しっかり接続し直してください。
- 本機およびテレビの主電源を入れ直してください。
- **4X1003** **4X403** 安定した映像をご覧いただくためには、18 Gbps対応のHDMIケーブルをお使いください。

テレビに映像が映らない場合、詳しくは下記サポートページをご覧ください。

4X1003 **4X403**
<https://panasonic.jp/support/av/diga706/>



2X603 **2X303** **2X203**
<https://panasonic.jp/support/av/diga707/>



テレビ放送が映らない／映りが悪い

- 地上デジタルと BS・CS のアンテナ端子を逆に接続していないか確認してください。
- 本機および接続機器とのアンテナ端子の入力と出力が間違っていないか確認してください。

詳しくは下記サポートページをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/av/diga711/>



かんたん設置設定をする

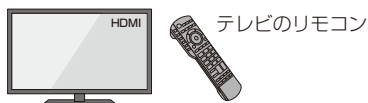
4X1003 4X403 本機は、スマートフォンを使ってかんたん設置設定を行うことができます。テレビを接続せずにご使用になる場合などに便利です。
設定方法は「スマートフォンを使ってかんたん設置設定をする」をご覧ください。(➡43)

初めて電源を入れたときに、かんたん設置設定を行います。

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



3 本機のリモコンの電源を押し

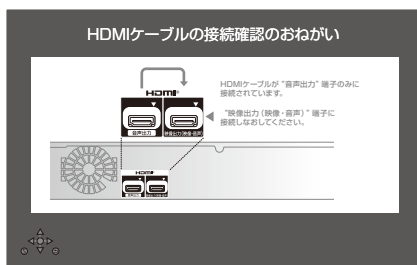


4 画面の指示に従って設定をする

お知らせ

- 本体表示窓に「SETUP」が表示されている状態で、テレビに映像が映らない場合は (➡35)
- 4X1003 4X403** 以下の画面が表示されることがあります。

例)

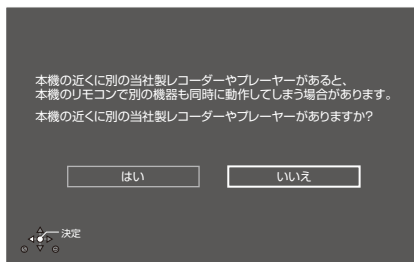


- HDMI ケーブルを映像出力 (映像・音声) 端子に接続し直してください。

リモコンの設定

リモコンモードの設定

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

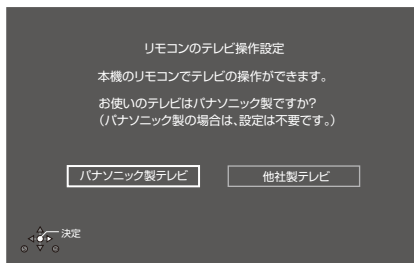


「はい」を選ぶと、リモコンの設定をすることができます。画面の指示に従って設定してください。

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの [テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +、-]、[消音] でテレビを操作できます。

また、[テレビ操作] を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。(➡195)



お使いのテレビを選んでください。画面の指示に従って設定してください。

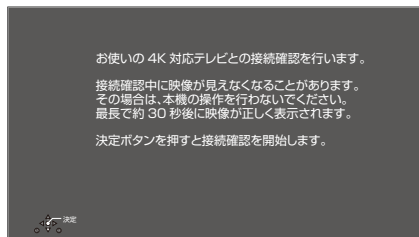
設定終了後にリモコンモードの設定やリモコンのテレビ操作設定をやり直すには (➡193、194)

かんたん設置設定をする（続き）

4X1003 4X403

4K 対応テレビとの接続確認

4K 対応テレビと接続時のみ表示されます。

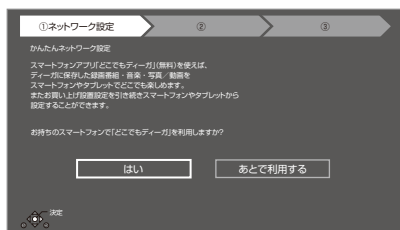


画面の指示に従って操作してください。

4X1003 4X403 ネットワーク設定

有線 LAN ケーブルで接続する場合は、背面の LAN 端子に接続してから設定してください。

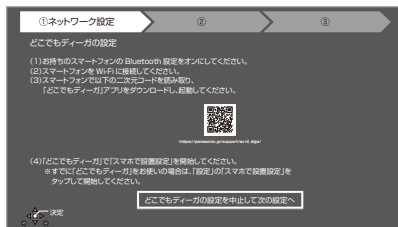
「はい」または「あとで利用する」を選び、**決定** を押す



- スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」を使って設定する場合は、「はい」を選んでください。(→ 右記)
- 「テレビ画面で設定する」場合は、「あとで利用する」を選んでください。(→ 38)

スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」を使って設定する（本機をテレビに接続している場合）

「どこでもディーガ」(→4) を使って設定を行うことができます。



テレビの画面表示内容に従って、スマートフォンの設定を行ってください。

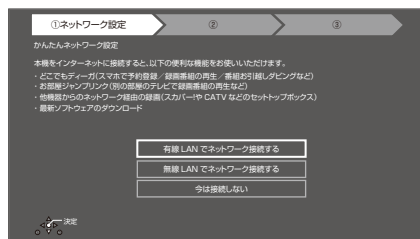
- 「どこでもディーガ」から「ネットワーク設定」「チャンネル設定」を行うことができます。その場合は、「テレビ画面で設定する」(→38) と「チャンネル設定」(→40) の表示はテレビ画面に表示されません。
- 「どこでもディーガ」の設定を中止して次の設定へを選んだ場合、38 ページへ進んでください。

「どこでもディーガ」から設定中は、テレビには以下の画面が表示されます。



かんたん設置設定をする (続き)

テレビ画面で設定する



画面の指示に従って設定を行ってください。

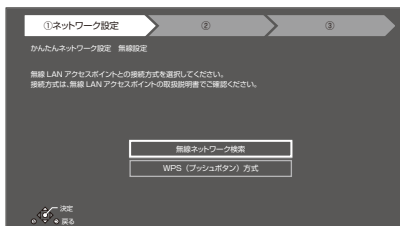
🔧 設定終了後にネットワーク設定をやり直すには
(→183)

■ 有線 LAN で接続する場合

- ① 「有線 LAN でネットワーク接続する」を選び、
決定を押す

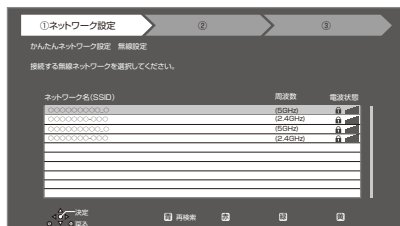
■ 無線 LAN で接続する場合

- ① 「無線 LAN でネットワーク接続する」を選び、
決定を押す
- ② 接続方法を選び、決定を押す



🔧 「無線ネットワーク検索」を選んだ場合

- ③ 接続したい機器を選び、決定を押す



- ④ 暗号化キーを入力する

- 入力する暗号化キーは、接続する機器の説明書などでご確認ください。



🔧 「WPS (プッシュボタン) 方式」を選んだ場合

- ③ 無線ブロードバンドルーター(無線 LAN アクセスポイント) の WPS ボタンを押す
- 操作方法は接続する機器の説明書などでご確認ください。



- ④ 決定を押す

🔧 お知らせ

- インターネットに接続できる状態で、ネットワーク設定を行うと、以下ようになります。
 - ・ ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「お部屋ジャンプリンク/スカパー! Link (録画) 設定」(→196) でアクセス許可を取り消してください。
 - ・ 「クイックスタート」(→176) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。

2X603 2X303 2X203 ネットワーク設定

有線 LAN ケーブルで接続する場合は、背面の LAN 端子に接続してから設定してください。

テレビ画面で設定する

4X1003 4X403 の「テレビ画面で設定する」(→左記)をお読みください。

かんたん設置設定をする（続き）

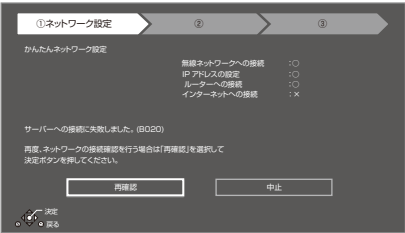
お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの説明書をご覧ください。
- 無線接続時のお知らせ
 - ・ 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
 - ・ 無線設定（➔183）の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、ネットワーク設定（➔37）を再度行ってください。
 - ・ お部屋ジャンプリンク機能（➔196）やどこでもディーガ（➔197）をご利用になるには、802.11ac または 802.11n（5 GHz）をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の説明書をご覧ください。
 - ・ 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例)



「X」の表示が出た場合

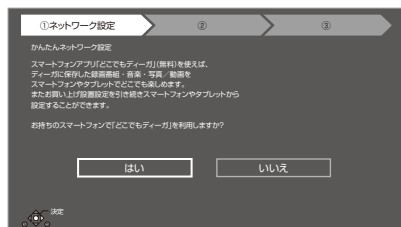
表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：X	LAN ケーブルの接続 (➔31)
IP アドレスの設定：X	
ルーターへの接続：X	
インターネットへの接続：X	
LAN ケーブルの接続：○	● ハブやルーターの接続と設定 ● 「IP アドレス」の確認 (➔183)
無線ネットワークへの接続：○	
IP アドレスの設定：X	
ルーターへの接続：X	
インターネットへの接続：X	● ハブやルーターの接続と設定 ● 「IP アドレス」の確認 (➔183)
LAN ケーブルの接続：○	
無線ネットワークへの接続：○	
IP アドレスの設定：○	
ルーターへの接続：X	「サーバーへの接続に失敗しました。(B020)」表示時 ● サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ● 「プロキシサーバー設定」(➔183) やルーターなどの設定
インターネットへの接続：X	
LAN ケーブルの接続：○	
無線ネットワークへの接続：○	
IP アドレスの設定：○	「サーバーが見つかりません。(B019)」表示時 ● 「プライマリ DNS」、 「セカンダリ DNS」の設定 (➔183) ● ルーターなどの設定
ルーターへの接続：○	
インターネットへの接続：X	

かんたん設置設定をする（続き）

2X603 2X303 2X203 スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」を使って設定する

ネットワーク設定のあと、「どこでもディーガ」(➡4)を使って設定を行うことができます。

① 「はい」を選び、決定を押す



- 「いいえ」を選んだ場合は、「チャンネル設定」(➡右記)を行ってください。

② テレビの画面表示内容に従って、スマートフォンの設定を行う

例)



- 上記画面の内容に従って、「どこでもディーガ」から本機を選択し、スマートフォン側で操作を行うと「チャンネル設定」(➡右記)が開始されます。その場合は、「チャンネル設定」の表示はテレビ画面には表示されません。

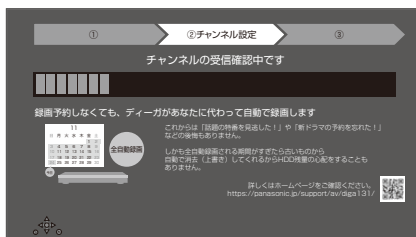
「どこでもディーガ」から設定中は、テレビには以下の画面が表示されます。



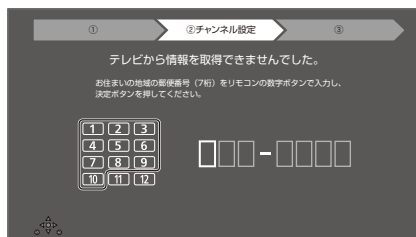
- 「どこでもディーガ」の設定を中止して次の設定へを選んだ場合、「チャンネル設定」(➡右記)へ進んでください。

チャンネル設定

ビエラリンク（HDMI）Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得します。



テレビから設置情報を取得できない場合、画面の指示に従ってチャンネル設定を行ってください。



- ③ 設定終了後にネットワーク設定をやり直すには (➡183)

かんたん設置設定をする（続き）

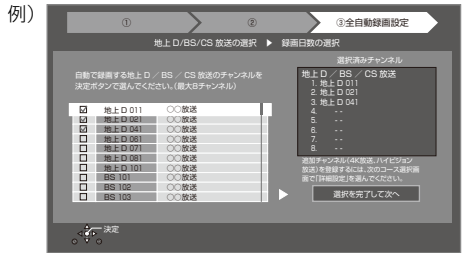
全自動録画設定

全自動録画の設定を行います。
🔊全自動録画について（➡65）

録画するチャンネルの登録

録画するチャンネルを登録します。

地上デジタル、BS/CS デジタル放送のチャンネルを登録してください。



- ① 録画するチャンネルを選び、[決定] を押す
- ② 「選択を完了して次へ」を選び、[決定] を押す

🔊追加チャンネル登録時の制限について（➡78）

🔊お知らせ

- 全自動録画をご利用にならない場合は、チャンネルを選ばずに「選択を完了して次へ」を選んで、登録を終了してください。

4X1003 4X403

- 追加チャンネル（4K 放送、ハイビジョン放送）を登録するには、録画日数の選択（➡42）で「詳細設定」を選んでください。

■ 全自動録画できるチャンネル数

登録できるチャンネル数	4X1003	4X403
追加チャンネルを登録しない場合	8	4
	BS・CS 放送は 3 チャンネルまで 4K 放送は全自動録画できません	
追加チャンネルを登録する場合（➡77）	10（9*）	6（5*）
	BS・CS 放送は 5（3*）チャンネルまで 4K 放送は 1 チャンネルのみ	

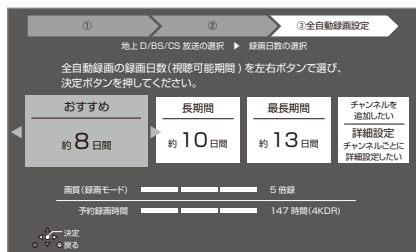
※ 4K 放送を全自動録画する場合に、登録できるチャンネル数

登録できるチャンネル数	2X603	2X303	2X203
追加チャンネルを登録しない場合	8	4	
	BS・CS 放送は 3 チャンネルまで	BS・CS 放送は全自動録画できません	
追加チャンネルを登録する場合（➡77）	10	6	
	BS・CS 放送は 5 チャンネルまで	BS・CS 放送は 2 チャンネルまで	

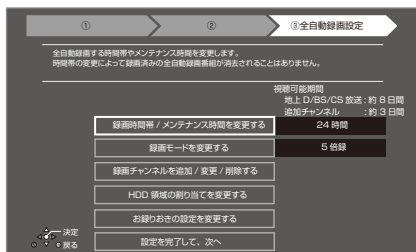
かんたん設置設定をする(続き)

録画日数の選択

お好みの録画日数を選んでください。



●「詳細設定」を選んだ場合(→75)

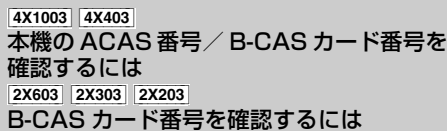


全自動録画設定が完了すると、本機の「利用規約 / プライバシーポリシー」が表示されます。

🔧 設定終了後に全自動録画設定を変更するには(→74)

🔧 有料放送の視聴契約などのために、本機のACAS番号 / B-CASカード番号を確認するには(→右記)

🔧 商品登録を行う場合(→裏表紙)



以下の手順で番号を画面に表示させることができます。

① 機能一覧を押す

② データを押す

例) 4X1003 4X403



🔧 お知らせ

● 設定画面でも番号を確認できます。(→187)
(2X203 は設定画面でのみ確認できます)

ディモラ会員登録

設定から「かんたんネットワーク設定」(→183)を行った場合、ディモラの会員登録の画面が表示されます。

ディモラのサービスの登録について

ディモラサービスに機器を登録すると、スマートフォンで宅外リモート視聴などの無料機能をご利用になれます。シーン再生などの有料機能を利用するためには、CLUB Panasonic に会員登録が必要です。

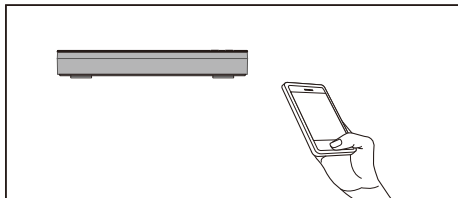
ディモラのサービスについては、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック テレビ番組情報ウェブサービス

ディモラ : <https://dimora.jp/>

4X1003 4X403 スマートフォンを使ってかんたん設置設定をする (本機をテレビに接続しない場合)

本機は、スマートフォンを使ってかんたん設置設定を行うことができます。テレビを接続せずにご使用になる場合などに便利です。



■ 準備

- スマートフォンの Bluetooth® 設定をオンにする
- スマートフォンを無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続する
- スマートフォンアプリ「どこでもディーガ（無料）」（→4）をダウンロードする

- ① スマートフォンアプリの「どこでもディーガ」を起動する
- ② 「どこでもディーガ」で、かんたん設置設定を開始する
 - 「どこでもディーガ」の詳しい操作方法は、下記サポートページをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/av/diga126/>
- ③ 本機の電源を入れる
 - 本体表示窓に 4 桁の数字（パスキー）が表示されるのを待つ



- ④ 「どこでもディーガ」で、4 桁の数字を入力する
 - スマートフォンと本機が接続されます。
- ⑤ 「どこでもディーガ」で、「ネットワーク設定」と「チャンネル設定」、「全自動録画設定」をする

設定が完了すると、本体表示窓に「END」が表示されます。（約 30 秒経過すると自動的に本機の電源は「切」になります）

記録できるディスクについて

ディスクの種類	BD-RE	BD-R
	 繰り返し記録	 1 回のみ記録
記録可能なディスク	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/ 片面3層(100 GB)	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/ 片面3層(100 GB)/片面4層(128 GB)
記録方式	—	—
記録できるコンテンツ	番組（ 4X1003 4X403 4K 放送の番組を 4KDR モード、4K 画質モードで記録可能）、写真 / 動画（MP4）、音楽	
他の機器で再生するには	BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。 ● 以下の場合、再生できないときがあります。 ・ 1.5 ～ 15 倍録モードの番組 ・ 本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4） ・ LAN 経由で録画した番組 ● LTH type の BD-R、DL や BDXL は再生機器がそれぞれの再生に対応していないと再生できません。 ● 2006 年春以前に発売された BD 機器では再生できません。 ● BD-RE、BD-R に書き出した動画（MP4）と音楽ファイルは再生保証していません。 ● 4X1003 4X403 4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R は、他機器では再生できない場合があります。 当社製機器での再生については、当社ホームページをご覧ください。（→12）	
備考	● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）の記録や再生はできません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません）	

記録できるディスクについて（続き）

ディスクの種類	DVD-R DVD-R DL（片面2層）   1 回のみ記録	DVD-RW  繰り返し記録
記録可能なディスク	片面 1 層 / 片面 2 層	Ver. 1.1/1.2 に対応した 6 倍速メディアまで
記録方式	●AVCREC 方式 ●VR 方式 (DVD ビデオレコーディング規格) ●ビデオ方式 (DVD ビデオ規格)	●VR 方式 (DVD ビデオレコーディング規格) ●ビデオ方式 (DVD ビデオ規格)
記録できるコンテンツ	番組	番組
他の機器で再生するには	以下の条件に当てはまる機器で再生できます。 ●記録したディスクの再生に対応 ●記録したディスクの記録方式の再生に対応 ・AVCREC 方式の場合： 対応機器には右記のロゴが付いています。 対応機器以外で使用しないでください。 ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 [R] はファイナライズ (→173) が必要です。 ・VR 方式の場合： VR 方式の再生に対応している必要があります。 ・ビデオ方式の場合： 記録後にファイナライズ (→173) が必要です。  ●デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。	
備考	●デジタル放送を記録するには、CPRM 対応のディスクが確かめてください。 ●ビデオ方式ではコピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。 ●ビデオ方式ではデジタル放送は記録できません。	

- 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
- DVD の記録方式は、本機でフォーマット(→171)することで設定されます。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

Ultra HD ブルーレイ 	4X1003 4X403 Ultra HD ブルーレイを楽しむには (→117)
BD ビデオ 	映像や音楽などの市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。 「A」または「A」を含むもの 例)  ●リージョンコードは国により異なります。
DVD ビデオ 	映像や音楽などの市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 ただし、PAL 方式のディスクは再生できません。 「2」（または「2」を含むもの）、 「ALL」が表示されたもの 例)  ●番号は国により異なります。
CD 	音楽や音声記録された市販ソフト (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) 写真が記録された CD-R や CD-RW (JPEG フォーマット記録ディスク)
+R +R DL (片面2層) +RW DVD-RAM	他機器で番組やハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。
DVD-R DVD-RW	他機器でハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA 規格に準拠していない CD (コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- HD DVD
- ビデオ CD
- SACD
- SVCD
- DVD オーディオ
- BD オーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト
- Ultra HD ブルーレイ (2X603 2X303 2X203)
- カートリッジから取り出せない DVD-RAM (TYPE 1)
- BD-RE (Ver. 1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていない DVD-R (ビデオ方式)、DVD-R DL (ビデオ方式)、DVD-RW (ビデオ方式) など

USB-HDD の録画について

当社にて動作確認をしている USB-HDD をお使いください。

すべての製品の動作保証をするものではありませんので、あらかじめご了承ください。

動作確認機器については当社ホームページ (→12) をご覧ください。

本機は、USB-HDD に番組を録画できます。

- 以下の操作は USB3.0 対応 USB-HDD でのみ行えます。
 - ・USB-HDD に全自動録画する
(最大 4 チャンネルまで録画可能)
 - ・複数の番組を同時に通常録画する
(最大 3 チャンネルまで録画可能)
 - ・**4X1003** **4X403**
4K 放送の番組を予約録画する
(4K 放送の全自動録画はできません)
- USB-HDD の説明書もご確認ください。

SeeQVault^{®1} 対応の USB-HDD を使用すると

- 番組の予約録画はできませんが、番組や撮影ビデオ、写真、音楽をダビングすることができます。
- 他の SeeQVault 対応ディーガで再生やダビングをすることができます。(SeeQVault 対応の USB-HDD を通常録画用フォーマットで使用すると他のディーガで使用できません)
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD にダビングした番組は、どこでもディーガで再生することはできません。

ディーガ以外の機器で記録した SeeQVault 対応の USB-HDD の動作確認情報は当社ホームページでご確認ください。(→12)



※1 「SeeQVault」(シーキューボルト) は、「さまざまな対応機器での再生互換性」と「強固なセキュリティー」を同時に実現するコンテンツ保護技術です。

USB-HDD の容量について

160 GB 以上 8 TB 以下

USB-HDD に記録できるコンテンツについて

フォーマット コンテンツ	全自動 録画用	通常録画用	写真・ 音楽用	SeeQVault
全自動録画 番組	○ ^{※2}	×	×	×
通常録画 番組	×	○	×	○ ^{※3}
撮影ビデオ (AVCHD)	×	×	×	○
動画 (MP4)	×	×	○	○
写真	×	×	○	○
音楽	×	×	○	○

※2 ・ **4X1003** **4X403**

4K 放送を全自動録画することはできません。

※3 ・予約録画はできません。ダビングでの記録のみ可能です。ただし、コピー制限のある番組をダビングした場合は、USB-HDD の番組のダビング残り可能回数は 1 回になります。

・「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」、まとめ番組やチャプターの編集はできません。

・保存している番組数が多い場合、本機の電源を入れてから最大数分の間、SeeQVault フォーマットした USB-HDD へのダビング、消去など再生以外の操作ができないことがあります。

・ **4X1003** **4X403**

4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録することはできません。

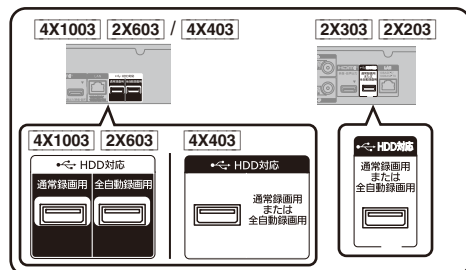
USB-HDD の録画について (続き)

接続する

USB-HDD は、本体背面の USB 端子に接続してください。(前面の端子に接続すると、録画できません)

● [4X1003] [2X603]

- ・ 通常録画、写真・音楽用、SeeQVault で使用する場合は「通常録画用」に、全自動録画で使用する場合は「全自動録画用」に接続してください。
- ・ 「全自動録画用」に USB2.0 の USB-HDD は使用できません。



USB 接続ケーブル

USB-HDD に付属の USB 接続ケーブルをご使用ください。

バスパワー方式

電源供給方式

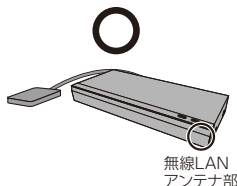


電源供給方式の USB-HDD の場合、本機で使用中は電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。

- USB ハブを使用して接続しないでください。

● お知らせ

- 無線 LAN をご使用の場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。以下のように設置してください。
 - ・ 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターと接続し、5 GHz で使用する
 - ・ ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する



無線LAN
アンテナ部



無線LAN
アンテナ部

USB-HDD の録画について (続き)

全自動録画用フォーマット・ 通常録画用フォーマットで使用する

USB-HDD を使用する場合は、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。

登録できる USB-HDD の台数は以下の通りです。

- 通常録画： **4X1003** **2X603** 8 台
 4X403 **2X303** **2X203** 7 台
- 全自動録画：1 台

複数の通常録画用 USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

4X403 **2X303** **2X203** 通常録画用 USB-HDD と全自動録画用 USB-HDD は同時に接続することはできません。

- 本機以外で使った USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。

- 接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、画面に従って登録してください。

[機能一覧] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の登録」で登録を行う

- 「通常録画用 USB-HDD」または「全自動録画用 USB-HDD」を選んで登録してください。

お知らせ

- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

登録可能な USB-HDD の台数を上回って接続したとき

新たに USB-HDD を登録するには、登録済みの USB-HDD のいずれかを取り消す必要があります。

[機能一覧] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の登録」で登録を行う

- 1 「通常録画用 USB-HDD」または「全自動録画用 USB-HDD」を選び、を押す
- 2 「はい」を選び、を押す
 - 全自動録画用の場合は、下記手順 ⑤へ
- 3 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、を押す
- 4 「実行」を選び、を押す
- 5 「登録」を選び、を押す
- 6 を押す

USB-HDD 登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。USB-HDD や本体を廃棄・譲渡する場合などに行ってください。

USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合：
登録を取り消したい USB-HDD を接続してから実行してください。

[機能一覧] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

- 「通常録画用 USB-HDD」または「全自動録画用 USB-HDD」を選んで登録を取り消してください。

すべての USB-HDD 登録を取り消す場合：
「USB-HDD の取り外し」(➡50)を行ったあと、実行してください。

[機能一覧] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「すべての USB-HDD 登録の取り消し」で登録を取り消す

登録を取り消した USB-HDD が本機に接続されている場合、該当の USB-HDD を取り外してください。

USB-HDD の録画について (続き)

写真・音楽用フォーマットで使用する

写真・音楽用フォーマットした USB-HDD は他の写真・音楽用フォーマット対応のディーガに接続して動画や写真、音楽の再生や取り込みを行うことができます。

[機能一覧] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→「写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット」を選んで登録する

「録画用 USB-HDD のフォーマット」が表示されている場合は、[サブメニュー]を押して「写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット」を選んで登録してください。

お知らせ

- SeeQVault 対応の USB-HDD は写真・音楽用フォーマットはできません。
- 写真・音楽用フォーマットの USB-HDD は、番組を録画することはできません。

SeeQVault フォーマットで使用する

以下の操作は、SeeQVault 対応の USB-HDD 接続時のみ可能です。

[機能一覧] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD 管理」→「SeeQVault 対応のフォーマット」を選んで登録する

「録画用 USB-HDD のフォーマット」が表示されている場合は、[サブメニュー]を押して「SeeQVault 対応のフォーマット」を選んで登録してください。

お知らせ

- 全自動録画や予約録画する場合は、「全自動録画用フォーマット・通常録画用フォーマットで使用する」(→49)で USB-HDD を登録してください。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD にダビングした番組は、どこでもディーガで再生することはできません。

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的に USB-HDD を取り外したい場合に、以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

[機能一覧] ボタン→「設定・困ったときは」→「設定」→「HDD・USB-HDD・再生記録設定」→「USB-HDD 設定」→「USB-HDD の取り外し」で取り外す

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラなどと接続することができます。

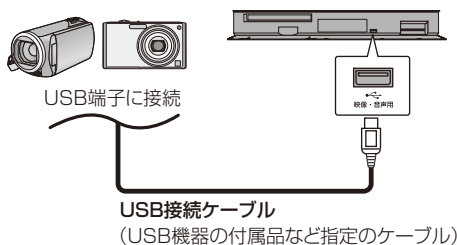
動作確認済みの機器については、当社ホームページ(→12)をご覧ください。

- USB リーダー & ライター、USB 電源を利用する機器などは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合や USB 端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使う USB 接続ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

USB 機器を接続する



接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合があります)

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書もご確認ください。

USB 機器の取り外しについて

写真・動画・音楽の取り込み・書き込み中は、電源を切ったり、USB 接続ケーブルを抜いたりしないでください。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがあります。

本機の電源を入 / 切する

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機をHDMIで接続した入力に切り換えてください。



テレビのリモコン



3 本機のリモコンの を押す

本体表示窓



下記のいずれか



チャンネル表示

- テレビに映像が映っているか確認してください。

☞ テレビに映像が表示されない場合

- テレビの入力を確認してください。
- 接続を確認してください。(→19～35)

本機の電源を切る

本機のリモコンの  を押す

本体表示窓



時刻表示

または



表示なし

画面上の操作について

機能一覧画面について

機能一覧画面から本機の主な機能を実行することができます。

- 1 **機能一覧** を押す
- 2  で機能分類を選び、 を押す
- 3 機能を選び、 を押す

例)



録る	番組表を表示します。(➡89) 録画の予約を行うことができます。
見る	録画一覧を表示します。(➡113) 録画した番組を表示することができます。
ダビング・保存	かんたんダビングまたは詳細ダビングを行います。(➡132、135) 録画した番組をダビングすることができます。
写真・音楽	写真や動画 (AVCHD、MP4) (➡150) を視聴したり、音楽 (➡157) を再生したりすることができます。
ディスク・USB	ディスクや USB の操作をすることができます。
設定・困ったときは	各種設定の変更や、困ったときの対処方法を調べることができます。

画面上の操作について（続き）

機能一覧

以下の機能を実行することができます。

機能名	参照ページ
録る	
番組表	89
予約一覧	99
検索	95
スマホで予約（どこでもディーガ）	4、197
全自動録画設定	74
おまかせ録画予約	100
新番組 / 特番おしらせ	97
見る	
ホーム	58
録画一覧	113
全自動録画一覧	67
お部屋ジャンプリンク	165
検索	69、95
スマホで見る（どこでもディーガ）	4、197
ダビング・保存	
かんたんダビング	132
詳細ダビング	135
保存予約一覧	73
番組お引越しダビング	140

写真・音楽

写真／動画一覧	150
写真お引越しダビング	141
音楽	156
ディスク・USB	
ブルーレイ（BD）／DVD	117
USB 機器	51
USB - HDD	47
設定・困ったときは	
設定* 本機の設定（放送設定／HDMI 接続設定／全自動録画設定／ネットワーク設定／メール・情報／機器設定・診断コード）を変更や確認することができます。	175
ヒント／困ったときは* 本機の便利な使い方やよくあるご質問・機器のお知らせが表示されます。ご使用に困ったときやお知らせがあるときなどにご覧ください。	
おすすめ設定診断	79
スマホ転送番組の消去	162

※ 新着情報がある場合、(●) 新着お知らせアイコンが表示されます。（新着情報の更新は、電源「切」時に行います）



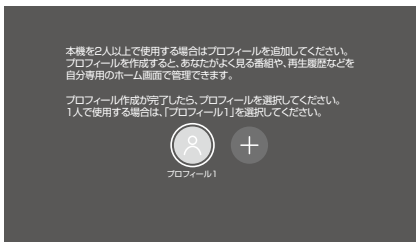
画面上の操作について (続き)

プロフィールを使い複数人で使い分ける

本機を利用する人を「プロフィール」として設定します。録画番組の再生状況（未視聴フラグ、続き再生メモリー）や、検索の履歴などが各プロフィールにひもづけられ、その人専用のホーム画面で管理できます。複数人で本機を共有する場合に、利用者一人ひとりがより便利に本機を使うことができます。

本機の設置設定が済んではじめて、検索画面（➡69、95）またはホーム画面（➡58）、全自動録画一覧（➡67）、録画一覧（➡111）を表示すると、プロフィール追加画面が表示されます。

1 「プロフィール 1」を選び、**決定**を押す



2 プロフィールを編集する

- 各項目を選び、**決定**を押すと編集画面が表示されます（「性別」以外）



- ☞プロフィール名を編集するには
文字入力画面（➡174）で入力する
- ☞性別を選ぶには
【◀】【▶】で選ぶ

- ☞生まれた年を設定するには
【▲】【▼】で選び、**決定**を押す
- ☞好きなジャンルを設定するには
【▲】【▼】で項目を選び、**決定**を押す
●最大で5つ選ぶことができます。
- ☞アイコンの色を選ぶには
【◀】【▶】で色を選び、**決定**を押す

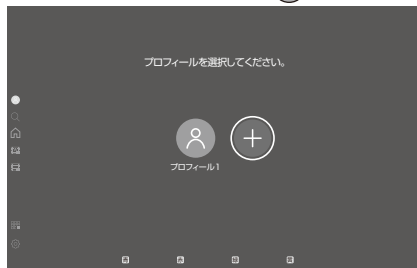
3 プロフィール編集画面で「設定完了」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- プロフィールを編集しない場合は、手順2の画面で「設定完了」を選んで編集を終了してください。

プロフィールを追加する

- 1 アプリメニュー（➡57）の「プロフィールの切り替え」を選ぶ
- 2 +（プラス）アイコンを選び、**決定**を押す



- 3 プロフィールを編集し（➡左記手順2）、「設定完了」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- 最大6人まで登録できます。
- プロフィール名として入力できるのは8文字までです。既に使われている名前は重複して登録できません。

画面上の操作について（続き）

プロフィールの編集

- 1 アプリメニュー（→57）の「プロフィールの切り替え」を選ぶ
- 2 編集したいプロフィールを選び、を押す
- 3 表示された画面で必要な操作をする

プロフィールの削除

- 1 アプリメニュー（→57）の「プロフィールの切り替え」を選ぶ
- 2 削除したいプロフィールを選び、を押す
- 3 「プロフィール削除」を選び、を押す
- 4 「はい」を選び、を押す

お知らせ

- プロフィールを 0 個（すべて削除）にはできません。
- プロフィール削除を行うと、そのプロフィールにひもづく情報はすべて削除されます。
- すべての設定リセット（→188）時には、登録した全員のプロフィール情報が削除されます。

プロフィールを利用する

本機を電源「入」にしたときには、プロフィールの選択画面が表示されます。

使用するプロフィールのアイコンを選び、を押す

- ホーム画面または全自動録画一覧、録画一覧、検索画面に戻ると、選んだプロフィールにひもづいた情報が表示されます。

お知らせ

- 本機を電源「入」にしたときには、前回本機の電源を「切」にした時点のプロフィールが選択されています。
- プロフィールが 1 名の場合は、プロフィール選択画面は表示されません。

プロフィール対象について

プロフィールが適用されるのは下記の再生機能に限りです。

- ディスクならびにSeeQVault 対応のUSB-HDDに保存された番組にはプロフィールは適用されません。

機能	項目
検索（→69、95）	検索履歴
ホーム（→58）	未視聴フラグ、続き再生メモリー
	表示項目カスタマイズ
	AI おすすめ、出演者おすすめ
	よくみる番組
	お気に入り
	再生履歴
全自動録画一覧（→67）	ブックマーク
	未視聴フラグ、続き再生メモリー
録画一覧（→113）	よくみる番組
	続き再生メモリー
その他（再生関連の設定）	再生速度（→119）
	字幕、音声（→121）

お部屋ジャンプリンクで再生時の動作について

お部屋ジャンプリンク（→165）で再生したあと、ホーム画面や全自動録画一覧、録画一覧から番組を再生する場合は「この番組は他機器で再生されています。他機器での再生の続きを見ますか？」と表示されますので、「はい」または「いいえ」を選びます。（その番組が再生途中でない場合は、画面は表示されません）

- はい: 他機器の続き再生メモリーに基づいて再生を始めます。
- いいえ: 本機で選択中のプロフィールにひもづいた続き再生メモリーで再生を始めます。

画面上の操作について（続き）

「どこでもディーガ」で再生中の動作について

本機のプロフィール機能は、「どこでもディーガ」(→4)にも反映されます。

- 続き再生メモリーの情報を引き継ぐことで、モバイル機器（スマートフォンなど）でも前回の続きから再生することができます。

アプリメニューから操作する

本機の機能の一部はアプリメニューから操作できます。

1 テレビ放送視聴中などに、下記のいずれかのボタン*を押す

※[検索]、[全自動録画一覧]、[録画一覧]、
[ホーム]

- [機能一覧] ボタンを押し、「見る」→「ホーム」からもアプリメニューを表示することができます。

2 を押して、アプリメニューに移動する

3 で機能を選び、 を押す

- [▶]（リモコンの右ボタン）でも選択の決定ができます。



機能	参照ページ
プロフィールの切り替え	
検索	69、95
ホーム	58
全自動録画一覧	67
録画一覧	113
機能一覧	54
設定	175

 テレビ放送画面に戻るには
[戻る] ボタンを押す

ホームについて

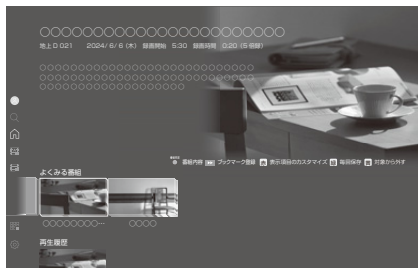
ホーム画面では、全自動録画などで録画した番組の中から、いつもよくみる番組やお気に入りのジャンルの番組などを表示します。

- 電源「入」時に「ホーム画面」か「テレビ放送画面」を表示する設定ができます。(→176「電源起動時の画面」)

1 ホームを押す

2 見たい番組を選び、[決定]を押す

- 毎週放送などのシリーズ番組は、番組の画像(サムネイル)が重なって表示されます。サムネイルを選び[決定]を押すと、シリーズ内の各番組を表示します。

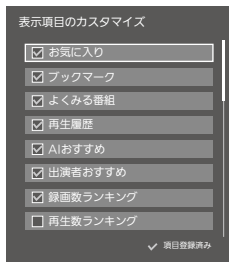


各ボタンで以下の操作ができます。

- [番組内容]: 番組の詳細情報を表示
出演者検索 (→69)
- [ワンタッチ予約録画 ●]: ワンタッチ保存 (→71)
- [緑]: 毎回保存 (→72)
- [黄]: 履歴消去 / 対象から外す
毎回保存の条件消去 /
お録りおき設定の解除と番組消去 /
通常録画の番組消去
- [▶▶ 早送り]: ブックマーク登録
- [赤]: 表示項目のカスタマイズ

ホーム画面に表示する項目を変更するには

- ① [赤]を押す
- ② 登録したい項目(→60)を選び、[決定]を押す
(選んだ項目には☑が表示されます。もう一度[決定]を押すと登録を取り消します)



- 項目は最大 16 個 まで選択できます。

お気に入りの条件を登録するには

(お気に入りの項目選択時)

(お気に入りは全自動録画した番組のみ表示します)

- ① 「新規登録」を選び、[決定]を押す
- ② 表示項目を選ぶ
- ③ フリーワードを入力または検索履歴から条件を選んで、[決定]を押す

フリーワード (1 単語) を入力するには
フリーワード入力欄を選んで [決定] を押し、
入力画面で文字を入力する。(→174)

検索履歴を使うには

検索履歴の一覧から条件を選び、[決定]を押す。

- フリーワード、検索履歴ともに詳細条件を設定してお気に入り登録できます。[緑]を押すと設定画面が表示されます。(→59「お気に入り設定の条件について」)
- 登録したお気に入りを外すには、外したいお気に入りを選んで [黄] を押してください。
- お気に入りは 25 件まで登録できます。

番組の再生履歴の消去や、「毎回保存」の条件の取り消し、「お録りおき」設定の解除と番組の消去をするには

- ① 消去したいまたは条件を取り消したい番組を選び、[黄]を押す
- ② 「はい」を選び、[決定]を押す

- お録りおきの番組を消去すると、すでに録画された該当の番組は消去されます。(全自動録画一覧からも再生できなくなります)
次週以降の番組はお録りおきされません。

ホームについて（続き）

■ お気に入り設定の条件について

フリーワード	番組を検索する際の手掛かりとなる語句  登録したフリーワードを削除するには 削除したいフリーワードを選び、[黄]を押す
除外ワード	番組を検索する際に、検索対象から除外する語句  登録した除外ワードを削除するには 削除したい除外ワードを選び、[黄]を押す
検索方法	フリーワードを複数設定した場合の検索条件 ●「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。 ●「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれかひとつでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。
表示項目	「番組」または「シーン*」、「番組+シーン*」 ※ 本機をインターネットに接続し、ディモラのサービスに登録する必要があります。  ディモラのサービス登録について（→42）
放送種別	放送の種類
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細

ホームについて (続き)

ホーム画面で表示できる項目

以下の項目を表示することができます。

お気に入り	お気に入りの条件を登録 (→58) し、その条件に関係のある番組を検索して表示 ●お気に入りの最大設定数は 25 です。
ブックマーク	お客様がブックマーク登録した番組を新着順に表示
よくみる番組 (全ジャンル)	ジャンルを問わずよくみる番組を表示
再生履歴	過去に再生した番組を表示 ●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生停止した番組のみ
AI おすすめ*	AI おすすめでは、録画番組にある未視聴の番組の中から、お客様が見たいと思われるシリーズをおすすめして表示
出演者おすすめ*	お客様の長期的または直近1か月の視聴履歴を基に、よくみる出演者が登場する番組をおすすめして表示
録画数ランキング*	ディモラのサービスに登録されたディーガで、多く録画されている番組を表示
再生数ランキング*	ディモラのサービスに登録されたディーガで、多く再生されている番組を表示
最新録画番組	通常録画した最新の録画番組から順に表示
毎回保存	毎回保存 (→72) で保存された番組を表示
ドラマお録りおき アニメお録りおき	「お録りおきの設定を変更する」 (→80) で設定した、お録りおき番組を表示
映画	シリーズの代わりに、初放送 / 通常映画 / 予告・紹介に分類して表示

よくみる バラエティ よくみるドラマ よくみるアニメ / 特撮 よくみる音楽 よくみるスポーツ よくみる情報 / ワイドショー よくみるニュース ／報道 よくみるドキュ メンタリー／教 養 よくみる劇場 / 公演 よくみる趣味 / 教育 よくみる福祉	各ジャンルの番組を表示
---	-------------

※ 本機をインターネットに接続し、ディモラのサービスに登録する必要があります。

 ディモラのサービス登録について (→42)

お知らせ

- 番組数は最大 300 まで表示されます。(「再生履歴」、「録画数ランキング」、「再生数ランキング」、「毎回保存」、「お気に入り」の番組数は最大 100 まで表示されます)

受信できるデジタル放送と記録の制限について

受信できるデジタル放送について

地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110度CS デジタル放送 (CS デジタル)

通信衛星 (Communications Satellite) を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110度CS デジタル放送の放送事業者「スカパー」への加入申し込みと契約が必要です。

4X1003 4X403

BS4K/110度CS4K 放送 (BS/CS 4K)

- 従来のBS・110度CS放送の右旋円偏波の電波で放送される4K放送とBS・110度CSの左旋円偏波の電波で放送される4K放送があります。
- 4K放送はハイビジョンの4倍の画素数を持つ、高精細かつ臨場感のある映像を再現することができます。
- 本機では8K放送は受信できません。
- 本書では「4K放送」と表現しています。

お知らせ

- 4X1003 4X403** WOWOW など有料の放送局とのご契約は、テレビのB-CASカードでのご契約いただいている場合でも、本機内蔵のACASチップでのご契約が必要となります。
- 2X603 2X303 2X203** WOWOW など有料の放送局とのご契約はB-CASカード単位でのご契約となります。テレビのB-CASカードでのご契約いただいている場合でも、本機付属のB-CASカードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。



ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。



DVD

著作権保護技術を持った CPRM に対応している必要があります。

パッケージに **CPRM対応** の記載のある

DVDを準備してください。

(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が通常録画用のHDDやUSB-HDDの場合は**10回**または**1回**を、ブルーレイディスクの場合は**1回**を表示します。**10回**～**1回**はダビングの残り可能回数を表します。DVDの場合は**1回**を表示し、ダビングや移動はできません。

1回の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

- 通常の番組・スマホ転送番組ともにダビング元から消去されます。(BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません)



- プロテクト設定 (→125) されている**1回**の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
<https://www.apab.or.jp>

テレビ放送を見る

本機のチューナーを使用してテレビ放送を視聴します。

1 **地上** **BS** **CS** **BS/CS 4K** ※ を押す

※ **4X1003** **4X403** のみ

本体表示窓

例) BS101

チャンネル表示

2 **1** ~ **12** または **チャンネル** を押して、
チャンネルを選ぶ

お知らせ

- 追加チャンネル (→ 77) 登録時は、通常録画中に放送やチャンネルを切り換えることはできません。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。
視聴中の番組の録画が始まると、データ画面が消えます。
- 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。(→30、37)

1 データ放送のある番組を選局し、**データ** を押す

2 見たい項目を選び、**決定** を押す

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や数字ボタンで操作してください。

データ画面を消すには
[データ] を押す

その他の選局方法

番組表から選局

- 番組表** を押す
- 放送中の番組を選び、**決定** を押す
 - ☞ 番組表の見方について (→87)
 - ☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上][BS][CS][4K*] を押す
※ **4X1003** **4X403** のみ

3 「今すぐ見る」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- **4X1003** **4X403** 番組表に 8K 放送の放送局も表示される場合がありますが、本機で視聴することはできません。

3桁チャンネル番号を入力して選局

- テレビ視聴中に、下記のボタンを押す

4X1003	4X403	3桁入力 消去
2X603	2X303	2X203
		3桁入力

 - 押すごとに放送が切り換わります。
- 1** ~ **10** を押して、チャンネルを入力する
 例) 101 の場合 … [1] → [10] → [1]
 ●画面が表示されている間に入力してください。
 ☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
 (地上デジタル) (→64「枝番選局」)

テレビ放送を見る (続き)

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

① テレビ視聴中に、

サブメニュー
⑤ を押す

② 「お好みチャンネル」を選び、決定を押す

③ 放送局を選び、決定を押す

■ チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、 [サブメニュー]を押す

② 「お好みチャンネル」を選び、[決定]を押す

③ [サブメニュー]を押す

④ 「登録」を選び、[決定]を押す

⑤ 「はい」を選び、[決定]を押す

- リストの一番下に登録されます。
(最大 48 チャンネル)

■ チャンネルの取り消し

① [サブメニュー]を押す

② 「お好みチャンネル」を選び、[決定]を押す

③ 取り消す放送局を選び、[サブメニュー]を押す

④ 「取消」を選び、[決定]を押す

⑤ 「はい」を選び、[決定]を押す

● お知らせ

- 録画中はお好みチャンネルができません。
- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示

画面表示

を押す (表示は約 20 秒後に自動消去します)

例)

リモコンの数字ボタン

受信中の
番組名



放送の種類と
チャンネル

放送開始時刻と
終了時刻

④ 番組の情報を消すときは

番組の情報を表示中に、[画面表示]を押す

番組内容

番組内容

を押す

音声を切り換える

を押す (→64「信号切換」)

● お知らせ

- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。

を押す (→64「信号切換」)

はじめから再生

視聴中の番組の放送開始時点から再生を開始することができます。

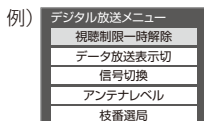
(全自動録画を設定しているチャンネルで全自動録画実行中のみ有効)

テレビ視聴中に、を押す を 1 秒以上押す

テレビ放送を見る (続き)

放送内容などの設定

- ① テレビ視聴中に、 を押す
- ② 「デジタル放送メニュー」を選び、 を押す
- ③ 設定項目を選び、 を押す (→ 右記)



お知らせ

- 視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号 (→186) を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 設定する項目を選び、設定する  お知らせ ● 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 (詳しくは →82)
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例: 「011-0」、「011-1」) 3 桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 放送局を選び、[決定]を押す  主選局を変更するには 主選局にしたい放送局を選び、[緑]を押す

全自動録画について

全自動録画は、指定したチャンネルを本機の HDD または USB-HDD に自動で録画し、一時的に保存する機能です。

■ 全自動録画できるチャンネル数

登録できるチャンネル数	4X1003	4X403	2X603	2X303	2X203
追加チャンネルを登録しない場合	8	4	8	4	
	BS・CS 放送は 3 チャンネルまで				BS・CS 放送は全自動録画できません
	4K 放送は全自動録画できません		—		
追加チャンネルを登録する場合 (→77)	10 (9*)	6 (5*)	10	6	
	BS・CS 放送は 5 チャンネルまで				BS・CS 放送は 2 チャンネルまで
	4K 放送は 1 チャンネルのみ		—		

※ 4K 放送を全自動録画する場合に、登録できるチャンネル数

追加チャンネルを登録すると、通常の予約録画が 1 番組のみとなり同時録画ができなくなるなどの制限があります。

追加チャンネル登録時の制限について (→78)

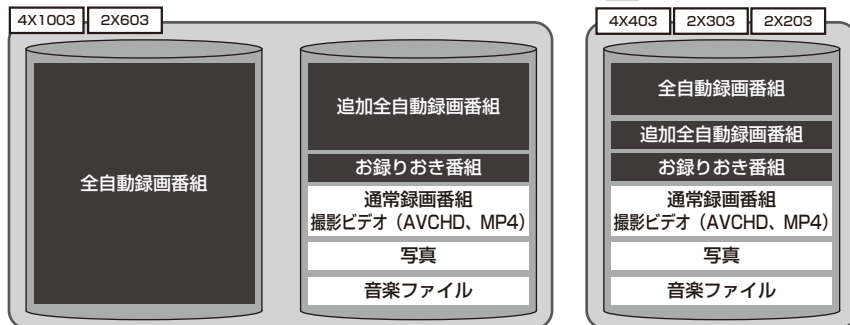
HDD の領域について

本機の HDD は記録するコンテンツによって別々の領域に分けて管理します。

全自動録画した番組は全自動録画領域に記録されます。

■ 全自動録画用領域に記録するデータ

□ 通常録画用領域に記録するデータ



- 追加チャンネル設定やお録りおき機能を有効にすると、通常録画番組の HDD 容量が減ります。
- **4X1003** : 通常録画領域は最大 6 TB までです。
- **2X603** : 通常録画領域は最大 2 TB までです。
- **4X1003** **4X403** 4K 放送を全自動録画した場合、「追加全自動録画番組」の領域に記録されます。

USB-HDD への全自動録画

USB-HDD に全自動録画するには、USB-HDD 3.0 対応の USB-HDD が必要です。(1 TB 以上 8 TB 以内)

USB-HDD に全自動録画できるチャンネル数は 4 チャンネルまでです。

4X1003 **4X403** USB-HDD に 4K 放送の全自動録画はできません。

全自動録画について（続き）

お録りおき機能について

全自動録画に割り当てた HDD 容量が上限に達すると、古い番組から自動で消去しますが、お録りおき機能を有効にすると、全自動録画した番組の中からドラマやアニメだけを自動で見つけて視聴可能期間を延長することができます。

延長できるドラマやアニメは、地上デジタル、BS デジタル放送です。

お知らせ

- 有料の BS・CS 放送を全自動録画する場合は、有料放送事業者との視聴契約が必要です。（→20、21）
- データ放送は録画できません。
- 本機の安定性維持のために行われるメンテナンス中は、全自動録画や再生、ダビングなどの一部機能が使えません。（→75）
（メンテナンス時間は1日5分～最長60分です）
- メンテナンスや全自動録画設定など全自動録画を一時中断する動作が行われると、中断された番組は全自動録画一覧では分割して表示されます。

全自動録画した番組を再生する

1

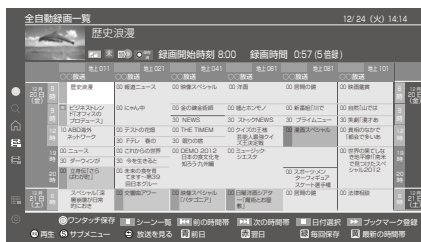


を押す

番組を検索するには (→69)

2

番組を選び、決定を押す



- 毎週放送されるシリーズ番組の再生が終了すると、自動で次回放送話の番組が引き続き再生されます。
(「次エピソード自動再生」(→177) が「入」のとき)

再生中のいろいろな操作 (→119)

再生設定をする (→122)

お知らせ

- 全自動録画番組の再生中に、NHKのBS設置の青ボタン操作メッセージが表示されても、リモコンの青ボタンで操作することはできません。放送中のNHK-BSの視聴に切り換えた状態で青ボタンを操作し、受信契約をしてください。

日付選択

全自動録画一覧の表示中に

1 ■ 停止を押す

2 日付を選び、決定を押す

全自動録画一覧の便利な機能

全自動録画一覧の表示中に

1 番組を選び、サメニューを押す

2 項目を選び、決定を押す

先頭から再生	番組の先頭から再生します。
毎回保存	選んだ番組の検索キーワードより番組を検索し自動的に保存するようにします。(→72)
番組内容	番組の内容が確認できます。 画面を消すには [決定]を押す
表示チャンネル数	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
文字サイズ切り換え	文字サイズを切り換えます。
チャンネル並び順	チャンネルの並び順を変更します。
視聴制限一時解除	暗証番号(→186)を入力して視聴制限を一時解除します。
保存設定	保存先やスマホ転送番組の作成など保存機能の設定を行います。(→72)
表示カスタマイズ	視聴済み、よくみる、人気の番組の表示 / 非表示を変更します。

最新の時間帯を表示する

全自動録画一覧の表示中に

黄

を押す

全自動録画した番組を再生する (続き)

全自動録画一覧の見方

表示マークについては(→208)

全自動録画を設定したチャンネルのみ表示されます

現在の日時

番組の画像(サムネイル)を表示
4K放送の番組は4Kを表示

選択中の番組

保:保存予約や保存済みの番組

開始時刻から記録できていない番組には「00」などの分表示が付きません

リモコンのボタンの動き

ワンタッチ保存(→71)

シーン一覧(→115)

毎回保存(→72)

日付選択(→67)

ブックマーク登録(→60)

短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。

00映像スペシャル2
00映像スペシャル9
00スポーツメン
ターフィギュア
スケート選手権

00映像スペシャル2
45 番組情報
00 スポーツメン
ターフィギュア
スケート選手権

お知らせ

- **4X1003** | **4X403** 4K 放送を全自動録画する場合、追加チャンネルでのみ登録できます。
- 有料の BS・CS 放送を全自動録画する場合は、有料放送事業者との視聴契約が必要です。
- データ放送は録画できません。
- 本機の安定性維持のために行われるメンテナンス中は、全自動録画や再生、ダビングなどの一部機能が使えません。
(メンテナンス時間は1日5分～最長60分です)
- メンテナンスや全自動録画設定など全自動録画を一時中断する動作が行われると、中断された番組は全自動録画一覧では分割して表示されます。
- 30 秒未満の番組は表示されません。
- 保存で移動された番組はグレー表示になり、番組を選んで再生することはできません。
- 番組の画像(サムネイル)は、本機の動作状態によっては作成されません(「録画中」または「ジャンル画像」と表示)。作成されるまで時間がかかる場合があります。
- 番組として扱える録画時間は最大約 8 時間です。8 時間を超える番組は、自動的に分割して別番組として録画します。
- 番組が表示されていても、全自動録画の録画時間帯(→75)に放送が開始または終了しない場合は、録画時間帯以外の部分は録画されません。

全自動録画した番組を検索する

検索機能を使って番組を探す

検索条件を設定し、全自動録画した番組を検索することができます。

1 [検索] を押す

2 検索対象で「全自動録画」を選ぶ



3 検索方法を選び、条件を設定する

🔍 フリーワード（1 単語）を入力するには
フリーワード入力欄を選んで [決定] を押し、
入力画面で文字を入力する。(→174)

🔍 検索履歴を使うには

検索履歴の一覧から条件を選び、[決定] を押す。

- フリーワード、履歴ともに詳細条件を設定して検索することができます。[緑] を押すと設定画面が表示されます。(→70「検索条件について」)

4 検索結果から番組を選び、再生や保存の操作をする

番組を再生する

番組を選び [決定] または [再生/早送り] を押す

ワンタッチ保存する

番組を選び [ワンタッチ予約録画] を押す

毎回保存する

番組を選び、[緑] を押す
 (「毎回保存をする」→72 手順3)

番組内容を確認する

番組を選び、[番組内容] を押す

出演者検索

出演者一覧が画面右側に表示されます。出演者を選択することで、その人物が出演する番組を探すことができます。

- 番組に出演していても、出演者一覧に表示されないこともあります。
- 表示される出演者は最大で 32 名です。

① 番組内容画面を表示中に [▶] (リモコンの右ボタン) で出演者列に移動する

② [▲][▼] ボタンを押して出演者を選び、[決定] を押す

検索結果から操作する

サブメニュー
[S] を押す

保存の便利な機能について (→72)

ブックマーク登録する

番組を選び、[▶▶] を押す

お気に入り登録する

検索履歴を選び、[▶▶] を押す

全自動録画した番組を検索する (続き)

検索条件について

フリーワード	番組を検索する際の手掛かりとなる語句  登録したフリーワードを削除するには 削除したいフリーワードを選び、[黄]を押す
除外ワード	番組を検索する際に、検索対象から除外する語句  登録した除外ワードを削除するには 削除したい除外ワードを選び、[黄]を押す
検索方法	フリーワードを複数設定した場合の検索条件 ●「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。 ●「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれかひとつでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。
検索対象	録画番組の保存先や録画方法
検索単位	「番組」または「シーン*」 ※ 本機をインターネットに接続し、ディモラのサービスに登録する必要があります。  ディモラのサービス登録について (→42)
放送種別	放送の種類
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細

 お知らせ

- 検索結果は、最大 500 件まで表示します。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどの検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

全自動録画した番組を保存する

全自動録画では、全自動録画用 HDD、全自動録画用 USB-HDD の容量が不足すると、自動的に古い番組から上書き消去します。

お録りおきで保存されている番組は、お録りおき用の HDD 容量が不足すると古い番組から上書き消去します。

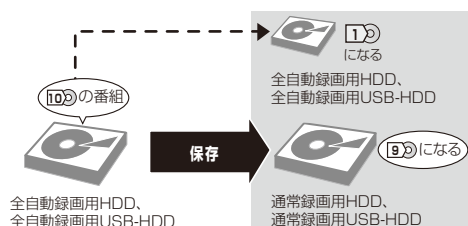
残しておきたい番組は、通常録画用 HDD、USB-HDD またはブルーレイディスクに保存してください。

■ コピー制限のある番組の保存について

全自動録画番組では、ダビングの残り回数が通常録画した番組と違って以下ようになります。

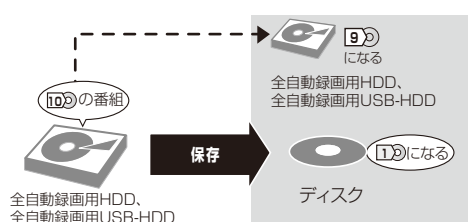
● 通常録画用 HDD、USB-HDD に保存する場合：

全自動録画用 HDD は ①② になり、残りの回数は保存先の番組に移動します。



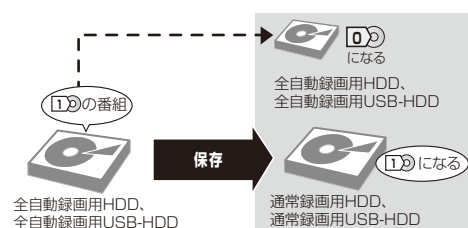
● BD-RE、BD-R に保存する場合：

全自動録画用 HDD の残りの回数は 1 回減り、ディスク側では ①② になります。



● ①② の番組を保存する場合：

保存先の種類に関係なく、全自動録画用 HDD は ①② になり、全自動録画一覧では再生できなくなります。



ワンタッチ保存をする

全自動録画した番組のワンタッチ保存は、本機の動作状況に合わせて実行するため、ワンタッチ保存の予約状態となります。

保存方向：

HDD → HDD BD-RE BD-R USB-HDD

USB-HDD → HDD BD-RE BD-R

USB-HDD → USB-HDD*

※4X1003 2X603 のみ

SeeQVault フォーマットの USB-HDD には保存できません。

● 新品のディスクに保存する場合は、フォーマットをしてください。(→171)

1



を押す

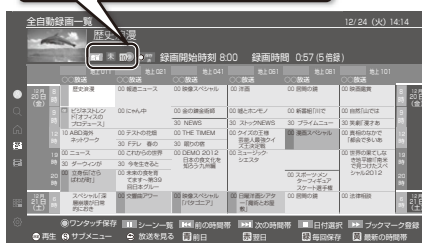
2

番組を選び、ワンタッチ予約録画を押す

ワンタッチ保存が予約され、通常録画用 HDD に保存されます。

☞ 保存先などを変更するには (→72)

表示マークについては (→208)



☞ ワンタッチ保存の状況を確認するには (→73)

全自動録画した番組を保存する (続き)

毎回保存をする

選んだ番組の検索キーワードより番組を検索し自動的に保存するようにします。

(選んだ番組自体も保存します)

保存方向：

HDD → HDD USB-HDD

USB-HDD → HDD

USB-HDD → USB-HDD*

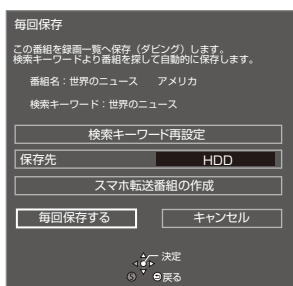
※ 4X1003 2X603 のみ

SeeQVaultフォーマットのUSB-HDDには保存できません。

1  を押す

2 番組を選び、 を押す

3 「毎回保存する」を選び、 を押す



- 「検索キーワード再設定」で検索するキーワードを変更することができます。「検索キーワード」に表示されている内容を変更したいときに使用してください。(→174「文字入力」)
- 「保存先」で保存先を変更できます。
- 「スマホ転送番組の作成」で保存実行時にスマホ転送番組も作成できます。

🔍 毎回保存の状況を確認するには (→73)

🔍 「毎回保存」の条件を取り消すには (→58、73)

🔍 お知らせ

- 毎回保存で保存対象とする番組は以下になります。
 - ・ 選んだ番組の開始時刻の前後約3時間以内にある番組
 - ・ 選んだ番組と同じ放送局の番組
- 毎回保存の最大登録数は 64 です。

保存の便利な機能

全自動録画一覧の表示中に

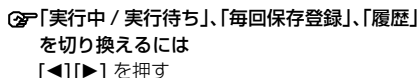
- 1  を押す
- 2 「保存設定」を選び、 を押す
- 3 項目を選び、設定する (→ 下記)
- 4 「設定完了」を選び、 を押す

保存先	保存先を選びます。
スマホ転送番組の作成 HDD	保存実行時にスマホ転送番組も作成するよう設定します。
スマホ転送番組の設定 HDD	保存実行時に作成するスマホ転送番組の詳細な設定をします。(→160)

🔍 お知らせ

- 以下の動作中は、保存の実行はされません。(動作終了後に保存します)
 - ・ 通常録画した番組のダビング中
 - ・ USB-HDD や ディスクへの保存の予約と、録画先が USB-HDD や ディスクの通常録画の予約が重複した場合
 - ・ 録画先が HDD の通常録画を 2 番組以上実行している場合
- 全自動録画の録画モードに DR～1.8 倍録を 1 つでも設定している場合、以下の制限があります。
 - ・ ディスクへの保存中は、全自動録画の再生はできません。
 - ・ HDD や USB-HDD への保存中に全自動録画の再生を行うと、保存は一時的に中断します。
 - ・ HDD や USB-HDD への保存中に、お部屋ジャンプリンクの全自動録画した番組の再生を行うと、保存は一時的に中断します。
- 保存を予約したあと、HDD の容量不足のために番組が上書き消去されることがあります。消去を防止するには「保存の優先モード」を「保存優先」に設定してください。(→178)
- 保存を予約できる最大番組数は 99 です。
- 保存先の残量不足などで保存が実行できない場合は、通常録画用 HDD、または USB-HDD に代替で保存します。

4 番組を選び、操作を行う (→ 右記)



① を押す

② 「はい」を選び、 を押す

全自動録画設定を変更する

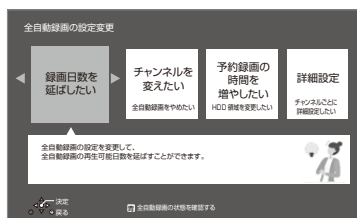
放送、チャンネル、録画モードや録画時間を変更したい場合に行います。

チャンネルの設定を変更すると

変更前のチャンネルで録画された番組がすべて消去されます。(お録りおきの番組も消去されます)
また、保存実行待ちの内容も取り消されます。

1 全自動録画設定を押す

2 変更したい項目を選び、決定を押す



- 「録画日数を延ばしたい」(→75)
- 「チャンネルを変えたい」(→77)
- 「予約録画の時間を増やしたい」(→78)
- 「詳細設定」(→78)

全自動録画の状態を確認するには
[青]を押す

例)



「受信状態」の表示について

- 契約が必要：チャンネルが未契約のため録画できない
- B-CAS 未認識：B-CAS カードを認識できない
- ACAS 未認識：ACAS チップを認識できない
([4X1003] [4X403] のみ)
- 受信不可：アンテナ抜け、放送電波が弱いため録画できない

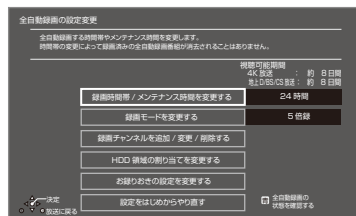
「録画状態」の表示について

- 停止中：全自動録画の停止を設定したため、録画が停止している
- 一時停止中：アンテナ抜け、チャンネルが未契約、B-CAS カードが誤挿入、8K 放送チャンネルが設定されているため([4X1003] [4X403] のみ)、録画が一時停止している
- 時間外：現在の時間が録画時間外のため、録画が停止している

「開始・停止」について

- 本機を移動させるときの電源コードを抜く場合は、「開始・停止」を設定してから電源を切ってください。
—全自動録画を再開するときは、もう一度「開始・停止」を選んでください。

「設定変更」を選ぶと、以下の画面が表示されます。



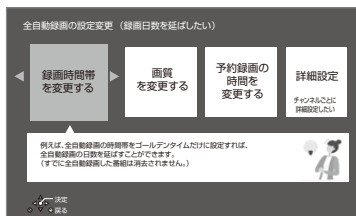
- 各項目から設定を変更することができます。
(→76「詳細設定」)

全自動録画設定を変更する (続き)

録画日数を延ばしたい

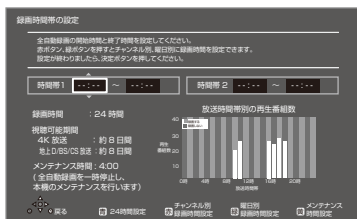
74 ページ手順 2 で「録画日数を延ばしたい」を選んだあと

3 変更したい項目を選び、決定を押す

録画時間帯を変更する
(録画時間帯 / メンテナンス時間を変更する)

全自動録画を行う時間帯やメンテナンス時間を変更します。

上記手順 3 のあと



“時間帯”を変更し、決定を押す

色ボタンで以下の設定ができます。

- [青] : 録画時間を 24 時間に設定
- [赤] : チャンネル別録画時間設定 (→ 右記)
- [緑] : 曜日別録画時間設定 (→ 右記)
- [黄] : メンテナンス時間設定 (→ 右記)

■ チャンネル別録画時間設定

チャンネルごとに録画する時間帯を設定します。

- ① 赤 を押す
- ② 録画時間を選び、青 を押す



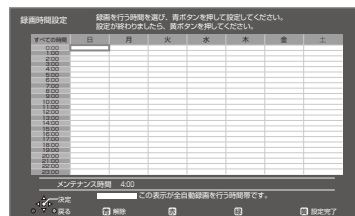
- [青]を押すたびに、選択と選択解除が切り換わります。
- 「すべての時間」を選ぶと、全時間を選択できます。
- “チャンネル”や“時間”を選ぶと、列や行をまとめて選択できます。

- ③ 設定終了後、黄 を押す

■ 曜日別録画時間設定

曜日ごとに録画する時間帯を設定します。

- ① 緑 を押す
- ② 録画時間を選び、青 を押す



- [青]を押すたびに、選択と選択解除が切り換わります。
- 「すべての時間」を選ぶと、全時間を選択できます。
- “曜日”や“時間”を選ぶと、列や行をまとめて選択できます。

- ③ 設定終了後、黄 を押す

■ メンテナンス時間設定

本機の安定性維持のため毎日メンテナンスを行います。メンテナンスは、通常は数分で終わりますが、最長で 1 時間かかる場合があります。メンテナンス中は全自動録画や再生、ダビングなどの一部機能が使えません。(通常の予約録画は行います)

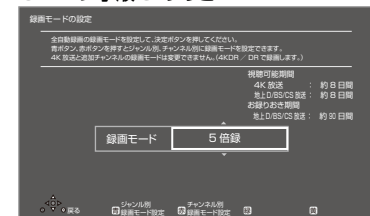
- ① 黄 を押す
- ② “時” “分”を変更し、決定を押す

全自動録画設定を変更する (続き)

画質を変更する
(録画モードを変更する)

全自動録画の録画モードを変更します。

75 ページ手順 3 のあと



録画モードを変更し、決定を押す

- 選べる録画モードは以下になります。

- ・ **4X1003** **4X403** : DR ~ 15 倍録
(追加チャンネルの場合、4KDR/DR モード固定になります)
- ・ **2X603** : DR ~ 15 倍録
- ・ **2X303** **2X203** : 2 倍録 ~ 15 倍録
(追加チャンネルの場合、DR ~ 1.8 倍録も設定できます。チャンネル別録画モード設定で行います)

色ボタンで以下の設定ができます。

- **[青]** : ジャンル別録画モード設定 (→ 下記)
- **[赤]** : チャンネル別録画モード設定 (→ 下記)

■ ジャンル別録画モード設定

ジャンルごとに録画モードを設定して、HDD や USB-HDD の容量を節約します。

- 選べる録画モードは以下になります。

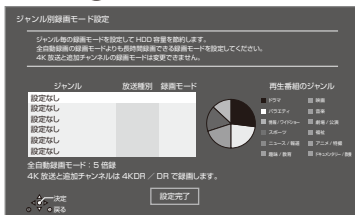
- ・ **4X1003** **4X403** **2X603** : 1.6 倍録 ~ 15 倍録
- ・ **2X303** **2X203** : 2.3 倍録 ~ 15 倍録

全自動録画モードより長時間の録画モードが選べます。

① **[青]** を押す

② 項目を選び、決定を押す

(例)



③ 各項目を設定する

④ 「設定完了」を選び、決定を押す

■ チャンネル別録画モード設定

チャンネルごとに録画モードを設定します。

[赤] を押す

(→77 「録画チャンネルを追加／変更／削除する」)

● お知らせ

- 録画モードを高画質に変更すると、番組が消去されるまでの日数が短くなります。
- 以下の場合、ジャンル別録画モード設定はできません。
 - ・ チャンネル別に録画モードを設定しているとき
 - ・ 全自動録画モードが DR、15 倍録のとき

予約録画の時間を変更する
(HDD 領域の割り当てを変更する)

通常録画用 HDD の領域の一部を全自動録画用に割り当てることで、全自動録画できる時間を増やすことができます。(全自動録画用 HDD の領域を増やすと、通常録画用 HDD の領域が減ります)

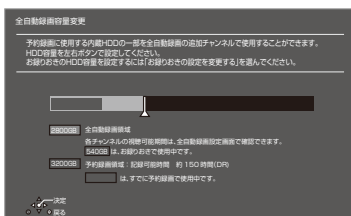
75 ページ手順 3 のあと

● で全自動録画に使用する HDD の容量を

変更し、決定を押す

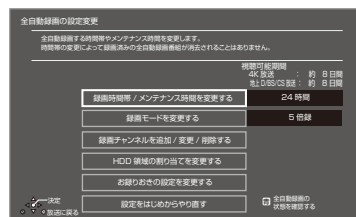
録画モードと記録時間や記録日数の目安 (→226、229)

(例)



詳細設定

75 ページ手順 3 のあと



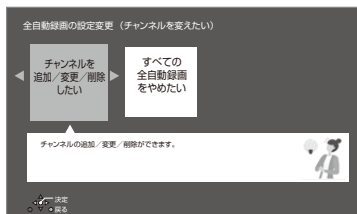
変更したい項目を選び、決定を押す

- 「録画時間帯 / メンテナンス時間を変更する」 (→75)
- 「録画モードを変更する」 (→ 左記)
- 「録画チャンネルを追加 / 変更 / 削除する」 (→77)
- 「HDD 領域の割り当てを変更する」 (→ 上記)
- 「お録りおきの設定を変更する」 (→80)

全自動録画設定を変更する (続き)

チャンネルを変えたい

74 ページ手順 2 で「チャンネルを変えたい」を選んだあと

3 変更したい項目を選び、**決定**を押すチャンネルを追加／変更／削除したい
(録画チャンネルを追加／変更／削除する)

上記手順 3 のあと

1 変更したいチャンネルを選び、**決定**を押す

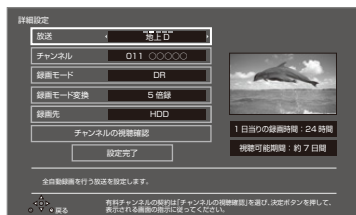
例)



- [青] を押すと追加チャンネルを登録します。
(→ 右記)

2 録画するチャンネルの設定を変更する

例)



- 録画先を「USB-HDD」に設定するには、あらかじめ USB-HDD を全自動録画用に接続・登録 (→49) しておく必要があります。
[追加チャンネル (→ 右記) の録画先は「USB-HDD」に設定できません]

- 録画先を「USB-HDD」に設定できるチャンネル数は最大4チャンネルです。
- [4X1003] [4X403] 「録画モード変換」は、全自動録画の追加チャンネルの番組を保存する場合に、録画モードを設定できます。お録りおきや保存する時に設定された録画モードに変換します。

3 「設定完了」を選び、**決定**を押す

■ 追加チャンネル登録

追加チャンネルを登録すると、全自動録画できるチャンネル数を増やすことができます。(→65)

- 1 [青] を押す
- 2 「はい」を選び、**決定**を押す
- 3 チャンネルの録画領域を設定し、**決定**を押す
 - [◀▶] で全自動録画に使用する HDD の容量を設定してください。
- 4 全自動録画を設定する
 - 録画先は「USB-HDD」に設定できません。

追加チャンネル登録時の制限について (→78)

すべての全自動録画をやめたい

全自動録画を停止します。全自動録画一覧の番組はすべて消去されます。録画一覧の番組は消去されません。

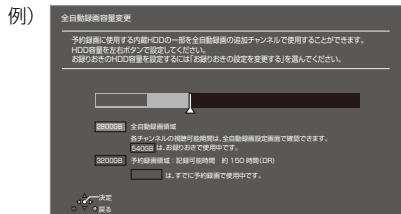
左記手順 3 のあと

- 1 「はい」を選び、**決定**を押す
- 2 「すべて消去する」を選び、**決定**を押す

全自動録画設定を変更する (続き)

予約録画の時間を増やしたい

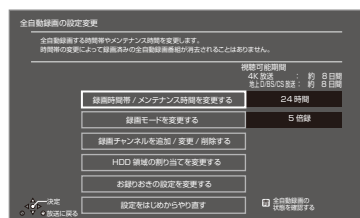
74 ページ手順 2 で「予約録画の時間を増やしたい」を選んだあと



- 操作方法は「予約録画の時間を変更する」(→76)をご覧ください。

詳細設定

74 ページ手順 2 で「詳細設定」を選んだあと



変更したい項目を選び、**決定**を押す

- 「録画時間帯 / メンテナンス時間を変更する」(→75)
- 「録画モードを変更する」(→76)
- 「録画チャンネルを追加 / 変更 / 削除する」(→77)
- 「HDD 領域の割り当てを変更する」(→76)
- 「お録りおきの設定を変更する」(→80)

追加チャンネル登録時の制限について

- 「1080/60p」、「AVCHD 3D」の表示がある番組のプレビューサーチができません。
- 予約録画は 1 番組のみになります。同時録画はできません。
- ハイビジョン放送をディスクに予約した場合、HDD に代替録画されます。ディスクにダビングしてください。(→132、135)
(4K 放送はディスクに予約できません)
- 以下の操作をすると、追加した 2 チャンネルの録画は停止します。(操作を終了すると、全自動録画を再開します)
 - ・ 画質変換ダビング
 - ・ 動画や写真の取り込み (→143、147)
 - ・ HDD 以外の動画ファイル (MP4) を再生
 - ・ **2X603** **2X303** **2X203**
 - 市販の BD ビデオの再生
 - ディスクに記録された撮影ビデオの再生
 - 「1080/60p」の表示がある番組の再生
 - 「AVCHD 3D」の表示がある番組の 3D 再生
 - 「1080/60p」、「AVCHD 3D」の表示がある番組の編集 (→125 ~ 130)
 - 音楽 CD から取り込んだ曲以外の音楽再生 (→157)
 - 内蔵HDDの動画ファイル(MP4)を再生(→148)
- **2X603** **2X303** **2X203** お部屋ジャンプリンク (→166) で本機をクライアントとして使用する場合、音楽ファイルは LPCM のみ再生できます。
- お部屋ジャンプリンク (→165) で本機をサーバーとして使用する場合、以下の操作はできません。
 - ・ 本機の電源「入」時に「放送を見る」
 - ・ 複数の機器から「全自動録画を見る」「ビデオを見る」
- **2X603** **2X303** **2X203** どこでもディーガでの MP4 動画の「テレビで見る」再生ができません。
- 写真の連続再生時 (→150)、表示効果は「フェード」になります。
- 予約録画と追加チャンネルの録画で、同じ有料放送の番組を同時に録画することはできません。
追加チャンネルに登録している有料放送の番組を予約録画する場合は、全自動録画は一時停止し、予約録画が優先されます。

全自動録画設定を変更する（続き）

おすすめ設定診断を利用して全自動録画設定を変更する

本機は全自動録画した番組からお客様が再生した番組のジャンルや放送時間帯を分析し、お客様にお勧めの全自動録画設定をご提案します。

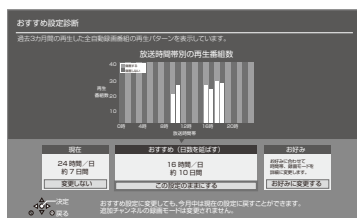
1 **機能一覧** を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す

3 「おすすめ設定診断」を選び、 を押す

4 項目を選び、 を押す

例)



- ・「お好みに変更する」を選んだ場合
 - ・「録画時間帯 / メンテナンス時間を変更する」(→75)
 - ・「録画モードを変更する」(→76)
- ・おすすめの設定は月初めに更新します。
- ・「おすすめ設定診断のお知らせ」(→176)を「入」に設定していると、月初めの全自動録画一覧・ホーム画面を表示時におすすめ設定診断更新のお知らせを表示します。

お知らせ

- 以下の場合はおすすめの設定は表示されません。
 - ・ 累計の番組再生時間が 20 時間未満のとき
 - ・ 全自動録画設定を行っていないとき
 - ・ チャンネル別録画時間設定を行っているとき
 - ・ 曜日別録画時間設定を行っているとき
 - ・ チャンネル別録画モード設定を行っているとき
- 再生履歴は 3 か月間保持します。3 か月を過ぎた履歴は消去されます。
- おすすめ設定を選ぶと、ジャンル別録画モード設定の設定内容は消去されます。

全自動録画設定を変更する (続き)

お録りおきの設定を変更する

地上デジタル BS デジタル

お録りおき機能で録画するドラマやアニメの時間帯の設定、使用する HDD の領域の変更やスマホ転送番組の作成の設定をします。

- 録画先は **[HDD]** になります。
- お録りおき番組は、お録りおき用の HDD 容量が不足すると古い番組から自動消去します。残しておきたい番組は、保存してください。(→ 右記)

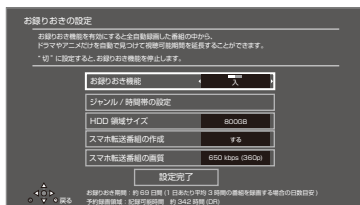
📺 自動予約機能で予約可能な番組数について (→ 106)

1 を押す

2 「詳細設定」を選び、 を押す

3 「お録りおきの設定を変更する」を選び、
 を押す

4 変更する項目を選び、設定する



- 「スマホ転送番組の作成」を「する」に設定すると、お録りおきの対象番組は自動的にスマホ転送番組が作成されます。スマートフォン用視聴アプリ「どこでもディーガ」(→ 4) でお録りおき番組を持ち出す場合に便利です。ただし、スマホ転送番組を記録するための HDD 容量が必要となり、お録りおきの視聴可能期間が短くなります。

📌 お知らせ

- お録りおきを使用しない場合は、「お録りおき機能」で「切」を選んでください。
- 「お録りおき機能」を「切」から「入」に変更すると、変更以降に録画した番組がお録りおきの対象となります。
- 「お録りおき機能」を「入」から「切」に変更すると、すでに録画済みのお録りおき番組が全自動録画一覧から再生できなくなります。必要な番組はあらかじめワンタッチ保存を実行したあとで「お録りおき機能」を「切」に変更してください。
- お録りおき機能の期間は、設定したジャンルの各時間帯の平均的な放送時間を基にした予測目安です。
- HDD 領域サイズを変更すると通常録画領域が変更されます。
- メンテナンス時間が 4 時の場合、深夜アニメの時間帯を選ぶと、自動的にメンテナンス時間を 5 時に変更します。

お録りおき番組を保存する

お録りおき番組は、お録りおき用の HDD 容量が不足すると古い番組から自動消去します。残しておきたい番組は保存してください。

■ コピー制限のある番組の保存について

お録りおき番組を保存する場合、ダビングの残り回数は以下ようになります。

- HDD、USB-HDD に保存する場合：
お録りおき番組は **[1回]** になり、残りの回数は保存先の番組に移動します。
- BD-RE、BD-R に保存する場合：
お録りおき番組の残り回数は 1 回減り、ディスク側では **[1回]** になります。
- [1回]** の番組を保存する場合：
保存先の種類に関係なく、移動になります。(お録りおき番組は消去されます)

4K 放送の番組について

4X1003 4X403

4K 放送対応チューナー



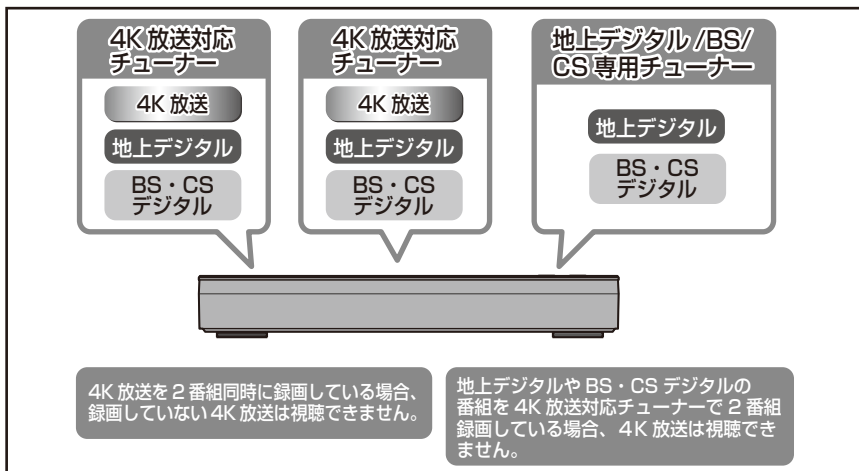
4K 放送対応チューナーで予約録画する番組は、予約一覧で「4K 放送対応チューナー」のアイコンが表示されます。

地上デジタル / BS/CS 専用チューナー

地上デジタル放送や BS・CS デジタル放送を録画するときは、このチューナーに優先して録画します。

([**ワンタッチ予約録画 ●**] を押して録画する場合は、4K 放送対応チューナーで録画します。)

視聴・通常録画用のチューナーとして、本機は以下の 3 つのチューナーを搭載しています。
(追加チャンネル未登録時のみ)



●その他のチューナーに関する情報は、当社ホームページでご確認ください。(→12)

録画モードについて

本機は録画する放送によって選択できる録画モードが異なります。

4X1003 4X403 4K 放送録画時の録画モード

録画モード	4KDR	4K 1.3 倍録から 4K 8 ～ 12 倍録 (4K 画質モード)	1.5 ～ 15 倍録 (ハイビジョン画質モード)
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	4K画質 放送データを圧縮 ^{*1} して、4K 画質で長時間記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{*2} して、ハイビジョン画質で長時間記録
記録できるメディア	HDD BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} USB-HDD ^{*3}	HDD BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} USB-HDD ^{*3}	HDD ^{*4} BD-RE ^{*3} BD-R ^{*3} -R AVCREC [*] USB-HDD ^{*3*4}
サラウンドの音声	サラウンド音声	サラウンド音声 ^{*5}	ステレオ音声
複数の音声 (マルチ音声 →89)	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つまで記録 ^{*6}	音声は 1 つだけ記録 ^{*6}
二重音声 (→89)	両方の音声を記録		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報を記録しない。 再生時、字幕表示の入 / 切はできない ^{*6}

全自動録画の追加チャンネルでは 4KDR モード固定になります。

- 録画モードと記録時間の目安 (→226、227、232 ～ 234)
- 録画モードを変更するには
・録画時 (→85) ・予約時 (→90) ・かんたんダビング時 (→134「画質変更」) ・詳細ダビング時 (→135)

※1 映像圧縮方式：HEVC/H.265

※2 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

※3 4K 放送をディスクや USB3.0 非対応の USB-HDD へ記録する場合、ダビング時のみ可能です。

※4 4K 放送を HDD や USB3.0 対応の USB-HDD へ記録する場合、録画モード変換時のみ可能です。

※5 AAC 22.2ch や AAC 7.1ch を記録するには、「4K 画質の音声 ch 数優先」(→178) を「入」に設定してください。
詳細は以下のサポートページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga118/>

※6 記録したい音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に以下の設定をしてください。

- ・録画時：「信号切換」(→64) で選ぶ
- ・予約録画時：「信号設定」(→92) で選ぶ
- ・ダビング時：「信号切換」(→122) で選んだあと、ダビングを行う (→139)

おまかせ長時間「4K 8 ～ 12 倍録」モードについて

「4K 8 ～ 12 倍録」モードは、番組の内容に応じて録画倍率を 8 倍録から 12 倍録まで自動調整して録画します。スポーツや音楽など動きが激しい映像では、録画倍率が 8 倍相当になるため、画面に表示している記録可能時間よりも実際に記録できる時間が短くなることがあります。

録画モードについて (続き)

デジタル放送録画時の録画モード

録画モード	DR	1.5 ～ 15 倍録	XP・SP・LP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{※1} して、ハイビジョン画質で長時間記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせて XP ～ LP の中で画質を自動調整して記録 ^{※2}
記録できるメディア	HDD HDD ^{※3} BD-RE BD-R USB-HDD USB-HDD ^{※3}	HDD HDD ^{※3} BD-RE ^{※4} BD-R ^{※4} -R AVCREC ^{※4} USB-HDD USB-HDD ^{※3}	-R VR ^{※4} -R V ^{※4※5} -RW VR ^{※4} -RW V ^{※4※5}	
サラウンドの音声	サラウンド音声	サラウンド音声	ステレオ音声 (ダウンミックス 2 チャンネル)	
複数の音声 (マルチ音声 →89)	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つまで記録 ^{※6※7}	音声は 1 つだけ記録 ^{※6}	
二重音声 (→89) ^{※8}	両方の音声を記録			
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報は記録しない (再生時、字幕表示の入 / 切はできない) ^{※6}	

● 録画モードと記録時間の目安 (→226 ～ 228、232 ～ 234)

● 録画モードを変更するには

・録画時 (→85) ・予約時 (→90) ・かんたんダビング時 (→134「画質変更」) ・詳細ダビング時 (→135)

※1 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

※2 番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。

※3 **4X1003** **4X403** 全自動録画の追加チャンネルでは DR モード固定になります。

※4 **2X303** **2X203** 全自動録画では、DRモードや 1.5 ～ 1.8 倍録モードは設定できません。(追加チャンネルを除く)

※4 **4X1003** **4X403** ディスクへの記録はダビング時のみ可能です。

※5 **-R V** **-RW V** デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※6 記録したい音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に以下の設定をしてください。

・録画時：「信号切換」(→64) で選ぶ

・予約録画時：「信号設定」(→92) で選ぶ

・ダビング時：「信号切換」(→122) で選んだあと、ダビングを行う (→139)

※7 1.5 倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

※8 **-R V** **-RW V** に記録する場合、音声は設定に従って記録されます。「(DVD-Video 記録の設定) (→178) の「二重音声記録時の音声選択」を設定する)

4K 放送の録画、ダビングについて

4K 放送の録画について

4K 放送の番組を録画する場合、4KDR モードまたは 4K 画質モードで録画できます。

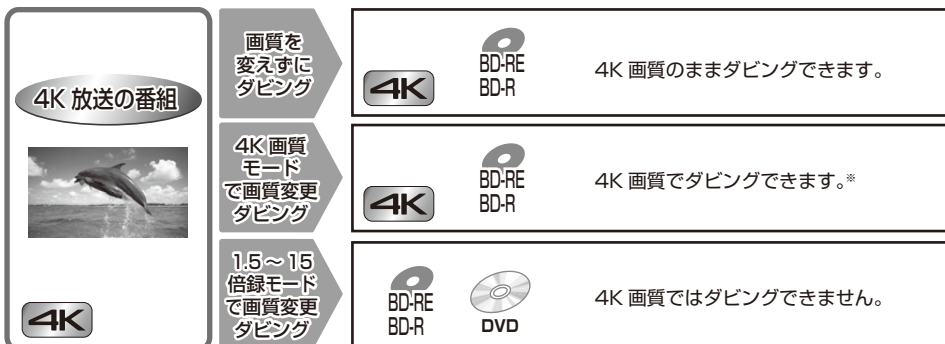


4K 画質モードを選んで録画した場合、本機はいったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

4K 放送の番組を 1.5 ～ 15 倍録モードで録画することはできません。

4K 放送の番組のダビングについて

4K 放送の番組をディスクにダビングする場合、ディスクによって選択できる録画モードは異なります。



* 録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K 8 ～ 12 倍録」に設定して **BD-RE** **BD-R** に画質変更ダビングはできません。いったん「録画モード変換」(→128) で「4K 4.5 倍録」から「4K 8 ～ 12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください。

4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R の他の機器での再生について

4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R は、他の機器では再生できない場合があります。4KDR モードの番組の場合、設定「4KDR のダビング方式」(→178) を「ダビング方式 2」に変更すると、他の機器でも再生できる場合があります。

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。(→12)

放送中の番組を録画する

HDD

この操作では通常録画用 HDD にのみ録画できます。

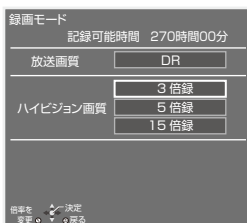
1 地上 BS CS 4K ※ を押す
※ 4X1003 4X403 のみ

2 1 ~ 12 または 録画 を押して、
チャンネルを選ぶ

3 録画モード
① を押す

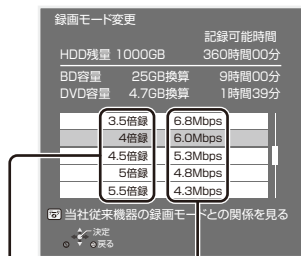
4 録画モードを選び、決定 を押す

例)



- ハイビジョン画質または4K画質を選択時に
[サブメニュー] を押すと、録画モードの倍率
を変更できます。

例)



記録時間の倍率 情報量(ビットレート) ※

※ 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像 (24 Mbps) を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

4X1003 4X403 4K 画質モードの倍率や情報量は、4K 放送 (33 Mbps) を 4KDR モードで録画した場合との比較を表しています。

5 ワンタッチ予約録画 を押す

本体
表示窓



「録画 1」または「録画 2」、「録画 3」が点灯

6 録画の終了方法を選び、決定 を押す

放送中の番組を録画する（続き）

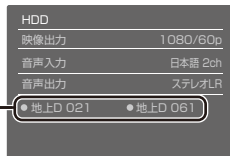
録画中の番組の確認

画面表示

を押す

例) 複数の番組を録画中

録画中の放送局



● 複数の番組を録画するには

手順 1 ～ 6 で別の番組を録画してください。

・ 複数の番組を録画中のチャンネル / 放送切換は、録画中の番組間でのみ行えます。

・ 番組の同時録画について (→ 109)

録画を止める

① ■停止を押す

② 「はい」を選び、決定を押す

● 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組を放送切換やチャンネル切換を行ってテレビ画面に表示させてください。

II一時停止を押す

- もう一度押す、または [ワンタッチ予約 録画 ●] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→ 226、227)
- 録画モードと記録時間の倍率について (→ 106)
- CATV から録画する (→ 108)
- [4X1003] [4X403]
4K 画質モードで録画する場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- ディスクや USB-HDD へは録画できません。
・ 予約録画はできます。([4X1003] [4X403] DVD は除く)
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→ 109) でできない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- 従来のアナログ放送と同様の DVD 画質の番組は、選択した録画モードにかかわらず、画質は DVD 画質相当で録画されます。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。



戻る

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。

例) 全チャンネル表示

選択中の番組紹介

放送の種類

放送局からのお知らせ

パネル広告: データを押すと詳細表示

放送局から送られてくる情報によって番組のジャンルをマークで表示

放送局の3桁チャンネル番号

リモコンのチャンネルボタン番号

短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。

リモコンのボタンの働き

現在の録画モード (→82) 選択中の番組

文字サイズを変更するには [停止]を押す

予: 録画予約中の番組 (→208)

番組表・内容の問合せは当該局又はGガイド事務局へ〇〇〇

18:00~18:59 ワールドニュース

00 ニュース

00 映画へのいざない [K2]

00 漫画めぐり

00 ドラマスペシャル

00 スペシャルライブ中継

00 ワールドニュース

00 講座「科学」

00 世界への旅「北極」

00 映像スペシャル2

00 映像スペシャル3

00 映像スペシャル4

00 映像スペシャル5

00 自然発見「アホウドリを追いかけて」

00 ザ・タフニュース

00 ワンタッチ予知

00 録画モード

00 前の時間帯

00 次の時間帯

00 日選択

00 表示文字サイズ変更

00 サブメニュー

00 戻る

00 広告詳細

00 前日

00 翌日

00 注目番組一覧

00 チャンネル別表示

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮）を色分け表示しています。

お知らせ

● 番組表のデータ受信について

本機の番組表は、放送局から送られてくる番組表のデータと G ガイドから送られてくる番組表のデータを基に表示しています。それぞれの番組表のデータを受信するタイミングは異なります。

- ・放送局から送られてくる番組表のデータは、その放送局を視聴するとすぐに受信することができます。
- ・G ガイドから送られてくる番組表のデータは、電源「切」時に受信します。（時間帯によっては受信できるまでに1日程度かかる場合があります）

● 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

● 4X1003 4X403 番組表に8K放送が表示される場合がありますが、本機で視聴・録画することはできません。

番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 BS/CS 4K※ を押す

※ 4X1003 4X403 のみ

番組表の見方 (続き)

表示の切り換え

番組表の表示を変更することができます。

■ 停止 を押す

④ 文字のサイズを変更するには

〔青〕〔赤〕を押す

④ 表示チャンネル数を変更するには

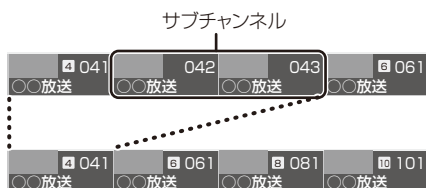
〔◀◀ スキップ〕〔▶▶ スキップ〕を押す

④ 番組詳細の表示を切り換えるには

〔緑〕を押す

④ サブチャンネル表示を切り換えるには

〔黄〕を押す



● お知らせ

- サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り換え

- 全チャンネル表示時のみ

青 (前日) 赤 (翌日) を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

① 一時停止 を押す

② 日付を選び、決定 を押す

● お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→185)を「入」にすると、1か月の番組情報を取得することができます。(2024年9月現在、1か月の番組情報を取得できる放送局はWOWOW、スター・チャンネルのみです)

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

① 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

② 黄 を押す

時間帯の切り換え

スキップ または スキップ を押す

その他の表示設定

番組表表示中に

① S を押す

② 項目を選び、設定する

新番組／特番お知らせ	新番組や特番を一覧で表示します。(→97)
表示・文字サイズ変更	〔青〕または〔赤〕で、番組表の文字サイズを変更します。
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ● お好み番組表は、「お好みチャンネル」(→63)で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ● 全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ● チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ● 全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ● 「設定チャンネル」は、チャンネル設定されているPo1から36までのチャンネルを表示します。 ● 番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(→94)
ジャンル別表示 ● 全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。
視聴制限一時解除	暗証番号(→186)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。

番組表 (G ガイド) を使って通常の予約録画をする

- お買い上げ直後は、すべての番組表の情報が表示されません。番組表のデータ取得には1日程度時間がかかる場合があります。

4X1003 4X403

● **HDD** **BD-RE** **BD-R** **USB-HDD**

(通常録画用フォーマット) に予約録画できます。

- 4K 放送の予約録画については (→91)
- ディスクへは、DR モードで1番組のみ予約できます。(4K 放送は予約録画できません/DVD には予約録画できません)

2X603 2X303 2X203

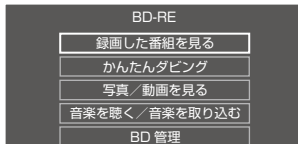
● **HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**

USB-HDD (通常録画用フォーマット) に予約録画できます。

- ディスクへは、1番組のみ予約できます。(ビデオ方式のDVD には予約録画できません)

ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、**[戻る]** を押して画面を消してください。

例)

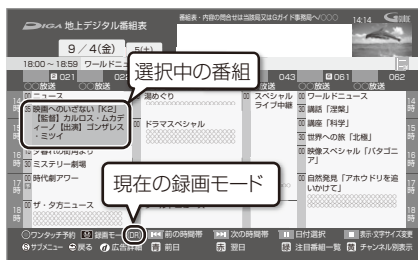


ディスクへは、1番組のみ予約できます。

- 追加チャンネル (→77) が登録されている場合、ディスクへは録画されず、HDD へ代替録画されます。(→78)

1 **[決定]** を押す

2 番組を選ぶ



別放送の番組表を見るには

[地上][BS][CS][4K*] を押す

※4X1003 4X403 のみ

現在の録画モードを変更するには

[録画モード] を押す

番組を検索するには
(→94, 95)

3 **[決定]** を押す

[決定] の代わりに

ワンタッチ予約
録画 を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(「予」が表示されます)

- HDD に予約します。
- 手順 4、5 の操作は不要です。



4 「番組予約へ」を選び、**[決定]** を押す



表示マークについては (→208)

多重音声の番組には以下のマークが表示されます。

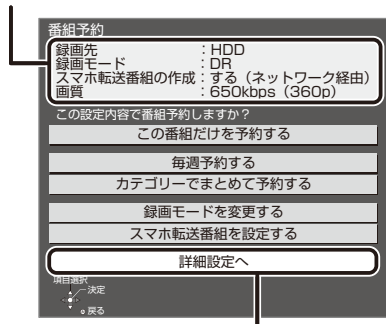
信号: マルチ音声 主+副: 二重音声

- 「関連情報」を選ぶと、選択している番組に関連した情報から番組を検索します。(→94)
- 「番組詳細内容」の取得には時間がかかる場合があります。

番組表（G ガイド）を使って通常の予約録画をする（続き）

5 項目を選び、**決定**を押す

予約内容を確認してください。



- ディスクやUSB-HDDに予約録画する場合は、「詳細設定へ」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

この番組だけを予約する：

この番組のみ予約を登録

毎週予約する：

毎週同じ曜日に予約を登録

カテゴリでまとめて予約する：

お好みの番組を自動で登録（→102）

録画モードを変更する：

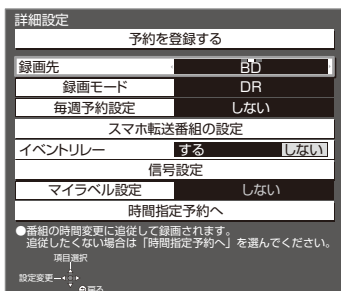
録画モードを変更（変更後、「この番組だけを予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

スマホ転送番組を設定する：

スマートフォンなどへ転送するための番組を作成（→160）

詳細設定へ：

録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更（→91）



録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを**毎日・毎週**予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。（→99）

■ まとめ表示について **まとめ** **HDD** **USB-HDD**

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。（→116）

（「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く）

■ 前回の番組を消去して録画するには
（自動更新） **HDD**

「自動更新」（→91）を設定しておく、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

- 未視聴の場合でも自動更新されます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、録画一覧表示中、HDD の番組を再生中、ダビング中は自動更新されません。（別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます）

● **お知らせ**

- 複数の番組を予約する場合は、手順 1 ～ 5 の操作を繰り返してください。予約済みの番組を重複して予約することはできません。
- 本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- **4X1003** **4X403**
USB-HDD に 4K 放送を予約したい場合や複数の番組を同時に録画したい場合は、USB3.0 対応の USB-HDD を使用してください。（→47）
- 本機で録画した USB-HDD の番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。
- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。

番組表（G ガイド）を使って通常の予約録画をする（続き）

4X1003 4X403

4K 放送の予約録画について

- HDDとUSB3.0対応のUSB-HDDにのみ予約できます。（USB3.0 非対応の USB-HDD とディスクには予約できません）
- 4K 放送の予約録画は最大 2 番組まで同時に録画できます。ただし、追加チャンネル（4K 放送の全自動録画含む）を登録している場合は、同時録画は 1 番組のみです。
- 4K 画質モードで録画する場合、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
- 1.5 ～ 15 倍録モードで録画できません。

詳細設定をする

90 ページ手順 5 など「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する

詳細設定

予約を登録する

録画先

録画モード

毎週予約設定

スマホ転送番組の設定

イベントリレー

信号設定

マイラベル設定

時間指定予約へ

●番組の時間変更に応じて追従して録画されます。追従したくない場合は「時間指定予約へ」を選んでください。

項目選択

設定変更 → 戻る

- 2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、**決定**を押す

録画先	録画先を選びます。
4X1003 4X403 予約チューナーの設定 (予約修正時のみ)	録画するチューナーを変更することができます。 ●予約の重複時に変更すると重複が解除できる場合があります。
録画モード	録画モード (→82、83) を設定します。 ●4X1003 4X403 BD に予約録画する場合は、録画モードは DR モードとなります。
毎週予約設定	「毎週予約」(→90) を設定する ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。
スマホ転送番組の設定 HDD	録画時にスマホ転送番組も作成するように設定をします。(→160)
イベントリレー	「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます) 例) 時間 → 9:00 12:00 A局 野球中継 (放送終了時間まで) B局 野球中継 (延長部分) 12:00 13:00 引き続き録画
お知らせ ●毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 ●録画先が“BD”の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。 ●他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。	

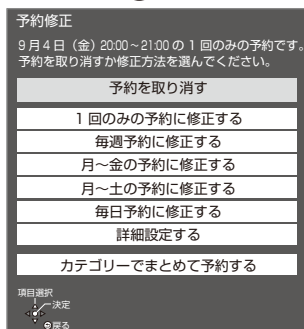
番組表（Gガイド）を使って通常の予約録画をする（続き）

信号設定	複数の音声や映像の信号があるときに設定します。 ①項目を選び、設定する ②[戻る]を押す お知らせ - 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 （詳しくは →82、83） - 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧（→111）で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。（→127） ラベルを選び、[決定]を押す - 選択したラベルが録画一覧にならない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 - マイラベル名は変更することができます。（→111「分類ラベル設定」）
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 （→98「時間指定予約」）

番組表での予約の取り消し / 修正

1 が表示されている番組を選び、を押す。

2 項目を選び、を押す



☞「詳細設定する」を選んだ場合
「番組予約」のときは（→91「詳細設定」）
「時間指定予約」のときは（→98「時間指定予約」）

☞「カテゴリーでまとめて予約する」を選んだ場合（→102）

録画中の予約録画を止める

1 テレビ視聴中に

停止 を押す

●複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 「はい」を選び、を押す

番組表（Gガイド）を使って通常の予約録画をする（続き）

注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に

を押す

2 放送を選び、を押す

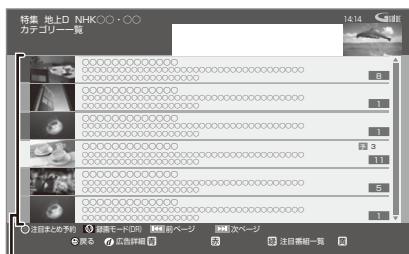
- 各放送の全チャンネルを選んだ場合、手順4へ進んでください。



インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→185)を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
(2024年9月現在、注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)

カテゴリーを選び、を押す



カテゴリー

カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには

【ワンタッチ予約録画●】を押す

- 「予」が表示され、予約は完了します。
- 録画された番組は、番組になります。

放送を変更するには

【緑】を押す (→手順2へ)

4 番組を選び、を押す

カテゴリー

前後のページを見るには

【◀◀ スキップ】【▶▶ スキップ】を押す

他のカテゴリーを表示するには

【青】【赤】を押す

（【|| 一時停止】を押してカテゴリーを選択することもできます）

放送を変更するには

【緑】を押す (→手順2へ)

録画モードを変更するには

- ① 【録画モード】を押す
- ② 録画モードを選び、【決定】を押す

5 「番組予約へ」を選び、を押す

（「番組予約」のときは→90手順5）

（「時間指定予約」のときは→98手順3）

番組表（G ガイド）を使って通常の予約録画をする（続き）

ジャンルや人名、ワードで検索する

1 番組表表示中に

サブメニュー
S を押す

サブメニュー
S の代わりに

検索 を押すと、

フリーワードまたは検索履歴から、番組を検索することができます。
(→95)



2 「番組表の検索」を選び、決定を押す

3 検索方法を選び、決定を押す

フリーワード検索
ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

① 検索条件を選び、決定を押す

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには
[地上][BS][CS][4K*]を押す
※4X1003 4X403のみ

別の日の検索結果を表示するには
[青]（前日）[赤]（翌日）を押す
（検索結果画面表示中に、[■一時停止]を押して日付を選択することもできます）

② 番組を選び、決定を押す

③ 「番組予約へ」を選び、決定を押す
(→90 手順5)

フリーワード検索

「検索条件」（フリーワード）入力欄を選んで決定を押し、入力画面で文字を入力する（→174）

- フリーワードは詳細条件を設定して検索することができます。[緑]を押すと設定画面が表示されます。

フリーワード	除外ワード
1	1
2	2
3	3
4	4
検索方法	いずれかのフリーワードを含む
放送種別	指定しない
ジャンル	指定しない
サブジャンル	指定しない
検索実行	

フリーワード	番組を検索する際の手掛かりとなる語句 ●番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容（→89 手順4）の文字情報から検索します。 登録したフリーワードを削除するには 削除したいフリーワードを選び、[黄]を押す
除外ワード	番組を検索する際に、検索対象から除外する語句 登録した除外ワードを削除するには 削除したい除外ワードを選び、[黄]を押す
検索方法	フリーワードを複数設定した場合の検索条件 ●「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。 ●「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれかひとつでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。
放送種別	放送の種類
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細

検索条件によって表示される項目は異なります。

番組を検索する

複数の検索条件を組み合わせて、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 検索を押す

2 検索対象で「通常録画 (HDD)」または「通常録画 (USB-HDD)」を選ぶ

3 検索条件を設定する (→96)



- 放送開始前の番組を検索する場合は [赤] を押し、番組表検索をします。

- ☞ フリーワード (1 単語) を入力するには
フリーワード入力欄を選んで [決定] を押し、入力画面で文字を入力する。(→174)

- ☞ 検索履歴を使うには
検索履歴の一覧から条件を選び、[決定] を押す。

- フリーワード、履歴ともに詳細条件を設定して検索することができます。[緑] を押すと設定画面が表示されます。(→96 「検索条件について」)

4 検索結果から番組を選び、再生や編集の操作をする

お知らせ

- 録画番組検索結果は、最大 500 件まで表示します。
- 録画中の番組は、検索の対象になりません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、番組の検索ができません。

予約する (「番組表」選択時)

- 1 番組を選び、**決定** を押す
- 2 「番組予約へ」を選び、**決定** を押す (→90 手順 5)

再生する (「通常録画 (HDD)」または「通常録画 (USB-HDD)」選択時)

- 番組を選び、**決定** を押す

編集する (「通常録画 (HDD)」または「通常録画 (USB-HDD)」選択時)

- 番組を選び、サブメニュー **S** を押す

(→125 「番組を編集する」手順 3)

- [緑] を押して操作することもできます。

- ☞ チャプターを編集するには
[サブメニュー] を押して「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す (→129 手順 4)
- 番組を複数選択するには、番組を選んで [青] を押すを繰り返します。

消去する (「通常録画 (HDD)」または「通常録画 (USB-HDD)」選択時)

- 1 番組を選び、**黄** を押す
- 2 「消去」を選び、**決定** を押す

ブックマーク登録する (「通常録画 (HDD)」選択時)

- 番組を選び、**早送り** を押す

番組内容

- 番組を選び、番組内容 **●** を押す

お気に入り登録する

- 検索履歴を選び、**早送り** を押す

番組を検索する（続き）

検索条件について

フリーワード	番組を検索する際の手掛かりとなる語句 ● 番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容（→89 手順 4）の文字情報から検索します。  登録したフリーワードを削除するには 削除したいフリーワードを選び、[黄] を押す
除外ワード	番組を検索する際に、検索対象から除外する語句  登録した除外ワードを削除するには 削除したい除外ワードを選び、[黄] を押す
検索方法	フリーワードを複数設定した場合の検索条件 ● 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。 ● 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれかひとつでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。
検索対象	録画番組の保存先や録画方法 ● 「家じゅう」は、お部屋ジャンプリンクで接続された機器の中から番組を検索することができます。 ● 「家じゅうラベルの表示」（→184）を「入」にすると、表示されます。
検索単位	「番組」または「シーン[®]」単位で検索（検索対象が番組表の場合は表示されません） ※ 本機をインターネットに接続し、ディモラのサービスに登録する必要があります。  ディモラのサービス登録について（→42）
放送種別	放送の種類
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細

検索条件によって表示される項目は異なります。



戻る

新番組 / 特番 / 初放送の確認や予約をする

4X1003 4X403

● HDD BD-RE BD-R

USB-HDD (通常録画用フォーマット)

2X603 2X303 2X203

● HDD BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR

USB-HDD (通常録画用フォーマット)

本機は新番組や特番、テレビ初放送の映画を一覧で表示できます。

表示マーク	表示条件
新番組: 新	新、<新>、<新番組>、 <新シリーズ>の表示がある番組
特番(地上D): 特	放送時間が1時間45分以上で、番組開始時刻が18時から23時59分までの地上デジタルの番組
初放送(映画): 初	「初放送」、「地上波初」など「初」の表示がある映画の番組

1 機能一覧 を押す

2 「録る」を選び、を押す

3 「新番組 / 特番おしらせ」を選び、を押す

4 番組を選び、を押す

- [決定]の代わりに[ワンタッチ予約 録画 ●]を押すと、現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(HDDに予約します)



前後のページを見るには

[◀ スキップ] [▶ スキップ] を押す

他のジャンルを表示するには

[赤] を押す

放送を変更するには

[青] を押す

「新番組」、「特番(地上D)」、「初放送(映画)」

それぞれで表示するには

[緑] を押す

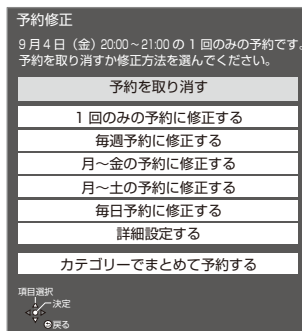
録画モードを変更するには

- ① [録画モード] を押す
- ② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 「番組予約へ」を選び、を押す
(→90 手順5)

■ 予約済みの項目を修正する

- ① が表示されている番組を選び、を押す
- ② 項目を選び、を押す



「詳細設定する」を選んだ場合
(→91 「詳細設定」)

お知らせ

- 新番組を[ワンタッチ予約 録画 ●]で予約をした場合、第1話しか予約されません。毎週予約に変更する場合は、もう一度[ワンタッチ予約 録画 ●]を押して毎週予約に修正をしてください。
- 表示条件が2つ以上重なる番組の表示マークは、「新番組」、「初放送(映画)」、「特番(地上D)」の優先順位で表示します。

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

4X1003 4X403

● HDD BD-RE BD-R

USB-HDD（通常録画用フォーマット）

2X603 2X303 2X203

● HDD BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR

USB-HDD（通常録画用フォーマット）

1 予約確認を押す

2 ワンタッチ予約録画を押す

3 予約内容を設定する
（→ 右記「時間指定予約」）

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、**決定**を押す

予約内容の設定

時間指定予約

- 項目を選び、設定する（→ 下記）
- 設定が終了したら、
左記手順4へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 （→91「毎週予約設定」）
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ● [◀] または [▶] を押したままにすると15分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
4X1003 4X403 予約チューナーの設定 （予約修正時のみ）	録画するチューナーを変更することができます。 ● 予約の重複時に変更すると重複が解除できる場合があります。
録画モード	録画モード（→82）を設定します。
スマホ転送番組の設定 HDD	スマホ転送番組作成の設定をします。（→91）
番組名入力	● 文字入力について（→174） ● 入力なくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。（→92）

お知らせ

- 暗証番号に関する表示が出たとき
デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号（→186）の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る]を押すと予約できます。
- 本機の日時が間違っている場合は、日時設定を行ってください。（→175「日時設定」）
- 番組追従機能（→104）は働きません。
- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

- [◀][▶] を押して、「カテゴリーまとめて予約一覧」を選ぶと、カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消しができます。
(→103「カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し」)



予約状況がマークで表示されます。

- 「❗」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 毎日・毎週予約で HDD の残量が少ないため数週間後の予約ができない場合、「❗」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。
- 表示マークについては (→208)
- 実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。
(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます → 右記)

お知らせ

- [予約確認] を 3 秒以上長押しすると、音声ガイドの設定画面が表示されます。

予約の取り消し

を押す

- 「探して毎回予約」の場合、テレビ側の予約も取り消してください。

予約内容の修正

- ①  を押す
- ② 「修正」を選び、 を押す
(「番組予約」のときは →91「詳細設定」)
(「時間指定予約」のときは →98「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

- ①  を押す
 - ② 「毎週一覧」を選び、 を押す
- 予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(→105)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める(一時解除)

- ① サブメニュー  を押す
 - ② 「予約実行切」を選び、 を押す
- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
 - [サブメニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[LAN 経由(スカパー！プレミアムサービスや CATV)で録画中の番組を除く]

視聴制限の一時解除

暗証番号 (→186) を入力して視聴制限を一時解除します。

- ① サブメニュー  を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、 を押す
- ③  ~  で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

- ① サブメニュー  を押す
 - ② 「履歴一覧表示」を選び、 を押す
- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

- ① サブメニュー  を押す
 - ② 「履歴削除」を選び、 を押す
 - ③ 「はい」を選び、 を押す
- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

自動予約する

おまかせ番組を自動で予約録画する

設定した録画条件から番組を毎日検索し、自動で予約録画します。

- 予約先は **[HDD]** になります。
 - 録画モードは以下で予約録画されます。
 - [4X1003]** **[4X403]** 4K 放送：4K 2 倍録
 - 地上 D/BS/CS 放送：5 倍録
 - 録画モードを変更したい場合は、「録画モードを設定する」(→101) で設定してください。
 - おまかせ録画は最大 1 2 個まで登録できます。
- 🔍 自動予約機能で予約可能な番組数について (→106)

1 **機能一覧** を押す

2 「録る」を選び、 を押す

3 「おまかせ録画予約」を選び、**決定** を押す

- 本機を電源「入」にしたあとに初めて、「おまかせ録画予約」を起動した場合は、プロフィール選択画面が表示されます。

4 「未登録」を選び、 を押す

- 登録済みのおまかせ録画を変更するには、項目を選び、**[青]** を押してください。



5 検索方法を選び、条件を設定する

- 🔍 **フリーワード (1 単語)** を入力するには
フリーワード入力欄を選んで **[決定]** を押し、入力画面で文字を入力する。(→174)

- 🔍 **検索履歴** を使うには
検索履歴の一覧から条件を選び、**[決定]** を押す。

- フリーワード、履歴ともに詳細条件を設定して検索することができます。**[緑]** を押すと設定画面が表示されます。(→ 右記「録画条件について」)

6 すべての設定が終了したら、**決定** を押す

録画条件について

フリーワード	番組を検索する際の手掛かりとなる語句 🔍 登録したフリーワードを削除するには 削除したいフリーワードを選び、 [黄] を押す
除外ワード	番組を検索する際に、検索対象から除外する語句 🔍 登録した除外ワードを削除するには 削除したい除外ワードを選び、 [黄] を押す
検索方法	フリーワードを複数設定した場合の検索条件 ●「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。 ●「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれかひとつでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。
放送種別	放送の種類 ●「お好み」は、「お好みチャンネル」(→63) で登録されている放送局です。
ジャンル	ドラマ、スポーツ、音楽などのキーワード
サブジャンル	「ジャンル」の詳細

🔍 お知らせ

- おまかせ録画の自動予約を取り消す場合は、登録済みのおまかせ録画を取り消してください。(録画条件の初期化) (→101)
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→106 「自動予約する番組の優先順位について」)

自動予約する (続き)

自動消去設定

おまかせ録画で予約録画された番組は、自動的に消去することができます。

自動消去は本機の電源「切」時に実行します。

100 ページ手順 3 のあと

① **■-時停止** を押す

② 項目を選び、**決定** を押す

- 自動消去の対象から外したい番組は、「プロテクト設定」(→ 右記) または「おまかせ録画から除外」(→ 102) を設定してください。
- 「HDD の残量が少なくなったら自動消去する」の場合、録画日時が古い順に最大 20 番組を自動消去します。

● **お知らせ**

- 本機の電源「入」時や予約録画中などは、自動消去は実行されません。

録画モードを設定する

おまかせ録画ごとに録画モードを設定できます。

100 ページ手順 3 のあと

① 登録したおまかせ録画を選び、**赤** を押す

② 録画モード (→ 82) を設定する

おまかせ録画予約の確認、修正、登録の取り消し

100 ページ手順 3 のあと

■ 予約済み番組を確認する

① 確認したい項目を選び、**決定** を押す

② **サマリー** を押す

③ 「登録済み予約」を選び、**決定** を押す

- 予約番組を修正したい場合：「登録済み予約」では確認のみできます。予約された番組を修正したい場合は、予約一覧 (→ 99) で修正してください。

■ 登録済みのおまかせ録画を取り消す

選択したおまかせ録画のみを取り消し、自動予約されなくします。(録画条件の初期化)

① 登録した項目を選び、**緑** を押す

② 「はい」を選び、**決定** を押す

- 予約済みの予約は取り消されません。予約一覧 (→ 99) で取り消してください。

おまかせ録画した番組を再生する

1 **機能一覧** を押す

2 「録る」を選び、**決定** を押す

3 「おまかせ録画予約」を選び、**決定** を押す

- 本機を電源「入」にしたあとに初めて、「おまかせ録画予約」を起動した場合は、プロフィール選択画面が表示されます。

4 項目を選び、**決定** を押す

5 番組を選び、**決定** を押す

おまかせ録画の一覧から番組を消去する

上記手順 4 のあと

① 消去したい番組を選び、**黄** を押す

② 「消去」を選び、**決定** を押す

- 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、本機から消去されません。再生中に [消去] を押して番組消去を行うと、その番組は本機から消去されます。

プロテクト設定 / 解除

自動消去などで記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに保護する設定ができます。

上記手順 4 のあと

① 番組を選び、**緑** を押す

② 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定** を押す

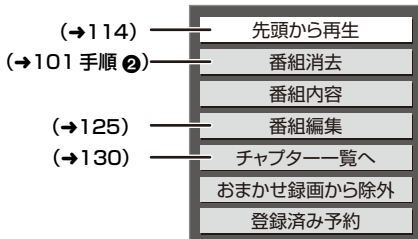
- プロテクト設定すると「**ロック**」が表示されます。
- 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、その番組もプロテクト設定 / 解除されます。

自動予約する (続き)

おまかせラベルの便利な機能

101 ページ「おまかせ録画した番組を再生する」の
手順 4 のあと

- 番組を選び、を押す
- 項目を選び、を押す (→ 下記)



番組内容	番組の内容が確認できます。  画面を消すには [決定]を押す
おまかせ録画 から除外	おまかせラベルで表示させなくし ます。 「すべて」ラベル (→112) から は番組を見ることができます。
登録済み予約	おまかせ録画で録画予約した番組 を表示します。

お知らせ

- おまかせ録画により、自動で録画された番組には「」が表示されます。
- 「おまかせ」ラベルでは、新しく録画された番組がある場合には、「」が表示されます。
- 録画一覧 (→111) の「すべて」ラベルでは  番組として、まとめ表示されます。
・  の番組を消去した場合、おまかせラベルでも番組は表示されなくなります。

関連する番組を自動で予約録画する
(カテゴリーまとめて予約)

お好みの番組に関連するカテゴリーの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

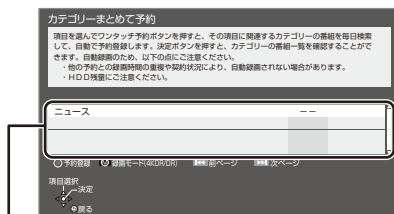
- **HDD** に予約します。
- 登録できる項目数は 32 個までです。
- ② 自動予約機能で予約可能な番組数について (→106)

選択した番組から探す

選択している番組に関連した項目から番組を自動で予約録画します。

- 番組予約画面 (→90 手順 5) 表示中に「カテゴリーでまとめて予約する」を選び、
を押す
 - 選択している番組に関連するカテゴリーの番組の情報がない場合、選択できません。

- 表示されている項目を選び、を押す



選択している番組に関連した項目が表示されます。

- 録画モードを変更する場合は、[録画モード]を押して、録画モードを選んでください。

- 「予約する」を選び、を押す

自動予約する (続き)

カテゴリまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し

1  を押す

2  を押して、
「カテゴリまとめて予約一覧」を選ぶ

■ 予約済み番組を確認する

確認したい項目を選び、 を押す

- 予約番組を修正したい場合：

① 修正したい番組を選び、
[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

② 項目を選び、[決定] を押す
詳細設定について (→91)

(予約番組を修正すると、カテゴリまとめて予約の番組ではなくなります)

■ 登録済みの項目を取り消す

① 登録した項目を選び、 を押す

② 「はい」を選び、 を押す

- すでに予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧 (→99) で取り消してください。

お知らせ

- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。

(→106「自動予約する番組の優先順位について」)

契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

予約録画の便利な機能

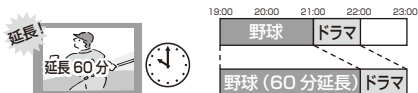
ディスクやUSB-HDDの残量不足などに対応 (代替録画)

残量不足や未挿入、未接続などの理由でディスクやUSB-HDDに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始からHDDに録画します。

番組追従機能

■ 野球中継などの番組延長に対応

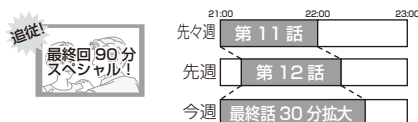
予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3時間までの変更に対応)



- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■ 毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

(開始 / 終了時刻の3時間までの変更に対応)



- 番組表の更新を基に働くため、更新状態（番組名の変更など）によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

🔒 番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(→98)

🔒 お知らせ

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- **2X603** **2X303** **2X203** DVD画質の予約を代替録画すると、HDDには3倍録モードで録画します。

🔒 お知らせ

- 時間指定予約では番組追従機能は働きません。
- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ

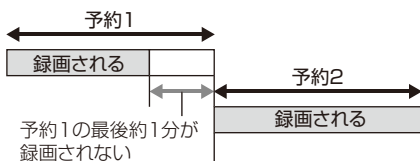
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることができます。(録画に影響はありません)

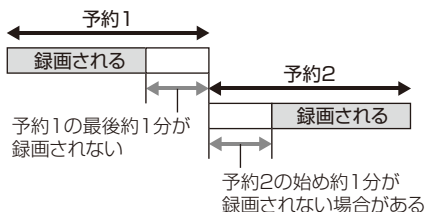
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

以下の場合、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。

- 複数の番組を録画できない状態のとき
- USB3.0 非対応の USB-HDD に予約しているとき



次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されない場合があります。



- 前の予約の録画終了時刻に近づく、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。
- [4X1003]** **[4X403]**「予約チューナーの設定」で録画するチューナーを予約1と予約2で異なるように変更すると、番組の最後まで録画できる場合があります。(➡91、98)

HDDの残量が少なくなったときの予約録画について

HDD の残量が少なくなると、本機の電源状態／再生状態／同時録画数などの条件によっては、HDD 残量不足のために番組の途中までしか録画できない場合があります。HDD 残量が少なくなった場合は、不要な番組を消去して残量を増やしてお使いください。

予約番組が重なっているとき
(90 ページ手順 5 などのあと)

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。

画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

予約重複確認

予約が重複しています。
予約が実行されない場合があります。
予約重複確認画面を表示しますか？

はい

いいえ

項目選択 → 決定
戻る

例)

予約重複確認

選択中の予約と時間帯が重なる予約を表示しています。○ が付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。重複を解消するには、いずれかの予約を修正してください。

9月4日(金)	地上D	HDD	06:1	DR	00:00-01:00	録画	予約
9月4日(金)	地上D	HDD	02:1	DR	00:00-01:00	○	録画
9月4日(金)	地上D	HDD	08:1	DR	00:00-01:00	○	録画
9月4日(金)	地上D	HDD	01:1	DR	00:00-01:00	○	録画

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、**[決定]**を押すと、予約の修正ができます。

[4X1003] **[4X403]**「予約チューナーの設定」で録画するチューナーを変更すると予約の重複を解除できる場合があります。(➡91、98)

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

例)

DVBS 予約一覧

16:14 番組表

番組の予約一覧(4)

予約の予約一覧(0)

HD放送 1:11

DR

HDD放送 55:3

9月4日(金) 地上D HDD

20:00-21:00 DR

○○

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

- LAN 経由 (スカパー！プレミアムサービスや CATV) の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ (続き)

自動予約機能で予約可能な番組数について

- 以下の録画予約は合計 128 番組まで可能です。
 - ・ おまかせ録画 (➔100)
 - ・ カテゴリーまとめて予約 (➔102)

自動予約する番組の優先順位について

本機は、以下の優先順位で予約します。

予約の重複が起こった場合は、優先順位の低い自動予約は登録されません。

- ① 検索条件が「ジャンル」のおまかせ録画 (➔100)
- ② カテゴリーまとめて予約 (➔102)

同じ種類の予約録画が重なった場合、複数の番組を録画 (➔109) できないときは、以下の優先順位で予約します。

- ① 開始時刻の早い番組を優先
- ② 開始時刻が同じときは、4K 放送、地上デジタル、BS デジタル、CS デジタルの順で番組を優先
- ③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

再放送の録画について

「おまかせ録画」や「カテゴリーまとめて予約」では、同じ番組を二度録画するのを防ぐために、番組名に「第 2 話」や「#2」などの話数を含む番組（連続ドラマやアニメなど）を録画したことがある場合、その再放送は約 180 日間録画予約しません。

（ただし、途中で録画を中断した番組の再放送は録画予約します）

- 一度録画した番組の再放送も録画予約するには、「再放送の録画」(➔178) を「録画する」に変更してください。

画質と記録時間について

4X1003 | 4X403 | 4K 画質モードの場合

長時間の録画モードで録画する場合、映像によってはブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、4KDR モードなど高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

ハイビジョン画質モードの場合

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4 倍録～ 15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR モードや 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

4X1003 | 4X403

4K 画質モードの録画について

- 4K 放送の番組を 4K 画質モードで予約録画する場合は、いったん 4KDR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

DR モード切り換えについて

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、4K 放送番組の視聴、再生やダビング、お部屋ジャンプリンクなどを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例) **BD-V** 再生時

再生を開始します。

ハイビジョン画質で録画中の番組を DR モードに切り換え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。（電源「切」時に予約録画などで本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

- 変換前に一部の編集を行うことはできません。

変換が終了しているか確認するには (➔128)

また、1.5 ～ 15 倍録モードで複数の番組を録画中、HDD の残量が少ないときは再生やダビングなどができない場合があります。

録画モードと記録時間の倍率について

例)

録画モード変更		記録可能時間
HDD 残量	1000GB	360時間00分
BD 容量	25GB 換算	9時間00分
DVD 容量	4.7GB 換算	1時間39分
3.5倍録	6.8Mbps	
4倍録	6.0Mbps	
4.5倍録	5.3Mbps	
5倍録	4.8Mbps	
5.5倍録	4.3Mbps	
☒ 当社従来機器の録画モードとの関係を見る ☐ 決定 ☐ 戻る		

記録時間の倍率 情報量(ビットレート)※

※ 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像 (24 Mbps) を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

4X1003 | 4X403 | 4K 画質モードの倍率や情報量は、4K 放送 (33 Mbps) を 4KDR モードで録画した場合との比較を表しています。

録画モードと記録時間の目安 (➔226)

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーから録画する



ネットワークで接続すると、スカパー！プレミアムサービス対応チューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

- サービスについては、当社ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/bd/network/hd_rec/

接続と設定

- ネットワーク接続と設定をする（安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください）（➔30、31、37）
- お部屋ジャンプリンク／スカパー！Link(録画)設定（➔196）

HDD

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体表示窓の「LAN」が点灯します。



- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー！プレミアムサービス対応チューナーの説明書をご覧ください。
- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。（➔99）
 - ・ 録画モードを変更することはできません。
 - ・ 「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
 - ・ 視聴制限のある番組や接続しているチューナーによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

【■ 停止】を押す

- スカパー！プレミアムサービス以外の番組も録画中のときは、「LAN」の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

- 4K 放送番組の録画はできません。
- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- スカパー！プレミアムサービスの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようしてください。
 - ・ 本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。
- （➔175「日時設定」）
 - ・ 予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。（本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります）
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

CATV (ケーブルテレビ) から録画する

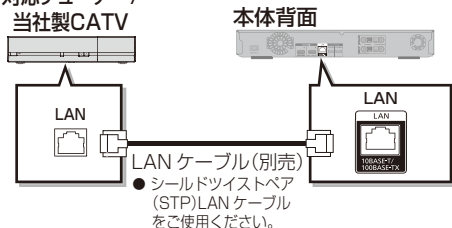
ネットワークを使って録画できる CATV セットトップボックスについては、当社ホームページ (➡12) をご覧ください。

お知らせ

- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング10」の番組でも「1回だけ録画可能」な番組として録画されます。

ネットワークを使って予約する

対応チューナー/
当社製CATV



ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

- ネットワーク接続と設定をする (安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください) (➡30、31、37)
お部屋ジャンプリnk/スカパー! Link (録画) 設定 (➡196)
- 4K 放送番組の録画はできません。

HDD

CATV 側でネットワーク設定と予約の設定をする
録画中は、本体表示窓の「LAN」が点灯します。



- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくは CATV セットトップボックスの説明書をご覧ください。

- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。(➡99)
- ・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
- ・視聴制限のある番組や接続している CATV セットトップボックスによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

- ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、「LAN」の表示のあるチャンネルを選んでください。

お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- CATVの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。
- (➡175 「日時設定」)
- ・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録します。(本機側で予約内容を修正していた場合、修正内容は無効になります)
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

番組の同時録画について

本機でできる最大の同時録画の組み合わせは、以下のとおりです。

- 1 ～ 4 番組目の録画順は自由です。
- 同時に録画できる番組は追加チャンネル (→77) の登録によって変わります。

4X1003 4X403

表の見方

地上・BS・CS放送	録画する放送/入力
DR	録画モード/接続

追加チャンネル未登録時



追加チャンネル登録時



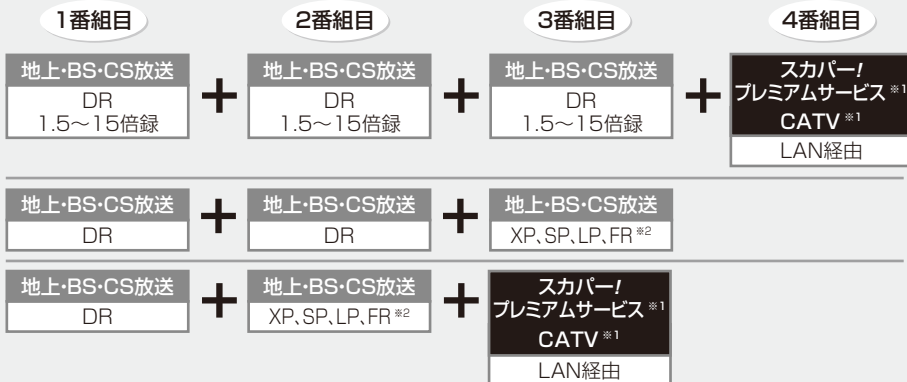
※1 4K画質モードを選んで録画した場合、いったん4KDRモードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。

※2 LAN経由（スカパー！プレミアムサービスやCATV）の番組は、HDDにのみ録画できます。

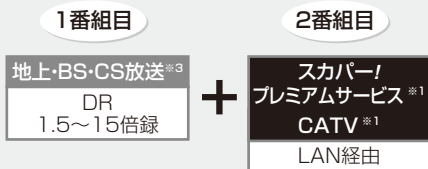
番組の同時録画について (続き)

2X603 2X303 2X203

追加チャンネル未登録時



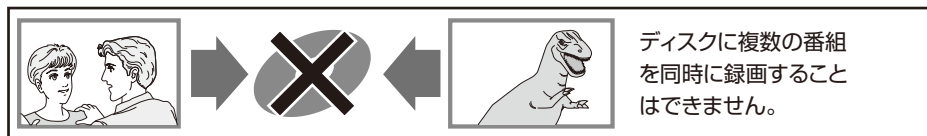
追加チャンネル登録時



※1 LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）の番組は、HDD にのみ録画できます。

※2 XP、SP、LP、FR モードでの録画は DVD にのみできます。

※3 ディスクに予約した場合、HDD に代替録画されます。ディスクにダビングしてください。(➡132、135)



●お知らせ

● 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。

- ・ ディスクから HDD ヘダビング中
- ・ HDD から HDD ヘダビング（複製）中
- ・ USB-HDD から HDD ヘダビング中
- ・ LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画中に新たに LAN 経由の録画はできません。
- ・ ディスクに 1.5 ~ 15 倍録モードで 1 番組、HDD に 2 番組、スカパー！プレミアムサービスの 1 番組の同時録画
- ・ ビエラリンク（HDMI）を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
- ・ USB3.0 非対応の USB-HDD に同時録画する場合

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD (通常録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

例)

4X1003 4X403 4K放送を4KDRモード、4K画質モードで録画した番組には **4K** が表示されます。

ラベル

- [**◀**] [**▶**] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

- 表示を変えるには (→114)

選択中のメディア

残量 / 録画モード

- 変更するには (→85)

表示するラベルを変更するには

- (→114「分類ラベル設定」)

録画番組の録画モード

- 「→4K ○○倍録」、「→○○倍録」が表示中は、録画モード 変換が終了していません。(→128)

選択中の番組

ページ数

- [**◀◀** スキップ] [**▶▶** スキップ] を押すと、前後のページに切り換わります。押したままにすると、素早く切り換わります。

(番組の検索
→95)(ダビング (シーソー覧 (番組編集 (番組消去→125)
→132) →115) →125)

HDD USB-HDD 録画後すぐは「録画済」と表示

(画像は電源「切」時に作成されます)

- 表示される画像を変更するには (→127「サムネイル変更」)
- 「家じゅう」「ディスク」「USB-HDD」(SeeQVault フォーマット) の場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約やカテゴリまとめて予約で録画した番組は、録画一覧では **まとめ** 番組として表示されます。**まとめ** 番組を選び、**決定** を押すと、**まとめ** 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示される残量は、DR モードは BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものととして、
4X1003 4X403 4KDR モードは 4K 放送を 33 Mbps で録画したものととして計算されています。(→226)

録画一覧について (続き)

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう		「お部屋ジャンプリンク」(➡166) で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」(➡184) を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他のディーガの番組を再生した場合、接続機器側の「通信／映像品質の設定」は動きません。映像が途切れたり停止する場合は、機能一覧画面の「お部屋ジャンプリンク」から再生してください。
ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ●BD-V DVD-V では表示されません。
USB-HDD		USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）
HDD	おまかせ	おまかせ録画 (➡100) で録画された番組
	すべて	すべての番組
	ドラマ、映画などの「ジャンル」*	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	最新録画番組*	最新の録画番組から順に 24 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未視聴*	録画してまだ見ていない番組 ●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は、「未視聴」から除外されます。
	カテゴリー まとめて番組*	カテゴリーまとめて予約 (➡102) で録画された番組
	マイラベル*	「マイラベル設定」(➡92、127) で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(➡114「分類ラベル設定」)
	撮影ビデオ	●ディスクや USB 機器から取り込まれた動画 (AVCHD) (➡143) ●「動画の編集」を行った MP4 (➡150)

※ 分類ラベル設定 (➡114) で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

通常録画した番組を再生する

通常録画した番組を再生する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD** (通常録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例) **BD-RE**



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、**[決定]**を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 ホットアップメニュー
録画一覧 を押す

2 録画一覧から番組を選び、**[決定]** を押す



- **[まとめ]** 番組を選んで、**[決定]**を押すと、**[まとめ]** 番組内の番組を表示できます。

お知らせ

- 表示マークについては (→211)
- 録画中番組の再生について
 - ・ HDDやUSB-HDDに録画中の番組を再生できます。(追っかけ再生)
 - ・ 録画中に録画済みの番組を再生できます。(同時録画再生) ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。
- 有料放送を録画した番組では、再生時点での契約状況により、放送局からのメッセージが表示されます。
- 他の機器で作成したプレイリストのディスクの再生
 - ① **[機能一覧]** を押す
 - ② 「ディスク・USB」を選び、**[▼]**を押す
 - ③ 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、**[決定]**を押す
 - ④ 「プレイリストを見る」を選び、**[決定]**を押す
- 3D映像を楽しむには (→118)
- **[録画一覧]**を押すと**[BD-V]**や**[DVD-V]**の再生が始まる場合、**[HDD/BD]**を押してドライブをHDDに切り換えてください。

通常録画した番組を再生する (続き)

録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

① 番組を選び、を押す

- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから [サブメニュー] を押してください。

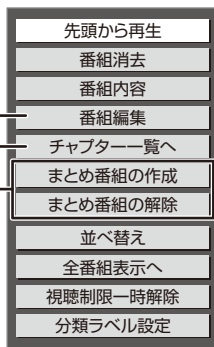
② 項目を選び、を押す (→ 下記)

例)

(→125)

(→130)

(→116)



先頭から再生*	番組を最初から再生します。
 	
番組消去	番組を消去すると、スマホ転送番組も消去されます。 消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。 「消去」を選び、[決定]を押す
番組内容*	番組の内容が確認できます。 ●リモコンの[番組内容]でも確認できます。

一覧を更新
更新を中止

- 「家じゅう」ラベル選択時のみ

「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

並べ替え*

 
(通常録画用フォーマット)

録画一覧に表示する番組の並び順の設定を行います。

- ▶ 録画日時の古い順
- ▶ 録画日時の新しい順
- ▶ 番組名順
- ▶ 番組名逆順

全番組表示へ*
まとめ表示へ
 

表示を切り換えます。

- SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

視聴制限一時解除*

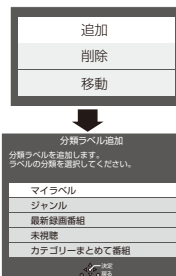
 

「HDD 番組の視聴制限」(→179) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

分類ラベル設定*



録画一覧に表示するラベルを追加、削除、移動します。
例) ラベルを追加する場合



表示させたいラベルを選び、

[決定]を押す

- 追加できるラベルは最大8個です。
- 「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。
- 「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。
 - ① 設定するマイラベルを選び、[決定]を押す
 - ② 「名称変更」を選び、[決定]を押す
(ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください)
 - ③ ラベル名を入力する(→174)

※ 番組に  が付いているときは機能の実行はできません。

通常録画した番組を再生する（続き）

見たいシーンから再生する（シーソー覧）

HDD **USB-HDD**（通常録画用フォーマット）

HDD **USB-HDD**（全自動録画用フォーマット）

インターネットに接続すると、録画した番組のシーソー覧を表示することができます。シーソー覧では、録画した番組の流れを確認することができます。

ディモラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

サービスの登録について（→42）

録画一覧や全自動録画一覧画面上で

① 番組を選び、**一時停止**を押す

- シーソー覧が表示されます。



ディモラ会員登録している場合：

② 見たいシーンを選び、**決定**を押す

- 選んだシーンから再生が始まります。

見どころ一覧を表示するには

上記手順①のあと、**[一時停止]**を押す

- 見どころ一覧で、項目を選び、**[決定]**を押すと、その場面の再生が始まります。

お知らせ

- シーソー覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。
（2024年9月現在）
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。詳しくは、ディモラのホームページ（→42）をご覧ください。
- 以下の番組ではシーソー覧は表示できません。
 - ・ 番組結合した番組
 - ・ BDからダビングした番組
 - ・ シーン情報のない番組
- SeeQVaultフォーマットのUSB-HDDは、シーソー覧は表示できません。
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

通常録画した番組を再生する（続き）

まとめ 番組について

HDD **USB-HDD**（通常録画用フォーマット）
毎日・毎週予約や、カテゴリまとめて予約で録画した番組は、録画一覧画面で「まとめ」番組として表示されます。

- 「まとめ」番組は、「まとめ」番組内で最後に録画や記録された番組の日付で表示します。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する（まとめ再生）

「まとめ」番組を選び、**▶再生
早見**を押す

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、「まとめ」番組内の最後に録画された番組の番組名が付きます。

- 「まとめ」番組名を変更（→125）しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

- 1 番組を選び、**青**を押す
 - ☒ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

- 2 すべて選んだあと、**サ
メニュー**を押す

- 3 項目を選び、**決定**を押す（→下記）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。
まとめ番組から除外	選んだ番組を、「まとめ」番組から外します。 (まとめ番組一覧表示のとき)

お知らせ

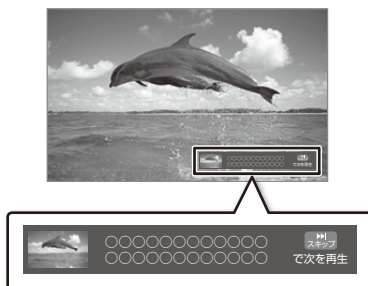
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、まとめ番組の編集はできません。

次エピソードを自動再生する

次に再生するシリーズ番組を通知してそのまま連続で再生します。

- 「次エピソード自動再生」（→177）を「入」にする

- 1 録画一覧の「まとめ」番組内の番組を選び、**決定**を押す
 - 再生中の番組が終わりに近づくと、以下の画面が表示されます。



- 2 再生中の番組を最後まで再生する、または**▶スキャン**を押す

- 次の番組が引き続き再生されます。

お知らせ

- リピート（→122）の設定が有効な時は表示されません。

Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する

BD-V | DVD-V

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合 項目を選び、**決定**を押す



☞メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中：[サブメニュー]を押して、
「トップメニュー」を選ぶ
停止中：[録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す

（[サブメニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ）

☞ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中：[録画一覧]を押す

- 停止中に[1]～[10]を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。

DVD-V：2桁入力 **BD-V**：3桁入力

🔍お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは[■ 停止]を押して停止させてください。
- [録画一覧]を押すと録画一覧が表示される場合、[HDD/BD]を押してドライブをBDに切り換えてください。
- Dolby Atmos®やDTS:X®、AURO-3D®に対応したBDビデオを楽しむには（➡180）

4X1003 | 4X403

Ultra HD ブルーレイを楽しむ

本機は Ultra HD ブルーレイの再生に対応しています。

著作権保護のために、ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。（➡30、37）

Ultra HD ブルーレイを最適に再生するために

4K/HDR で視聴するためには、HDCP2.2*1、4K/60p/4:4:4、Ultra HD ブルーレイ規格のHDR 信号に対応する機器（ディスプレイ）や端子に接続してください。

- HDCP2.2に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で、HDR 信号をダイナミックレンジ変換*2して出力します。また、ディスクによっては正しく再生できない場合があります。
- 4K/60p/4:2:0 まで対応の機器や端子に接続した場合、60p 素材の再生はHDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。
- 4K/60p に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で出力します。
- HDR に対応していない機器や端子に接続した場合、HDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。また、ディスクによっては2K 解像度での出力、または正しく再生できない場合があります。

Ultra HD ブルーレイの再生に関する情報は、下記ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.com/jp/support/recorder/>

※1 HDCP とは不正コピー防止技術の1つです。2.2 はバージョンを表します。

※2 ダイナミックレンジ変換とは、HDR 映像信号を、HDR 入力に対応していないテレビに適した映像信号に変換する機能です。

🔍お知らせ

- 4K/60p/4:4:4 を楽しむためには18 Gbps 対応のHDMI ケーブルが必要です。
- Ultra HD ブルーレイの再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・早見再生（1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速）はできません。
 - ・早送り 1 速時の音声は出力されません。

Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する (続き)

マスターグレードビデオコーディング対応のディスクを楽しむ

スタジオマスターと同等の高階調映像をお楽しみいただけます。

- 「MASTER GRADE VIDEO CODING」(→177) を「入」に設定してください。
- 再生すると、自動的にマスターグレードビデオコーディング (MGVC) として再生されます。

〔画面表示〕を押すと、以下の表示が出ます。



表示を消すときは

表示中に、〔画面表示〕を押す

お知らせ

- マスターグレードビデオコーディングとしての再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・早見再生 (1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速) はできません。
 - ・早送り 1 速時の音声は出力されません。

副映像のあるディスクを楽しむ

例)



- 副映像の音声を出力する場合、「BD ビデオ副音声・操作音」(→180) を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。(→122)

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live は、外部メモリー (ローカルストレージ) に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに USB 機器 (USB メモリー) を利用します。

- ① ネットワーク接続と設定をする (→30、37)
- ② 「BD-Live インターネット接続」(→177) を「有効」または「有効 (制限付き)」に設定する
- ③ 1 GB 以上の残量がある USB 機器を接続する
- ④ ディスクを入れる

- USB 機器に記録された BD ビデオのデータが不要になった場合は、「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。

〔機能一覧〕ボタン→「ディスク・USB」→

「USB 機器」→「BD ビデオデータ消去」で消去を行う

お知らせ

- アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

3D 映像を楽しむ

(3D 対応テレビと接続時のみ)

- テレビ側で 3D の設定など必要な準備を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

- 「3D 設定」(→181)
- 「3D ディスクの再生方法」(→177)

再生中の番組の 3D 設定をする

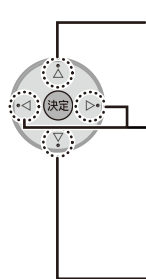
- 「3D 設定」(→124)

再生中のいろいろな操作

ディスクと再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

再生操作画面を切り換える

録画番組の再生中に、[▲][▼][◀][▶]を押して操作画面を表示することができます。



メニュー操作画面

早見再生 (→ 右記)、字幕 / 音声 (→ 121)、シーン一覧 (→ 115)

タイムバー操作画面

[◀][▶]を押すと 10 秒送り / 戻しができます。押したままにすると連続で送り / 戻しします。

プレビューサーチ画面

プレビューサーチ (→ 120)

- プレビューサーチ (→ 120) 非対応のデータ（撮影ビデオ (AVCHD) や動画 (MP4)、ディスクに録画した番組など）の再生時は、メニュー操作画面が表示されないなど表示が異なる場合があります。

停止

■ 停止 を押す

- 再生中に [戻る] を押しても再生を停止できます。

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

(お部屋ジャンプリンクで再生した場合も含む)

- [HDD] [USB-HDD]：番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク：前回止めた位置のみを記憶
 - ・ 記憶した位置は、ディスクトレイを開けると解除されます。(BD-V の場合、前回止めた位置を記憶しているディスクもあります)
 - ・ [BD-V] [DVD-V] ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

■ 一時停止 を押す

- もう一度押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

◀ 早戻し または ▶ 早送り を押す

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。(5 段階)

- [▶ 再生] を押すと、通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。(4KDR モードや 4K 画質モードの番組の再生中、Ultra HD ブルーレイや MP4 動画再生中、市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組の再生中は音声は出ません)

スキップ

再生中または一時停止中に

◀ スキップ または ▶ スキップ を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク (→ 129) がある場合は、その場面に飛びます。

30 秒先へ飛び越す / 10 秒前へ戻す

30秒送り または 10秒戻し を押す

- [DVD-V] 正しく働かない場合があります。

早見再生 (1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速)

再生中、▶ 再生 早見 を押して、再生速度を選ぶ

- [▲] を押して表示されるメニュー操作画面からも操作できます。
- 以下の場合にはできません。
 - ・ [4X1003] [4X403] Ultra HD ブルーレイ
 - ・ 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - ・ 「1080/60p」の表示がある番組
 - ・ [RW] (ファイナライズ後も含む)
 - ・ [MP4] (取り込んだ動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。
- 同時動作や再生番組によっては 1.3 倍速 / 1.6 倍速 / 2.0 倍速再生ができない場合があります。
- [BD-V] [DVD-V] 市販のディスクでは早見再生 (1.6 倍速 / 2.0 倍速) はできません。

再生中のいろいろな操作 (続き)

スロー再生

一時停止中に

または を押す

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、送り方向のみ働きます。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。
- 音声は出ません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

(左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り (戻し) ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り (戻し) します。
- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、コマ戻しはできません。
- **[MP4]** (取り込んだ動画も含む) できません。
- Ultra HD ブルーレイでは、働かない場合があります。

プレビューサーチ

HDD **USB-HDD** (通常録画用フォーマット)
HDD **USB-HDD** (全自動録画用フォーマット)

録画番組の気になるシーンを探して見ることが出来ます。

① 再生中に を押す

② で再生したい位置の画像を選び、 を押す

プレビューサーチを消すには
[戻る] または **[▲]** を押す

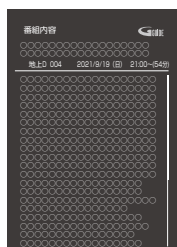
お知らせ

- 編集した録画番組やダビングした番組は、プレビューサーチ用の画像が未作成場合があります。
- 本機の動作状態によって、プレビューサーチ用の画像が未作成場合があります。
- プレビューサーチは「画面表示動作 [オート]」(→176) を「切」にしても消すことはできませんが、約 5 秒後に自動消去します。

番組内容

番組の再生中に

を押す



番組内容を消すには

[戻る]、**[◀]** または **[▶]** を押す

シーン一覧

再生中の番組のシーン一覧を表示します。

(インターネット接続時のみ)

シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。

ディモラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

サービスの登録について (→42)

① 再生中に を押す

② でシーン一覧を選び、 を押す

③ ディモラ会員登録している場合：
 見たいシーンを選び、 を押す



- 再生が終了すると引き続き次のシーンを再生します。

シーン一覧を消すには

[戻る]、**[◀]** または **[▶]** を押す

再生中のいろいろな操作 (続き)

お知らせ

- シーナー一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2024 年 9 月現在)
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。
詳しくは、ディモラのホームページ (→42) をご覧ください。
- 以下の番組ではシーナー一覧は表示できません。
 - ・番組結合した番組
 - ・BD からダビングした番組
 - ・シーン情報のない番組
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

音声や字幕の切り換え

音声 または 字幕 を押す

- [▲] を押して表示されるメニュー操作画面からも操作できます。

表示された再生設定画面で、音声や字幕を切り換えることができます。(詳しくは →122)

- BD-V** **DVD-V** ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- MP4** (取り込んだ動画も含む) できません。

お知らせ

- 他社製機器から記録したスカパー！プレミアムサービスの番組は、字幕表示の入 / 切ができない場合があります。

操作の状態の表示

画面表示

を押す (表示は約 20 秒後に自動消去します)

例) **HDD**



操作の状態を消すときは

操作の状態を表示中に、[画面表示] を押す

お知らせ

ディスクや再生状態 (停止中など) によっては、一部できない操作があります。



戻る

再生設定をする

音声や字幕などの設定をする（再生設定）

1 再生中に

サブメニュー
S を押す

2 「再生設定」を選び、決定を押す

3 メニューを選び、決定を押す

例) BD-V



4 設定項目を選び、決定を押す

- 再生する番組やディスクにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

録画した番組の再生時の音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

字幕スーパーを切り換えたい場合は、「字幕設定」(→186) で設定してください。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕
- ▶ 字幕言語

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ 字幕設定：字幕表示の入 / 切や、言語の選択
- ▶ 字幕スタイル
- ▶ 字幕位置
- ▶ 字幕輝度

アングル

アングルを選びます。

リピート

(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。

- ▶ 番組
- ▶ タイトル
- ▶ チャプター
- ▶ プレイリスト
- ▶ 全曲
- ▶ 1 曲

シャッフル（音楽再生時のみ）

- 「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 [AVCHD]

情報の表示のみ

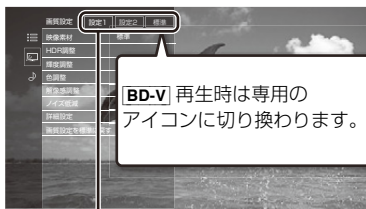
主映像情報 [BD-V]

副映像設定 [BD-V]

- ▶ 映像情報
- ▶ 音声情報

再生設定をする (続き)

画質設定



4X1003 **4X403**

【◀】【▶】で「設定 1」/「設定 2」/「標準」を切り換えます。

- 「設定 1」/「設定 2」は、お好みの設定が登録できます。登録内容は BD ビデオ、Ultra HD ブルーレイ再生時、それ以外の場合で別々に記憶されます。
(お買い上げ時は「標準」と同じ設定です)
- 「標準」の設定は変更できません。

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ

4X1003 **4X403** HDR 調整

HDR の調整をします。

4X1003 ▶ HDR トーンマップ

▶ ダイナミックレンジ調整*

(4K 放送番組、Ultra HD ブルーレイまたは MP4 の HDR コンテンツを HDR 信号で再生時のみ)

▶ ダイナミックレンジ変換調整*

(4K 放送番組、Ultra HD ブルーレイまたは MP4 の HDR コンテンツを通常の映像信号に変換して再生時のみ)

HDR (ハイダイナミックレンジ) 入力に対応していないテレビと接続した場合に、HDR 映像の明暗比 (ダイナミックレンジ) を変換して出力します。

- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

4X1003 ▶ システムガンマ

4X1003 ▶ HDR ディスプレイタイプ

輝度調整

映像の明るさ、黒レベル、白 / 黒階調、システムガンマを調整します。

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

4X1003 ▶ システムガンマ

色調整

色の濃さ、色あいを調整します。

- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きいほうが、より鮮明になります。

4X1003 **4X403** ▶ 解像感 (輝度高域)

4X1003 **4X403** ▶ 解像感 (輝度中域)

4X1003 **4X403** ▶ 解像感 (色)

2X603 **2X303** **2X203** ▶ 解像感

▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きいほうが、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減

※ 設定値を大きくすると、全体的に明るくなります。
設定値を小さくすると、HDR 映像の明暗比がより忠実に再現されます。

再生設定をする (続き)

詳細設定

- ▶ 輝度垂直帯域制限
- ▶ 輝度水平帯域制限
- ▶ 色垂直帯域制限
- ▶ 色水平帯域制限
- ▶ プロGRESS処理

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- 「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。
 - ▶ Auto
 - ▶ Video

2X603 2X303 2X203 24p / 30p 変換出力

- ▶ 切
- ▶ 24p [24p 対応のテレビと接続時のみ]
映画らしい動きで再生することができます。
 - 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「出力解像度」(→181)を「オート」に設定時に4K/24pで出力されます。
 - 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「出力解像度」(→181)を「オート」または「1080i 固定」「1080p 固定」に設定時に1080/24pで出力されます。
- ▶ 30p [4K/30p 対応テレビと接続時のみ]
「出力解像度」(→181)を「オート」に設定時に4K/30pで出力されます。

設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
この設定は再生中のみ有効です。

画質設定を標準に戻す

- 4X1003 4X403 選択している「設定 1」/「設定 2」の画質設定をお買い上げ時の設定に戻します。

音質設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

- ▶ 切
- ▶ ナイトサラウンド*
夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。
- ▶ ハイレゾリマスター (弱 / 中 / 強)*
デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
(サンプリング周波数が96 kHz以下で記録された音声に有効)

- 音声ひずむ場合、「切」にしてください。
- ハイレゾリマスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

DSD-PCM 変換周波数設定

(音楽再生時のみ)
接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

- ▶ 176.4 kHz
- ▶ 88.2 kHz
- ▶ 44.1 kHz

DSD LPF 設定

(音楽再生時のみ)
接続する機器や、お好みの音質に合わせて設定してください。

自動音量調整*

番組とCM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声ひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス*

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ 「HDMI 出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(→180)
(音声は2チャンネルになります)

3D 設定

画面表示の飛び出し量

3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

番組を消去する / 編集する

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (通常録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

1 ボックスメニュー
録画一覧を押す

2 番組を選び、**黄**を押す



- 「おまかせ」ラベルの番組を消去する場合は、「おまかせ録画の一覧から番組を消去する」(→101) をご覧ください。
- まとめ**番組内の番組を消去する場合、**黄**を押す前に**決定**を押して、**まとめ**番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで**青**を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には**☑**が表示されます。
もう一度**青**を押すと選択を取り消します)

3 「消去」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- まとめ**番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、**まとめ**番組は解除されます。
- HDD**の番組消去について
 - ・消去すると、スマホ転送番組も消去されます。
 - ・消去が完了しても、HDD の残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- 消去後のディスク残量について
 - ・**HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD**
 消去すると、消去した分、残量が増えます。
 - ・**-RW V**
 最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。
 - ・**BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組を編集する

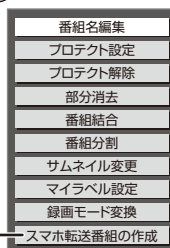
HDD **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW** **USB-HDD** (通常録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)
(ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません)

1 ボックスメニュー
録画一覧を押す

2 番組を選び、**緑**を押す

3 項目を選び、**決定**を押す (→下記)

例) **HDD**



(→161)

お知らせ

- 編集量が多い場合、ディスクヘダビングできないことがあります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」ができません。
- 「部分消去」「番組結合」「番組分割」を実行するとスマホ転送番組も消去されます。

番組名編集

文字入力 (→174)

お知らせ

- 以下の番組は変更できません。
 - ・**新**表示の番組
- 番組名を変更すると、スマホ転送番組の番組名も変更されます。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごと書き込み禁止 (プロテクト) の設定ができます。

- R V** **-RW V** できません。
- 「番組を編集する」(→上記) 手順 1 ~ 2 のあと「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定**を押す
- プロテクト設定すると「**🔒**」が表示されます。

番組を消去する / 編集する (続き)

部分消去

番組中の不要な箇所を消去できます。

消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

- **[R-V]** **[RW-V]** できません。



「番組を編集する」(→125) 手順 1～3 のあと

- 1 **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
 - 2 「開始点」を選び、消去する部分の開始点[※]で **[決定]** を押す
 - 3 **[▶ 再生]** を押して、再生を始める
 - 4 「終了点」を選び、消去する部分の終了点[※]で **[決定]** を押す
- 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]** を押す (→手順 2 へ)
 - ・ 20区間まで設定できます。
 - ・ すでに設定した区間の変更はできなくなります。
- 5 「消去開始」を選び、**[決定]** を押す
 - 6 「実行」を選び、**[決定]** を押す

- 部分消去すると、スマホ転送番組は消去されます。
- 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
- 「シームレス再生」(→180) を「入」にして再生すると、番組の消去部分の前後の映像が再生されない場合があります。

※編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→119) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **[⏏一時停止]** を押し、**[◀]** **[▶]** を押して場面を調整する

番組結合

HDD **USB-HDD**

同じ録画モードや素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

- 1.5～15倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

- **[4X1003]** **[4X403]**

4K 画質モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

「番組を編集する」(→125) 手順 1～3 のあと

- 1 結合したい番組を選び、**[決定]** を押す



- 2 「結合」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 結合した番組は以下になります。
 - ・ 録画モード：画質の高いほうの録画モード (ただし、画質は向上しません)
 - ・ ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
 - ・ 番組名：最初に選択した番組名
 - ・ おまかせ録画をした番組の自動消去の日時：最初に選択したおまかせ録画の番組の録画日時を基準にして自動消去 (→101)
 - ・ チャプターマーク：結合した位置に作成 (結合してチャプターマーク数が最大チャプターマーク数 (→236) を超える場合、超えた分は削除されます)
 - ・ 番組の結合部分：映像や音声が入り切りすることがあります。
 - ・ スマホ転送番組は消去されます。
- 以下の番組は結合できません。
 - ・ **[4X1003]** **[4X403]**
 - 4KDR モードの番組とそれ以外の番組
 - 4K 画質モードの番組とそれ以外の番組
 - DR モードの番組とそれ以外の番組
 - ハイビジョン画質 (1.5 ～ 15 倍録モード) の番組とそれ以外の番組

番組を消去する / 編集する (続き)

・ **2X603** **2X303** **2X203**

- DR モードの番組とそれ以外の番組
- ハイビジョン画質 (1.5 ~ 15 倍録モード) の番組とそれ以外の番組
- 録画時間の合計が 8 時間を超える場合
- デジタル放送の番組とそれ以外の番組
- LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) で録画した番組
 - 録画モード変換 (→128) を行くと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
- 撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組分割

- ・ **-R V** **-RW V** できません。



「番組を編集する」(→125) 手順 1 ~ 3 のあと

- ① 「分割」を選び、分割する場面* で [決定] を押す
 - ・「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。
 - ☞ 場面を選び直すには
 - ① 「分割」を選び、[▶再生] を押して再生を始める
 - ② 分割する場面で、[決定] を押す
 - ② 「終了」を選び、[決定] を押す
 - ③ 「分割」を選び、[決定] を押す
- ・ 分割した番組は、**まとめ** 番組になります。
 - ・ 分割すると、スマホ転送番組は消去されます。
 - ・ 分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。
 - ・ **BD-RE** **BD-R** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→119) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で [⏏一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

サムネイル変更

HDD **-R V** **-RW V** **USB-HDD**

録画一覧やトップメニューで表示される画像 (サムネイル) を変更します。

- ・ **-R V** **-RW V** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



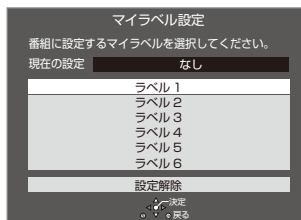
「番組を編集する」(→125) 手順 1 ~ 3 のあと

- ① [▶再生] を押して、再生を始める
- ② 「変更」を選び、お好みの場面* で [決定] を押す
 - ☞ 場面を選び直すには
 - ① 「変更」を選び、[▶再生] を押して再生を始める
 - ② お好みの場面で、[決定] を押す
- ③ 「終了」を選び、[決定] を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。



「番組を編集する」(→125) 手順 1 ~ 3 のあと

- ① ラベルを選び、[決定] を押す
- ② 「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す
 - ・ 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
 - ・ マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[決定] を押してください。
 - ・ マイラベル名は変更することができます。(→114「分類ラベル設定」)

番組を消去する / 編集する (続き)

録画モード変換

HDD USB-HDD

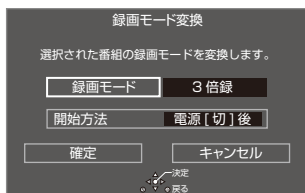
録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- **4X1003** **4X403**
4KDR モード、4K 画質モードの番組を変換する場合、4K 1.5～4K 8 倍録、4K 8～12 倍録、1.5 倍録～15 倍録モードを選択できます。
- 上記以外の録画モードの番組を変換する場合は、1.5～15 倍録モードのみ選択できます。

「番組を編集する」(→125) 手順 1～3 のあと

- 1 **4X1003** **4X403**
4KDR モード、4K 画質モードを変換する場合、「4K 画質」または「ハイビジョン画質」か選び、「決定」を押す
- 2 画面上で「録画モード」を選び、「決定」を押す



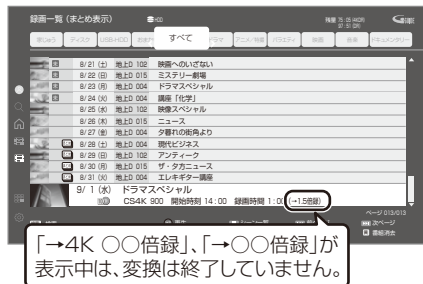
- 3 倍率を選び、「決定」を押す
- 4 「開始方法」を選び、開始方法を設定する
 - すぐに：
 - 「決定」後すぐに、変換を開始します。変換中は視聴や再生はできません。(2X603 2X303 2X203 録画もできません)
 - 電源 [切] 後：
 - 電源「切」時に変換を行います。
 - ・ 2X603 2X303 2X203 電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。
 - ・ 変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

- 5 「決定」を選び、「決定」を押す
- 6 「すぐに」開始する場合：
 - 「開始」を選び、「決定」を押す
 - ☞ 変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合：
[決定] を押す

- ☞ 変換の設定内容を変更・取り消しするには
- 1 125 ページ「番組を編集する」手順 3 で「録画モード変換」を選ぶ
 - 2 「設定変更」または「設定取消」を選び、「決定」を押す

☞ 変換が終了しているか確認するには



お知らせ

- 15 倍録モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は変換できません。
- **4X1003** **4X403**
4K 8～12 倍録モードの番組は 4K 画質で変換することはできません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(→178) で記録したい音声を選んでください。
- **4X1003** **4X403**
他社製機器で録画された番組は、4K 画質の録画モードに変換できません。

チャプターの作成・再生・編集

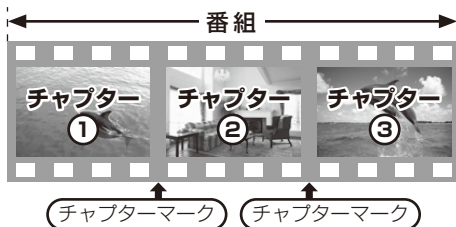
HDD **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**

(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

USB-HDD (通常録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ (→119) すると、チャプターマークを作成した
場面に飛ぶことができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」 (→178) を「入」にすると、デジタル放送の録画時にCMなどの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。
- 4X1003** **4X403**
4KDR モード、4K 画質モードなど、録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

黄
[] を押す
チャプターマーク



削除

一時停止中に

- ① [スキップ] または [戻る] を押して、削除したい場面に飛ぶ
- ② 黄 [] を押す
チャプターマーク
- ③ 「はい」を選び、[決定] を押す



前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

- ① [録画一覧] を押す
- ② 番組を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す
- ④ [緑] を押す



⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** チャプターマークが最大数まで作成された番組は、チャプターマークの作成 (→ 右記) や「サムネイル変更」 (→127) ができなくなります。

CHAPTERの作成・再生・編集 (続き)

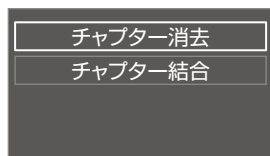
CHAPTERを再生・編集する

- 1 ホップアップメニュー
録画一覧を押す
- 2 番組を選び、サブメニューを押す
番組を検索するには (→95)
- 3 「CHAPTER一覧へ」を選び、決定を押す
- 4 再生する：
CHAPTERを選び、決定を押す

編集する：
CHAPTERを選び、サブメニューを押す
(→手順5へ)



- 5 編集する項目を選び、決定を押す
(→ 右記)



CHAPTER消去

指定したCHAPTERの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。
(元に戻すことはできません)



番組が部分消去されます。

「消去」を選び、[決定]を押す

- CHAPTERをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
- スマホ転送番組も消去されます。
- CHAPTER消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、CHAPTER消去ができません。

CHAPTER結合

選択中のCHAPTERと次のCHAPTERの間のCHAPTERマークを削除して、1つにつなぎます。



前後のCHAPTERが結合されます。

「結合」を選び、[決定]を押す

番組のダビングについて

本機では、通常録画用の HDD、USB-HDD やディスクの間でダビングを行うことができます。
ダビング元とダビング先のメディアによって、ダビング方法やダビング速度などが異なります。

ダビング方向	ダビング方法
 HDD → ディスク	- かんたんダビング - 詳細ダビング - 再生中番組の保存
 USB-HDD → ディスク	詳細ダビング

高速ダビングができない条件 (1 倍速ダビングになる)

- VR 方式・ビデオ方式の DVD にダビングする場合

お知らせ

- 以下の場合、USB-HDD からダビングできません。
 - ・ ディスクが DVD (VR 方式・ビデオ方式) の場合
 - ・ USB-HDD が SeeQVault フォーマットの場合
- **4X1003** **4X403**
4KDR/4K 画質 /DR モードの番組や LAN 経由で録画した番組を DVD (AVCREC 方式) でダビングする場合、画質変更ダビングになり、以下のような制限があります。
 - ・ 番組によっては、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。
 - ・ 画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合、ダビング速度が遅くなります。

他機器での再生については (→44)

ダビング方向	ダビング方法
 HDD → USB-HDD	● 詳細ダビング
 USB-HDD → HDD	

通常録画用フォーマットの USB-HDD の場合、移動のみ可能です。

- ダビング元の番組は消去されます。
- HDD のスマホ転送番組は消去されます。
- ダビングの残り回数は減りません。
- 以下の番組はダビングできません。
 - ・ AVCHD や AVC VIDEO の表示がある番組
 - ・ XP、SP、LP、FR モードの番組

SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合：

- コピー制限のある番組について
 - ・ HDD からダビングするときは、HDD のダビング元の番組のダビング残り回数は 1 回減ります。USB-HDD の番組のダビング残り回数は 1 回になります。
 - ・ HDD へダビングするときは、USB-HDD の番組は消去されます。
- **4X1003** **4X403**
4KDR モード、4K 画質モードの番組はダビングできません。
- XP、SP、LP、FR モードの番組はダビングできません。

ダビング方向	ダビング方法
 ディスク → HDD	● 詳細ダビング

高速ダビングができない条件 (1 倍速ダビングになる)

- BD に記録した XP、SP、LP、FR モードの番組をダビングする場合
- DVD ビデオ (ファイナライズ後のディスク) をダビングする場合

お知らせ

デジタル放送のダビングについて (ムーブバック)

- DVD からはダビングできません。
- BD からは移動になります。(ディスクの番組は消去されます。ただし **BD-R** のディスク残量は増えません)



- **BD-RE** **BD-R** 以下の番組は移動できません。
 - ・ ディスク内で番組分割した番組
 - ・ 当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組
 - ・ **BD-R** ファイナライズしたディスク
 - ・ 録画時間が 8 時間を超える番組

ダビング方向	ダビング方法
 HDD → HDD  USB-HDD → USB-HDD	● 詳細ダビング ・ SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。
番組を複製して同じ番組を2つにします。	

お知らせ

- お使いのテレビによっては、ダビング画面で表示解像度が低くなるため文字などがぼやけて表示される場合があります。ダビング終了後に元に戻ります。
- 全自動録画した番組の保存については 71 ページをご覧ください。
- 録画モードを変更してダビングする場合は、高速になりません。
- ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。
- 写真・音楽用フォーマットの USB-HDD はダビングできません。

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**

HDDにある番組をディスクにダビングします。

●操作の前に記録可能なディスクを入れてください。

●**[4X1003]** **[4X403]**

4KDRモードまたは4K画質モードでダビングする場合は、**BD-RE** **BD-R** を使用してください。

1 **機能一覧** を押す

2 「ダビング・保存」を選び、**決定** を押す

3 「かんたんダビング」を選び、**決定** を押す

- [-R]** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、**[決定]** を押してください。

4 番組を選び、**決定** を押す

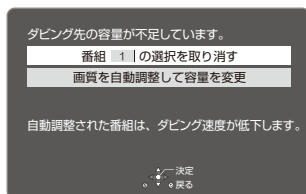
- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで**[青]**を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には**[青]**が表示されます。
もう一度**[青]**を押すと選択を取り消します)



☞かんたんダビングの画面の見方については(➡134)

☞選んだ番組がディスク残量を超える場合
確認画面が表示されます。

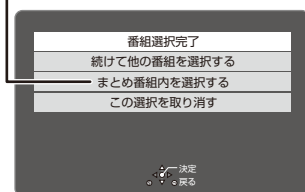
例)



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5 「番組選択完了」を選び、**決定** を押す

手順4でまとめ番組を選んだときのみ表示



他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(➡左記 手順4へ)

6 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

●オプション設定について (➡134)

7 「はい」を選び、**決定** を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットしたあと、ダビングを始めます。

☞ダビングを実行中に中止するには

- 「戻る」を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (➡138)

☞ダビングの進行状況を表示するには
テレビ視聴中に**[画面表示]**を押す

番組をダビングする (続き)

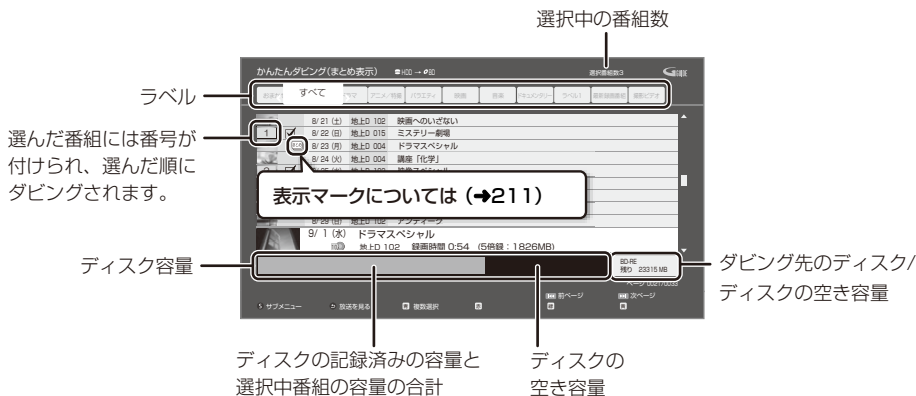
🔍 お知らせ

- ダビング中に番組の視聴や、録画番組の再生などをしたときは、本体表示窓に「DUB」が表示されます。

- 「DVD 画質」で未フォーマットの **[R] [RW]** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
 - ・ **[100] ~ [10]** の番組が含まれている場合：VR 方式
 - ・ **[100] ~ [10]** の番組が含まれていない場合：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。
- プロテクト設定 (➡125) されている **[10]** の番組はダビングできません。
- [まとめ]** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、**[サブメニュー]** を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- ダビング中に電源を切ることはできません。
- [4X1003] [4X403]**
 4KDR モード、4K 画質モードの番組とそれ以外の番組は、同じディスクにダビングできます。
- [4X1003] [4X403]**
 録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K 8 ~ 12 倍録」に設定して **[BD-RE] [BD-R]** に画質変更ダビングはできません。いったん「録画モード変換」(➡128) で「4K 4.5 倍録」から「4K 8 ~ 12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください

番組をダビングする (続き)

かんたんダビングの画面の見方



- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面 (→132 手順4) で

- 番組を選び、**サマニ**を押す
- 項目を選び、**決定**を押す (→下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
画質変更	☒ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ● 選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ● ダビング終了後自動電源 [切] ● ダビング終了後自動ファイナライズ ([-R] [-RW] のみ)
並び替え*	番組の並び順の設定を行います。 ▶ 録画日時の古い順 ▶ 録画日時の新しい順 ▶ 番組名順 ▶ 番組名逆順
まとめ表示へ* 全番組表示へ*	表示を切り換えます。
視聴制限一時解除*	「HDD番組の視聴制限」(→179)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

※ 番組に ☒ が付いているときは機能の実行はできません。

お知らせ

- [**-R**] [**-RW**]「オプション設定」(→左記)の「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→173) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

番組をダビングする (続き)

詳細ダビング

ダビング方向：

- **[HDD] → [HDD] [BD-RE] [BD-R] [-R] [-RW]**
[USB-HDD] (通常録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)
- **[BD-RE] [BD-R] [RAM] [-R AVCREC] [-R VR] [-RW VR]**
→ **[HDD]**
- **[USB-HDD]** (通常録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット) → **[HDD] [BD-RE] [BD-R] [-R AVCREC] [USB-HDD]** (通常録画用フォーマット)
(SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、HDD にのみダビング可能です)
- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(→171)

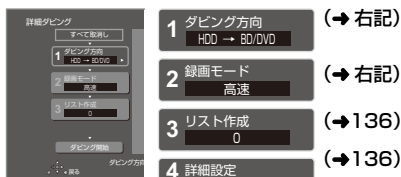
1 **機能一覧** を押す

2 「ダビング・保存」を選び、**決定** を押す

3 「詳細ダビング」を選び、**決定** を押す

4 項目を選び、**決定** を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



5 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、**決定** を押す

🔍 ダビングを実行中に中止するには

- [戻る] を3秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (→138)

🔍 ダビングの進行状況を表示するには
テレビ視聴中に [画面表示] を押す

お知らせ

- ダビング中に番組の視聴や、録画番組の再生などをしたときは、本体表示窓に「DUB」が表示されます。
- **[4X1003] [4X403]**
4KDR モード、4K 画質モードの番組は、SeeQVault フォーマットの USB-HDD にダビングできません。



ダビング方向

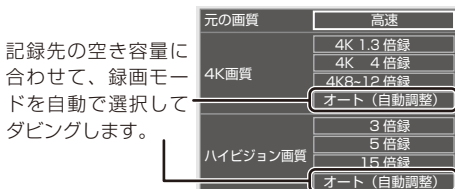
- 1 「ダビング元」を選び、**決定** を押す
- 2 ダビング元を選び、**決定** を押す
- 3 「ダビング先」を選び、**決定** を押す
- 4 ダビング先を選び、**決定** を押す

お知らせ

- **[HDD] [USB-HDD]** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は **[まとめ]** 番組になります)
- ・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は1回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は1回になります)
- ・**[1D]** 表示のある番組の複製はできません。
- ディスクから **[HDD]** へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。
- ディスクから **[HDD]** への画質変更ダビング中は、予約録画は実行できません。

録画モード

- 1 「録画モード」を選び、**決定** を押す
- 2 録画するモードを選び、**決定** を押す



記録先の空き容量に合わせて、録画モードを自動で選択してダビングします。

- [サブメニュー] を押して、録画モードの倍率を変更することができます。(→ 106)

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (→232)
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- アニメなど録画番組の内容によっては、オート (自動調整) を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。

番組をダビングする (続き)

リスト作成 (番組を選択する)

- 「新規登録」を選び、**決定**を押す
- 番組を選び、**青**を押す
 - ☒ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
 - ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示されます。
- 選択を取り消すには
番組を選び、**青**を押す
- 選び終わったあと、**決定**を押す

お知らせ

- 通常録画用フォーマットの USB-HDD には、「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません。
- ダビングリスト容量について (ダビング先に記録される容量)
 - 管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

(**R** **RW** ヘダビングするときのみ)

- 「ファイナライズ」を選び、**決定**を押す
- 「入」または「切」を選び、**決定**を押す

(**BD-RE** **BD-R** **R AVCREC** へ 1.5 ~ 15 倍録モードを選んでダビングするときのみ)
複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

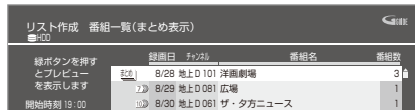
- 「音声・字幕の記録」を選び、**決定**を押す
- 「モード 1」または「モード 2」を選び、**決定**を押す
 - モード 1: 再生時に音声や字幕の切り換えができます。
 - モード 2: 再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(→122)で記録する内容を設定してください。

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→173)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。
- 4X1003** **4X403**
4KDR モード、4K 画質モードの番組は「音声・字幕の記録」の設定が無効です。複数の音声や字幕のある番組をダビングする場合は 139 ページをご覧ください。

ダビングの便利な機能

リスト作成画面 (→ 左記「リスト作成」手順 ① のあと)で



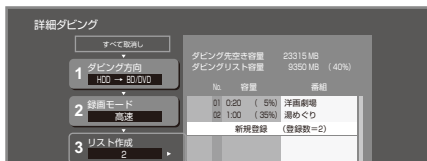
- 番組を選び、**サブメニュー**を押す

- 項目を選び、**決定**を押す (→ 下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除 HDD USB-HDD	「HDD 番組の視聴制限」(→179)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並べ替え HDD USB-HDD	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD USB-HDD	表示を切り換えます。 ● SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

番組に ☒ が付いているときは機能の実行はできません。

リスト作成画面 (→ 左記「リスト作成」)で



- 登録されたリストや設定を取り消す:
「すべて取消し」を選び、**決定**を押す
- リスト項目を入れ替える:
番組を選び、**決定**を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの全消去や追加、消去、移動をする:
[サブメニュー]を押したあと、項目を選ぶ

番組をダビングする (続き)

ファイナライズ後のディスク
(DVD ビデオ) をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

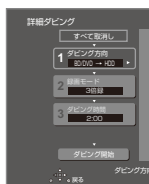
ダビング方向：

DVD-V (ファイナライズ後の **-R V** **-RW V**、
+R、+R DL、+RW) ➡ **HDD**

1 機能一覧 を押す

2 「ダビング・保存」を選び、 を押す3 「詳細ダビング」を選び、 を押す4 項目を選び、 を押す

- 操作方法是「詳細ダビング」(➡135) をご覧ください。



- 1 ダビング方向
BD/DVD → HDD
- 2 録画モード
3倍録
- 3 ダビング時間
2:00

以下のように設定してください。

- ・「ダビング方向」：「ダビング元」➡「BD/DVD」
- ・「録画モード」：「録画モード」を選ぶ
(1.5～15倍録のみ選べます)
- ・「ダビング時間」：ダビング時間を設定する
(➡右記)

5 「ダビング開始」を選び、 を押す6 「ダビングする」または「ダビング後に電源
[切]」を選び、 を押す

- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

 トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[決定]を押す

 好みの番組を再生するには

- ① [録画一覧]を押す
- ② 番組を選び、[決定]を押す

 ディスクの再生が始まらない場合は

- ① [▶再生]を押す
- ② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、[決定]を押す

 ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[戻る]を3秒以上、もしくは[■停止]を押す

 お知らせ

- 市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ(➡119)で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録設定」(➡178)の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ダビング時間

- ① 「時間設定」を選び、 を押す
- ② 「入」または「切」を選び、 を押す
 - 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。
- ③ 「録画時間」を選び、 を押す
- ④ “時間” または “分” を選び [▲][▼] で設定し、 を押す

番組をダビングする (続き)

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にディスクへダビングすることができます。(1番組のみダビング)

- 記録する音声や字幕情報を設定できます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向: **HDD** ➡ **BD-RE** **BD-R** **-R** **-RW**

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➡171)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合:

- **-R VR** **-RW VR** **[音声]** または **[字幕]** を押して、表示された再生設定画面(➡122)で、記録したい音声や字幕を設定する

2 を押す

3 「再生中番組の保存」を選び、 を押す

4 「保存開始」を選び、 を押す

 ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

- 中止時の動作 (➡ 右記)

お知らせ

- **-R VR** **-RW VR** 複数の音声を含んだ番組を2番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。

- ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
 - ・ **[音声]** または **[字幕]** を押して、表示された再生設定画面(➡122)で、記録したい音声や字幕を設定する

- ② かんたんダビング (➡132)、もしくは詳細ダビング (➡135) を実行する

字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例) デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合



番組 A・B のみダビングされます。

番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。

ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

BD-R **-R** 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R V **-RW V** に画質変更ダビングするときの動作

HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。

HDD の不要な番組を消去 (➡125) してからダビングしてください。

4X1003 **4X403**

4KDR モードの番組をディスクに高速ダビングするときの動作

(「4KDR のダビング方式」(➡178) を「ダビング方式 2」に設定時のみ)

HDD や USB-HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。HDD や USB-HDD の不要な番組を消去 (➡125) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (➡236) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の **BD-RE** **BD-R** の残量が少ない
- **BD-RE** **BD-R** 以外のディスクへのダビング

番組をダビングする (続き)

3D 対応の番組のダビングについて

- **[3D]** 表示のある番組を **[R VR]** **[RW VR]** に XP、SP、LP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- **[AVCHD 3D]** の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
 - ・ダビング先の **[BD-RE]** **[BD-R]** の残量が少ない
 - ・ **[BD-RE]** **[BD-R]** 以外のディスクへのダビング

複数の音声 (マルチ音声) や字幕情報を含んだ番組、サラウンド音声の番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下ようになります。

4KDRモード、4K画質モードの番組をダビングする場合

[4X1003] **[4X403]**

- **[BD-RE]** **[BD-R]** (高速でダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[BD-RE]** **[BD-R]** (4K 画質モードで画質変換ダビング時)
 - ・複数の音声は2つまで記録できます。
 - ・字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。(「4K 画質の音声 ch 数優先」(➔178) が「入」のとき)
- **[BD-RE]** **[BD-R]** (1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - 再生中に「信号切換」(➔122) で選んだあと、ダビングを行ってください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。
- **[R AVCREC]** (1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - 再生中番組の保存 (➔138) でダビングしてください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。

DRモード、1.5 ~ 15 倍録モードの番組をダビングする場合

[BD-RE] **[BD-R]** **[R AVCREC]**

- (高速、1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
 - ・サラウンド音声はサラウンド音声のまま記録できます。
- **[R VR]** **[RW VR]** (HDD からダビング時)
 - ・複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
 - 再生中番組の保存 (➔138) でダビングしてください。
 - ・サラウンド音声はステレオ音声になります。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。

[BD-RE] **[BD-R]** **[R AVCREC]** 詳細ダビングの詳細設定 (➔136) で、「音声・字幕の記録」を「モード 2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」(➔122) で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできません)

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下になります。

● **[BD-RE]** **[BD-R]** **[R AVCREC]** **[USB-HDD]** **[R VR]** **[RW VR]**

両方の音声を記録

- **[R V]** **[RW V]** 以下の設定に従って記録：「DVD-Video 記録の設定」の「二重音声記録時の音声選択」(➔178) を記録したい音声にする

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」(➔178) に従って記録します。**[R V]** **[RW V]** へ記録するときに有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」(➔178) に従って記録します。480i の映像を 1.5 ~ 15 倍録モードで記録するときに有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
 - ・ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

[4X1003] **[4X403]**

4K 4.5 倍録から 4K 8 ~ 12 倍録のダビング

録画モードを「4K 4.5 倍録」から「4K 8 ~ 12 倍録」に設定して **[BD-RE]** **[BD-R]** に画質変更ダビングはできません。いったん録画モード変換 (➔128) で「4K 4.5 倍録」から「4K 8 ~ 12 倍録」に変換したあと、高速ダビングしてください。詳しくは、当社ホームページでご確認ください。(➔12)

ディーガやビエラなど他機器からダビングする

お引越しダビング

お引越しダビングに対応したディーガや他社製レコーダーなどとネットワーク接続すると、番組をダビングすることができます。他のディーガや他社製レコーダーなどから本機にまとめて移動するときに便利です。



- 対応機器については、当社ホームページ (→12) をご覧ください。
- スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」を使って番組をダビングすることもできます。「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

●[4X1003] [4X403]

本機は 4KDR モード、4K 画質モードの番組のお引越しダビングに対応しています。4KDR モード、4K 画質モードの番組のお引越しダビングは、ダビング元とダビング先の両方の機器が対応している必要があります。

- 写真のお引越しダビングは、本機がダビング先となる場合のみ対応しています。本機がダビング元となる場合は写真のお引越しダビングはできません。本機から別のディーガへ写真を移動するときは、写真・音楽用フォーマットされた USB-HDD を使用して写真を移動することができます。
- お引越しダビング非対応のディーガの場合、お引越しダビングは利用できません。その場合は、BD-RE などのディスクにダビングしたうえで本機にダビングしてください。
- ネットワーク接続と設定をする (→30、31、37)
- お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合 (→196)

ダビング元

ブルーレイ
ディスクレコーダー



ダビング先

ダビング先で操作する

番組ダビングの設定をする

1

機能一覧を押す

2

「ダビング・保存」を選び、を押す

3

「番組お引越しダビング」を選び、を押す

4

接続する機器を選び、を押す

5

ダビング元を選択する画面が表示された場合：
ダビング元を選び、を押す

6

番組を選び、を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで「青」を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には ☒ が表示されます。
もう一度「青」を押すと選択を取り消します)
- 他社製機器の場合、番組が表示されない場合があります。その場合は、フォルダから番組を探して、表示してください。

例)

番組お引越しダビング 番組一覧(全番組表示)					
ダビングしたい番組を選択し、決定ボタンを押してください。 ページ 01/013					
☒	現代ビジネス	8:28 (金)	8:15 101	番組時間 22:00	録画時間 1:00
☐	上レキキター入門	9:29 (日)	8:10 101	番組時間 9:07	録画時間 0:28
☐	タカユース	9:30 (日)	8:15 101	番組時間 17:03	録画時間 1:00

☞ まとめ 番組を選んだ場合は

まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。

☞ すべての番組をダビングしたい場合は

「一括ダビング」(→141) してください。

7

接続機器がディーガの場合：
「ダビング元機器の番組」を
「残す」または「残さない」に設定する

接続機器が他社製レコーダーの場合：手順 8 へ

8

「設定する」を選び、を押す
(→141「ダビングを実行する」へ)

ディーガやビエラなど他機器からダビングする (続き)

■ 番組ダビング時の便利な機能

番組お引越しダビング画面 (→140 手順 6) で

① 番組を選び、 を押す

② 項目を選び、 を押す (→ 下記)

番組内容	番組の内容が確認できます。
一括ダビング*	通常録画用内のすべての番組をダビングします。 (「はい」を選んで「決定」を押したあと →140 手順 7 へ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※ 番組に  が付いているときは機能の実行はできません。

お知らせ

- 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD からはダビングできません。
- 1 回に複数選択できる番組は 99 個までです。
- まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- 以下の番組はダビングできません。
 - プロテクト設定 (→125) されている  の表示がある番組
 - ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」の編集や、番組の複製をした番組
 - XP、SP、LP、FR モードの番組
-  の表示がある番組は以下のようになります。
 - 140 ページ手順 7 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
-  ~  の表示がある番組はダビング先で「1 回だけダビング可能」の番組になります。
- ダビング元の番組データ容量や通信速度によっては、ダビング完了までに数日かかる場合があります。
- 他社製レコーダーの場合、「まとめ表示へ」や「全番組表示へ」の切り換えはできません。また、ダビングの残り回数 ( ~ ) は表示されません。

写真ダビングの設定をする

- HDD 内のすべての写真をダビングします。
- 写真を選んでダビングすることはできません。
- 接続する機器が写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット非対応機器の場合のみ操作できます。

1  を押す

2 「写真・音楽」を選び、 を押す

3 「写真お引越しダビング」を選び、 を押す

4 接続する機器を選び、 を押す

5 「ダビングする」を選び、 を押す
(→ 下記「ダビングを実行する」)

お知らせ

- ダビング元の写真は削除されません。

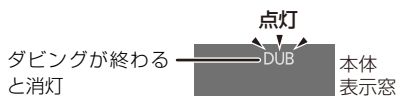
ダビングを実行する

本機と接続機器の電源を切る

- 写真をダビングする場合は、接続機器の電源を切る必要はありません。

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。



「クイックスタートモード」(→176) が「省エネ (時計表示無し)」の場合、点灯しません。

ダビングの進行状況を確認するには

テレビ視聴中に [画面表示] を押す

- 写真のお引越しダビングの進行状況は表示されません。

ダビングを中止するには

- [機能一覧] を押す
- (録画番組の場合) 「ダビング・保存」→「番組お引越しダビング」を選び、[決定] を押す
(写真の場合) 「写真・音楽」→「写真お引越しダビング」を選び [決定] を押す
- [黄] を押す

ディーガやビエラなど他機器からダビングする (続き)

ネットワークを使ってダビングする

HDD

ビエラ※

**HDD内蔵CATVデジタル
セットトップボックス****スカパー! プレミアムサービス
対応チューナー**

ビエラなどの機器とネットワーク接続すると、接続した機器から本機の HDD にダビングすることができます。

※USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラからダビングできます。

- 対応機器については、当社ホームページ (→12) をご覧ください。
- ネットワーク接続と設定をする (→30、31、37)
 - お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合(→196)

ビエラなどの接続機器側でダビングの操作をする

- ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

ビデオカメラから取り込む

撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を取り込む

USB

ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラ

AVCHD、MP4、
MP4 (4K 動画)

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 対応機器については、当社ホームページ (→12) をご覧ください。
- 「1080/60p」* や「AVCHD 3D」の表示がある番組は **HDD** **BD-RE** **BD-R** にのみ取り込むことができます。

* 1080/60p (1920×1080/60 プログレッシブ) 記録の番組

- MP4 の番組は **HDD** にのみ取り込むことができます。

取り込む動画

AVCHD



再生方法

写真 / 動画一覧
および
録画一覧*¹
(→113、148)

動画の編集*³

MP4



写真 /
動画一覧*²
のみ
(→148)

*1 録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- AVCHD (1080/60p) : 「AVCHD PRO」
- 写真 / 動画一覧で編集した MP4*³ : 「AVC VIDEO」

*2 取り込んだ MP4 が本機で再生できない場合もあります。

*3 「動画の編集」で選べる動画は、ビデオの圧縮方式が H.264 の MP4 動画のみ

(**2X603** **2X303** **2X203** 解像度が 1920×1080 以下のみ)

🔊 お知らせ

- DVD に取り込んだ AVCHD 動画を他の AVCREC 非対応機器で再生したい場合

・一度 HDD に取り込んだあと、DVD 画質 (XP、SP、LP、FR モード) でディスクにダビングしてください。

- ファイル取り込みした MP4 を他の機器で再生するには

① 「動画の編集」 (→150) で動画を変換する

② ディスクにダビングする

・「動画の編集」で選べる動画は以下になります。

- ビデオの圧縮方式が H.264 の MP4 動画

(**2X603** **2X303** **2X203** 解像度が 1920 × 1080 以下のみ)



戻る

次のページに続く ➡

ビデオカメラから取り込む (続き)

かんたん取り込み

USB

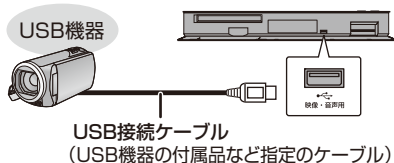
USB 機器に記録された写真や撮影ビデオを一括で取り込むことができます。

取り込み方向：

USB ➡ HDD

USB 機器の説明書をよくご覧になったうえで操作してください。

1 USB 機器を接続する (➡51)

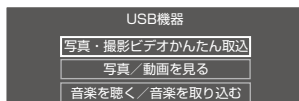


2 USB 機器側で設定が必要な場合： USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

例)



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [機能一覧] を押す
- ② 「ディスク・USB」を選び、[▼] を押す
- ③ 「USB 機器」を選び、[決定] を押す

3 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選び、

[決定] を押す

4 「今すぐ取り込み開始」または「あとから取り込みを設定する」を選び、[決定] を押す

- 追加チャンネル登録 (➡77) 時は、あとから取り込み設定はできません。

お知らせ

- 取り込み中に予約録画が始まると、取り込みを中断します。
- [AVCHD] 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除します。
- [AVCHD] 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDD のフォーマット」(➡179) を行くと、削除されます。
- [AVCHD] 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」(➡145) を行ってください
- [MP4] 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

ビデオカメラから取り込む (続き)

選んで取り込み

USB

ディスク

取り込み方向：

- **USB** ➡ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC**
- AVCHD を記録したディスク ➡ **HDD**

- MP4 を選んで取り込む場合は、「写真/動画一覧から取り込む」(➡147) をご覧ください。

■ USB 機器から取り込む場合

USB 機器の説明書をよくご覧になったうえで操作してください。

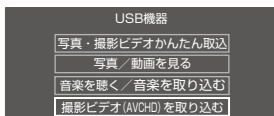
1 USB 機器を接続する (➡51)

2 USB 機器側で設定が必要な場合： USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

例)



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。

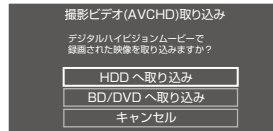


下記操作で表示することもできます。

- ① **「機能一覧」** を押す
- ② **「ディスク・USB」** を選び、**「▼」** を押す
- ③ **「USB 機器」** を選び、**「決定」** を押す

3 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、**決定** を押す

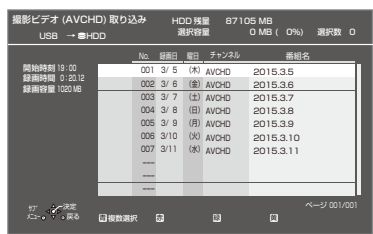
- ## 4
- HDD に取り込む場合：
「HDD へ取り込み」を選び、**決定** を押す
- ディスクに取り込む場合：
「BD/DVD へ取り込み」を選び、**決定** を押す



5 動画を選び、**青** を押す

- ☒ が表示されます。操作を繰り返します。

例)

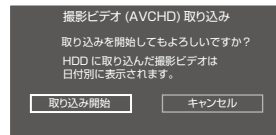


- **青** 選択を取り消すには
動画をを選び、**「青」** を押す

6 選び終わったあと、**決定** を押す

7 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

例)



- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

ビデオカメラから取り込む (続き)

■ ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① **「機能一覧」** を押す
- ② **「ディスク・USB」** を選び、**【▼】** を押す
- ③ **「ブルーレイ (BD) / DVD」** を選び、**【決定】** を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、**【決定】** を押す

3 動画を選び、**青** を押す

- ☒ が表示されます。操作を繰り返します。
- **☒** 選択を取り消すには
動画を選び、**【青】** を押す

4 選び終わったあと、**【決定】** を押す

5 「取り込み開始」を選び、**【決定】** を押す

●お知らせ

- 1つの動画に99シーンを超えて記録されている場合、99シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位で動画として表示されます(ただし99シーンを超えるときは分割します)。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめて番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。
- ディスクから**【HDD】**への取り込み中は、予約録画は実行できません。

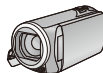
ネットワークを使って取り込む (コピー)

ネットワーク接続

HDD

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラ

AVCHD



本機では、「DIGA コピー」に対応した当社製デジタルビデオカメラとネットワーク接続すると、撮影ビデオ (AVCHD) と写真を本機の HDD に取り込むことができます。

- ネットワーク接続と設定をする (➡30、31、37)
- お部屋ジャンプリンクの設定を変更する場合 (➡196)

カメラ側でコピー操作を行う

- 「DIGA コピー」の機能については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

●お知らせ

- 本機が以下の場合には取り込みません。
 - ・LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) の番組を録画中
 - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
 - ・ダビング中
 - ・お部屋ジャンプリンク機能など、ネットワークを利用する機能を使用中

など

写真や動画を取り込む

本機では、写真や動画（AVCHD、MP4）の取り込みや再生をすることができます。

写真について

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **USB**

USB-HDD（写真・音楽用フォーマット、SeeQVaultフォーマット）、+R、+R DL、+RW

- **CD** **USB** 写真を記録したCD-R、CD-RW や当社製デジタルカメラなどの USB 機器が再生できます。
- 本機では、4K 対応のテレビに接続している場合、再生する写真の画質にかかわらず 4K 画質で写真を再生します。
・「出力解像度」(→181) を「オート」に設定してください。

動画（AVCHD、MP4）について

デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

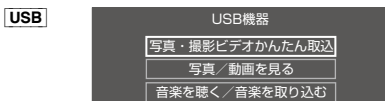
- ビデオカメラなどから HDD に取り込んだ動画 (→143)
 - ディスクや SeeQVault フォーマットの USB-HDD に記録された AVCHD
 - BD-RE、BD-R、写真・音楽用フォーマットや SeeQVault フォーマットの USB-HDD に記録された MP4
- 再生できる MP4 動画については (→224「MP4 動画」)

写真や動画を取り込む

写真・撮影ビデオかんたん取込

USB ➡ **HDD**

USB 機器を接続 (→51) すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)



下記の手順 4 に進みます。

1 **機能一覧** を押す

2 「ディスク・USB」を選び、 を押す

3 「USB 機器」を選び、**決定** を押す

4 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選び、**決定** を押す

5 「今すぐ取り込み開始」または「あとから取り込みを設定する」を選び、**決定** を押す

- 取り込み中に予約録画が始まると、取り込みを中断します。
- 既に取り込んだ写真や動画は、重複して取り込みません。(内蔵 HDD に記録された写真や動画のディレクトリ名／ファイル名／ファイル更新日／ファイルサイズがすべて一致するファイルは取り込みません)

写真／動画一覧から取り込む

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **USB**

USB-HDD（写真・音楽用フォーマット、SeeQVaultフォーマット）、+R、+R DL、+RW ➡ **HDD**

1 **機能一覧** を押す

2 「ディスク・USB」を選び、 を押す

3 「ブルーレイ (BD) / DVD」、「USB 機器」または「USB-HDD」を選び、**決定** を押す

4 「写真／動画を見る」を選び、**決定** を押す

5 写真／動画一覧から写真や動画を選び、**青** を押す

- 選んだ写真や動画には が表示されます。操作を繰り返します。

6 選び終わったあと、**赤** を押す

7 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

写真や動画を再生する

1 **機能一覧** を押す

2 **[HDD]** :
「写真・音楽」を選び、を押す

ディスク・**[USB]**・**[USB-HDD]** :
「ディスク・USB」を選び、を押す

3 **[HDD]** :
「写真 / 動画一覧」を選び、を押す
(手順5へ)

ディスク・**[USB]**・**[USB-HDD]** :
「ブルーレイ (BD) / DVD」、**[USB 機器]**
または「USB-HDD」を選び、を押す

4 「写真 / 動画を見る」または「撮影ビデオ (AVCHD) を見る」を選び、を押す

5 再生する写真または動画を選び、を押す
(例) **[HDD]**



[HDD] 下記から表示したい項目を選んでください。

 : すべて (日付順)

 **[4X1003]** **[4X403]** おまかせアルバム
(→149)

 : お気に入り (→150)

 **[4X1003]** **[4X403]** 被写体 (→149)

 : 作成したアルバム (→151)

 : 登録したスマートフォン (→154)

スマートフォンアプリ「どこでもディーガ」で本機を機器登録すると、自動で項目が追加されます。(スマートフォンから受信した写真や動画はこの項目に保存されます)「ニックネームの変更」(→150)でお好みの名称に変更することができます。

 : ネットワークカメラ (→155)

 : 保存用ディスク (→153)

●メディアから画面を表示させた場合は、フォルダ表示の画面になります。

●**[AVCHD]** トップメニューもしくは撮影ビデオ (AVCHD) 一覧が表示されます。

 動画再生中の操作については (→119)

 **[4X1003]** **[4X403]** おまかせアルバム、作成したアルバムのダイジェスト再生をするには
おまかせアルバム、作成したアルバムを選んで、
[▶ 再生]を押す

 再生中の写真を回転させるには

①再生中に **[サブメニュー]**を押す

②「右 90° 回転」または「左 90° 回転」を選び、
[決定]を押す

 再生を止めるには

●写真 / 動画一覧に戻るには、**[■ 停止]**を押す

●静止画にするには、**[|| 一時停止]**を押す

 写真や動画の書き出しや取り込みをするには
[赤]を押す (→147、152)

 写真や動画をお気に入り登録／解除するには
[緑]を押す

 写真や動画を消去するには

消去したい写真や動画を選んで、**[黄]**を押す

お知らせ

●**[MP4]** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

●ビットレートが100 Mbpsを超えるMP4動画は正しく再生できない場合があります。

●メディアの状態や読み出し速度によって正しく再生できないときは、内蔵 HDD に写真や動画を取り込むと安定して再生することができる場合があります。

●写真 / 動画一覧から「AVCHD 3D」を再生すると 2D で再生します。3D で再生するには録画一覧から再生してください。

●本機では 3D 写真は 2D で表示します。

●本機では写真の編集はできません。

写真や動画を再生する (続き)

4X1003 4X403 おまかせアルバムについて

HDD

おまかせアルバムとは、「京都へのおでかけ」や「10月10日のウェディング」など、写真や動画を1つのアルバムとして自動でまとめて表示する機能です。

おまかせアルバムは、HDDに取り込まれた写真／動画が以下の条件を同時に満たす場合に、自動作成されます。

- 日、月、季節、年単位のいずれかの撮影期間に18個以上の写真／動画がある場合
- スマートフォンなどで撮影したGPS情報が付加された写真を含む場合、または特定の被写体／イベントに自動分類される写真／動画を含む場合

おまかせアルバムは最大5個まで一時的に保存されます。さらに新しいおまかせアルバムが作成されると古いものから削除されます。おまかせアルバムを保存しておきたい場合は、アルバムとして残してください。
(→151)

■ ダイジェスト再生について

ダイジェスト再生は、1つのおまかせアルバムの中から18個の写真／動画を自動選出してダイジェストで再生します。旅の思い出などを約1分間のダイジェストで振り返ることができます。

🔍 ダイジェスト再生をするには

写真／動画一覧で、おまかせアルバムを選択した状態で **▶ 再生** を押す

🔍 再生を止めるには

- 写真／動画一覧に戻るには、**■ 停止** を押す
- 再生を一時停止にするには、**⏸ 一時停止** を押す

4X1003 4X403 自動分類について

HDD

HDDに取り込まれた写真や動画の撮影内容を分析し、被写体やイベントごとに自動分類します。

分類する被写体やイベントには、以下の種類があります。

(被写体)	(イベント)
人物	誕生日
動物	結婚式
犬	発表会
猫	入学式・卒業式
車	スポーツ
飛行機	運動会
電車	おでかけ
花	
食べ物	など
など	

🔍 お知らせ

- 自動分類およびおまかせアルバムの作成は、本機の電源が「切」のときに自動で実行されます。
- 写真／動画の自動分類の精度は100%を保証するものではありません。内容によって正しく分類されない場合があります。
- おまかせアルバムや被写体／イベントは、写真や動画を選んでアルバムへ追加したり、分類結果を削除変更することはできません。

写真や動画を再生する (続き)

写真 / 動画一覧のいろいろな機能

写真 / 動画一覧表示中に操作します。

1 写真、動画または日付などの項目を選び、



2 項目を選び、決定ボタンを押す

内容確認	写真や動画の情報を表示します。
情報を更新	選択したフォルダ内に記録された写真 / 動画の表示内容を更新できます。
4X1003 4X403 アルバムとして残す	おまかせアルバムをアルバムとして残します。
書き出し	写真や動画をディスクなどに書き出します。
取り込み	写真や動画をHDDに取り込みます。
消去	写真や動画、アルバムを消去します。
アルバムへの追加	選択した写真や動画をアルバムへ追加します。
アルバム名の変更	選択したアルバムの名前を変更します。
動画の編集	選択した動画を編集可能な形式に変換します。 ●録画一覧で編集ができるようになります。(→125) ●[2X603] [2X303] [2X203] MP4(4K)は変換できません。
ニックネームの変更	選択したスマートフォンの登録名を変更します。
スマホ登録の解除	選択したスマートフォンの登録を解除します。
パスワード入力	プライベートモードで送信された写真や動画を一時的に表示させることができます。 ●どこでもディーガで設定したパスワードを入力してください。
連続再生の設定	写真や動画の連続再生に関する設定を変更します。 「写真の表示間隔」「表示効果」「リピート設定」「メッセージ表示」の設定ができます。

写真 / 動画切換	「写真と動画を表示」「写真のみ表示」「動画のみ表示」に切り換えることができます。
コンテンツ表示の設定	ネットワーク経由で取り込んだ写真や動画を「すべて (日付順)」に表示するかどうかを設定します。
保存設定	写真や動画を保存する設定を変更します。
保存待ちの状態にする	選択した写真や動画を再度ディスクへ保存することができます。
あとから取り込みの設定取り消し	あとから取り込みの設定を取り消します。
撮影時刻の表示設定	撮影時刻を表示するかどうかを設定します。
フォルダ表示へ	フォルダ表示に切り換えます。
日付順表示へ	日付順表示に切り換えます。

写真や動画をお気に入りに登録する

写真や動画をお気に入りに登録すると、「お気に入り」にまとめて表示することができます。

- お気に入りに登録すると、ネットワークカメラからの動画が自動消去される設定になっていても、登録した動画は自動消去されなくなります。

写真 / 動画一覧表示中に

写真や動画を選び、を押す

- 選んだ写真や動画には が表示されます。

お気に入りを解除するには

写真や動画を選び、[緑] を押す

- 選んだ写真や動画からは、 が消えます。

写真や動画を再生する (続き)

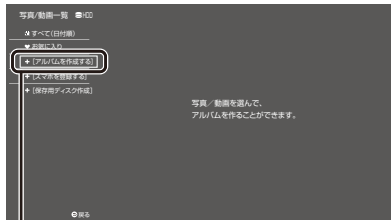
アルバムを作成する

写真/動画一覧ではお気に入りの写真や動画を集めてアルバムを作成することができます。

アルバムを新規に作成する

写真/動画一覧表示中に

1 「アルバムを作成する」を選び、を押す



「アルバムを作成する」

2 アルバム名を入力する

 文字入力 (→174)

写真や動画をアルバムに追加する

写真/動画一覧表示中に

1 写真や動画を選び、を押す

-  が表示されます。操作を繰り返します。

 選択を取り消すには

写真や動画を選び、[青] を押す

2 を押す

3 「アルバムへの追加」を選び、を押す

4 追加したいアルバムを選び、を押す

4X1003

4X403

おまかせアルバムをアルバムとして残す

おまかせアルバムは5個まで一時的に保存されます。新しいおまかせアルバムが作成されると古いものから削除されます。おまかせアルバムを保存しておきたい場合は、アルバムとして残してください。

1 おまかせアルバムを選ぶ

2 を押す

3 「アルバムとして残す」を選び、を押す

アルバムの編集や消去、再生

作成したアルバムの削除や名前の変更をすることができます。

- 「消去」 (→150)
- 「アルバム名の変更」 (→150)
-   ダイジェスト再生 (→148)

写真や動画を書き出す

写真や動画を書き出す

写真を書き出す場合：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **USB**^{*}
USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、
 SeeQVault フォーマット)

動画を書き出す場合：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **USB**^{*}
USB-HDD (写真・音楽用フォーマット、
 SeeQVault フォーマット)

※ USB 機器は USB メモリーのみ

お知らせ

- 書き出し先にすでに同じ名称のディレクトリおよびファイルが存在する場合は、そのファイルは書き出されません。

1 **機能一覧** を押す

2 「写真・音楽」を選び、 を押す

3 「写真 / 動画一覧」を選び、 を押す

4 写真 / 動画一覧から写真または動画を選び、
 を押す

- 選んだ写真や動画には  が表示されます。
 操作を繰り返します。

5 選び終わったあと、 を押す

6 書き出し先を選び、 を押す

7 「書き出し開始」を選び、 を押す

写真や動画を書き出す (続き)

写真や動画をディスクに保存する

BD-RE **BD-R** 写真／動画一覧にある写真や動画をディスクに保存することができます。

- 4K (MP4) を保存する場合は、**BD-R** の4倍速以上のディスクを使用してください。

写真／動画の保存用ディスクを作成する

1 新しいディスクを入れる

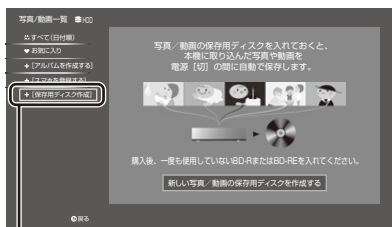
- 購入後、一度も使用していない未フォーマットのディスクを入れてください。
- BD 管理でフォーマットしたディスクは、保存用ディスクとして使用することはできません。

2 **機能一覧** を押す

3 「写真・音楽」を選び、**決定** を押す

4 「写真／動画一覧」を選び、**決定** を押す

5 「保存用ディスク作成」を選び、**決定** を押す



「保存用ディスク作成」

6 画面に従って操作する

保存する

電源「切」時に自動で保存します。

(「保存待ち写真／動画」の中にある写真や動画を自動で保存します)

🔍 今すぐ保存するには

- ① **機能一覧** を押す
- ② 「写真・音楽」を選び、**決定** を押す
- ③ 「写真／動画一覧」を選び、**決定** を押す
- ④ **サブメニュー** を押す
- ⑤ 「保存設定」を選び、**決定** を押す
- ⑥ 「保存機能」を選び、**決定** を押す
- ⑦ 「入」を選び、**決定** を押す
- ⑧ 「今すぐ保存」を選び、**決定** を押す
- ⑨ 「開始」を選び、**決定** を押す

🔍 保存済の写真や動画の確認や取り込みをするには

- ① **機能一覧** を押す
- ② 「ディスク・USB」を選び、**決定** を押す
- ③ 「ブルーレイ(BD)／DVD」を選び、**決定** を押す
- ④ 実行したい項目を選び、**決定** を押す

🔍 保存設定を変更するには

- ① **機能一覧** を押す
- ② 「写真・音楽」を選び、**決定** を押す
- ③ 「写真／動画一覧」を選び、**決定** を押す
- ④ **サブメニュー** を押す
- ⑤ 「保存設定」を選ぶ
- ⑥ 設定する項目を選び **決定** を押す
 - 保存機能の入／切
 - 保存時間帯の設定

など

🔍 お知らせ

- ディスクの紛失などで写真や動画をディスクに再度保存する場合は、「保存待ちの状態にする」で設定してください。
- 自動で保存する場合、「クイックスタート」(➡176)を「入」に設定しておくことをお勧めします。
- 保存用ディスクでの録画やダビングはできません。
- 以下の場合、保存はできません。
 - ・他機器で作成した写真／動画の保存用ディスク
- 本機以外の機器 (パソコンや本機以外のブルーレイディスクレコーダーなど) で保存用ディスクに書き込みや消去などの操作をした場合、ディスクの情報が失われて本機で保存用ディスクとして使えなくなる場合があります。
- 保存用のディスクは、高湿度、高温、直射日光などを避け、できるだけ外部からの力がかからない環境で保管してください。

スマートフォンの写真や動画を本機で受信する

本機をインターネットに接続すると、スマートフォンの写真や動画を本機で受信できるようになります。

■「スマホを登録する」を利用するには

- ネットワークの接続と設定をする (→31、37)
- ディモラサービで機器登録をする (→42)
- 「宅外リモート接続機能」(→184)を「入」にする

スマートフォンから写真や動画を送信するには、スマートフォンでスマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」のインストールと本機の登録が必要です。「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/

スマートフォンを登録する

1 **機能一覧** を押す

2 **「写真・音楽」** を選び、**決定** を押す

3 **「写真 / 動画一覧」** を選び、**決定** を押す

4 **「スマホを登録する」** を選び、**決定** を押す



「スマホを登録する」

5 **「はじめる」** を選び、**決定** を押す

6 画面の表示に従って、スマートフォンを登録する

スマートフォンで以下の操作を行ってください。

- ① スマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」をインストールする
 - ② アプリで登録番号を入力する
- 離れた場所に住む人のスマートフォンから写真や動画を受け取りたい場合は、送信する相手に上記の手順をお伝えください。
 - 登録番号を誤って入力すると、スマートフォンから送信した写真や動画が意図しない相手へ送信されてしまう場合がありますので、登録番号入力の際はお気をつけください。

写真や動画を受信する

登録した離れた場所に住む人のスマートフォンから送信された写真や動画を本機が受信すると、本体表示窓の「」マークが点灯し、新着コンテンツをお知らせする画面を数秒間表示します。



受信した写真や動画は、写真 / 動画一覧で確認することができます。

プライベートモードの写真や動画を表示する

どこでもディーガのプライベートモードで送信された写真や動画は、写真 / 動画一覧画面やDIGA Drive機能で表示されません。どこでもディーガで設定したパスワードを入力すると、一時的に表示制限が解除され、写真や動画が表示されるようになります。プライベートモードで送られてきた写真や動画は、「」マークが表示されます。

●お知らせ

- プライベートモードで送信した写真や動画はお気に入らず登録できません。
- 「機器パスワード初期化」(→184)を行うとスマートフォンからの写真や動画を本機で受信できません。その場合は一度ディモラの機器登録の解除 (→185)を行ったあと、「スマホを登録する」を利用するには「」マークをご確認ください。(→左記)

ネットワークカメラの動画を本機で受信する

当社製の本機に対応したネットワークカメラの動画を本機で受信することができます。

- 対応機器の品番や設置方法については当社ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga702/>

- ネットワークカメラの機能を利用するには、ネットワークの接続と設定 (➡31、37) が必要です。

ネットワークカメラの設定をする

ネットワークカメラの動画を本機で受信するには、以下の設定をしてください。

「ネットワークカメラ連携機能」(➡185) を「入」に設定する

📶 受信した動画を自動的に消去するには

「自動消去設定」(➡185) で消去する期日を指定してください。

- ・ 自動消去の対象から外したい動画は「お気に入り登録」をしてください。(➡150)

動画を受信する

登録したネットワークカメラから動画が送信されると、本機側で動画を自動的に受信します。

- 受信した動画は、写真/動画一覧で確認することができます。

🔗 お知らせ

- ネットワークカメラで撮影後、本機の状態によっては受信するまでに時間がかかる場合があります。
- ネットワークカメラで撮影した映像は、合計で最大 40000 ファイルまで本機に記録することができます。上限を超えると、新たに撮影された映像は記録されません。新たに記録するためにはネットワークカメラの映像の中から不要な映像を消去するか、「ネットワークカメラ連携設定」の「自動消去設定」(➡185) を有効にしてください。
- ネットワークカメラから受信した動画データは、本機と同じホームネットワークに接続された DLNA 対応機器から再生することができます。ネットワークカメラの設定、設置場所、および無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）などのホームネットワークのセキュリティ設定にお気をつけください。
- ネットワークカメラ対応機器のペアリングを解除するには、「ネットワークカメラ連携設定」(➡185) から行ってください。

音楽 CD を再生する / HDD に取り込む

CD

音楽 CD を再生する

1 音楽 CD を入れる

- 本機をネットワークに接続すると Gracenote サーバーから最新のタイトル情報を自動で取得します。(ネットワークに接続していない場合は、本機内蔵の Gracenote データベースからタイトルを取得します)

2 「音楽を再生する」を選び、**決定**を押す

音楽CDの1曲目から自動的に再生が始まります。

表示マークについて (→158)



別曲を再生するには

数字ボタン (1 ~ 10) を押して曲を選ぶ

例 5 曲目: [5] → [決定]

10 曲目: [1] → [10]

12 曲目: [1] → [2]

音楽を停止するには

[■ 停止] を押す

テレビの電源を切って音楽の再生を続けるには

[ビエラリンク対応のテレビ (ビエラ) とアンプ

(スピーカー) を接続している場合のみ表示]

[青] を押す

シャッフルの設定をするには

[赤] を押す

リピートの設定をするには

[緑] を押す

ハイレゾリマスターの設定をするには

[黄] を押す

音楽再生のいろいろな操作

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 以下の「再生設定」を行うことができます。

音楽一覧表示中に、[サブメニュー]を押して、「再生設定」を選び、[決定]を押す

・「基本設定」(→122) の「リピート」「シャッフル」

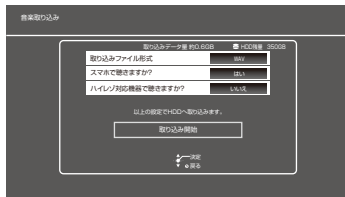
・「音質設定」(→124) の「音質効果」「自動音量調整」

HDD に取り込む

1 音楽 CD を入れる

2 「HDD へ取り込む」を選び、**決定**を押す

3 項目を設定する



- ハイレゾで聴く場合は、「ハイレゾ対応機器で聴けますか?」を選び、[データ①]を押して「ハイレゾで聴くための詳細設定」を行ってください。

- 取り込んだ曲をスマートフォンで再生する場合は、スマートフォンに「どこでもディーガ」をインストールしてください。(→4)

4 「取り込み開始」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- HDD に取り込んだ曲は DIGA Drive 領域に保存されます。

タイトルの自動取得について

- タイトルが見つからなかったときは、「不明なアルバム」として表示されます。
- 情報が似ているために間違ったタイトル情報を取得することがあります。

録音について

- CD の全曲を録音します。曲単位で録音はできません。
- コピーコントロールCD など、CD 規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。
- CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS (シリアル・コピー・マネジメント・システム) という制限があります。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す

音楽ファイルを再生する

HDD

USB-HDD (写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

1 **機能一覧** を押す

2 **HDD** :
「写真・音楽」を選び、 を押す
USB-HDD :
「ディスク・USB」を選び、 を押す

3 **HDD** :
「音楽」を選び、 を押す
(→ 手順 5 へ)
USB-HDD :
「USB-HDD」を選び、 を押す

4 **USB-HDD** :
「音楽を聴く / 音楽を取り込む」を選び、
 を押す

5 曲を音楽一覧から選び、 を押す
● **HDD** [▶] (リモコンの右ボタン) を押すと「次の曲」の内容を表示することができます。
「次の曲」には「音楽一覧」から選んだ曲や再生した曲が登録されます。またこれから再生される曲の順番を確認することができます。

表示マークについて (→158)



 別の曲を再生するには
再生したい曲を選び、[決定] を押す

 音楽を停止するには
[■ 停止] を押す

 **4X1003** **4X403** ギャップレス再生をするには
[データ ] を押す
● [データ ] を押すと、選択中の曲からギャップレス再生を開始します。ギャップレス再生中は、1 曲リピートおよびシャッフルは無効です。

 テレビの電源を切って音楽の再生を続けるには
[青] を押す
[ピエラリンク対応のテレビ (ピエラ) とアンプ (スピーカー) を接続している場合のみ表示]

 シャッフルの設定をするには
[赤] を押す

 リピートの設定をするには
[緑] を押す

 ハイレゾリマスターの設定をするには
[黄] を押す

 曲もしくはアルバムを「次の曲」のリストに追加するには
[ワンタッチ予約 録画 ●] を押す

お知らせ

- **4X1003** **4X403** ギャップレス再生は、選択中のトラックの先頭から曲間を空けずに連続で再生します。ライブやコンサートの音源を収録したアルバムなど (曲間をつなげて収録している音楽ファイル) の再生時に有効です。
・データの状態によってはトラックの変わり目に小さなノイズが発生する場合があります。
- ファイルによってはアルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報が登録できない場合があります。その場合は、フォルダから該当の曲を選んで再生してください。(**2X603** **2X303** **2X203** ギャップレス再生はできません)

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す (続き)

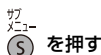
いろいろな操作や設定

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 以下の項目の設定を行うことができます。

① 曲やフォルダ、プレイリストなどを選び、



② 項目を選び、設定する

- 設定できる項目は、音楽CDや音楽ファイルによって異なります。

4X1003 4X403 ギャップレス再生	曲間を空けずに連続で再生します。
次に再生	選択した曲を「次の曲」で、現在再生している曲の次に再生するよう設定します。
あとで再生	選択した曲を「次の曲」のリストに追加します。
“次の曲”から除外	選択した曲を「次の曲」から除外します。
プレイリストに追加	選択した曲やアルバムをプレイリストに追加します。
プレイリストの名前を変更	プレイリストの名前を編集します。
曲の情報編集	曲の情報を編集します。
消去	選択したアルバム、曲、フォルダ、プレイリストを削除します。
情報を更新	アルバム、アーティスト、ジャンルなどの情報を更新します。
状態を更新	アルバム、曲、フォルダを消去した場合に、プレイリストの情報を更新します。
メディアへ書き出す	曲をHDDからディスクや写真・音楽用フォーマットまたはSeeQVaultフォーマットのUSB-HDDに書き出します。
HDDに取り込む	曲をHDDに取り込みます。 (→159)
スマホ再生用ファイル(AAC)作成	選択したアルバム、曲をスマートフォンで再生できるようにします。 ●音楽CDから取り込んだ曲のみ可能

ハイレゾリマスターファイル作成	選択したアルバム、曲をハイレゾ音源で再生できるようにします。 ●音楽CDから取り込んだ曲のみ可能 ●2X603 2X303 2X203 追加チャネルを設定中は作成できません。
再生設定	再生設定を表示します。(→122)
テレビのみ電源【切】	ピエラリンク対応のテレビ(ピエラ)とアンプ(スピーカー)を接続している場合、テレビの電源を切った状態でアンプから音楽の再生を続けることができます。

表示マークについて

	シャッフル【切】
	シャッフル【入】
	リピート【切】
	リピート【1曲】
	リピート【全曲】
	音質効果【切】
	ナイトサラウンド
	ハイレゾリマスター【弱】
	ハイレゾリマスター【中】
	ハイレゾリマスター【強】

※1 ハイレゾ対応機器接続時にハイレゾ音源を出力した場合に表示

※2 ハイレゾ対応機器からの音声出力時に表示

●お知らせ

- 再生可能なファイル形式 (→224)
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に本機の電源が切れます。

音楽ファイルを再生する / 取り込む / 書き出す (続き)

音楽ファイルを取り込む / 書き出す

- **BD-RE** **BD-R** **USB**^{※1} **USB-HDD**^{※2} ➡ **HDD**
- **HDD** ➡ **BD-RE** **BD-R** **USB**^{※1} **USB-HDD**^{※2}

※1 USB 機器は USB メモリーのみ

※2 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD

音楽ファイルを本機 HDD に取り込んだり、HDD からディスクなどへ書き出したりすることができます。

- ディスクや USB-HDD に書き出す場合はバックアップ用としてお使いください。
- HDD に取り込んだ音楽ファイルは DIGA Drive 領域に保存されます。

音楽ファイルを取り込む

- 1 **機能一覧** を押す
- 2 「ディスク・USB」を選び、 を押す
- 3 「ブルーレイ (BD) / DVD」、 「USB 機器」または「USB-HDD」を選び、 を押す
- 4 「音楽を聴く / 音楽を取り込む」を選び、 を押す
- 5 フォルダや音楽一覧から曲を選び、
 を押す
- 6 「HDD に取り込む」を選び、 を押す
- 7 「取り込み開始」を選び、 を押す

音楽ファイルを書き出す

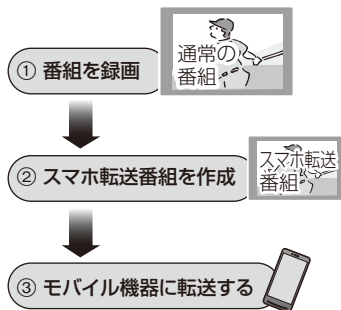
- 1 **機能一覧** を押す
- 2 「写真・音楽」を選び、 を押す
- 3 「音楽」を選び、 を押す
- 4 「フォルダ」を選び、 を押す
- 5 曲を選び、 を押す
- 6 「メディアへ書き出す」を選び、 を押す
- 7 書き出し先を選び、 を押す



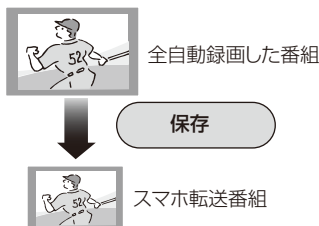
- 8 「書き出し開始」を選び、 を押す

録画した番組をモバイル機器に転送する

モバイル機器（スマートフォンなど）に転送するには、HDD に録画した番組からスマホ転送番組を作成する必要があります。



全自動録画した番組からスマホ転送番組を作成するには
通常録画用 HDD に保存 (→72) するときに作成してください。



スマートフォンを使って外で番組視聴するには
外出先から、番組の視聴や録画予約などができます。
「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については当社ホームページをご覧ください。(→4)

画質について

再生できる画質は転送する機器によって異なります。
詳しくは機器の説明書をご覧ください。

選択できる画質

4X1003	4X403	4 Mbps(1080p)
4X1003	4X403	2 Mbps(1080p)
		3.5 Mbps(720p)
		1.5 Mbps(720p)
		650 kbps(360p)
		400 kbps(180p)
		150 kbps(180p)

お知らせ

● スマホ転送番組について

- ・ 通常録画した番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、スマホ転送番組は消去されます。
- ・ 本機では、スマホ転送番組の再生・編集はできません。

● 多重音声の記録について

- 多重音声の番組からスマホ転送番組を作成する場合、以下ようになります。
- ・ マルチ音声の番組
 - 「信号切換」の「音声」(→122)で設定した音声 1 つ
- ・ 二重音声の番組
 - 「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」(→178) の設定に従う

スマホ転送番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

スマホ転送番組の設定 **HDD**

番組の予約録画時にスマホ転送番組を作成する場合、以下の画面でスマホ転送番組の設定を行ってください。

- 番組予約 (→90 手順 5)
- 詳細設定 (→91 手順 1)
- 時間指定予約 (→98 手順 3)

お知らせ

- スマホ転送番組は、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
- 作成されるスマホ転送番組のアスペクトは 16:9 になります。

録画した番組をモバイル機器に転送する (続き)

録画した番組から作成する

スマホ転送番組の作成

HDD

作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

ポリアップメニュー

- ① **録画一覧** を押す
- ② 作成する番組を選び、**録** を押す
- ③ 「スマホ転送番組の作成」を選び、**決定** を押す
- ④ 「画質」を選び、設定する
- ⑤ 「開始方法」を選び、設定する

● すぐに：

下記手順 ⑦ の設定後すぐに、作成を開始します。
作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

● 電源 [切] 後：

電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

- ⑥ 「作成する」を選び、**決定** を押す
- ⑦ 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、**決定** を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：

決定 を押す

作成の設定内容を変更・取り消しするには
手順 ③ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す

作成が終了しているか確認するには



スマホ転送番組一覧 (→162) で「作成待ち」が表示されている場合、スマホ転送番組の作成は終了していません。

お知らせ

- ダビングできない番組の場合、スマホ転送番組は作成できません。
- 通常録画用 HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、スマホ転送番組は作成できません。
- スマホ転送番組は以下の設定に従い作成されます。
 - ・ 二重音声 : 「ハイビジョン画質 / スマホ転送番組の記録設定」 (→178)
 - ・ マルチ音声 : 「信号切換」の「音声」 (→122)
 - ・ チャプター : 作成元になる番組のチャプター情報
 - ・ 字幕 : 「信号切換」の「字幕」 (→122)
(「電源 [切] 後」作成する場合、電源 [切] 時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

全自動録画した番組から作成する

全自動録画した番組から直接スマホ転送番組を作成することはできません。保存 (→72) 時に作成するか、保存したあと録画一覧から作成してください。(録画した番組から作成する → 左記)

お録りおき番組は「お録りおきの設定を変更する」 (→80) でスマホ転送番組の設定をすることができません。

録画した番組をモバイル機器に転送する (続き)

ネットワーク経由で転送する

スマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」で持ち出して視聴する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする (➡31、37)
- お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合(➡196)

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方は、ご使用になるモバイル機器のアプリなどをご確認ください。

スマホ転送番組の確認と消去

- ① **機能一覧** を押す
- ② 「設定・困ったときは」を選び、**決定** を押す
- ③ 「スマホ転送番組の消去」を選び、**決定** を押す
- ④ 番組を選び、**メニュー** を押す



- ⑤ 項目を選び、**決定** を押す (➡ 下記)

スマホ転送番組消去	スマホ転送番組を消去します。
番組内容	番組の情報を確認します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」(➡179)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

転送(ダビング)の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているので、転送(ダビング)できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合やスマホ転送番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は1回減ります。
- ①②表示のある番組をダビング(転送)すると、通常の番組・スマホ転送番組は通常録画用HDDから消去されます。



お知らせ

- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送するスマホ転送番組の合計より少し大きくなります。
- 通常の番組を再生中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置(➡119「続き再生メモリー機能」)とチャプターマーク(➡129)を通常の番組から引き継ぎます。
 - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
 - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定(➡125)されている「1回だけ録画可能」のスマホ転送番組は、転送できません。

######

#

お部屋ジャンプリnkを使う

お部屋ジャンプリnk機能

DLNA 対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツや再生できる操作などは異なります。
- 当社製 DLNA 対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
https://panasonic.jp/support/r_jump/
- 他社製 DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)

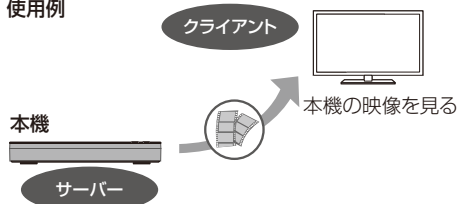
HDD **HDD** **USB-HDD**

USB-HDD (通常録画用フォーマットまたは SeeQVault フォーマット)

DLNA 対応機器から、本機の HDD や USB-HDD に録画した番組や写真、音楽の再生、受信した放送の視聴ができます。

- ネットワーク接続と設定をする (→30、31、37)
- お部屋ジャンプリnkの設定を変更する場合 (→196)
- 「お部屋ジャンプリnk/スカパー! Link (録画) 設定」(→184) の「サーバーモード」(→184) 設定によって、クライアント側で再生できるコンテンツは異なります。

使用例



録画番組や AVCHD の再生、放送中の番組を見る

- 1 「サーバーモード」(→184)を「モード 1」に設定する
- 2 テレビなどのクライアント機器側で操作する

録画番組・AVCHD・動画・写真や音楽を再生、放送中の番組を見る

- 1 「サーバーモード」(→184)を「モード 2」に設定する

2 テレビなどのクライアント機器側で操作する

お知らせ

- 本機に接続して同時に操作できるのは 2 台までです。
- 4X1003** **4X403** 4K 放送の番組は大量のデータを転送するため、無線 LAN では安定して再生できない場合があります。有線 LAN で接続することをお勧めします。

「ビデオを見る」のとき

- 編集はできません。(当社製機器の場合、番組の消去のみできます)
- 取り込んだ MP4 は再生できません。
- 4X1003** **4X403** 4K 放送の番組を再生しているときは、他の機器から再生できません。

「放送を見る」のとき

- 本機のチャンネル設定 (→191) で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- 4X1003** **4X403** 4K 放送の放送中の番組を見ることはできません。
- 本機が 2 番組録画中の場合、本機側で放送やチャンネルの切り換えはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 他社製機器によっては、放送番組を視聴することができない場合があります。

映像が途切れたり、停止する場合

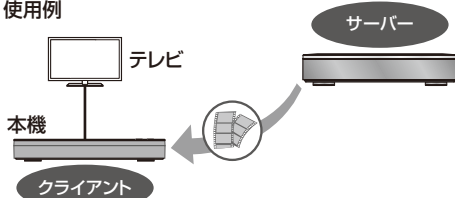
- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「通信/映像品質の設定」(→196)を「オート」または以下に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。
 - ・**4X1003** **4X403** 「モード 2」～「モード 5 (通信優先)」
 - ・**2X603** **2X303** **2X203** 「5 倍録画画質」、「10 倍録画画質」
 ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
 - ・早送り・早戻しができない
 - ・XP、SP、LP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 無線 LAN 使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかを確かめください。それでも改善できない場合は、有線 LAN で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。
- 本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

お部屋ジャンプリnkを使う (続き)

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機からお部屋ジャンプリnk対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。

使用例



- ネットワーク接続と設定をする (→30、31、37)
- 接続した機器側で、本機を登録する (当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリnk」または「ピエラリnk (LAN)」で登録する)
(本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～4の操作を行ってください)

1 機能一覧 を押す

2 「見る」を選び、 を押す

3 「お部屋ジャンプリnk」を選び、 を押す

4 接続する機器を選び、 を押す

例)



- 選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- お部屋ジャンプリnk対応ディーガの番組を再生する場合、「音声」または「字幕」を押すと、「音声切換」「字幕切換」や「電波状態表示」(無線接続時のみ)を行うことができます。
- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリnkで接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(→112)
- 再生機器によっては、早送りなど再生中の操作が正しく動かない場合があります。

よくあるご質問

お部屋ジャンプリnkが繋がらない

- お部屋ジャンプリnkを使うためにはネットワーク接続が必要です。ネットワーク設定を行い、画面の案内に従って操作してください。(→37)

パソコンや他社機器とお部屋ジャンプリnkはできますか

- DLNAに対応した他社のテレビやレコーダーは番組の再生が可能です。パソコンはデジタル放送番組を再生するための専用ソフトが必要です。ただし、接続する機器やコンテンツによって再生できない場合があります。

録画中でもお部屋ジャンプリnkはできますか

- 同時動作の制限によりお部屋ジャンプリnkができない場合があります。(→205)

お部屋ジャンプリnk再生画面が途中で止まったり、動いたりする

- 無線 LAN をお使いの場合は、電波状態によっては安定した再生ができない場合があります。LAN ケーブル(有線)での接続をお勧めします。(→31)

DIGA Drive 機能を使う

HDD

DIGA Drive 機能を利用すると、お使いのパソコンのブラウザで以下の操作ができます。

- パソコンから本機に写真 / 動画、音楽をアップロードする。
- 本機に取り込んだ写真 / 動画、音楽をパソコンにダウンロードする。
- DIGA Drive 機能に関する情報は、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/av/diga132/>

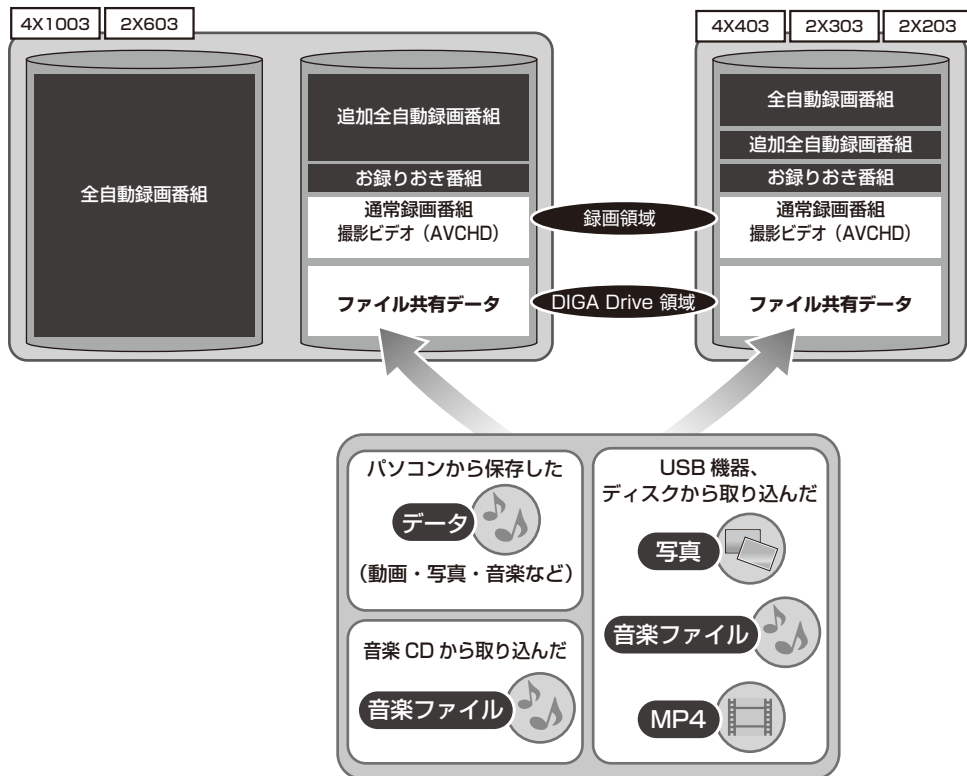
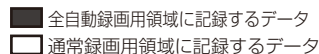
DIGA Drive 機能を利用するには

- ネットワーク接続と設定をする(➡30、31、37)
- 「DIGA Drive 機能」(➡185)を「入」にする
「入」に設定時には、ユーザー ID とパスワードが表示されます。
ユーザー ID とパスワードはあとから変更することができます。(➡185)

HDD の領域について

本機の HDD は記録するコンテンツによって別々の領域に分けて管理します。

パソコンから保存したデータ、ファイル取り込みした MP4 データ、音楽ファイルなどの
ファイル共有データは通常録画用領域に記録されます。



DIGA Drive 機能を使う (続き)

各領域の特徴について

	録画領域	お録りおき録画領域	DIGA Drive 領域
記録できるコンテンツ	● 録画番組 ● 撮影ビデオ (AVCHD)	● お録りおき番組	● 写真 ● MP4 ● データ (動画・写真・音楽など)
記録方法	● 録画 ● ダビング ● 動画の取り込み (→143)	● 全自動録画 (→65)	● パソコンから保存 ● 動画の取り込み (→147) ● 音楽ファイルの取り込み (→159) ● 音楽 CD の取り込み (→156) ● 写真の取り込み (→147) ● スマートフォンで撮影した写真・動画を受信 (→154)
本機での再生方法	● 「録画一覧」 (→113)	● 「全自動録画一覧」 (→67)	● 「写真 / 動画一覧」 (→148) ● 「音楽を聴く / 音楽を取り込む」 (→157)
パソコンからの表示	×	×	○
ディスクへの書き出し	○ (→132、135)	○ (→80)	○ (→152、159)
USB-HDD への書き出し	○ ※1 (→135)	○ (→80)	○ ※2 (→152、159)
他のDIGA Drive機能対応機器での再生	×	×	×
お部屋ジャンプリンク (「サーバーモード」 (→184) が「モード1」のとき)	○	○	×
お部屋ジャンプリンク (「サーバーモード」 (→184) が「モード2」のとき)	○	○	○

※1 撮影ビデオ (AVCHD) は SeeQVault フォーマットの USB-HDD のみ

※2 写真・音楽用フォーマットまたは SeeQVault フォーマットの USB-HDD のみ

DIGA Drive 機能を使う (続き)

パソコンから本機にデータを保存する

本機と宅内ネットワーク接続したパソコンからデータを保存します。

1 ブラウザを起動する

2 アドレスを入力する

- アクセス用のアドレスは、「アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示」(→185) で確認してください。

3 ユーザー名とパスワードを入力する



- ユーザー名とパスワードは以下のように入力してください。
ユーザー名：
「アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示」(→185) に表示されるユーザー ID
パスワード：
「DIGA Drive 機能」(→185) を「入」設定時に表示されるパスワード
パスワードを忘れた場合は、「パスワード変更」(→185) で再設定してください。

4 本機にパソコンのデータを保存する

ブラウザ上での操作方法は、ブラウザ右上にあるメニューの「ヘルプ」をご確認ください。



右上の「ヘルプ」アイコンをクリックすると、本機からのヘルプ、更新、最新機能の通知、アップデートの通知、お問い合わせの表示、お問い合わせの表示、お問い合わせの表示。

お知らせ

- DIGA Drive 領域に保存できるフォルダとファイルの合計は、60000 までです。
- 本機が自動的に作成したフォルダ内のデータを編集すると正しく表示されない場合や本機で再生できない場合があります。

保存した動画ファイル (MP4) や写真を本機で再生する

パソコンから保存した動画ファイル (MP4) や写真を本機で再生します。

- ファイルによっては再生できないものもあります。

「写真や動画を再生する」(→148) をご覧ください。

保存した音楽ファイルを本機で再生する

「音楽ファイルを再生する」(→157) をご覧ください。

ミュージックサーバー機能を利用する

ミュージックサーバー機能は、本機の HDD の DIGA Drive 領域に保存した音楽ファイルを、本機と宅内ネットワーク接続した DLNA 対応のオーディオ機器で再生できる機能です。

- ネットワーク接続したパソコンから本機の HDD の DIGA Drive 領域に音楽ファイルをコピーしてください。(→左記)
- オーディオ機器の再生方法は、再生する機器の説明書をご覧ください。

スマートフォンと自動接続する

4X1003 4X403

本機はお使いのスマートフォンと Bluetooth® で自動接続し、番組持ち出しや写真送信を自動的に行うことができます。

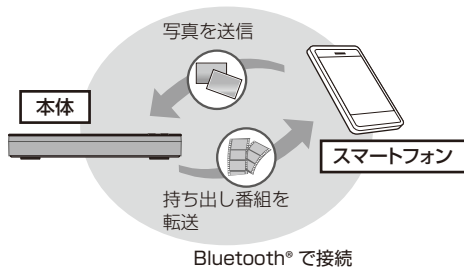
●詳しくは、下記サポートページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/av/diga127/>

スマートフォンと自動接続するには、スマートフォンでスマートフォン用アプリ「どこでもディーガ」のインストールと本機の登録が必要です。

「どこでもディーガ」の詳しい操作方法については下記ホームページをご覧ください。

https://panasonic.jp/support/av/d_diga/



必要な準備

スマートフォンと本機を Bluetooth® で接続するには、以下の設定をしてください。

「ピーコン出力」(→175) を「入」に設定する

本機で記録できるようにする（フォーマット）

BD-RE BD-R R RW

新品または他の機器で使っていたディスク



そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマット
すると



本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。

（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定している場合も消去されます）

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→45）

1 機能一覧 を押す

2 「ディスク・USB」を選び、決定 を押す

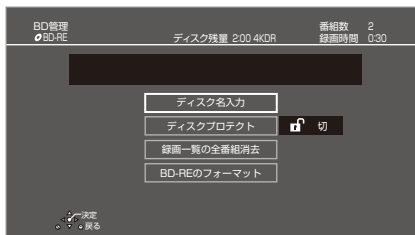
3 「ブルーレイ（BD）／DVD」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定 を押す

- 未使用の R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（→手順 6）

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

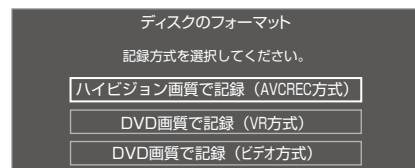
例) BD-RE



6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) R



● お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
- R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（→172）を行うと記録方式を変更できません。
- RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは「HDDのフォーマット」（→179）で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R -R -RW

(ファイナライズしたディスクではできません)

1 機能一覧 を押す

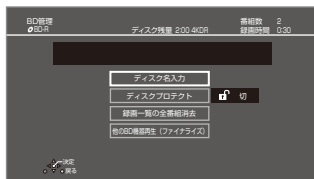
2 「ディスク・USB」を選び、決定を押す

3 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、決定を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定を押す

5 操作したい項目を選んで、決定を押す
(→ 下記)

例) BD-R



ディスク名入力

BD-RE BD-R -R -RW

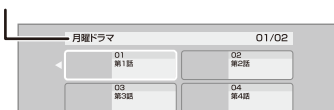
文字入力については (→ 174)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R V -RW V

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



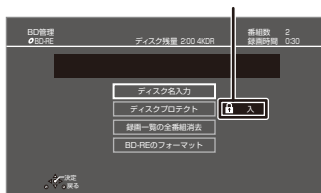
ディスクプロテクト

BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

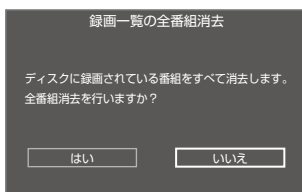
プロテクト設定すると「入」が表示



録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR

例) BD-RE



① 「はい」を選び、決定を押す

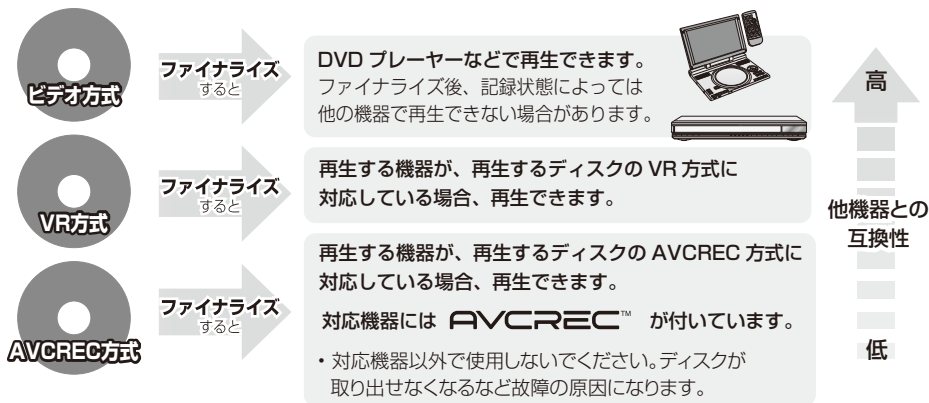
② 「実行」を選び、決定を押す

お知らせ

- BD-RE BD-R 写真は消去されません。
- BD-R -R AVCREC -R VR 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

[BD-RE] ファイナライズは不要です。



172 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

[R V] -[RW V]

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

お好みの背景を選び、**[決定]** を押す



- ・トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。（➡127「サムネイル変更」）

ファーストプレイ選択

[R V] -[RW V]

ファイナライズ後のディスク再生の始め方を設定できます。

「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、**[決定]** を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ） 他の BD 機器再生（ファイナライズ）

[R] -[RW] [BD-R]

- ① 「はい」を選び、**[決定]** を押す
- ② 「実行」を選び、**[決定]** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- ・本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ・ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- ・**[RW V]** フォーマット（➡171）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- ・**[RW VR]** 「ファイナライズ解除」（➡下記）を行うと、記録や編集ができます。
- ・**[BD-R]** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

[RW VR]

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようになります。

- ① 「はい」を選び、**[決定]** を押す
- ② 「実行」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

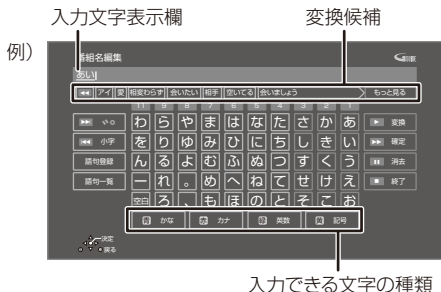
- ・本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

文字入力

本機では、表示された画面によって文字入力方法が異なります。

文字パネルから文字入力する

(番組名、ディスク名、アルバム名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)



- 1 **青 赤 緑 黄 で文字の種類を選ぶ**
●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

- 2 **入力する文字を選び、決定を押す**
●この手順を繰り返し、文字を入力します。
●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(→右記)
●文字入力時に、変換候補に予測変換候補が表示されます。変換候補から選んで「決定」を押すと、その文字が入力されます。

- 3 **入力が終わったら、停止を押す**

- 4 **「はい」を選び、決定を押す**

数字ボタン [1] ~ [9]、[11] でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ① [3] を押す
●「さ」行に移動します。
- ② [3] を 2 回押し、[決定] を押す
●「す」が入力文字表示欄に表示されます。

お知らせ

- ピエラリンクで操作した場合は、[▶再生] などのアイコンが表示されないことがあります。その場合は [▲][▼][◀][▶] ボタンで機能を選択してください。

ひらがなを確定する

[▶▶ 早送り] を押す

ひらがなを漢字変換する

- [▶再生] を押したあと、変換候補を選び、[決定] を押す
- [戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
- JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[|| 一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- ① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、[決定] を押す
- ② 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

- ① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- ② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

- ① 「語句一覧」を選び、[決定] を押す
- ② 語句を選び、[黄] を押す
- ③ 「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- プロフィール名編集集中 (→56) は語句登録と語句一覧の操作はできません。

リモコンボタン方式で文字入力する

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)



1 ~ 12 で文字を入力する

- ボタンを押すたびに、文字が変わります。
(例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す)
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

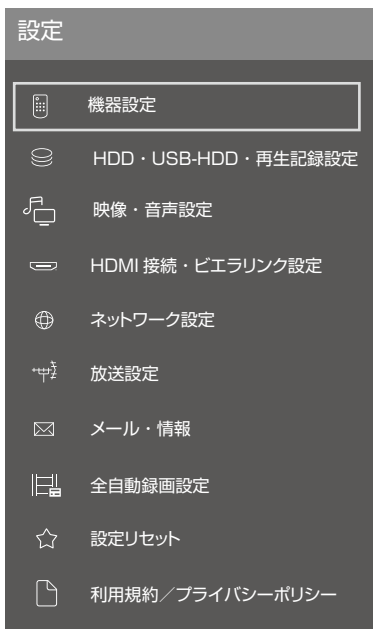
設定を変える

1 **機能一覧** を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す

3 「設定」を選び、 を押す

4 変更したい項目を選び、 を押す



5 設定項目を選び、 を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

機器設定

【 】 はお買い上げ時の設定です

自動電源オフ

【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の操作が終了してから2時間後または6時間後に電源が切れます。（電源は、録画など本機が動作中は切れません）

リモコン設定 (→193)

リモコンモード

【リモコン 1】

リモコンのテレビ操作設定

リモコンモード不一致お知らせ

【入】

4X1003

4X403

Bluetooth 設定

Bluetooth 機能

【切】

ビーコン出力

【切】

「入」に設定すると、Bluetooth® 接続を行うことができます。

日時設定

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に日時を修正しますので、通常は日時設定の必要はありません。

本体表示窓に右記の表示が出ている場合は、アンテナケーブルの接続を確認してください。



音声ガイドの設定

番組表や録画一覧の内容、選局時の番組名、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
- 「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「HDMI 出力」(→180) は自動的に「PCM」になります。（「切」に戻しても「PCM」のままです）
- 全自動録画一覧やホーム画面のときは出力されません。

音声ガイド機能

【切】

読み上げ音量

【標準】

読み上げ速度

【標準】

設定を変える (続き)

クイックスタート設定・本体時計表示

クイックスタート

【切 (時計表示無し)】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。(テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります)

- 待機時消費電力は増えます。
- 本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ (1 週間に 1 回程度) に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません)
- 「クイックスタート」を「切」に設定すると、以下の設定は自動的に「切」になります。

- ・ **[4X1003]** **[4X403]** 「Bluetooth 機能」(→175): 「切」
- ・ 「宅外リモート接続機能」(→184): 「切」
- ・ 「お部屋ジャンプリンク機能」(→184): 「切」
- ・ 「DIGA Drive 機能」(→185): 「切」
- ・ 「ネットワークカメラ連携機能」(→185): 「切」
- ・ 「家電の便利なお知らせ設定」(→右記): 「切」

「切 (時計表示無し)」にすると、電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

クイックスタートモード

クイックスタート(→上記)が「入」時の設定をします。

- 「標準」の場合
 - ・ テレビの無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
 - ・ 電源「切」時に本体表示窓が点灯します。
- 「省エネ (時計表示無し)」の場合
 - ・ 「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。
 - ・ 電源「切」時に本体表示窓は消灯します。

画面表示動作 (オート)

【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

- 録画番組再生時などに画面下部に表示される再生操作パネルは「画面表示動作 (オート)」を「切」にしても消すことはできません。

テレビ画面の焼き付き低減機能

【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。

お知らせ設定

「入」にすると、電源「入」時に便利なお知らせを表示することができます。

家電の便利なお知らせ設定

【切】

「入」にすると、家電の便利なお知らせを受けることができます。

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→左記)は自動的に「入」になります。

ディーガの便利なお知らせ設定

【入】

ホーム画面や全自動録画一覧、録画一覧を表示するときにお知らせを受けることができます。

本体表示窓の明るさ

【常時 明】

本体表示窓の明るさを調節します。

- 電源「切」時の時刻表示は、「クイックスタート」、「クイックスタートモード」の設定に従って点灯・消灯します。(→左記)

電源起動時の画面

【ホーム画面】

電源「入」時に「ホーム画面」か「テレビ放送画面」かを表示する設定をします。

認証 ID について

おすすめ設定診断のお知らせ

【入】

月初めの全自動録画一覧・ホーム画面を表示時におすすめ設定診断更新のお知らせを表示するかどうかの設定をします。

ソフトウェア更新 (ネットワーク)

本機をインターネット接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかを確認して、ソフトウェアの更新を行います。

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 - ・ 本機の電源を切る
 - ・ 電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新

【入】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。(更新は電源「切」時に行います)

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。

診断コード (→213)

設定を変える (続き)

HDD・USB-HDD・再生記録設定

【 】 はお買い上げ時の設定です

再生設定

DVD-Video の視聴制限^{※1} 【8 すべて視聴可】

DVD ビデオの視聴制限のレベルを設定できます。
この設定したレベルによって制限対象となる DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Video の視聴可能年齢^{※1} 【無制限】

年齢制限がある BD ビデオ（Ultra HD ブルーレイも含む）の視聴可能な年齢を設定できます。

この設定した年齢によって制限対象となる BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

●「年齢入力」を選んで【決定】を押すと、【1】～【10】で年齢を入力できます。

設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Live インターネット接続^{※1} 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

MASTER GRADE VIDEO CODING 【入】

（MGVC 対応の **BD-V**）
スタジオマスターと同等の滑らかで質感豊かな高画質映像で再生します。（→118）

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語^{※2} 【日本語】

再生時の音声を選びます。

●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語^{※2} 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

●「オート」は、「音声言語」の言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語^{※2} 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

●「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

次エピソード自動再生 【入】

（全自動録画一覧、録画一覧のまとめ番組内や、ホーム画面から番組の再生を開始したときのみ）

「入」にすると、毎週放送されるシリーズ番組の再生が終了すると、自動で次回放送話の番組が引き続き再生されます。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って【1】～【10】で暗証番号を入力してください。

暗証番号は忘れないでください。

※2 「その他****」の場合、*には【1】～【10】で言語番号（→198）を入力してください。

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ言語を切り換えるものもあります。

設定を変える (続き)

記録・ダビング設定

ハイビジョン画質・スマホ転送番組の記録設定

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声（二カ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 -R V -RW V

二重音声記録時の音声選択 【主音声 (L/R)】

二重音声（二カ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

4X1003 4X403

4KDR のダビング方式 【ダビング方式 1】

4KDR で通常録画した番組をブルーレイディスクに高速ダビングするときのダビング方式を設定します。他機器で再生できないときは、設定を変更してダビングすると再生できる場合があります。

4X1003 4X403

4K 画質の音声 ch 数優先 【切】

「切」の場合、記録される音声は AAC 5.1ch または AAC 2ch のいずれか一方のみです。
「入」の場合、AAC 22.2ch または AAC 7.1ch の音声も記録できますが、実際に録画できる時間は残量表示よりも短くなることがあります。

4X1003 4X403

1080p 画質の HDR モード 【自動】

スマホ転送番組（1080p）をお使いのスマートフォン端末で再生すると映像が白浮きする場合があります。「HDR 切」に設定すると改善される場合があります。

高速ダビング速度 【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。
（高速記録対応ディスクの場合など）

ムーブバックエラー制御 【中断】

ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

自動チャプター 【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。
- 全自動録画では、設定にかかわらずチャプターが作成されます。

動画編集時の変換画質 【高画質モード】

動画の編集（➡150）を行うときの画質を設定します。

保存の優先モード 【録画優先】

全自動録画した番組の保存実行中に、保存の予約を設定した番組が全自動録画の上書きによって消去されるような場合に、全自動録画を止めて保存を優先させるか、そのまま全自動録画を優先させるかを選びます。

再放送の録画 【録画しない】

「おまかせ録画」（➡101）や「カテゴリーまとめて予約」（➡102）で一度録画した番組の再放送を録画するかどうかを設定します。

設定を変える (続き)

HDD 番組の視聴制限*

【無制限】

年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる番組は録画一覧で表示されなくなります。表示するためには視聴制限一時解除 (→114) で暗証番号の入力が必要です。

HDD 設定

HDD 管理

録画一覧の全番組消去

通常録画した番組をすべて消去します。

ユーザ共有フォルダの全消去

DIGA Drive 機能 (→167) でパソコンから本機に保存したファイル、取り込んだ写真、取り込んだ MP4 動画ファイル、音楽 CD から取り込んだ曲をすべて消去します。

すべての全自動録画番組消去

全自動録画番組をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

以下の手順で HDD のフォーマットを実行することもできます。

- ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に 5 秒以上押す
・ 本体表示窓に “00 RET” が表示されます。
- ② 本体表示窓に “16 NO1” が表示されるまで **▶** (リモコンの右ボタン) を数回押す
- ③ **【■ 停止】** を 3 秒以上押す
- ④ 本体表示窓に “17 FMT” が表示されたら、**【決定】** を 3 秒以上押す
・ フォーマットが完了すると “END” が表示されます。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録 (→49)

USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し (→50)

USB-HDD を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

通常録画用 USB-HDD のフォーマット

全自動録画用 USB-HDD のフォーマット

写真・音楽用 USB-HDD のフォーマット

SeeQVault 対応のフォーマット (→50)

USB-HDD の初期化を行います。

USB-HDD 登録の取り消し (→49)

USB-HDD の登録を取り消します。

すべての USB-HDD 登録の取り消し (→49)

登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

※ 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ～ [10] で暗証番号を入力してください。
暗証番号は忘れないでください。

設定を変える (続き)

映像・音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した箇所などを滑らかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

音声は Dolby Audio™ (Dolby® Digital、Dolby Digital Plus™、Dolby® TrueHD) のときに有効です。

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

HDMI 出力

Dolby Audio 【オート】

DTS/DTS-HD 【オート】

AAC 【オート】

☐ 4X1003 ☐ 4X403 AAC (4K 放送) 【オート】

音声の出力方法を選びます。

- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」(→239) をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音 (副音声を含む ☐ BD-V)

【自動切換】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

- Dolby Atmos® や DTS:X®、AURIO-3D® に対応した BD ビデオを楽しむには

上記音声出力に対応した AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続し、以下のように設定してください。

- ・Dolby Audio : 「オート」
- ・DTS/DTS-HD : 「オート」
- ・BD ビデオ副音声・操作音 : 「切」

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「HDMI 出力」(→上記) が「オート」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合、「ノーマル」で出力されます。
 - ・ ☐ AVCHD 再生時
 - ・ ☐ BD-V 副音声や操作音を含んだ再生時

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

設定を変える (続き)

HDMI 接続・ビエラリンク設定

【 】 はお買い上げ時の設定です

3D 設定

2X603 2X303 2X203 3D 方式設定

【フル HD】

接続しているテレビの方式に設定します。

- 「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法

【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示

【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御

【入】

ビエラリンク (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

オートサウンド連携

【入】

ビエラリンク (HDMI) Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ

【切】

ビエラリンク (HDMI) Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に、「クイックスタート」(→176) が「切 (時計表示無し)」のときと同じように動作します。
ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

HDMI 接続設定

出力解像度

【オート (※)】

接続した機器が対応している項目に「※」が表示されます。「※」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。

- 4K 対応テレビと接続する場合、通常は「オート (※)」を選択してください。

※ 最高解像度を表示します。

4X1003 4X403

HDMI 4K/60p 伝送モード

【出力なし】

4K/60p 対応テレビに接続し、「出力解像度」(→上記) を「オート」に設定したときに、自動で 4K/60p 出力します。

「音声出力端子設定」(→182) は「音声のみ」になります。

接続するテレビに合わせて設定します。

- 「高速 (18Gbps)」:
4K/60p (4:4:4/8 bit) または (4:2:2/12 bit) 対応テレビと接続時
・HDMI ケーブルが 18 Gbps に対応していない場合は、映像が正常に出力されません。
- 「通常 (10.2Gbps)」:
4K/60p (4:2:0/8 bit) 対応テレビと接続時

24p 出力 BD-V AVCHD

【オート】 (4X1003 4X403)

【切】 (2X603 2X303 2X203)

映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「出力解像度」(→上記) を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「出力解像度」(→上記) を「オート」または「1080i 固定」、「1080p 固定」に設定時に 1080/24p で出力されます。

24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

4X1003 4X403

映像出力端子設定

【オート (映像のみ／映像＋音声)】

HDMI 映像出力端子からの音声を出力するかどうかを設定します。

設定を変える (続き)

4X1003 4X403

音声出力端子設定

【音声のみ】

HDMI 音声出力端子からの映像を出力するかどうかを設定します。

- 「映像 + 音声」に設定すると以下の制限があります。
 - ・ HDMI 映像出力端子に接続した機器で 3D または 4K 映像は出力できません。
- アンプを HDMI 音声出力端子に接続している場合、「音声のみ」に設定していると、テレビから音声が出されない場合があります。

4X1003 4X403

HDR10 +

【入】

シーンごとにテレビ側で最適なトーンマッピングを自動的に調整します。

2X603 2X303 2X203

カラースペース

【YCbCr (MGVC オート)】

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

2X603 2X303 2X203

Deep Color 出力

【オート】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

2X603 2X303 2X203

7.1ch 音声リマッピング BD-V

【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1 チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)

2X603 2X303 2X203

コンテンツタイプフラグ

【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

4X1003 4X403

HDMI 詳細設定

カラースペース

【YCbCr (オート)】

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

Deep Color 出力

【オート (12bit 優先)】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

4X403

ハイダイナミックレンジ出力

【オート】

素材や接続機器に従って HDR (ハイダイナミックレンジ) 映像で出力します。

4X1003

HDR/色域出力

【HDR/BT.2020 (オート)】

HDR (ハイダイナミックレンジ) 素材の出力方式を設定します。

HLG / PQ 変換設定

【切】

接続機器が HDR (HLG) 方式に対応していない場合の HDR (HLG) 方式の信号の出力方法を設定します。

4X1003

HDR ディスプレイタイプ

【再生映像に応じて設定】

接続している HDR 対応ディスプレイの種類を設定します。「画質設定」の「HDR トーンマップ」はこの設定に基づいて調整されます。(→ 123)

25p/50p 出力 BD-V

【切】

25p/50p 出力対応テレビの接続時に、Ultra HD Blu-ray/BD-Video の 25p/50p/50i の素材を 25p/50p で出力します。

HDCP 出力設定

【オート】

アンプ (スピーカー) 経由で HDCP2.2 非対応のテレビと接続すると、一部の映像が黒画面になる場合があります。その場合は、「HDCP1.4 制限出力」に設定してください。

7.1ch 音声リマッピング BD-V

【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1 チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)

コンテンツタイプフラグ

【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

設定を変える (続き)

ネットワーク設定

かんたんネットワーク設定 (→38)

LAN 接続形態

【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

無線設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「LAN 接続形態」(→ 上記) が「無線」時のみ有効

無線ネットワーク検索

WPS (プッシュボタン) 方式

WPS (PIN コード) 方式

手動設定

無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) との接続を行います。

- 「LAN 接続形態」(→ 上記) が「無線」時のみ有効

IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP* サーバー機能がない場合、またはルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていない場合に設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→左記) を「切」にしたあとと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→ 上記) を「切」にしたあとと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

【0】

接続テスト

設定を変える (続き)

宅外リモート接続設定 (→197)

宅外リモート接続機能

【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→176)と「お部屋ジャンプリンク機能」(→下記)は自動的に「入」になります。
- 「切」にすると、「DIGA Drive 機能」(→185)は自動的に「切」になります。

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

お部屋ジャンプリンク／スカパー！Link (録画) 設定 (→196)

お部屋ジャンプリンク機能

【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→176)は自動的に「入」になります。
- 「切」にすると、「宅外リモート接続機能」(→上記)と「DIGA Drive 機能」(→185)は自動的に「切」になります。

本機の名称

サーバーモード

【モード2】

アクセス許可方法

【自動】

通信／映像品質の設定

【オート】

4X1003 4X403

詳細設定

- 画質を優先する場合は「モード1 (画質優先)」を、通信安定性を優先する場合は「モード5 (通信優先)」を選んでください。

2X603 2X303 2X203

詳細設定

- 画質を優先する場合は「オリジナル画質」を、通信安定性を優先する場合は「10 倍録画質」を選んでください。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示

【切】

- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。(通常録画用 HDD が容量不足の場合、「入」にはできません)

自動更新

【入】

- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。(更新は1日に1回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

設定を変える (続き)

ディモラ／使用情報の送信設定

ディモラの機器登録を解除します。

DIGA Drive 設定

DIGA Drive 機能 【切】

- 「入」にすると、ネットワーク接続したパソコンを操作して、写真や動画（MP4）、音楽などのファイルを本機の HDD に保存することができます。
- 「入」にすると、「クイックスタート」(→176)と「宅外リモート接続機能」(→184)と「お部屋ジャンプリンク機能」(→184)は自動的に「入」になります。

アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示

- 本機の DIGA Drive にアクセスするための URL とユーザー ID を確認することができます。

ユーザー ID 変更

- ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのユーザー ID を変更します。

パスワード変更

- ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのパスワードを変更します。

DIGA Drive の HDD 使用量確認

- DIGA Drive 領域で使用している HDD の容量を確認します。

ネットワークカメラ連携設定

ネットワークカメラ対応機器から動画を受信する設定をします。

ネットワークカメラ連携機能 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→176)は自動的に「入」になります。

自動消去設定 【自動消去しない】

接続機器一覧

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN 接続形態」(→183)の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」：背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」：内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号

放送設定

【 】 はお買い上げ時の設定です

かんたん設置設定

チャンネル設定などの設置設定をやり直すことができます。(→40)

放送受信設定

受信対象設定

放送視聴時や番組表で使わない放送を操作できないようにします。

- 地上デジタルは設定できません。

BS/CS4K*

BS

CS

※BS/CS4K は **4X1003** **4X403** のみ

チャンネル設定 (→191)

BS/CS4K* / 地上デジタル / BS / CS

※BS/CS4K は **4X1003** **4X403** のみ

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」の「チャンネル設定」(→40)を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信 【切】

「入」に設定すると、インターネットを利用して1か月の番組表や注目番組を取得することができます。

- ネットワークの接続と設定(→30, 37)が必要です。
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 2024年9月現在、番組情報を取得できる放送局は NHK、スター・チャンネル、WOWOW のみです。

設定を変える (続き)

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定 (→189)

地上デジタル

アッテネーター 【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル (→190) を指定してアンテナレベル (信号品質) を確認します。

衛星

アンテナ電源

アンテナ出力 【入】

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

(放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください)

4X1003 4X403 ACAS チップテスト

NG の場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

B-CAS カードテスト

NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CAS カードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

2X603 2X303 全自動録画用

2X603 2X303 視聴・通常録画用

デジタル放送 視聴・再生設定

字幕設定

ディスクに録画した場合、デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど (文字スーパー) を表示させるための設定です。

設定しても番組によって無効になる場合があります。

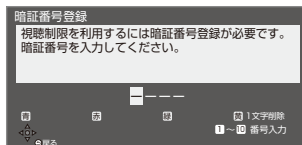
字幕 【切】

字幕言語 【日本語】

文字スーパー 【切】

文字スーパー言語 【日本語】

制限項目設定



画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢 【無制限】

年齢制限がある番組の視聴可能な年齢を設定できます。この設定した年齢によって制限対象となる番組は、番組表などで「・・・」と表示され、視聴するためには暗証番号の入力が必要です。

ブラウザ制限 【しない】

ブラウザを利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

選局対象 【すべて】

デジタル放送で[チャンネルへ、V]を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを選局します。

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約 【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。(→199)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(→187「放送メール」)

設定を変える (続き)

メール・情報

放送メール

放送局からのお知らせ（それぞれの B-CAS カードに対し、最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができます。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日付を確認できます。

4X1003 4X403 ACASチップ／B-CASカード
2X603 2X303 2X203 B-CAS カード

4X1003 4X403 ACAS チップ

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、ACAS 番号が必要な場合に使用します。

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

4X1003 4X403 2X603 2X303

番号の表示を切り換えるには

- [青]：視聴・通常録画用
- [赤]：全自動録画用

4X1003 2X603 2X203 RMP メーカー ID

TRMP 方式の本機 ID および放送局 ID を表示します。お問い合わせ時にご確認をお願いする場合があります。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

 その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

全自動録画設定

全自動録画設定を変更する (→74)

- 「録画日数を延ばしたい」
- 「チャンネルを変えたい」
- 「予約録画の時間を増やしたい」

設定を変える (続き)

設定リセット

すべての設定リセット

日時設定以外の設定や全自動録画設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、全自動録画・予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合や、「故障かな!？」(→213)に記載された対応以外には、実行しないでください。

以下の手順ですべての設定リセットを実行することもできます。

- ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に 5 秒以上押す
・ 本体表示窓に “00 RET” が表示されます。
- ② 本体表示窓に “18 NO2” が表示されるまで **▶** (リモコンの右ボタン) を数回押す
- ③ **■ 停止** を 3 秒以上押す
- ④ 本体表示窓に “19 PIR” が表示されたら、**【決定】** を 3 秒以上押す
・ リセットが完了すると “END” が表示されます。

すべての設定リセットをすると本機のリモコンモードもリセットされます。リモコンモードを変更していた場合は、以下の方法でリモコン側のリモコンモードを変更してください。

- リモコンの **【決定】** と **【1】** を同時に 3 秒以上押す

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDD や USB-HDD の番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDD のフォーマット」(→179) や「通常録画用 USB-HDD のフォーマット」(→179) を行ってください。

部分リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

- ・ 日時
- ・ DVD-Video の視聴制限
- ・ BD-Video の視聴可能年齢
- ・ HDD 番組の視聴制限
- ・ USB-HDD の登録
- ・ **4X1003** **4X403** HDMI 4K/60p 伝送モード
- ・ LAN 接続形態
- ・ 無線設定
- ・ IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定
- ・ お部屋ジャンプリンク / スカパー! Link (録画) 設定の本機の名称
- ・ 家じゅう録画一覧設定の接続する機器一覧
- ・ ネットワークカメラ連携設定の接続機器一覧
- 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定 (リモコン 1) に戻ります。リモコンが働かなくなった場合 (本体表示窓に “U30” と表示)、リモコンモードを変更してください。(→207)

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報は設定リセットでは消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDD や USB-HDD の番組などは、設定リセットでは消去されません。消去するには、「HDD 設定」や「USB-HDD 設定」でフォーマットを行ってください。(→179)

利用規約 / プライバシーポリシー

本機の利用規約 / プライバシーポリシーを確認することができます。

設定を変える (続き)

アンテナレベル (信号品質) を確認する

アンテナレベル (信号品質) について

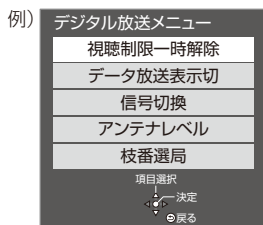
アンテナレベル (信号品質) は、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質 (信号と雑音の比率) を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

1 視聴中に



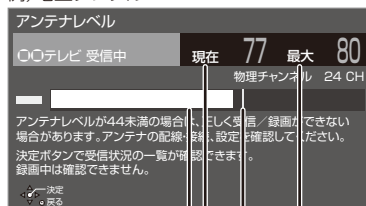
2 「デジタル放送メニュー」を選び、決定を押す

3 「アンテナレベル」を選び、決定を押す



4 アンテナレベル (信号品質) を確認する

例) 地上デジタル



最大感知レベル

現在の入力レベル

受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

●アンテナの説明書もご覧ください。

1 機能一覧を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、決定を押す

3 「設定」を選び、決定を押す

4 「放送設定」を選び、決定を押す

5 「放送受信設定」を選び、決定を押す

6 「受信アンテナ設定」を選び、決定を押す

7 修正したい放送を選び、決定を押す (→190 ページへ)

設定を変える (続き)

地上デジタル

「受信アンテナ設定をする」(→189)手順 1～7 のあと

8 アンテナレベル (信号品質) が最大になるように、アンテナの向きを調整する

アッテネーター

- アンテナレベルが大きくなるほうを選択してください。

物理チャンネル選択 (→下記)

受信アンテナ設定	
アッテネーター	入 切
物理チャンネル選択	24CH
アンテナレベル	
受信状況	〇〇テレビ 受信中
信号品質	現在 77 最大 80
項目選択	
設定変更	

アンテナレベル
(44以上が目安です)

最大感知レベル

現在の入力レベル

4X1003 4X403 信号品質
2X603 2X303 2X203 受信レベル

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており (13 CH ～ 62 CH)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押し、そのチャンネルのアンテナレベル (信号品質) を確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「! アンテナレベルが不足しています。詳しくは [機能一覧] を押しください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、「チャンネル設定」の「再スキャン」を行ってください。(→191)
 - ・アッテネーターを切り換える
 - ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星

「受信アンテナ設定をする」(→189)手順 1～7 のあと

8 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入 (オン)」にしてください。

9 アンテナレベル (信号品質) が最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力

- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS4K/110度CS4K放送 ([4X1003] 4X403)、BS・110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。

現在の入力レベル

4X1003 4X403	最大感知レベル
受信アンテナ設定	
アンテナ電源	入 切
アンテナ出力	入
トランスポンダ選択	BS-15
衛星周波数	11.9960 GHz
受信状況	BS Digital 受信中
信号品質	現在 63 最大 66
項目選択	
設定変更	

信号品質

4X1003 4X403
(54以上が目安です) 現在の入力レベル

2X603 2X303 2X203

受信アンテナ設定	
アンテナ電源	入 切
アンテナ出力	入
トランスポンダ選択	BS-15
衛星周波数	11.9960 GHz
アンテナレベル	
受信状況	BS Digital 受信中
受信レベル	現在 63 最大 66
項目選択	
設定変更	

アンテナレベル

最大感知レベル

2X603 2X303 2X203
(50以上が目安です) 現在の入力レベル

「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110度CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

設定を変える (続き)

受信チャンネルを修正する

- 1  を押す
- 2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す
- 3 「設定」を選び、 を押す
- 4 「放送設定」を選び、 を押す
- 5 「放送受信設定」を選び、 を押す
- 6 「チャンネル設定」を選び、 を押す
- 7 修正したい放送を選び、 を押す
(BS、CS、BS/CS4K* の場合 → 192)
- 8 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、 を押す
(→ 下記または右記、192)

※BS/CS4K は   のみ

地上デジタル 初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

上記手順 1 ～ 8 のあと

- 9 お住まいの地域を選び、 を押す
- 10 受信帯域を選び、 を押す
- 11 正しく設定されていることを確認したあと、
 を押す

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ～ 8 のあと

- 9 正しく設定されていることを確認したあと、
 を押す

設定を変える (続き)

地上デジタル マニュアル BS、CS、BS/CS4K*

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定			
Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	---
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po: 「1」～「12」の表示はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、**[▼]**を押してください。

CH: テレビ画面や本体表示窓に表示される番号です。
「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

地上デジタルの場合、「受信チャンネルを修正する」(→191) 手順 1～8 のあと

BS、CS、BS/CS4K* の場合、「受信チャンネルを修正する」(→191) 手順 1～7 のあと

※BS/CS4K は **4X1003** **4X403** のみ

9 修正したい行 (Po) を選び、**[決定]**を押す

10 表示チャンネル (CH) を修正し、

戻る
[戻る]を押す

11 修正が終わったら、**[戻る]**を押す

[決定]チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① **[緑]**を押す
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、**[決定]**を押す
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、**[決定]**を押す
- ④ 入れ換えが終わったら **[戻る]**を押す

[決定]放送局名が表示されない場合は

再度「かんたん設置設定」を行ってください。(→185)

[お知らせ]

- 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、サポートサイトの品番別サポート情報でご覧いただけます。
<https://panasonic.jp/diga/support.html>

設定を変える (続き)

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1  を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す

3 「設定」を選び、 を押す

4 「機器設定」を選び、 を押す

5 「リモコン設定」を選び、 を押す

6 「リモコンモード」を選び、 を押す

7 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、 を押す

リモコン側のモードを設定する

8  ～  のいずれかを押しながら、 を 3 秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

本体側のリモコンモード：リモコン ○
次に、リモコン側のリモコンモードを「○」に変更します。

1. リモコンの  ボタンを押しながら「決定」ボタンを3秒以上押してください。

※モード切り換えが完了すると「テレビ操作」ボタンが点滅します。

2. リモコンをレコーダー（本機）の前面に向けて、「次へ」を選んで決定ボタンを押してください。

- モードの切り換えが完了すると、[テレビ操作] ボタンが 3 回点滅します。

9 リモコンを本機に向けて「次へ」を選び、 を押す

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。
- 自動的に次の画面へ切り換わる場合もあります。

設定を変える (続き)

本機のリモコンでテレビを操作する

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの
[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +, -]、
[消音] でテレビを操作できます。

また、[テレビ操作] を押してボタンを点灯させると、他の
ボタンでもテレビを操作できるようになります。(→195)



1 機能一覧 を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、決定 を押す

3 「設定」を選び、決定 を押す

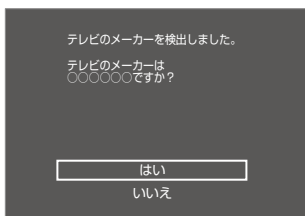
4 「機器設定」を選び、決定 を押す

5 「リモコン設定」を選び、決定 を押す

6 「リモコンのテレビ操作設定」を選び、決定 を押す

7 テレビのメーカー確認画面が表示された場合：
「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

例)

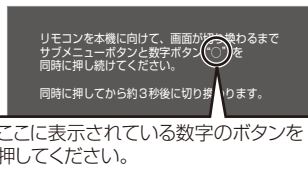


- お使いのテレビメーカーと異なるメーカー名が表示される場合、「いいえ」を選び、メーカー選択画面で正しいメーカー名を選んでください。

テレビのメーカー選択画面が表示された場合：
メーカー名を選び、決定 を押す

8 リモコンを本機に向け、サブメニュー \$ を押しながら、1 ~ 12 のいずれかを 3 秒以上押したままにする

例)



- 画面が切り換わったら、リモコンをテレビに向け、音量ボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。

正しく動作しない場合「メーカー番号を入力して設定する場合」(→195)をお試しください。

9 決定 を押す

設定を変える (続き)

■メーカー番号を入力して設定する場合

「リモコンのテレビ操作設定」(➔194)を行っても正しく動作しない場合、以下の操作で設定してみてください。

【戻る】を押しながら、【1】～【10】を使って、2桁のメーカー番号（→下記）を入力してください。

例) 01 の場合 $\cdots [10] \rightarrow [1]$ 10 の場合 $\cdots [1] \rightarrow [10]$
 11 の場合 $\cdots [1] \rightarrow [1]$ 12 の場合 $\cdots [1] \rightarrow [2]$

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01、10、22、24、30、31、87、88
アイワ	18
NEC	06、15
三洋	07、16
JVC/ビクター	14
シャープ	02、11、21、33
ソニー	03
TVS REGZA/ 東芝	04、27、32
パイオニア	13、28
日立	05、20、38
富士通ゼネラル	09
フナイ	19、29
三菱	08、12、25、35、36、37
LG	26
ハイセンス	34
TCL	39

番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、
テレビ操作できる番号に合わせてください。

設定が完了すると、「テレビ操作」が2回点減します。

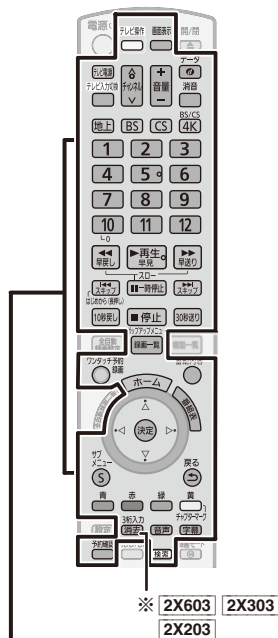
- 正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。
- テレビ側でリモコンモードを変更している場合、本機のリモコンでは操作できないことがあります。

テレビ操作モードにする

1 リモコンの を押す

- ボタンが点灯し、テレビ操作モードになります。

2 下記のボタンでテレビを操作する



テレビの操作に使用できるボタン

【テレビ電源】、【テレビ入力切換】、【音量 +,-】、
【消音】は、【テレビ操作】を押さなくてもテレビを操作
できます。

※ **2X603** **2X303** **2X203** [消去] は使用できません。

 お知らせ

- 再度【**テレビ操作**】を押すか、約 30 秒間何も操作しなかった場合、【**テレビ操作**】は消灯し、テレビ操作モードは終了します。
- メーカーや機種によっては、操作できないボタンもあります。
- 登録したテレビのリモコンにないボタンは動作しません。また、機種によってはボタンの名称が異なる場合があります。
- 三洋、JVC/ ビクター、NEC、富士通ゼネラル、アイワ製のテレビは【**テレビ電源**】、【**テレビ入力切換**】、【**チャンネル へ、▼**】、【**音量 +、-**】以外是对应していません。
- 【**4X1003**】 【**4X403**】 【**4K**】 ボタンは当社製テレビ以外是对应していません。

設定を変える (続き)

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 / CATV セットトップボックス / スカパー！プレミアムサービス対応チューナー / ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリnk /
スカパー！Link (録画) 設定

1 機能一覧 を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す

3 「設定」を選び、 を押す

4 「ネットワーク設定」を選び、 を押す

5 「お部屋ジャンプリnk /
スカパー！Link (録画) 設定」を選び、
 を押す

6 「お部屋ジャンプリnk機能」を選び、
 を押す

7 「入」を選び、 を押す

- 「クイックスタート」(→176) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

8 「アクセス許可方法」を選び、 を押す

9 「手動」または「自動」を選び、 を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
- 「手動」の場合 (→右記手順 10 へ)

左記手順 9 で「手動」を選んだ場合

10 「機器一覧」を選び、 を押す

11 アクセスを許可したい機器の機器名または
MAC アドレスを選び、 を押す

12 「アクセス許可」を選び、 を押す
●最大 16 台まで登録できます。

🔗再生するコンテンツを変更するには [当社製テレビ (ビエラ) やディーガと組み合わせの場合のみ]

- ① 手順 5 のあと「サーバーモード」を選び、
[決定] を押す
- ② 項目を選び、[決定] を押す

🔗登録している機器のアクセス許可を取り消すには
([アクセス許可方法] が「手動」の場合のみ)

- ① 手順 11 で、取り消したい機器の機器名または
MAC アドレスを選び、[決定] を押す
- ② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す

🔗「通信／映像品質の設定」を変更するには、
映像が途切れたり停止するのを改善するには、
「オート」または以下に設定してください。

— [4X1003] [4X403] 「モード2」～「モード5 (通信優先)」
— [2X603] [2X303] [2X203] 「5 倍録画質」、「10 倍録画質」

- ① 手順 5 のあと「通信／映像品質の設定」を選び、
[決定] を押す
- ② 項目を選び、[決定] を押す

🔗接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

- ① 手順 5 のあと「本機の名称」を選び、[決定] を押す
- ② 項目を選び、[決定] を押す
●一覧から選んで変更
●文字入力して変更 (→174)

🔗お部屋ジャンプリnk機能を使用しないときは
手順 7 で「切」を選ぶ

🔗お知らせ

- スカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスから録画または予約録画をする場合や、ビエラなどからダビングまたは他のディーガからお引越ダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。
機器側の設定は、各機器の説明書をご覧ください。

設定を変える (続き)

スマートフォン、携帯電話、パソコンと接続する

宅外リモート接続設定

外出先から、スマートフォンやタブレットで番組を視聴したり、パソコンなどで録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

当社ホームページ どこでもディーガ (→4)

ディモラ : <https://dimora.jp/>

宅外リモート接続の動作確認情報は当社ホームページをご確認ください。(→12)

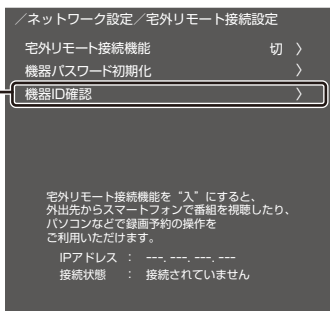
1  を押す

2 「設定・困ったときは」を選び、 を押す

3 「設定」を選び、 を押す

4 「ネットワーク設定」を選び、 を押す

5 「宅外リモート接続設定」を選び、 を押す



機器 ID :

パソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

- 「すべての設定リセット」 (→188) や 「部分リセット」 (→188) をすると機器パスワードは自動で変更されます。

7 「入」を選び、 を押す

 「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続 (→30、31)、「IPアドレス / DNS / プロキシサーバー設定」 (→183) を確認してください。

 機器パスワードを初期化するには

- ① 手順 5 のあと「機器パスワード初期化」を選び、
[決定] を押す
- ② 「する」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 外出先から番組を視聴する場合、本機が 3 番組を録画中は放送番組の視聴はできません。
- 外出先から番組を視聴する場合、2 台の機器から同時に視聴することはできません。
- 一部のチャンネルでは、放送局の制限により外出先から視聴することができません。

設定を変える (続き)

言語番号一覧

「再生設定」の言語選択時に使用します。(→177)

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	韓国(朝鮮)語:	7579	タイ:	8472	フェロー:	7079
アイマラ:	6589	カンナダ:	7578	タガログ:	8476	フランス:	7082
アイルランド:	7165	カンボジア:	7577	タジク:	8471	フリジア:	7089
アゼルバイジャン:	6590	キルギス:	7589	タタール:	8484	ブータン:	6890
アッサム:	6583	ギリシャ:	6976	タミル:	8465	ブルガリア:	6671
アファル:	6565	クルド:	7585	チェコ:	6783	ブルターニュ:	6682
アフリカーンス:	6570	クロアチア:	7282	チベット:	6679	ヘブライ:	7387
アブハジア:	6566	グアラニー:	7178	中国語:	9072	ベトナム:	8673
アムハラ:	6577	グジャラト:	7185	ティグリニア:	8473	ベロルシア(白ロシア):	6669
アラビア:	6582	グリーンランド:	7576	テルグ:	8469	ベンガル(バングラ):	6678
アルバニア:	8381	グルジア:	7565	デンマーク:	6865	ペルシャ:	7065
アルメニア:	7289	ケチュア:	8185	トウイ:	8487	ポーランド:	8076
イタリア:	7384	ゲール(スコットランド):	7168	トルクメン:	8475	ポルトガル:	8084
イディッシュ:	7473	コーサ:	8872	トルコ:	8482	マオリ:	7773
インターリングア:	7365	コルシカ:	6779	トンガ:	8479	マケドニア:	7775
インドネシア:	7378	サモア:	8377	ドイツ:	6869	マダガスカル:	7771
ウェールズ:	6789	サンスクリット:	8365	ナウル:	7865	マライ(マレー):	7783
ウォロフ:	8779	ショナ:	8378	日本語:	7465	馬拉タ:	7782
ウクライナ:	8575	シンド:	8368	ネパール:	7869	マラヤーラム:	7776
ウズベク:	8590	シンハラ:	8373	ノルウェー:	7879	マルタ:	7784
ウルドゥー:	8582	ジャワ:	7487	ハウサ:	7265	モルダビア:	7779
ヴォラピュック:	8679	スウェーデン:	8386	ハンガリー:	7285	モンゴル:	7778
英語:	6978	スペイン:	6983	バシキール:	6665	ヨルバ:	8979
エストニア:	6984	スロバキア:	8375	バスク:	6985	ラオ:	7679
エスペラント:	6979	スロベニア:	8376	バシュト:	8083	ラテン:	7665
オーリヤ:	7982	スワヒリ:	8387	パンジャブ:	8065	ラトビア(レット):	7686
オランダ:	7876	スندا:	8385	ヒンディー:	7273	リトアニア:	7684
カザフ:	7575	ズールー:	9085	ビハール:	6672	リンガラ:	7678
カシミール:	7583	セルビア:	8382	ビルマ:	7789	ルーマニア:	8279
カタロニア:	6765	セルボクロアチア:	8372	フィジー:	7074	レトロマンズ:	8277
ガリチア:	7176	ソマリ:	8379	フィンランド:	7073	ロシア:	8285

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新ができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のもの書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。(➡186「ソフトウェア更新設定」)

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

(➡176「ソフトウェア更新（ネットワーク）」)

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示されます。

例) オンエアーダウンロード
またはネットワークからの
ダウンロードによる更新の実行中



- “1/5”などは進行状況です。
- “5/5”まで表示したあと表示が消えるまで、本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送またはBS デジタル放送の受信環境が必要です。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① 全自動録画状態表示画面（➡74）で「開始・停止」を選び、全自動録画を停止する
 - ② 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
 - ③ 電源プラグをコンセントから抜く
 - ④ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待つから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）
- 移動後、全自動録画状態表示画面で、「開始・停止」を選んで、全自動録画を再開してください。

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。

使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー（当社販売 / RP-CL720Aは販売店でお求めいただけます）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。当社販売以外のレンズクリーナーをご使用になる場合は、本機で使用可能かを事前に各レンズクリーナーの販売メーカーにご確認ください。

- 当社販売のレンズクリーナーでのクリーニング中に音があることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

個人情報について

- 本機にはお客様が撮影した写真や動画、ネットワーク機能で使用する機器IDや機器パスワードなどの個人情報記録されます。
- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、お客様が撮影した写真や動画などが記録されている場合があります。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「ネットワーク設定」の「ディモラ / 使用情報の送信設定」（➡185）で機器登録を解除してから、「HDD・USB・HDD・再生記録設定」の「HDD設定」（➡179）からHDDをフォーマットし、「設定リセット」の「すべての設定リセット」（➡188）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。
- 本機を譲渡または廃棄される場合には、ご契約先のNHKや有料放送に解除または更新の連絡をしてください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

- HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

取り扱いについて (続き)

USB-HDDに関するお願い

USB-HDD を通常録画用フォーマットや全自動録画用フォーマットでお使いになっていた場合、本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。

登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容(データ)の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

HDD (ハードディスク)・USB-HDD

振動・衝撃・磁気やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容や写真・動画・音楽の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング (バックアップ) を…

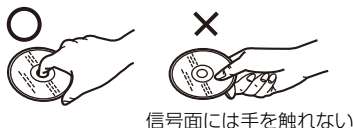
不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音が生じたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。

このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

- HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。

ディスク

持ち方



汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



- ディスククリーナーなどをご使用ください。
- ディスクが汚れている場合や傷が付いている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。(ディスクに反りが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - 反っていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ (大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

取り扱いについて (続き)

4X1003 4X403

無線 LAN/Bluetooth® 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯、Bluetooth® は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、右記事項に注意してご使用ください。

■ 無線 LAN の周波数表示の見かた (本体背面に記載)

変調方式が DS-SS と OFDM 方式



2.4 GHz の帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Bluetooth® の周波数表示の見かた (本体背面に記載)

変調方式がその他の方式



2.4 GHz の帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味する

2X603 2X303 2X203

無線 LAN 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

無線 LAN は 2.4 GHz 帯と 5 GHz 帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、右記事項に注意してご使用ください。

■ 無線 LAN の周波数表示の見かた (本体背面に記載)

変調方式が DS-SS と OFDM 方式



2.4 GHz の帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局)、および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうへ、DIGA (ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口 (裏表紙に記載) にご連絡いただき、混信回避のための処置など (例えば、パーティションの設置など) についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、裏表紙の DIGA (ディーガ)・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口へお問い合わせください。

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく工事設計認証を受けた無線装置を搭載していますので、無線局の免許は不要です。ただし、以下の行為を行うと無線装置上の証明表示が無効となり、法律で罰せられることがあります。

- 無線装置を分解／改造する
- 無線装置に貼ってある証明ラベルをはがす

■ 無線認証 ID 表示について

本機の無線装置の認証 ID は以下の操作で画面に表示することができます。

[機能一覧] → 「設定・困ったときは」 → 「設定」 → 「機器設定」 → 「認証 ID について」

■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- 法令により、登録局と通信の場合を除き、本機の 5 GHz 帯無線装置を屋外で使用することは禁止されています。
- **4X1003 4X403** すべての Bluetooth® 機能対応機器との Bluetooth® 無線通信を保証するものではありません。
- すべての使用環境で無線 LAN 接続、性能を保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

同時操作について

以下の表では、できる操作を「○」、できない操作を「×」で記載しています。

録画 / 予約録画中の同時操作

以下は追加チャンネル（→77）未登録時の通常録画を実行中の動作になります。

🔌追加チャンネル登録時の制限について（→78）

録画状態			再生				HDD の編集 ^{※1}	かんたんダビング	
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDD の番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
BS4K CS4K	HDD (1 番組録画)	4X1003 4X403 4KDR 4K 画質 モード	○	○	○	○	○	○	×
	HDD (2 番組録画)		○	○	○	○	○	○	×
	USB3.0 対応の USB- HDD ^{※2}		○	○	○	○	○	×	×
地上 D BS CS	HDD (1 番組録画)	DR 1.5 ～ 15 倍録	○ ^{※3}	○ ^{※3}	○	○	○	○ ^{※4}	×
	HDD (2 番組録画)		○ ^{※3}	○ ^{※3}	○ ^{※5}	○	○	○ ^{※5}	×
	HDD (3 番組録画)		○ ^{※3※5}	○ ^{※3※5}	○ ^{※5}	○ ^{※5}	○ ^{※5}	○ ^{※5}	×
	BD	DR	○	×	×	×	○	×	×
	USB- HDD ^{※2}	DR 1.5 ～ 15 倍録	○ ^{※3}	○ ^{※3}	○	○	○	×	×
スカパー！ プレミアム サービス CATV (LAN 録画)	HDD	—	○	○	×	○	○	○ ^{※6}	×

●HDD の残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1 4X1003 4X403 実行できる編集（→125 ～ 127）（スマホ転送番組の作成はできません）

2X603 2X303 2X203 実行できる編集（→125 ～ 127）（録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません）

※2 通常録画用フォーマットの USB-HDD 使用時のみ予約録画できます。

※3 4X1003 4X403 4KDR モード、4K 画質モードの番組を再生すると、1.5 倍録～ 15 倍録で録画中の番組は DR モードに切り換えて録画を続けます。

※4 画質変更ダビングは、DR モードに切り換えて録画を続けます。

※5 1.5 ～ 15 倍録で録画中の番組は、DR モードに切り換えて録画を続けます。

※6 画質変更ダビングはできません。

同時操作について（続き）

ダビング中の同時操作

4X1003 4X403 4K 放送の番組をダビング中の場合

ダビングの種類	ダビング方式	視聴	予約録画の 実行	再生					HDD の 編集 ^{※1}
		放送中の 番組		HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
ディスクへ高速ダビング中 (ファイナライズ切)	ダビング方式 1	○	○	○	× ^{※2}	× ^{※2}	× ^{※2}	× ^{※2}	○
	ダビング方式 2	×	○	×	×	×	×	×	×
ディスクへ画質変更 ダビング中 (ファイナライズ切)	—	×	○ ^{※3}	×	×	×	×	×	×
ディスクへファイナライズ入でダビング中	—	×	×	×	×	×	×	×	×

※1 実行できる編集（→125～127）（録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません）

※2 HDD 番組を複製中は、再生できません。

※3 スーパー！プレミアムサービスや CATV の番組の予約録画は実行できません。

デジタル放送の番組をダビング中の場合

ダビングの種類	視聴	予約録画の 実行	再生					HDD の 編集 ^{※1}
	放送中の 番組		HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
ディスクへ高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	× ^{※2}	× ^{※2}	× ^{※2}	× ^{※2}	○
ディスクへ画質変更 ダビング中 (ファイナライズ切)	○ ^{※3}	○ ^{※4}	○ ^{※5}	×	×	×	×	○ ^{※5}
ディスクへファイナライズ入でダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使ってダビング中	○	○	○	○	×	○	○	○

※1 実行できる編集（→125～127）（録画モード変換、スマホ転送番組の作成はできません）

※2 HDD 番組を複製中は、再生できません。

※3 4K 放送番組の視聴はできません。

※4 スーパー！プレミアムサービスや CATV の番組の予約録画は実行できません。

※5 「4K」や「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

同時操作について（続き）

本機を操作中のお部屋ジャンプリnkの同時操作

以下は追加チャンネル（➡77）未登録時の動作になります。

	クライアント側の操作 (全自動録画を見る / ビデオを見る / 放送を見る)				
	ビデオ ^{*1}	放送	ビデオ ^{*1}	ビデオ ^{*1}	放送
1 台目	ビデオ ^{*1}	放送	ビデオ ^{*1}	ビデオ ^{*1}	放送
2 台目	—	—	ビデオ ^{*1}	放送	放送
HDD・録画ディスク再生中	○ ^{*2}	○ ^{*2*3}	○ ^{*2}	○ ^{*2*3}	○ ^{*2*3}
4X1003 4X403 4KDR モード、4K 画質モードの番組を再生中	○ ^{*4}	×	○ ^{*4}	×	×
4X1003 4X403 4K 放送を視聴中	○ ^{*4}	×	○ ^{*4}	×	×
DVD ビデオ再生中	○	○	○ ^{*4}	×	×
BD ビデオ・AVCHD 再生中	○	○	○ ^{*4}	×	×
HDD へ放送番組を 1 番組録画中	○	○	○	○	○ ^{*5}
HDD へ放送番組を複数番組録画中	○ ^{*6}	○ ^{*6*7}	○ ^{*6}	○ ^{*6*7}	×
LAN 経由で録画中	×	×	×	×	×
4X1003 4X403 4KDR モード以外の番組を ディスクに高速ダビング中	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}
4X1003 4X403 4KDR モードの番組を ディスクに高速ダビング中	「4KDRのダビング方式」 が「ダビング方式 1」時	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}
	「4KDRのダビング方式」 が「ダビング方式 2」時	○ ^{*4*6}	×	×	×
2X603 2X303 2X203 番組をディスクにダビング中	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}	○ ^{*6}
番組をディスクに画質変更ダビング中	○ ^{*4*6}	×	○ ^{*4*6}	×	×

● 本機の状態によってはお部屋ジャンプリnkができない場合があります。

※1 「ビデオ」は「全自動録画を見る」と「ビデオを見る」を含みます。

※2 MP4（4K）を再生中はお部屋ジャンプリnkはできません。

※3 本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。

※4 「通信／映像品質の設定」（➡184）が「オート」または以下の場合、お部屋ジャンプリnkができない場合があります。また、VGA 変換が必要な機器（ビエラワンセグなど）がクライアントの場合、お部屋ジャンプリnkはできない場合があります。

ー **4X1003** **4X403** 「モード 2」～「モード 5（通信優先）」

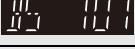
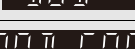
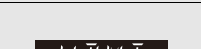
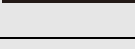
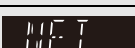
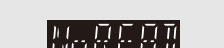
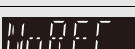
ー **2X603** **2X303** **2X203** 「5 倍録画画質」、「10 倍録画画質」

※5 **4X1003** **4X403** 本機側が 4K 放送を録画中は 2 台目の機器で放送を見ることはできません。

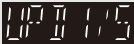
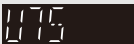
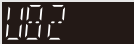
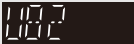
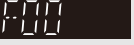
※6 本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリnkはできない場合があります。

※7 本機側が 3 番組録画中は放送を見ることはできません。

こんな表示が出たら

表示文字	調べるところ・原因・対策
	● 停電や電源コードをコンセントから抜き差ししたあと、点滅します。時刻を合わせてください。 ● デジタル放送が受信できる場合、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	● ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。左の表示が回転します。(例：61 パーセント)
	● 現在選んでいる BS デジタル放送のチャンネルです。(例：101 チャンネル)
	● 録画モード変換の開始時と終了時に表示します。(電源「入」時のみ) ● USB-HDD の番組の録画モード変換を実行中です。(電源「切」時のみ)
	● かんたんダビングや詳細ダビング画面などを表示中です。
	● 電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	● HDMI 認証中です。 - 表示が切り換わらない場合、本機やテレビ、アンプ(スピーカー) など HDMI で接続している機器の電源を切 / 入してください。 - それでも切り換わらない場合は、HDMI ケーブルを抜き差ししてください。
	● 機能一覧画面などを表示中です。
	● 音楽一覧画面を表示中です。
	● ネットワーク機能が動作中です。
	● HDD の録画中などに、本体の [▲] を押したとき、未ファイナライズの [R AVCREC] [R V] [RW V] が入っている場合に表示されます。 - ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	● ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ● レンズクリーナー(別売)の作業が終了したときに、表示されることがあります。本体の [▲] を押してクリーナーを取り出してください。
	● 以下の場合、[ワンタッチ予約 録画 ●] を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中
	● 写真 / 動画一覧画面を表示中です。
	● 終了処理中です。“BYE”が表示されたあと、電源が切れます。 ● 停電または動作中に電源コードが抜けたことによる復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	● 「おまかせ録画」「カテゴリーまとめて予約」以外の予約が 128 件登録されています。不要な予約を消してください。
	● フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。 - ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。

こんな表示が出たら (続き)

表示文字	調べるところ・原因・対策
	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。 本機に対応したディスクをお使いください。
	●録画一覧や全自動録画一覧、ホーム画面表示中です。
	●ネットワークからのダウンロードまたはオンエアーダウンロードによる更新の実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5などは更新の進行状況です)
 1～6のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。  表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、 [決定] を3秒以上押したままにしてください。
	●4～6の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンで操作できます)
	●アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。
	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置してください。
	●背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔の周りを空けてください。
	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
  	●映像出力のエラーが発生しています。 ●HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態 で、HDMI ケーブルを抜き、本機およびテレビ側の HDMI 端子、HDMI ケーブルのほりを取り除き、しっかり奥まで接続し直したあと、もう一度 電源を入れてください。 ●改善しない場合は HDMI ケーブルを交換してください。
	●本機で使用できない USB 機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。
	●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、接続し直してください。
	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●本機が正常に動作しません。本体の [⏻/I] を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
  (数字の 00 は例です)	●異常が発生しました。(「F」または「H」以降の数字は、本機の状態によって変わります) 本体の [⏻/I] を 3 秒以上押しで電源を切ったあと、再び電源を入れてください。

※ 上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→ 裏表紙)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99」などお知らせください。

表示マーク一覧

- 本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組表



録画予約している番組



「おまかせ録画」や、「カテゴリーまとめて予約」などの自動で予約された番組

予約の実行が「切」になっている場合、上記マークの色はグレーに変わります。

番組内容画面



テレビ放送（映像＋音声）の番組



データ放送の番組



番組とは別のデータ放送を行っている番組



番組内容に関連したデータ放送を行っている番組



「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組



複数の映像または音声（マルチ音声）を含んだ番組



モノラル音声の番組



ステレオ放送の番組



5.1ch などのサラウンド放送の番組



二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組



字幕（日本語／英語）の情報が含まれている番組

有料放送の番組
(放送会社との契約が必要です)視聴年齢制限がある番組
(表示される年齢は4～20才まであります)3D 映像の番組
(番組によっては、表示されない場合もあります)

著作権が保護されているため「録画禁止」の番組

番組の映像信号情報
上：画面の横縦比（16:9、4:3）下：信号方式
(デジタルハイビジョン放送－ 1080i、720p)

(デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i)

(4K 放送－ 2160p)
(8K 放送－ 4320p)

表示マーク一覧 (続き)

全自動録画一覧画面

 録画してまだ見ていない番組 番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は「未視聴」から除外されます。	 録画したコピー制限のある番組 数字は保存できる残り回数です。 [HDD] や [USB-HDD] に保存すると、全自動録画一覧から保存できる残り回数は 1 回になります。
 録画したコピー制限のある番組 保存すると全自動録画用 HDD から番組は消去されます。	 録画したコピー制限のある番組で、保存できる残り回数がなくなった番組 (全自動録画用 HDD から番組が消去されているため、再生できません)
 保存の予約をした番組	 全自動録画中の番組 本機の動作状態によって、番組の画像が作成されていない場合に表示されます。
 保存中の番組	 全自動録画が終了した番組 本機の動作状態によって、番組の画像が作成されていない場合に表示されます。
 保存した番組	 保存の予約をした番組 保存中の番組 保存した番組

保存予約一覧画面

 保存中の番組	 保存先の残量不足などで、[HDD] や [USB-HDD] に代替で保存中の番組
 保存先の残量不足などで、[HDD] や [USB-HDD] に代替で保存された番組	 保存先の残量不足で、保存が実行できない番組
 保存先の番組数がいっぱいで、保存が実行できない番組	 保存前に番組が消去されたなどで、保存が実行できなかった番組
 ディスクが未挿入などで、保存が実行できない場合があります。[決定] を押して、内容を確認してください。	

表示マーク一覧（続き）

予約一覧画面



全編の録画が可能な番組



予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組



番組表を使って予約した番組



時間変更追従を実行中（時間確認中）



時間指定予約で予約した番組



曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示



毎日・毎週予約の番組



「おまかせ録画」で自動的に予約された番組



番組表を使って毎日・毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけれずに、予約を実行した場合にも表示されます。



HDD の残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。【決定】を押して、予約内容を確認してください。



4X1003 4X403

4K 放送対応チューナーで予約した番組



予約時間が重なっている番組



毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。



引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかった番組



「カテゴリまとめて予約」で自動的に予約された番組



注目番組一覧から予約した番組



「注目まとめ予約」で予約した番組



宅外リモート接続機能を使って自動予約された番組



毎日・毎週予約で自動更新をする番組（前回録画した内容に上書きして録画します）



LAN 接続したスカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV から録画予約した番組



1.5～15 倍録モードで録画中に DR モードに切り換えて録画している番組

表示マーク一覧 (続き)

予約一覧画面 (続き)

	テレビ (ビエラ) 側から「探して毎回予約」で予約した番組		HDD の残量不足で録画できない番組
	HDD の番組数がいっぱいでは録画できない番組		録画禁止信号により録画が中断された番組
	予約の実行が「切」になっている番組		ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
	予約録画が実行されなかった番組		1 か月より先の番組予約です。 1 か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。
	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組		録画中の番組
	HDD の残量不足で録画が中断された番組、または番組数がいっぱいでは録画できなかった番組		

録画一覧・ダビング画面

	3D 映像の番組 (番組によっては、表示されない場合もあります)		「おまかせ録画」で録画された番組がまとめられた、まとめ番組
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組		書き込み禁止 (プロテクト) の設定をした番組
	録画したコピー制限のある番組 数字はダビングできる残り回数です。ダビングするたびに数字は少なくなります。		ダビングできない番組
	録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます。		  4K 放送を 4KDR モード、4K 画質モードで録画した番組
	1080/60p (1920×1080/60 プログレッシブ) 記録の番組		

表示マーク一覧（続き）

録画一覧・ダビング画面（続き）

以下は録画一覧画面でのみ表示されます。



録画してまだ見ていない番組

- 番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は「未視聴」から除外されます。



宅外リモート接続機能を使って自動で録画された番組



録画禁止信号により録画できなかった番組



HDD にダビング中の番組や、データが壊れているなど再生できない番組



録画中の番組



HDD に代替録画された番組



「新番組／特番おしらせ」で番組種別が「新番組」で録画された番組



「おまかせ録画」で録画された番組



HDD に録画中の番組



HDD にダビング中の番組



HDD に録画・ダビングが終了した番組（番組の画像は電源「切」時に作成されません）

以下はダビング画面でのみ表示されます。



ダビングすると移動する番組（詳細ダビング時）



（数字は 1～99）

ダビング登録した番組（かんたんダビング時）。数字の小さい番組から順にダビングします。



静止画を含むもの（HDD に静止画部分はダビングされません）

スマホ転送番組の消去画面



（赤）

録画したコピー制限のある番組
転送すると HDD の番組は消去されます。



スマホ転送番組の画質情報
上：情報量（ビットレート）
下：解像度

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!？」の内容は、当社ホームページ (→12) も併せてご覧ください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音 (ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります)
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 電源切 / 入時
 - ・ 番組表データを受信中
 - ・ ソフトウェア更新中
 - ・ 録画中 (全自動録画を含む)
 - ・ 録画モード変換時、スマホ転送番組作成時
 - ・ 写真や動画を自動で保存中
 - ・ スマートフォンの写真や動画を受信中
 - ・ 「家じゅう録画一覧設定」(→184) の「自動更新」の「入」時
 - ・ 「宅外リモート接続機能」(→184) の「入」時
 - ・ 「お部屋ジャンプリンク機能」(→184) の「入」時
 - ・ インターネット接続時
 - ・ 予約録画終了時または午前 4 時ごろ (1 週間に 1 回程度) の、本機全体の自動再起動時
(本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています)

本機の操作ができなくなったときは …

- 各種安全装置が働いていることがあります。
 - ① 本体の [φ/I] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約 3 秒間押したままにすると強制的に切れます。



— [φ/I] を
3 秒以上押す

(それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む)

- ② 本体の [φ/I] を押し、電源を入れる
(起動に時間がかかる場合があります)
上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

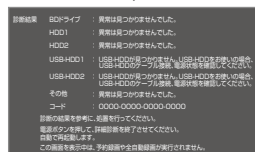
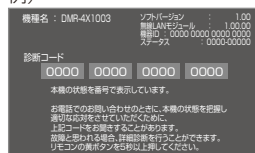
- リモコンが正しく働いていないことがあります。(→215)

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- **【機能一覧】** ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「機器設定」→「診断コード」→[黄] ボタンを 5 秒以上押して詳細診断を行ってください。

例)



- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

録画できない / 録画に失敗する / 再生できない / 操作できない / フリーズする

- 以下の場合、録画できません。本体表示窓の「録画」の「1」～「3」が点滅します。
 - ・ アンテナが抜けている、またはアンテナレベルが低い
 - ・ B-CAS カードが抜けている
 - ・ HDD の残量がない
- ディスクや USB-HDD には **【ワンタッチ予約録画 ●】** を押しても、録画できません。予約録画のみ可能です。
- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、録画できないことがあります。
- 本体機器を設定リセット (→188) にて初期化することで改善する場合があります。ただし、設定リセットを行うことで、お客様の個人情報 (メールやデータ放送のポイントなど) や、全自動録画・予約内容も消去されますので、ご注意ください。

故障かな!?(続き)

電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差しした直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の【**⏻**/I】を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- どこでもディーガから本機の設定を行うと、設定完了時に本機の電源が切れます。
- 「自動電源オフ」(➔175) やビエラリンク (HDMI) の電源オフ連動 (➔164)、ビエラの「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に1時間以上操作を行わない場合は、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- どこでもディーガから本機の設定の変更を行うと、自動的に電源が入ります。
- ビエラリンク (HDMI) をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

時刻表示が出ない

- 電源「切」時に本体表示窓に時刻を表示するには、以下①～③の設定にしてください。
- ① 「クイックスタート」(➔176) を「入」に設定
- ② 「クイックスタートモード」(➔176) を「標準」に設定
- ③ 「ECO スタンバイ」(➔181) を「切」に設定

USB-HDD の電源が切れない

- 番組表データを受信中や録画モード変換時など本機が内部で動作しているときは、電源を「切」にしてもUSB-HDD の電源が切れない場合があります。

ビエラリンクが働かなくなった

- 本体の【**⏻**/I】を約3秒間押し、電源を切り、テレビの主電源を切ったあと、HDMI ケーブルを抜き差ししてください。(全自動録画は中断します)

本体

本機が熱い

- 本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の左右および上部と背面にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
- ① 本体の【**⏻**/I】を3秒以上押す
・ 本体の電源が切れます。
- ② 【**決定**】と【**青**】と【**黄**】を同時に5秒以上押す
・ 本体表示窓に“OO RET”が表示されます。
- ③ 本体表示窓に“O6 FTO”が表示されるまで
▶【**決定**】(リモコンの右ボタン)を押す
- ④ 【**決定**】を押す
ディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約30秒)
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

B-CAS カードが認識されない

- 本体の【**⏻**/I】を3秒以上押してリセットしたあと、B-CAS カードを抜き差ししてください。

USB 機器が認識されない

- USB 機器が正しく認識されない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 機器を抜き差ししてください。それでも認識されない場合は、本機の電源を入れ直してください。

故障かな!?(続き)

画面表示

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- **[R]** 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

- DR モード選択時の残量は、予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。
- 選択している録画モードによって、残量表示が異なります。

ボタン操作

リモコンが動かない

- 本体とリモコンのリモコンモード (➔193) が異なっていないですか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がでてくる場合があります。



表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]** を 3 秒以上押したままにしてください。

- リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンで操作できます)
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色付きガラスも含む）などありませんか。
- リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。
 - ・ **[テレビ操作]** が点灯していますか。
 - ・ テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がでてくる場合があります。(➔194)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(➔193)

故障かな!?(続き)

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない
テレビに「信号がありません。」が表示される

- ・本体の [⏻/I] を押し、電源を入れてください。
- ・HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。電源が「切」の状態で、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度電源を入れてください。

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

- ・アンテナケーブルの接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・[放送受信設定] (→185) の「受信アンテナ設定」を「入」にしているときはテレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
- ・[放送受信設定] (→185) の「受信アンテナ設定」にある「アンテナ出力」を「入」にしてください。「切」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
- ・一度「アッテネーター」 (→190) の設定を切り換えてみてください。
- ・「テレビ放送が映らない／映りが悪い」 (→35) をご覧ください。

4X1003 4X403

本機を 4K8K 衛星放送チューナー内蔵テレビに接続したら、4K8K 放送の映像がテレビに映らなくなった

- ・アンテナケーブルの接続を確認してください。(→26)

アンテナレベル (信号品質) が改善して、テレビの映りが良くなっても、アンテナレベル (信号品質) 不足の表示が消えない

- ・「かんたん設置設定」 (→185) をやり直してください。

表示していた画面が消える

- ・「テレビ画面の焼き付き低減機能」 (→176) が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

再生時の映像に残像が多い

- ・「ノイズ低減」 (→123) の各項目を「0」にしてください。

4X1003 4X403 HDR で出力されない

- ・HDR 対応のテレビと接続していてもダイナミックレンジ変換される場合は、テレビの HDR の設定を確認してください。接続するテレビによってはソフトウェアの更新が必要な場合があります。

映像が映らない
映像が乱れる

- ・接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(→18～35)
- ・以下の場合、故障ではありません。
 - ・気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
 - ・BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
 - ・3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
 - ・[4X1003] [4X403] BS4K/110 度 CS4K 放送の番組を再生時、HDMI 認証が起こり黒画面になる場合があります。その場合、設定を以下のように変更すれば HDMI 認証が起こりません。
 - 「HDMI 4K/60p 伝送モード」 (→181) を「出力なし」にする
 - 「ハイダイナミックレンジ出力」 (→182) を「切」にする
 - ・ HDCP (不正コピー防止技術) 非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器 (パソコンのディスプレイなど) によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
 - ・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
 - 「24p 出力」 (→181) が「オート」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
 - ・[BD-V] 「カラースペース」 (→182) が「YCbCr (オート)」のときに、4K 出力で MGVC 再生時 (→118)
- ・「Deep Color 出力」 (→182) もしくは「コンテンツタイプフラグ」 (→182) を「切」にしてください。
- ・テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
 - 接続するテレビの HDMI 端子を他の HDMI 端子に変更すると改善される場合があります。
- ・4K 出力時、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K 出力対応の HDMI ケーブルをお使いください。
- ・[4X1003] [4X403] 「HDMI 4K/60p 伝送モード」 (→181) を「高速 (18 Gbps)」にすると、以下の場合に映像が正常に出力されません。
 - ・ HDMI ケーブルが 18 Gbps に対応していない
- ・[4X1003] [4X403] 本機が 4K/60p 出力する設定になっている場合に、接続するテレビなどを変更すると、映像が乱れる場合があります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。
 - ① [決定] と [青] と [黄] を同時に 5 秒以上押す
 - ・本体表示窓に「OO RET」が表示されます。
 - ② 本体表示窓に「13 L4K」が表示されるまで [▶] (リモコンの右ボタン) を数回押す
 - ③ [決定] を 3 秒以上押す
 - ・「HDMI 4K/60p 伝送モード」 (→181) が「出力なし」に設定されます。再度正しく設定してください。

故障かな!?(続き)

- **[4X1003]** **[4X403]** HDMI 音声出力端子にテレビを接続していませんか。HDMI 映像出力端子に接続してください。
- 「テレビに本機の映像が映らない」(➡35) をご覧ください。

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

- 「受信アンテナ設定」(➡190) でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合は、以下をお試しください。
 - ・「アッテネーター」(➡190) の設定を切り換える。
 - ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す。
- 集合住宅の共聴システムや CATV の場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約の CATV 会社にお問い合わせください。
- 受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- チャンネル設定を行っていますか。「かんたん設置設定」(➡185) もしくは「チャンネル設定」(➡191) を行ってください。

BS・110度CSデジタル放送、BS4K/110度CS4K放送が受信できない映像や音声が出ない、または映りが悪くなった

- BS・110度CS デジタル放送に対応したアンテナやアンテナケーブル、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来の BS アンテナでは受信できない場合があります。
- BS4K/110度CS4K 放送は「SH マーク」が表示された機器など、4K 放送に対応した機器が必要です。
- あとから対応アンテナを設置した場合は、再度「かんたん設置設定」を行ってください。(➡185)
- 「受信アンテナ設定」(➡190) でアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。
- BS・110度CS デジタル放送、BS4K/110度CS4K 放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が進まったり、画質、音質が少し悪くなる場合があります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
- 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
- アンテナへの電源供給が必要です。
 - ・「アンテナ電源」(➡190) を「入」にしてください。
 - ・分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

「このチャンネルはご覧いただけません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。(***）」の表示が出て番組を視聴できない

- (****) の表示が (A103) または (8901) の場合は、ご視聴の放送事業者にお問い合わせください。
- (****) の表示が (A103) または (8901) 以外の場合、本体の [0/I] を 3 秒以上押して、一度リセットしてください。それでもエラーメッセージが表示されるときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

音声

[4X1003] **[4X403]**
音声が出力されない

「テレビとアンプ（スピーカー）を HDMI 端子で接続する」(➡33、34) を参照のうえ、お使いの機器の接続方法に合った音声出力の各種設定をご確認ください。以下の場合は各端子から音声が出られません。

●HDMI 映像出力端子

- ・HDMI 音声出力端子に機器が接続されていて、「映像出力端子設定」(➡181) が「オート（映像のみ／映像＋音声）」に設定されているとき
接続機器側の電源を「切」にしても機器によっては接続したままの状態を継続する場合があります。その場合は音声は出力されません。HDMI 映像出力端子から音声を出力するには、「映像＋音声」に設定するか、HDMI 音声出力端子の接続機器を外してください。
- ・「HDMI 詳細設定」(➡182) の「音声出力」が「切」に設定されているとき

●HDMI 音声出力端子

- ・「HDMI 詳細設定」(➡182) の「音声出力」が「切」に設定されているとき

●デジタル音声出力端子

- ・HDMI 音声出力端子に機器が接続されていて、「HDMI 詳細設定」(➡182) の「音声出力」が「入」に設定されているとき

音声が切り換えられない

- 接続機器の設定を確認してください。
- 以下の場合、音声の切り換えはできません。
 - ・マルチ音声の番組を **[R VR]** **[RW VR]** に XP、SP、LP、FR モードで予約録画する
- テレビやアンプの音声ボタンでは、二カ国語音声などの音声の切り換えができない場合があります。その場合は、本機の音声ボタンで切り換えてください。
- **[MP4]** 音声の切り換えはできません。
- ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

故障かな!?(続き)

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止（プロテクト）の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
- **[R]** 記録後、ディスクの出し入れや電源の切 / 入を 30 回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外のレコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。
- 録画 / 再生用レンズが汚れている場合があります。レンズクリーナー（別売）でレンズをクリーニングしてください。(→200)

記録したディスクが他機器で再生できない

- 再生機器がディスクの再生に対応している必要があります。(→44)
- ディスクによってはファイナライズが必要です。(→45、173)
- **[4X1003]** **[4X403]** 4KDR モード、4K 画質モードの番組を記録した BD-RE、BD-R は、他機器では再生できない場合があります。
他機器での再生については、当社ホームページをご覧ください。(→12)

全自動録画

全自動録画が停止している

- 以下の手順で本体を一度リセットしてください。
 - ① 本体の **[O/I]** を 3 秒以上押しリセットする
 - ② B-CAS カードを抜き差しする
 - ③ 本体の電源を入れる
 - ④ 全自動録画が再開しているか確認する (→74)

全自動録画ができない

- 「全自動録画設定」で設定を確認してください。(→74)
- 有料放送の録画には、全自動録画用の B-CAS カードでも有料放送事業者との契約が必要です。契約カードをすでに保有している場合は、本機付属の B-CAS カードへ契約の移動、もしくは契約の追加をしてください。詳しくは有料放送事業者にお問い合わせください。

全自動録画が中断される

- 「保存の優先モード」(→178) を「保存優先」に設定していると、全自動録画用 HDD が容量不足になった場合に、保存を優先して実行するため、録画が中断される場合があります。
- 以下の場合、全自動録画を中断します。
 - ・「全自動録画設定」を変更中
 - ・「チャンネル設定」を操作中
 - ・本機の安定性維持のため、自動的に行われるメンテナンス実行中（メンテナンス時間は、「全自動録画設定」で確認や変更ができます）

全自動録画した番組が見つからない
(消去された)

- 全自動録画用 HDD の容量が不足すると、全自動録画した番組は古い番組から自動的に上書き消去されます。残しておきたい番組は、通常録画用 HDD、通常録画用 USB-HDD またはディスクに保存してください。
- 録画するチャンネルを変更すると、変更前のチャンネルで録画していた番組がすべて消去されます。

全自動録画した番組が再生できない

- 全自動録画用 HDD から消去された番組は、全自動録画一覧では再生できません。
- 再生中の番組が自動消去の実行などで再生できない状態になった場合は、再生を停止します。

ワンタッチ保存 / 毎回保存が実行されない

- 保存一覧（ワンタッチ保存 / 毎回保存）画面で内容を確認してください。(→73)
- 保存先の残量が不足していたり、記録されている番組数がいっぱいになっていると保存できません。
- 毎回保存の対象になる番組の録画中に停電などで録画が中断された場合、その番組は毎回保存されません。

故障かな!?(続き)

録画

予約録画ができなかった

- HDD の残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。(→99)

ディスクに予約録画ができない

- ディスクに予約録画する場合、予約時の詳細設定で録画先を「BD」にしてください。
- 以下の場合、ディスクに予約録画できません。
 - ・ **4X1003** **4X403**
 - 4K 放送
 - **BD-RE** **BD-R** に DR モード以外で予約
 - DVD ディスク
 - ・ **2X603** **2X303** **2X203**
 - **BD-RE** **BD-R** に XP、SP、LP、FR モードで予約
 - AVCREC 方式の DVD に DR、XP、SP、LP、FR モードで予約
 - VR 方式の DVD に DR、1.5～1.5倍録モードで予約
 - ビデオ方式の DVD
 - CPRM 非対応の DVD
 - ・ 未フォーマットのディスク
 - ・ 誤消去防止（プロテクト）の設定がされたディスク

番組追従機能が働かない

- 時間指定予約では動きません。
- 放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には動きません。
- 毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。
- LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画した場合、チューナーによっては、正しく働かない場合があります。

「契約期限が切れています。予約できません。(8902)」の表示が出て予約録画ができない

- 有料放送で契約が有効な B-CAS カードが挿入されているか確認してください。
- 契約にかかわらず期間限定でお試し視聴できる有料放送局があります。そういった放送局の場合、一度その放送局を視聴するとメッセージが消えて予約録画ができることがあります。

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV から LAN 接続で予約録画ができない

- ネットワークの接続や設定を確認し、接続されていない場合はネットワーク設定を行ってください。(→37)
- 「お部屋ジャンプリンク機能」(→184) が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

再生

再生できない

- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、再生できないことがあります。

4X1003 **4X403**

Ultra HD ブルーレイが再生できない

- ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。(→30)

ディスクが再生できない

- ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。
- **BD-V** 画面に「バージョンアップしてください。」が表示されている場合、ディスクが認識されていない可能性があります。
- 録画 / 再生用レンズが汚れている場合があります。レンズクリーナー（別売）でレンズをクリーニングしてください。(→200)

故障かな!?(続き)

BD ビデオ (Ultra HD ブルーレイも含む) や DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた
視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
- ① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
(本体表示窓に “00 RET” が表示されます)
- ② 本体表示窓に “03 VL” が表示されるまで **[▶]**
(リモコンの右ボタン) を数回押す
- ③ **[決定]** を押す

撮影動画の映像が乱れたり、正しく再生されない

- **[MP4]** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。
- 2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質 (転送レート約 18 Mbps 以上) の動画は正しく再生されません。

ダビング

ディスクにダビングできない

- チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
- **[R-V]** **[RW-V]** へのダビング時、HDD の残量が少ないときはダビングできません。HDD の不要な番組を消去してください。
(使用するディスクによっては、HDD の残量が 5 倍録モードで最大 4 時間必要な場合があります)
- 高画質 (転送レート約 18 Mbps 以上) の動画を、2 倍速対応以下の DVD に取り込むことはできません。
- 4 時間以上の番組を DVD にダビングする場合、4 時間未満に番組分割 (→127) してダビングしてください。

HDD にダビングできない

- **[BD-RE]** **[BD-R]** ディスクの汚れや劣化によって、ダビングを中断する場合があります。「ムーブバックエラー制御」(→178) を「継続」にすると、ダビングを実行することができます。ただし、ダビング後の番組が再生できない、または映像や音声が乱れる場合があります。
- 以下の番組は、**[BD-RE]** **[BD-R]** から HDD にダビングできません。
 - ・ディスク内で番組分割した番組
 - ・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集した番組
 - ・ファイナライズしたディスクの番組
 - ・録画時間が 8 時間を超える番組
- 市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーや CATV、ビエラ、他のディーガから LAN 接続でダビングができない

- ネットワークの接続や設定を確認してください。
- 「お部屋ジャンプリンク機能」(→184) が「入」になっていますか。
- 接続機器の設定が正しいか確認してください。

お引越しダビングができない

- お引越しダビング対応機器については、当社ホームページ (→12) をご確認ください。
- お引越しダビングを使うためには、お引越し元の機器と、お引越し先の機器を同じネットワークに接続する必要があります。ネットワークに接続する方法および設定方法は、お使いの機器の説明書をご覧ください。

どこでもディーガ

設定ができない

- どこでもディーガの設定方法やよくあるご質問は当社ホームページをご確認ください。(→4)

故障かな!?(続き)

ビデオカメラ

撮影した動画がUSB接続でダビングできない

- ビデオカメラが、本機で対応している機器が確認してください。対応機器については、当社ホームページ(➡12)をご覧ください。
- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB接続が正しく認識されない(USB機器画面が表示されない)場合は、USB接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識されない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などにUSB接続した場合、認識されないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- [MP4]撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 本機では当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG-2動画はダビングできません。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- 無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)のリセットを行ってみてください。
- ネットワークに関しては、当社ホームページ(➡12)もご覧ください。

お部屋ジャンプリンク・インターネット接続が不安定になる

- 無線LANをご使用の場合は、USB3.0対応のUSB-HDDを使用すると、2.4GHz帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。USB-HDDの設置については「USB-HDDの録画について」(➡47)のお知らせをご覧ください。

お部屋ジャンプリンク

再生できない

- 別室のテレビなどで見る(本機をサーバーとして使用する)場合：
 - ・接続や設定を確認してください。
 - ・「機器一覧」(➡196)で、再生する機器が「許可」になっていますか。
 - ・再生する機器によっては、録画中の番組や1.5～1.5倍録モードの番組、スカパー!プレミアムサービスの番組、ハイビジョン動画は再生できません。
- 別室の機器の映像を見る(本機をクライアントとして使用する)場合：
 - ・接続した機器側で本機が登録されていますか。
 - ・すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
- 他社製DLNA対応機器では使用できない場合があります。

再生できない、映像が途切れる(無線接続時)

- 802.11acまたは802.11n(2.4GHz/5GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5GHzでのご使用をお勧めします。2.4GHzで電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 無線設定(➡183)の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上(受信レベル30以上)点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかをお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

4X1003

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 54 W

待機時（クイックスタート「切」）：

時刻表示消灯時・約 0.15 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

時刻表示消灯時・約 14.0 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

時刻表示点灯時・約 15.0 W^{*1*2}

4X403 2X603

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：4X403 約 39 W

2X603 約 43 W

待機時（クイックスタート「切」）：

時刻表示消灯時・約 0.15 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

時刻表示消灯時・約 12.0 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

時刻表示点灯時・約 13.0 W^{*1*2}

2X303 2X203

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：2X303 約 33 W

2X203 約 32 W

待機時（クイックスタート「切」）：

時刻表示消灯時・約 0.15 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

時刻表示消灯時・約 6.5 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

時刻表示点灯時・約 8.0 W^{*1*2}

- ※1 ・地上デジタルアッテネーター：「入」
 ・BS・110度CS デジタルアンテナ電源：「切」
 ・BS・110度CS デジタルアンテナ出力：「切」
 ・外部接続端子（LAN、USB）：未接続
 ・無線 LAN：未接続
 ・録画未実行時

※2 ・HDMI 出力解像度：1080i
 待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など
 本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力量

（表示値は JEITA 基準
 による算出式を基に算
 出した参考値です）

4X1003	44.9 kWh/年
4X403	34.0 kWh/年
2X603	37.9 kWh/年
2X303	27.5 kWh/年
2X203	26.9 kWh/年

■本体

寸法：

4X1003

幅 430 mm × 高さ 66 mm × 奥行き 239 mm
 （突起部含まず）

幅 430 mm × 高さ 66 mm × 奥行き 249 mm
 （突起部含む）

4X403 2X603

幅 430 mm × 高さ 60 mm × 奥行き 239 mm
 （突起部含まず）

幅 430 mm × 高さ 60 mm × 奥行き 249 mm
 （突起部含む）

2X303 2X203

幅 430 mm × 高さ 60 mm × 奥行き 199 mm
 （突起部含まず）

幅 430 mm × 高さ 60 mm × 奥行き 209 mm
 （突起部含む）

質量：

4X1003 約 4.0 kg

4X403 約 3.3 kg

2X603 約 3.8 kg

2X303 約 2.5 kg

2X203 約 2.4 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10%～80% RH（結露なきこと）

■放送方式

地上デジタル放送方式（日本）

衛星デジタル放送方式（日本）

4X1003 4X403

高度衛星デジタル放送方式（日本）

アンテナ受信入力：

地上デジタル、BS・110度CS デジタル-IF 各1系統

地上デジタル入力：

90 MHz～770 MHz 75 Ω（VHF：1～12 CH、

UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）

BS・110度CS デジタル-IF 入力：

4X1003 4X403

1032 MHz～2071 MHz（IF 入力周波数）

右旋 75 Ω

2224 MHz～3224 MHz（IF 入力周波数）

左旋 75 Ω

電源供給：DC 15 V、最大 4 W

2X603 2X303 2X203

1032 MHz～2071 MHz（IF 入力周波数）75 Ω

電源供給：DC 15 V、最大 4 W

アンテナ出力：

地上デジタル、BS・110度CS デジタル-IF 各1系統

■入出力端子（映像・音声を除く）

LAN 端子：1 系統（10BASE-T/100BASE-TX）

USB 端子 [ハイスピード USB（USB2.0）対応]：

前面 1 系統（DC 5 V 最大 500 mA）

USB 端子（USB ハードディスク録画用）

[スーパースピード USB（USB3.0）対応]：

4X1003 2X603 背面 2 系統

4X403 2X303 2X203 背面 1 系統

HDD 対応（DC 5 V 最大 900 mA）

仕様 (続き)

■映像

映像圧縮方式：

4X1003 **4X403**

HEVC/H.265、MPEG-4 AVC/H.264、
MPEG-2 (Hybrid VBR)
(放送画質 (DR/4KDR モード) 記録時は放送フォーマットで記録します)

2X603 **2X303** **2X203**

MPEG-2 (Hybrid VBR)、MPEG-4 AVC/H.264
(放送画質 (DR モード) 記録時は放送フォーマットで記録します)

HDMI映像・音声出力：

4X1003 **4X403**

映像出力端子 (映像・音声)：1 系統 (19 ピン
type A 端子) 4K/60p まで
480/60p、1080/60i・60p・24p
4K/60p・30p・24p
(4K の解像度は 3840×2160 まで)
音声出力端子：1 系統 (19 ピン type A 端子)
1080/60p まで

2X603 **2X303** **2X203**

出力端子：1 系統 (19 ピン type A 端子)
480/60p、1080/60i・60p・24p
4K/30p・24p
(4K の解像度は 3840×2160 まで)

■音声

記録方式：

4X1003 **4X403**

MPEG-4 AAC (最大 22.2ch 記録)*1、MPEG-2 AAC
(最大 5.1ch 記録)*1、Dolby Digital (2ch 記録)

2X603 **2X303** **2X203**

MPEG-2 AAC (最大 5.1ch 記録)*1、Dolby Digital
(2ch 記録)

*1 放送フォーマットで記録します

デジタル出力：

HDMI 映像・音声出力端子

4X1003 **4X403**：2 系統

2X603 **2X303** **2X203**：1 系統

PCM (最大 7.1ch)

Dolby Digital, Dolby Digital EX,

Dolby Digital Plus, Dolby TrueHD,

Dolby Atmos

DTS® Digital Surround™

DTS® Digital Surround™ | ES, DTS® 96/24,

DTS-HD® High Resolution Audio,

DTS-HD® Master Audio, DTS:X®

MPEG-2 AAC

4X1003 **4X403** MPEG-4 AAC (最大 22.2 ch)

●PCM 以外は対応アンプに接続し、bitstream で
出力した場合のみ

■USB 部

USB 機器：

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD (通常録画用フォーマット)：

USB3.0/USB2.0 (160 GB 以上 8 TB 以下)

●登録可能台数：

4X1003 **2X603**

最大 8 台まで (同時接続台数は 1 台のみ)

4X403 **2X303** **2X203**

最大 7 台まで (同時接続台数は 1 台のみ)

USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)：

USB3.0/USB2.0 (160 GB 以上 8 TB 以下)

●同時接続台数は 1 台のみ

USB-HDD (全自動録画用フォーマット)：

USB3.0 (1 TB 以上 8 TB 以下)

●登録可能台数は最大 1 台まで

■写真

画素数：

34×34～8192×8192

サブサンプリング：4：2：2、4：2：0

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、

USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)、USB 機器

再生のみ可能メディア：

DVD-R*2、DVD-R DL*2、DVD-RW*2、
DVD-RAM、+R*2、+R DL*2、+RW*2、CD-R、CD-RW

*2 JPEG のみ記録されたディスク

記録された機器でファイナライズ必要

ファイル方式：

- JPEG：ベースライン方式 (DCF 準拠)
 - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル (半角英数字のみ)
 - ・MOTION JPEG 非対応
- MPO：マルチピクチャーフォーマット (MPF 準拠)
 - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル (半角英数字のみ)

枚数：

- HDD：40000 枚 [写真、動画 (MP4)、音楽の合計の数]
- USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)：40000 枚 [写真、動画 (MP4)、音楽の合計の数]
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R、CD-RW、USB 機器：10000 枚

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

対応フォーマット：ISO9660 level 1 と 2 (拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応

マルチセッション：対応

パケットライト方式：非対応

■AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD 規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

仕様 (続き)

■MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

- ・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル (半角英数字のみ)

4X1003 | 4X403 | ビデオ圧縮方式：

- MPEG-4 AVC/H.264：High profile 5.2 以下
ビットレート：100 Mbps 以下
解像度 / フレームレート：1920×1080/120p、
3840×2160/60p、4096×2160/60p まで
- MPEG-H HEVC/H.265：Main Profile Level 5.1 High Tier / Main 10 Profile Level 5.1 High Tier 以下
ビットレート：100 Mbps 以下
解像度 / フレームレート：1920×1080/120p、
3840×2160/60p、4096×2160/60p まで

2X603 | 2X303 | 2X203 | ビデオ圧縮方式：

- MPEG-4 AVC/H.264：High profile 5.1 以下
ビットレート：100 Mbps 以下
解像度 / フレームレート：1920 × 1080/120p、
3840 × 2160/30p、4096 × 2160/24p まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

- ファイルの内容によっては、再生、ダビングができない場合があります。

- 音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります。

対応メディア：

記録 / 再生* / 取り込み対応メディア：BD-RE、BD-R、USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)

取り込みのみ対応メディア：USB 機器

- ※ メディアの状態や読み出し速度によって正しく再生できないときは、内蔵 HDD にダビングすると安定して再生することができる場合があります。

■スマホ転送番組

4X1003 | 4X403 | 圧縮方式：

MPEG-4 AVC/H.264
HEVC/H.265

2X603 | 2X303 | 2X203 | 圧縮方式：

MPEG-4 AVC/H.264

記録画質：150 kbps (180p)、400 kbps (180p)、
650 kbps (360p)、1.5 Mbps (720p)、
3.5 Mbps (720p)

4X1003 | 4X403

2 Mbps (1080p)、4 Mbps (1080p)

■音楽 CD

再生対応メディア：CD-Audio、CD-R、CD-RW

再生可能なファイル形式：CD-DA

■音楽ファイル

対応メディア：

- 取り込み・バックアップ対応メディア：BD-RE、BD-R、USB-HDD (SeeQVault フォーマット、写真・音楽用フォーマット)、USB 機器
- 取り込みのみ対応メディア：CD-Audio、CD-R、CD-RW

再生可能なファイル形式：

- ・ WAV (.wav)

4X1003 | 4X403 最大 384 kHz、32 bit、2ch

2X603 | 2X303 | 2X203 最大 192 kHz、32 bit、2ch

- ・ FLAC (.flac) 最大 192 kHz、24 bit、2ch/5.1ch

- ・ AAC (.m4a) 最大 48 kHz、320 kbps、2ch

- ・ MP3 (.mp3) 最大 48 kHz、320 kbps、2ch

- ・ DSD (.dsf/.dff)

4X1003 | 4X403

2.8 MHz (2ch/5.1ch)、

5.6 MHz (2ch/5.1ch)、11.2MHz (2chのみ)

2X603 | 2X303 | 2X203

2.8 MHz (2ch/5.1ch)、5.6 MHz (2chのみ)

- ・ AIFF (.aif/.aiff)

4X1003 | 4X403

最大 384 kHz、32 bit、2ch

2X603 | 2X303 | 2X203

最大 192 kHz、32 bit、2ch

- ・ ALAC (.m4a) 最大 192 kHz、32 bit、2ch/5.1ch

対応しているデータ形式や周波数であっても、データによっては再生できないことがあります。

2X603 | 2X303 | 2X203

ホームネットワーク経由で再生可能な他機器の音楽データ形式は、

追加チャンネル未設定時：上記ファイル形式を再生できます。

追加チャンネル設定時：LPCMのみ再生できます。

音楽 CD 取り込みファイル形式：

WAV (44.1 kHz、16 bit、1.4 Mbps)

FLAC (44.1 kHz、16 bit、1.1 Mbps)

- ・ スマホ持ち出し用変換ファイル

- AAC(44.1 kHz、128 kbps)

- ・ ハイレゾ転送用変換ファイル

アップサンプリング 2 倍設定時

- WAV(88.2 kHz、24 bit、4.2 Mbps)

- FLAC(88.2 kHz、24 bit、3.2 Mbps)

アップサンプリング 4 倍設定時

- WAV(176.4 kHz、24 bit、8.5 Mbps)

- FLAC(176.4 kHz、24 bit、6.4 Mbps)

仕様 (続き)

■内蔵無線 LAN モジュール

規格：

IEEE802.11a/n/ac：5 GHz 帯

IEEE802.11b/g/n：2.4 GHz 帯

・従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。

ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯)

(5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティ：

4X1003 4X403 WPA3-SAE (AES)

WPA2-PSK (TKIP/AES)

WPA-PSK (TKIP/AES)

WEP (64bit/128bit)

■ 4X1003 4X403 Bluetooth®

バージョン：

Bluetooth® Ver. 5.0 (Bluetooth Low Energy)

送信出力：

Class 1.5

見通し通信距離：

約 10 m (温度 25 ℃、高さ 1 m の条件で測定)

DCF 準拠 (デジタルカメラなどで記録したもの) したフォーマットが使用できます。

DCF：Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格]

仕様 (続き)

■録画モードと記録時間の目安 (通常録画)

下記の表は主な録画モードのみ記載しています。詳細な録画モードと記録時間の目安は当社ホームページ (→12) をご覧ください。

4X1003

録画モード				通常録画の HDD 容量設定						
				1.2 TB	2.2 TB	3.0 TB	4.0 TB	5.0 TB	5.5 TB	6.0 TB
放送 画質	4K DR	BS/CS 4K	4K放送 (≤ 33 Mbps)	約 78 時間	約 143 時間	約 195 時間	約 260 時間	約 325 時間	約 358 時間	約 390 時間
4 K 画質	4K 2 倍録			約 156 時間	約 286 時間	約 390 時間	約 520 時間	約 650 時間	約 716 時間	約 780 時間
	4K 4 倍録			約 312 時間	約 572 時間	約 780 時間	約 1040 時間	約 1300 時間	約 1432 時間	約 1560 時間
	4K 8 ～ 12 倍録			約 624 時間～ 約 936 時間	約 1144 時間～ 約 1716 時間	約 1560 時間～ 約 2340 時間	約 2080 時間～ 約 3120 時間	約 2600 時間～ 約 3900 時間	約 2864 時間～ 約 4296 時間	約 3120 時間～ 約 4680 時間

録画モード				通常録画の HDD 容量設定						
				1.2 TB	2.2 TB	3.0 TB	4.0 TB	5.0 TB	5.5 TB	6.0 TB
放送 画質	DR	BS	HD放送 (≤ 24 Mbps)	約 108 時間	約 198 時間	約 270 時間	約 360 時間	約 450 時間	約 495 時間	約 540 時間
		デジタル	SD放送 (≤ 12 Mbps)	約 216 時間	約 396 時間	約 540 時間	約 720 時間	約 900 時間	約 990 時間	約 1080 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≤ 17 Mbps)	約 153 時間	約 280 時間	約 378 時間	約 508 時間	約 635 時間	約 699 時間	約 762 時間
ハイ ビジ ョン 画質	3 倍録			約 324 時間	約 594 時間	約 810 時間	約 1080 時間	約 1350 時間	約 1485 時間	約 1620 時間
	5 倍録			約 540 時間	約 990 時間	約 1350 時間	約 1800 時間	約 2250 時間	約 2475 時間	約 2700 時間
	15 倍録			約 1620 時間	約 2970 時間	約 4050 時間	約 5400 時間	約 6750 時間	約 7425 時間	約 8100 時間

仕様 (続き)

4X403

録画モード				通常録画の HDD 容量設定				
				700 GB	1.5 TB	2.0 TB	2.5 TB	4.0 TB
放送 画質	4K DR	BS/ CS 4K	4K放送 (≦33 Mbps)	約 45 時間	約 97 時間	約 130 時間	約 163 時間	約 260 時間
4 K 画質	4K 2 倍録			約 91 時間	約 195 時間	約 260 時間	約 326 時間	約 520 時間
	4K 4 倍録			約 182 時間	約 390 時間	約 520 時間	約 652 時間	約 1040 時間
	4K 8 ～ 12 倍録			約 364 時間～ 約 542 時間	約 780 時間～ 約 1170 時間	約 1040 時間～ 約 1560 時間	約 1304 時間～ 約 1956 時間	約 2080 時間～ 約 3120 時間

録画モード				通常録画の HDD 容量設定				
				700 GB	1.5 TB	2.0 TB	2.5 TB	4.0 TB
放送 画質	DR	BS	HD放送 (≤ 24 Mbps)	約 63 時間	約 135 時間	約 180 時間	約 225 時間	約 360 時間
			SD放送 (≤ 12 Mbps)	約 126 時間	約 270 時間	約 360 時間	約 450 時間	約 720 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≤ 17 Mbps)	約 88 時間	約 190 時間	約 254 時間	約 318 時間	約 508 時間
ハイビジョン 画質	3 倍録			約 189 時間	約 405 時間	約 540 時間	約 675 時間	約 1080 時間
	5 倍録			約 315 時間	約 675 時間	約 900 時間	約 1125 時間	約 1800 時間
	15 倍録			約 945 時間	約 2025 時間	約 2700 時間	約 3375 時間	約 5400 時間

仕様（続き）

2X603

録画モード				通常録画の HDD 容量設定			
				500 GB	1.0 TB	1.5 TB	2.0 TB
放送 画質	DR	BS	HD放送 (≤24 Mbps)	約 45 時間	約 90 時間	約 135 時間	約 180 時間
		デジタル	SD放送 (≤12 Mbps)	約 90 時間	約 180 時間	約 270 時間	約 360 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約 63 時間	約 127 時間	約 190 時間	約 254 時間
ハイビジョン 画質	3 倍録			約 135 時間	約 270 時間	約 405 時間	約 540 時間
	5 倍録			約 225 時間	約 450 時間	約 675 時間	約 900 時間
	15 倍録			約 675 時間	約 1350 時間	約 2025 時間	約 2700 時間

2X303

録画モード				通常録画の HDD 容量設定				
				500 GB	880 GB	1040 GB	2000 GB	3000 GB
放送 画質	DR	BS	HD放送 (≤24 Mbps)	約 45 時間	約 79 時間	約 93 時間 30 分	約 180 時間	約 270 時間
		デジタル	SD放送 (≤12 Mbps)	約 90 時間	約 158 時間	約 187 時間	約 360 時間	約 540 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約 63 時間	約 111 時間 30 分	約 132 時間	約 254 時間	約 381 時間
ハイビジョン 画質	3 倍録			約 135 時間	約 273 時間 30 分	約 280 時間 30 分	約 540 時間	約 810 時間
	5 倍録			約 225 時間	約 396 時間	約 468 時間	約 900 時間	約 1350 時間
	15 倍録			約 675 時間	約 1188 時間	約 1404 時間	約 2700 時間	約 4050 時間

2X203

録画モード				通常録画の HDD 容量設定			
				330 GB	500 GB	1.0 TB	2.0 TB
放送 画質	DR	BS	HD放送 (≤24 Mbps)	約 29 時間 30 分	約 45 時間	約 90 時間	約 180 時間
		デジタル	SD放送 (≤12 Mbps)	約 59 時間	約 90 時間	約 180 時間	約 360 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約 41 時間 30 分	約 63 時間	約 127 時間	約 254 時間
ハイビジョン 画質	3 倍録			約 89 時間	約 135 時間	約 270 時間	約 540 時間
	5 倍録			約 148 時間 30 分	約 225 時間	約 450 時間	約 900 時間
	15 倍録			約 445 時間 30 分	約 675 時間	約 1350 時間	約 2700 時間

仕様 (続き)

■録画モードと記録日数の目安 (全自動録画)

記録日数は最低保証日数です。下記の表は主な録画モードのみ記載しています。

詳細な録画モードと記録日数の目安は当社ホームページ (➡12) をご覧ください。

4X1003

録画モード				追加チャンネルの HDD 容量設定 ^{※1}						全自動録画用 HDD 容量
				4.8 TB	3.8 TB	3.0 TB	2.0 TB	1.0 TB	500 GB	4.0 TB
放送 画質	4K DR	BS/ CS 4K	4K放送 (≤33 Mbps)	約 13 日	約 10 日	約 8 日	約 5 日	約 2 日	約 1 日	—

※1 全自動録画の追加チャンネル (4K 放送 ×1 チャンネル) を設定した場合の録画可能日数

- 追加チャンネルで設定できる録画モードは 4KDR のみです。

録画モード				追加チャンネルの HDD 容量設定 ^{※2}							全自動録画用 HDD 容量 ^{※3}
				4.8 TB	3.8 TB	3.0 TB	2.0 TB	1.0 TB	500 GB	4.0 TB	
放送 画質	DR	BS	HD放送 (≤24 Mbps)	約9日	約7日	約5日	約3日	約1日	約1日	約1日	
		デジタル	SD放送 (≤12 Mbps)	約18日	約14日	約11日	約7日	約3日	約1日	約3日	
		地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約13日	約10日	約8日	約5日	約2日	約1日	約2日	
ハイ ビジ ョン 画質	3 倍録			—	—	—	—	—	約5日		
	5 倍録								約9日		
	15 倍録								約28日		

※2 全自動録画の追加チャンネル (ハイビジョン放送 ×2 チャンネル) を設定した場合の録画可能日数

※3 全自動録画 (8 チャンネル) を設定した場合の録画可能日数

- 追加チャンネルで設定できる録画モードは DR のみです。

仕様（続き）

4X403

録画モード				追加チャンネルの HDD 容量設定 ^{※1}			
				3.3 TB	2.5 TB	2.0 TB	1.5 TB
放送 画質	4K DR	BS/ CS 4K	4K 放送 (≤33 Mbps)	約 3 日	約 2 日	約 2 日	約 1 日

※1 全自動録画の追加チャンネル（4K 放送 × 1 チャンネル）を設定した場合の録画可能日数

- 追加チャンネルで設定できる録画モードは 4KDR のみです。

録画モード				チャンネルの HDD 容量設定 ^{※2}							
				3.3 TB		2.5 TB		2.0 TB		1.5 TB	
				4 チャンネル	追加 チャンネル ^{※2}	4 チャンネル	追加 チャンネル ^{※2}	4 チャンネル	追加 チャンネル ^{※2}	4 チャンネル	追加 チャンネル ^{※2}
放送 画質	DR	BS	HD 放送 (≤24 Mbps)	約 1 日	約 2 日	約 1 日	約 1 日	約 1 日	約 1 日	約 1 日	約 1 日
		デジタル	SD 放送 (≤12 Mbps)	約 3 日	約 4 日	約 2 日	約 3 日	約 2 日	約 2 日	約 1 日	約 2 日
		地上 デジタル	HD 放送 (≤17 Mbps)	約 2 日	約 3 日	約 1 日	約 2 日	約 1 日	約 2 日	約 1 日	約 1 日
ハイビジョン 画質	3 倍録			約 5 日	—	約 4 日	—	約 3 日	—	約 2 日	—
	5 倍録			約 9 日	—	約 7 日	—	約 5 日	—	約 4 日	—
	15 倍録			約 28 日	—	約 21 日	—	約 17 日	—	約 12 日	—

※2 全自動録画の追加チャンネル（ハイビジョン放送 × 2 チャンネル）を設定した場合の録画可能日数

- 追加チャンネルで設定できる録画モードは DR のみです。

2X603

録画モード				追加チャンネルの HDD 容量設定 ^{※3}			全自動録画用 HDD 容量 ^{※4}
				1.5 TB	1.0 TB	500 GB	4.0 TB
放送 画質	DR	BS	HD 放送 (≤24 Mbps)	約 2 日	約 1 日	約 1 日	約 1 日
		デジタル	SD 放送 (≤12 Mbps)	約 5 日	約 3 日	約 1 日	約 3 日
		地上 デジタル	HD 放送 (≤17 Mbps)	約 4 日	約 2 日	約 1 日	約 2 日
ハイビジョン 画質	3 倍録			約 8 日	約 5 日	約 2 日	約 5 日
	5 倍録			約 14 日	約 9 日	約 4 日	約 9 日
	15 倍録			約 43 日	約 28 日	約 14 日	約 28 日

※3 全自動録画の追加チャンネル（2 チャンネル）を設定した場合の録画可能日数

※4 全自動録画（8 チャンネル）を設定した場合の録画可能日数

仕様 (続き)

2X303

録画モード		全自動録画の HDD 容量設定 ^{#1}			
		2500 GB	2120 GB	1960 GB	1000 GB
ハイビジョン画質	3 倍録	約 7 日	約 6 日	約 5 日	約 2 日
	5 倍録	約 12 日	約 10 日	約 9 日	約 4 日
	15 倍録	約 36 日	約 30 日	約 28 日	約 14 日

※1 4 チャンネルの全自動録画を設定した場合の録画可能日数

- DR モード、1.5 倍録、1.6 倍録、1.8 倍録では録画できません。(ただし、追加チャンネルに登録した場合は録画できます)

2X203

録画モード		全自動録画の HDD 容量設定 ^{#2}		
		1.67 TB	1.5 TB	1.0 TB
ハイビジョン画質	3 倍録	約 4 日	約 4 日	約 2 日
	5 倍録	約 8 日	約 7 日	約 4 日
	15 倍録	約 23 日	約 21 日	約 14 日

※2 4 チャンネルの全自動録画を設定した場合の録画可能日数

- DR モード、1.5 倍録、1.6 倍録、1.8 倍録では録画できません。(ただし、追加チャンネルに登録した場合は録画できます)

仕様 (続き)

■録画モードと記録時間の目安 (ディスク)

4X1003 4X403

ディスク				BD-RE、BD-R			
録画モード				128 GB (片面 4 層)	100 GB (片面 3 層)	50 GB (片面 2 層)	25 GB (片面 1 層)
放送 画質	4K DR	BS/ CS 4K	4K放送 (≦33 Mbps)	約 8 時間	約 6 時間 10 分	約 3 時間	約 1 時間 30 分
4 K 画 質	4K 1.3 倍録			約 10 時間 15 分	約 8 時間	約 3 時間 45 分	約 1 時間 45 分
	4K 1.5 倍録			約 12 時間	約 9 時間 15 分	約 4 時間 30 分	約 2 時間 15 分
	4K 1.6 倍録			約 12 時間 50 分	約 10 時間	約 4 時間 50 分	約 2 時間 25 分
	4K 1.8 倍録			約 14 時間 30 分	約 11 時間 10 分	約 5 時間 30 分	約 2 時間 45 分
	4K 2 倍録			約 16 時間	約 12 時間 20 分	約 6 時間	約 3 時間
	4K 2.3 倍録			約 18 時間 30 分	約 14 時間 20 分	約 7 時間	約 3 時間 30 分
	4K 2.5 倍録			約 20 時間	約 15 時間 30 分	約 7 時間 30 分	約 3 時間 45 分
	4K 2.7 倍録			約 21 時間 40 分	約 16 時間 40 分	約 8 時間 20 分	約 4 時間 10 分
	4K 3 倍録			約 24 時間	約 18 時間 30 分	約 9 時間	約 4 時間 30 分
	4K 3.5 倍録			約 28 時間	約 21 時間 35 分	約 10 時間 30 分	約 5 時間 15 分
	4K 4 倍録			約 32 時間	約 24 時間 40 分	約 12 時間	約 6 時間
	4K 4.5 倍録			約 36 時間	約 27 時間 45 分	約 13 時間 30 分	約 6 時間 45 分
	4K 5 倍録			約 40 時間	約 30 時間 50 分	約 15 時間	約 7 時間 30 分
	4K 5.5 倍録			約 44 時間	約 33 時間 55 分	約 16 時間 30 分	約 8 時間 15 分
	4K 6 倍録			約 48 時間	約 37 時間	約 18 時間	約 9 時間
	4K 7 倍録			約 56 時間	約 43 時間 10 分	約 21 時間	約 10 時間 30 分
	4K 8 倍録			約 64 時間	約 49 時間 20 分	約 24 時間	約 12 時間
	4K 8 ～ 12 倍録			約 64 時間～約 96 時間	約 49 時間 20 分～約 74 時間	約 24 時間～約 36 時間	約 12 時間～約 18 時間

128 GB(片面 4 層) は BD-R のみ。

仕様 (続き)

4X1003 4X403 2X603 2X303 2X203

ディスク				BD-RE、BD-R			
録画モード				128 GB (片面 4 層)	100 GB (片面 3 層)	50 GB (片面 2 層)	25 GB (片面 1 層)
放送 画質	DR	BS デジタル 110度	HD放送 (≤24 Mbps)	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
		CS デジタル	SD放送 (≤12 Mbps)	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
		地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約 15 時間 30 分	約 12 時間	約 6 時間	約 3 時間
ハイ ビジ ョン 画質	1.5 倍録			約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
	1.6 倍録			約 17 時間 55 分	約 14 時間	約 7 時間	約 3 時間 30 分
	1.8 倍録			約 20 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間
	2 倍録			約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
	2.3 倍録			約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間
	2.5 倍録			約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
	2.7 倍録			約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間
	3 倍録			約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
	3.5 倍録			約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分
	4 倍録			約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	4.5 倍録			約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分
	5 倍録			約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
	5.5 倍録			約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間
	6 倍録			約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間
	7 倍録			約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分
	8 倍録			約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分
	9 倍録			約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分
	10 倍録			約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分
	11 倍録			約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分
	12 倍録			約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間
	15 倍録			約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分
D V D 画 質	XP～LP			本機では録画できません			

128 GB(片面 4 層) は BD-R のみ。

仕様 (続き)

4X1003 4X403 2X603 2X303 2X203

ディスク 録画モード		DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイ ビ ジ ョ ン 画 質	1.5 倍録	約 36 分	約 1 時間 7 分	本機では 録画できません
	1.6 倍録	約 39 分	約 1 時間 12 分	
	1.8 倍録	約 44 分	約 1 時間 21 分	
	2 倍録	約 48 分	約 1 時間 30 分	
	2.3 倍録	約 56 分	約 1 時間 43 分	
	2.5 倍録	約 1 時間	約 1 時間 52 分	
	2.7 倍録	約 1 時間 5 分	約 2 時間 1 分	
	3 倍録	約 1 時間 12 分	約 2 時間 15 分	
	3.5 倍録	約 1 時間 24 分	約 2 時間 37 分	
	4 倍録	約 1 時間 36 分	約 3 時間	
	4.5 倍録	約 1 時間 48 分	約 3 時間 22 分	
	5 倍録	約 2 時間	約 3 時間 45 分	
	5.5 倍録	約 2 時間 12 分	約 4 時間 7 分	
	6 倍録	約 2 時間 24 分	約 4 時間 30 分	
	7 倍録	約 2 時間 48 分	約 5 時間 15 分	
	8 倍録	約 3 時間 12 分	約 6 時間	
	9 倍録	約 3 時間 36 分	約 6 時間 45 分	
DVD 画質	10 倍録	約 4 時間	約 7 時間 30 分	
	11 倍録	約 4 時間 24 分	約 8 時間 15 分	
	12 倍録	約 4 時間 48 分	約 9 時間	
DVD 画質	15 倍録	約 6 時間	約 11 時間 15 分	
	XP	約 1 時間	約 1 時間 45 分	約 1 時間
	SP	約 2 時間	約 3 時間 35 分	約 2 時間
DVD 画質	LP	約 4 時間	約 7 時間 10 分	約 4 時間

仕様 (続き)

 お知らせ

- **[4X1003]** **[4X403]** 4K 画質モードの記録時間は、記録する音声 AAC 2ch 1つの場合です。
- **[4X1003]** **[4X403]** 4K 画質モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、記録できる音声は最大2つです。「4K 画質の音声 ch 数優先」(→178) が「切」(お買い上げ時)の場合、記録音声は AAC 5.1ch または AAC 2ch のいずれか一方のみです。「4K 画質の音声 ch 数優先」(→178) が「入」の場合、AAC 22.2ch または AAC 7.1ch の音声も記録できますが、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。
- **[4X1003]** **[4X403]** DR モードの録画時間は放送 (転送レート) によって異なります。本機の残量表示は、4KDR モードは 4K 放送を 33 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- **[HDD]** スマホ転送番組や写真を記録している場合は、記録できる時間は少なくなります。
- 15 倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態 (録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態) で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DR モード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式 (可変ビットレート方式: VBR) を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。
(**[HDD]** **[BD-RE]** **[BD-R]** **[R AVCREC]** では、特にその差が著しくなります)
- DR モードの録画時間は放送 (転送レート) によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない (ビットレートの低い) 番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

仕様 (続き)

■HDD の記憶容量

- **4X1003** : 10 TB
- **4X403** : 4 TB
- **2X603** : 6 TB
- **2X303** : 3 TB
- **2X203** : 2 TB

■記録できる最大番組数 (使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

- **HDD** : 通常録画 : 10000
(スマホ転送番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
- **BD-RE**^{※1} **BD-R**^{※1} **-R AVCREC** : 200
- **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V** : 99
- **USB-HDD** (通常録画用フォーマット) : 10000 (撮影ビデオは記録できません)
- **USB-HDD** (SeeQVault フォーマット) : 10000
※1 25 GB、50 GB、100 GB、128 GB 共通

■予約可能番組数

128 (予約可能期間 : 1 年間)

■最大チャプターマーク数 (記録状態により少なくなる場合があります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

- **HDD** **USB-HDD** (通常録画用フォーマット) : 1 番組当たり約 999 個
- **BD-RE**^{※2} **BD-R**^{※2} **-R AVCREC** : 1 ディスク当たり約 1000 個
- **-R VR** **-RW VR** : 1 ディスク当たり約 999 個
- **BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** **USB-HDD** (SeeQVault フォーマット) : 1 番組当たり約 100 個
※2 BDXL 以外のディスクのみ

■スマホ転送番組の記録可能時間の目安

画質 容量	150 kbps (180p)	400 kbps (180p)	650 kbps (360p)	1.5 Mbps (720p)	3.5 Mbps (720p)	4X1003 4X403 2 Mbps (1080p)	4X1003 4X403 4 Mbps (1080p)
8 GB	約 106 時間	約 40 時間	約 24 時間	約 10 時間	約 4 時間	約 8 時間	約 4 時間
16 GB	約 213 時間	約 80 時間	約 49 時間	約 21 時間	約 9 時間	約 16 時間	約 8 時間
32 GB	約 426 時間	約 160 時間	約 98 時間	約 42 時間	約 18 時間	約 32 時間	約 16 時間
64 GB	約 853 時間	約 320 時間	約 196 時間	約 85 時間	約 36 時間	約 64 時間	約 32 時間

主な記憶容量のみ記載しています。

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

仕様 (続き)

■記録方式

BD-RE :

Blu-ray Disc Rewritable Format 準拠

BD-R :

Blu-ray Disc Recordable Format 準拠

DVD-R、DVD-R DL (片面2層) :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠、AVCREC 規格準拠

DVD-RW :

DVD ビデオ規格準拠、DVD ビデオレコーディング規格準拠

■記録／再生可能なディスク

(◎ : 記録／再生 ○ : 再生のみ × : 記録／再生不可)

ディスクの種類		コンテンツ				
		番組	BD ビデオ	AVCHD 規格準拠	写真／動画 (MP4)	音楽
BD-RE	片面1層 (25GB) 片面2層 (50GB) 片面3層 (100GB)	◎	×	×	◎	◎
BD-R	片面1層 (25GB) 片面2層 (50GB) 片面3層 (100GB) 片面4層 (128GB)	◎	×	×	◎	◎

ディスクの種類		コンテンツ					
		番組		DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽
		DVD ビデオ レコーディン グ規格準拠	AVCREC 規格準拠				
DVD-R	片面1層	◎ ※3	◎ ※1	◎ ※1	○ ※1 ※3	○ ※2	×
	片面2層						
DVD-RW	Ver.1.1/1.2 に準拠の 6X SPEED まで	◎	×	◎ ※1	○ ※1 ※3	○ ※2	×

※1 他機で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズ必要

※2 JPEG のみ記録されたディスク。記録された機器でファイナライズ必要

※3 他機で記録されたディスクは、再生のみ可能

仕様 (続き)

■再生のみ可能なディスク

ディスクの種類	コンテンツ				
	番組	BD ビデオ ^{※1}	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
DVD-RAM ^{※2}	○	×	○	○	×
BD ビデオ	×	○	×	×	×

※1 Ultra HD Blu-ray (4X1003 4X403)、Blu-ray 3D、BD-LIVE、マスターグレードビデオコーディングに準拠

※2 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出して再生可能

ディスクの種類	コンテンツ				
	番組	DVD ビデオ 規格準拠	AVCHD 規格準拠	写真	音楽 (CDDA)
DVD ビデオ	×	○	×	×	×
+R/+R DL/+RW	○ ^{※3}	○	○	○	×
CD-Audio	×	×	×	×	○
CD-R/CD-RW	×	×	×	○	○

※3 他機で記録した番組

仕様 (続き)

■デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch (チャンネル数) は最大チャンネル数を表示]

接続端子		HDMI 端子			
「HDMI 出力」の設定		オート ^{※1}		PCM	
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定 ^{※2}		入 ^{※3}	切	入	切
再生コンテンツの種類	Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの音声で出力	ダウンミックス 2ch PCM	
	Dolby Digital Plus Dolby TrueHD				
	DTS® Digital Surround™ DTS® Digital Surround™ ES	DTS® Digital Surround™			
	DTS-HD® High Resolution Audio				
	DTS-HD® Master Audio				
	7.1 ch LPCM				

- ※1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS[®] Digital Surround[™] の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例：テレビなど) で出力します。
- ※2 「BD ビデオ副音声・操作音」(→180) を「自動切換」に設定すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD[®] に対応した HDMI 機器を接続している場合には、オリジナルの音声を優先して出力します。
- ※3 **[BD-V]**：副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→180) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。
- ※4 接続する機器が 7.1 ch に非対応のときは、ダウンミックス 5.1ch PCM またはダウンミックス 2ch PCM で出力します。

仕様 (続き)

接続端子		HDMI 端子	
「HDMI 出力」の設定		オート ^{※1}	PCM
再生コンテンツの種類	4X1003 4X403 4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) ^{※3} (22.2ch)	MPEG-4 AAC 22.2/7.1/ 5.1/2ch	ダウンミックス 5.1ch PCM ^{※2}
	4X1003 4X403 4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) ^{※3} (7.1ch)	MPEG-4 AAC 7.1/5.1/2ch	ダウンミックス 5.1ch PCM ^{※2}
	4X1003 4X403 4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) ^{※4} (5.1ch)	MPEG-4 AAC 5.1/2ch	5.1ch PCM ^{※2}
	4X1003 4X403 4K 放送 (4KDR モード、4K 画質モード) (2ch)	MPEG-4 AAC 2ch	2ch PCM
	4X1003 4X403 4K 放送 (1.5 ~ 15 倍録) ^{※5}	MPEG-2 AAC 2ch	2ch PCM
	ハイビジョン放送 (DR、1.5 ~ 15 倍録) (5.1ch)	MPEG-2 AAC 5.1/2ch	4X1003 4X403 5.1ch PCM ^{※2} 2X603 2X303 2X203 ダウンミックス 2ch PCM
	ハイビジョン放送 (DR、1.5 ~ 15 倍録) (2ch)	MPEG-2 AAC 2ch	2ch PCM

※1 接続する機器が非対応のときは、PCM 2ch または 5.1ch で出力します。

※2 接続する機器が非対応のときは、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※3 「4K 画質の音声 ch 数優先」(→178) が「入」のとき

※4 「4K 画質の音声 ch 数優先」(→178) が「切」のとき

※5 4K 放送の番組を 1.5 ~ 15 倍録に録画モード変換した場合、MPEG-2 AAC 2ch (ステレオ音声) で記録します。(→82)

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Brands LLC および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Xperi Inc. および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Xperi Inc. およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任を負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。G ガイドが供給する画像は、各著作権者に帰属します。G ガイドの利用以外の目的でこれらの画像をダウンロードすることは制限されています。また、再出版、再送信、複製、その他の用法は禁止されています。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
- “Master Grade Video Coding” の文字およびロゴはパナソニックホールディングス株式会社の登録商標です。
「マスターグレード\Master Grade」は(株)バンダイの登録商標です。
- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS, Inc. or DTS Licensing Limited. DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries. © 2021 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア (株) のモバイル Wnn を使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社の Inspirium 音声合成ライブラリを使用しています。Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2024
- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™”、“WPA3™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- FLAC のソフトウェアライセンス文は、[機能一覧] ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→[青] ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- SeeQVault および SeeQVault ロゴは NSM Initiatives LLC の商標です。
- AURO-3D® は NewAuro の登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
(i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して（以下、VC-1 ビデオ）記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[機能一覧] ボタンを押し、「設定・困ったときは」→「設定」→「メール・情報」→「ID表示」→[青] ボタンを押して「ソフト情報」をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

著作権など（続き）

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、

<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。

- “AVCHD 3D/Progressive” および “AVCHD 3D/Progressive” ロゴはパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能（かな漢字変換や番組の検索等を含む）の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は 2024 年 9 月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン / 見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン / 見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン / 見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因したまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン / 見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン / 見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

- 「位置参照情報ダウンロードサービス」（国土交通省）（<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/agreement.html>）を加工して作成



著作権など (続き)

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/>

(1) MS/PlayReady/Final Product Labeling

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

(2) MS/PlayReady/End User Notices

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

ソフトウェア更新に関する重要なお知らせ

①当社は、ブルーレイディスクレコーダーに内蔵のソフトウェアを、バグ等の修正、機能改善、機能追加、セキュリティ機能の強化などを目的に更新いたします。当該更新により、利用者が使用されるブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの機能の追加、削除等の変更が行われる場合があります。②また、当該更新は当社の判断により行われ、その適用をブルーレイディスクレコーダーおよび内蔵ソフトウェアの継続的な使用の条件とすることがあります。なお、内蔵ソフトウェアの更新にともない、利用規約の条件を追加、修正、削除する等一部変更する可能性があります。③当社は、法律により許容される範囲において、内蔵ソフトウェアの更新に関して、故意または過失により生じた場合を除き、利用者に対して一切の責任を負うものではありません。利用規約に同意いただけない場合は、設定よりソフトウェアを更新しない設定でお使いください。

損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権など（続き）

Gracenote®エンド ユーザー使用許諾契約書

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」とする）を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenote データ」とする）などの音楽関連情報をオンライン サーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」とする）から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

本アプリケーションまたは本製品は、Gracenote の提供者が所有するコンテンツを含む場合があります。その場合、ここに説明する Gracenote データに関する全ての制限は、該当するコンテンツにも適用され、また該当する提供者は、ここに説明する Gracenote が享受可能な全ての利益および保護を享受する権利を保有します。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの

正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的でないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

一部コンテンツの著作権はグレースノートもしくはコンテンツプロバイダーに帰属します。



Gracenote、Gracenote のロゴおよびロゴタイプ、「Powered by Gracenote」のロゴは、アメリカ合衆国および／または他国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標のいずれかです。

放送サービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1 か月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 宅外リモート接続機能
- 人名検索に関連する機能
- シーン一覧に関連する機能
- 音楽のタイトルやアーティスト情報などをインターネット経由で取得する機能
- AI おすすめ機能
- その他の放送サービス事業者が提供するサービス

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () —

お買い上げ日 年 月 日

B-CASカード番号

ACAS番号

※ B-CAS カード番号を記入してください。

4X1003 **4X403** ACAS 番号を記入してください。

お問い合わせのときに必要な場合があります。

ACAS 番号を確認するには (→42)

※ **4X1003** **4X403** ACAS チップが故障した場合には、
部品交換修理になり、ACAS 番号が変わります。
その際には、ご契約先の NHK や有料放送に変更
連絡してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?」(→213 ~221) でご確認のあと、
直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い
上げ日と下記の内容をお買い上げの販売店にご連絡
ください。

● 製品名 ブルーレイディスクレコーダー

● 品 番 ☐ DMR-4X1003
☐ DMR-4X403
☐ DMR-2X603
☐ DMR-2X303
☐ DMR-2X203

 お買い上げの品番に記入してください。

● 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、
おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

● 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の「DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れ
などのご相談窓口」、「修理に関するご相談窓口」にご連絡ください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。(→213)

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

英数字	ページ
■ ACAS チップ	
番号を見る.....	42、187
■ AVCHD	
再生する.....	148
取り込む.....	143
■ B-CASカード	
挿入する.....	19
番号を見る.....	187
■ BD-Live.....	118
BD-Live インターネット接続.....	177
■ CATV	
接続する.....	29
録画する.....	108
■ DIGA Drive 機能.....	167
■ DNS-IP 自動取得.....	183
■ DR モード切り換えについて.....	106
■ ECO スタンバイ.....	181
■ HDD	
取り扱い.....	201
フォーマット.....	179
■ HDMI	
アンプと接続.....	33
設定する（[HDMI接続設定]）.....	181
テレビと接続.....	24
■ HDR（ハイダイナミックレンジ）.....	182
■ IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定....	183
■ MP4	
書き出す.....	152
再生する.....	148
取り込む.....	143
■ SeeQVault.....	47
■ Ultra HD ブルーレイ.....	117
■ USB-HDD	
接続する.....	48
フォーマットする.....	49
■ USB 機器.....	51
■ U30.....	207
■ 10 秒戻し.....	119
■ 24p 出力.....	124、181
■ 3D	
3D 再生時の注意表示.....	181
3D ディスクの再生方法.....	177
再生する（映像）.....	118

■ 30秒送り.....	119
■ 4KDR モード.....	82
■ 4K 画質モード.....	82
■ 4K 出力.....	124、181
■ 4K 動画（MP4）	
再生.....	148
保存.....	143

あ 行	ページ
■ 暗証番号	
BD-Video の視聴可能年齢.....	177
DVD-Video の視聴制限.....	177
HDD 番組の視聴制限.....	179
視聴制限（番組）.....	186
■ アンテナ	
アンテナ電源.....	190
アンテナの調整（アンテナレベル）.....	189
接続する.....	22
■ 一括ダビング.....	141
■ 枝番号.....	64
■ オートサウンド連携.....	164
■ お好みチャンネル.....	63
■ おすすめ設定診断.....	79
■ 追っかけ再生.....	113
■ お手入れ.....	200
■ お録りおき	
変更する.....	80
■ お引越しダビング.....	140
■ お部屋ジャンプリnk	
設定する.....	196
操作する.....	165
■ おまかせ録画.....	100
■ 音楽	
再生する（CD）.....	156
■ 音声	
音質効果を設定する.....	124
音声言語を切り換える（音声情報）.....	122
音声を切り換える（再生時）.....	121
音声を切り換える（受信時）.....	63
記録する音声（主/副）を選ぶ （[二重音声記録時の音声選択]）.....	178
■ 音声ガイドの設定.....	175

さくいん (続き)

か 行	ページ
■ 画質変更ダビング	131
■ カテゴリーまとめて予約	102
■ かんたん設置設定	36
■ かんたん全自動録画設定	41
■ かんたんダビング	132
■ 機器パスワード初期化	184
■ 機能一覧	53
■ ギャップレス再生	157
■ 記録方式	44
■ クイックスタート	176
■ ケーブルテレビ (CATV)	
接続する	29
録画する	108
■ 検索する	69、95
■ 高速ダビング	
高速ダビング速度	178
■ すべての設定リセット	188
■ コマ送り/コマ戻し	120

さ 行	ページ
■ サーチ	119
■ 再生する	
BD ビデオ、DVD ビデオ	
(市販またはレンタル)	117
音楽 (CD)	156
撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	148
写真	148
全自動録画番組	67
番組	113
プレイリスト	113
■ 再生設定	122
■ 再生中番組の保存	138
■ 探して毎回予約	163
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	
再生する	148
取り込む	143

■ サブメニュー	
かんたんダビング	134
写真 / 動画一覧	150
スマホ転送番組の消去	162
全自動録画一覧	68
番組表	88
録画一覧 (再生)	114
録画一覧 (編集)	125
■ シーン一覧	115
■ 次エピソード自動再生	116
■ 時間指定予約	98
■ 視聴制限	
BD-Video の視聴可能年齢を設定する	177
DVD-Video の視聴制限を設定する	177
番組の視聴制限を設定する	186
■ 自動更新録画	90
■ 自動録画 (全自動録画)	65
■ 字幕	
切り換える (再生時)	121
切り換える (受信時)	64
字幕設定 (再生設定)	122
字幕設定 (放送設定)	186
録画モードによる記録の違い	82
■ 写真	
書き出す	152
再生する	148
取り込む	147
■ 受信アンテナ設定	189
■ 仕様	222
■ 消去する	
写真	150
スマホ転送番組	162
番組 (通常録画)	125
録画一覧の全番組消去 (HDD)	179
録画一覧の全番組消去	
(ブルーレイディスク、DVD)	172
ワンタッチ保存 (全自動録画)	73
■ 詳細ダビング	
番組をダビングする	135
ファイナライズ後のディスク	
(DVDビデオ) をダビングする	138
■ 信号切替	
再生時	122
放送受信時	64

さくいん (続き)

■ 信号設定	92
■ 診断コード	213
■ 新番組 / 特番おしらせ	97
■ スカパー！プレミアムサービス	
接続する	30、31
設定する	196
録画予約する	107
■ スキップ	119
■ すべての設定リセット	188
■ スマホ転送番組	
記録時間の目安	236
作成する	160
転送する	162
■ スロー再生	120
■ 設定	175
■ 選局対象	186
■ 全自動録画	
再生する	67
設定	41、71
保存	71
■ 操作状態の表示 (情報表示)	
再生時	121
受信時	63

た 行	ページ
■ 代替録画	104
■ ダウンミックス	180
■ ダウンロード	
ソフトウェア更新	199
■ 他機器での再生について	44
■ 宅外リモート	197
■ ダビング	
お引越しダビング	140
かんたんダビング	132
再生中番組の保存	138
詳細ダビング	135
セットトップボックスから	142
全自動録画番組のダビング	71
ディーガから	140
ビエラから	142
ビデオカメラから	143
■ チャプター	129
自動チャプター	178
■ チャプターマーク	129
■ チャンネル設定	191
■ 重複について	105
■ 追加チャンネル登録時の制限について	78
■ 通信による G ガイド受信	185
■ 続き再生メモリー機能	119

■ ディスク	
記録できるディスク	44
再生のみできるディスク	46
ディスクの再生方法 (再生設定)	122
名前を付ける	172
フォーマット	171
プロテクト	172
■ デモロー	42
■ データ放送	62
■ 同時録画再生	113
■ 同時録画について	109
■ どこでもディーガ	4、197

な 行 ページ

■ 名前を付ける	
ディスク	172
番組	125
予約録画	98
■ 日時設定	175
■ ネットワーク	
接続する	30
設定する	37、183

は 行 ページ

■ ハイビジョン画質	83
■ ハイビジョン動画 (AVCHD)	
再生する	148
取り込む	143
■ ハイレゾ音源 (音楽ファイル)	
再生	157
保存 (取り込み)	159
■ ハイレゾリマスター	124
■ 早送り / 早戻し (サーチ)	119
■ 早見再生 (1.3倍速 / 1.6倍速 / 2.0倍速)	119
■ 番組	
再生する	113
消去する	125
名前を付ける	125
プロテクト	125
編集する	125
■ 番組キープ	164
■ 番組結合	126
■ 番組追従機能	104

さくいん (続き)

■ 番組転送	160
■ 番組内容	63、120
■ 番組表	
枝番号表示を非表示にする (選局対象)	186
画面の見方	87
検索 (フリーワード、ジャンル)	94
設定を確認する	185
表示チャンネル数を変更する	67
予約録画する	89
■ 番組分割	127
■ ビエラリンク (HDMI)	163
■ ファイナライズ	
ファイナライズ解除	173
他のBD/DVD機器再生 (ファイナライズ)	173
■ フォーマット (初期化)	171
■ 副映像	118
■ 部分消去	126
■ 部分リセット	188
■ プレイリスト	113
■ プレビューサーチ	120
■ プロキシサーバー設定	183
■ プロテクト (書き込み禁止)	
ディスク	172
番組	101
■ 編集する	
番組	125
■ 放送設定	185
■ 放送メール	187
■ ホーム	58
■ ポップアップメニュー	117
■ 本体表示窓の明るさ	176

ま 行

ページ

■ 毎回保存	72
■ 毎日・毎週予約	90
設定する	91
毎日・毎週予約で録画した番組の再生 (まとめ番組の再生)	116
■ マイラベル	
設定する (予約時)	92
設定する (録画一覧で)	127
■ マスターグレードビデオコーディング	118
■ まとめ番組	116
■ ムーブバック (詳細ダビング)	131、135
■ 無線 LAN	
接続する	31
設定する	37
■ 文字入力	174

や 行

ページ

■ 野球延長対応 (番組追従)	104
■ 予約確認	99
■ 予約録画	
重複について	105
番組表を使って	89
予約内容の確認・取り消し・修正	99
録画日時を指定して (時間指定予約)	98

ら 行

ページ

■ リージョンコード / リージョン番号	46
■ リピート再生	122
■ リモコン	
各部の働き	17
他機器が同時に動作するのを防ぐ (リモコンモード)	193
本機のリモコンでテレビを操作する (リモコンのテレビ操作設定)	194
■ リモコンモード	193
■ 録画中に再生する (追っかけ再生 / 同時録画再生)	113
■ 録画中の同時操作	203
■ 録画モード	82
変換する	128
録画モードを選ぶ (かんたんダビング時)	134
録画モードを選ぶ (詳細ダビング時)	135
録画モードを選ぶ (予約時)	90
録画モードを選ぶ (録画時)	85
■ 録画モードと記録時間の目安	
全自動録画	229
通常録画	226
ディスク	232

わ 行

ページ

■ ワンタッチ保存	71
-----------------	----

「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://panasonic.jp/membership/mylist>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます

QRコード

SAMPLE



Form showing fields for Name, Email, and a button labeled "保証書在中" (Warranty Book in Hand).

お問い合わせについて

まずは、本書の「故障かな!？」(→213)をご確認ください。

解決しない場合は、下記のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



DIGA (ディーガ)・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



0120-878-982

受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三日を除く)

- 上記電話番号がご利用
いただけない場合

06-6907-1187

- FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236

電話番号・受付時間は予告なく変更する場合があります。
最新情報は上記QRコードから確認できます。



修理に関するご相談窓口



0120-878-554

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 受付時間 9:00~18:00
(一部地域を除く)

03-6633-6700



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(バケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- ・受付時間などの最新情報はWebをご確認ください。

本機の使用、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜い
て、必ず販売店に点検を
ご相談ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町 1 丁目 10 番 12 号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2024-2025

TQBS0534-1

F1024KY1085